

高齢社会に関する意識調査
報告書

令和5年3月

札幌市

目次

1	調査の概要	
1. 1	調査の概要	1
2	調査結果	
2. 1	基本的事項について	
問 1-1	記入者	3
問 1-2	生活圏域	4
問 1-3	性別	5
問 1-4	年齢	6
問 1-5	現在の生活場所	8
2. 2	世帯の状況・住まいについて	
問 2-1	家族構成	12
問 2-2	現地域での居住継続希望	15
問 2-3	生活環境の整備状況	19
問 2-4	今後の生活場所の希望	21
問 2-5	住み替えたい住宅の形態	25
問 2-6	住み替え先で重視する点	26
問 2-7	最期を迎えたい場所	29
2. 3	地域での活動について【65歳以上のみ】	
問 3-1	活動への参加頻度	32
問 3-1 ①	ボランティアのグループ	33
問 3-1 ②	スポーツ関係のグループやクラブ	34
問 3-1 ③	趣味関係のグループ	35
問 3-1 ④	学習・教養サークル	36
問 3-1 ⑤	体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など 介護予防のための通いの場	37
問 3-1 ⑥	老人クラブ	38
問 3-1 ⑦	町内会・自治会	39
問 3-1 ⑧	収入のある仕事	40
問 3-1 ⑨	保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援	41
問 3-1 ⑩	家族援助、移送などの高齢者支援	42
問 3-1 ⑪	祭りなど地域の催し物の世話役など	43
問 3-1 ⑫	交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動	44

問3-2	不参加の理由.....	45
問3-3	参加意欲.....	46
問3-4	企画・運営意欲.....	47
問3-5	社会参加の機会.....	49
問3-6	「介護のおしごと」等への従事意向.....	51
問3-7	勤務形態（頻度）の希望.....	52

2. 4 心身の状況について

問4-1	主観的健康感.....	53
問4-2	り患中の疾病、後遺症.....	58
問4-3	健康維持・推進の意識.....	59
問4-4	健康維持の取組.....	61
問4-5	介護予防の取組.....	63
問4-6	認知症予防の取組.....	64
問4-7	健康状態で気になっていること.....	65
問4-8	かかりつけ医の有無.....	66
問4-9	かかりつけ歯科医の有無.....	68
問4-10	かかりつけ薬局の有無.....	70
問4-11	介護・介助の必要性.....	72
問4-12	要介護等認定状況.....	74
問4-13	在宅生活に必要なこと.....	77

2. 5 生活状況について【65歳以上のみ】

問5-1	身長・体重.....	80
問5-2	咀嚼.....	82
問5-3	嚥下.....	83
問5-4	歯数.....	84
問5-5	喫煙.....	85
問5-6	階段昇降.....	86
問5-7	歩行.....	87
問5-8	立ち上がり.....	88
問5-9	過去1年間の転倒.....	89
問5-10	転倒に対する不安.....	90
問5-11	外出頻度.....	91
問5-12	外出機会の減少.....	96
問5-13	移動手段.....	97
問5-14	単独外出.....	99

問 5-15	物忘れ.....	100
問 5-16	幸福度.....	101
問 5-17	抑うつ（気分・気持ち）.....	102
問 5-18	抑うつ（興味・関心）.....	103
問 5-19	経済状況.....	104
問 5-20	請求書の支払い.....	105
問 5-21	預貯金の出し入れ.....	106
問 5-22	食品・日用品の買い物.....	107
問 5-23	預貯金の出入金をする人.....	110
問 5-24	食事の用意.....	112
問 5-25	食事の用意をする人.....	115
問 5-26	会食の機会.....	117
問 5-27	身体の衛生管理.....	118
問 5-28	心配事などを聞いてくれる人.....	119
問 5-29	心配事などを聞いてあげる人.....	120
問 5-30	看病などをしてくれる人.....	121
問 5-31	看病などをしてあげる人.....	123

2. 6 介護保険について

問 6-1	保険料段階.....	124
問 6-2	保険料の負担感.....	126
問 6-3	保険料負担のあり方.....	134
問 6-4	保険料の納付方法.....	136
問 6-5	サービスと保険料の関係.....	137

2. 7 その他について

問 7-1	サービスの認知度.....	138
問 7-2	特に重要なサービス.....	139
問 7-3	サービス情報の入手先.....	140
問 7-4	おむつサービス事業.....	141
問 7-5	元気で暮らし続けるための取組.....	142
問 7-6	取組が十分でないと思う理由.....	145
問 7-7	現在の困りごと、将来の不安.....	146
問 7-8	困りごとや不安の相談先.....	152
問 7-9	地域包括支援センターの利用満足度.....	158
問 7-10	介護予防センターの利用満足度.....	159
問 7-11	高齢者の優遇.....	160

問 7-12	孤立死の心配.....	162
問 7-13	認知症に接した経験.....	167
問 7-14	経験内容.....	168
問 7-15	認知症への偏見.....	169
問 7-16	認知症に関する相談窓口の認知度.....	170
問 7-17	認知症の相談先.....	171
問 7-18	フレイルの認知度.....	174
問 7-19	コロナ禍での暮らし、体調・気持ち、行動の変化.....	175
問 7-20	コロナ禍で求められる活動やサービス.....	177
問 7-21	高齢者の人権尊重.....	178
問 7-22	個別避難計画の認知度.....	179
問 7-23	個別避難計画に対する支援者側意識.....	180
問 7-24	個別避難計画の周知手法.....	181
問 7-25	避難警報発令時の避難行動.....	182

3 参考資料..... 185

3. 1 集計表

基礎項目別のクロス集計結果（64 歳以下）	186
設問間のクロス集計結果（64 歳以下）	242
基礎項目別のクロス集計結果（65 歳以上）	249
設問間のクロス集計結果（65 歳以上）	351

4 自由記載..... 359

4. 1 「64 歳以下」の自由記載

保健福祉サービス	359
介護保険制度.....	360
医療.....	361
高齢者の社会参加・生きがいつくり.....	361
高齢者のすみよいまちづくり.....	362
市の施策や行政の対応等.....	362
年金について.....	363
その他.....	364

4. 2 「65 歳以上」の自由記載

保健福祉サービス	365
介護保険制度.....	366

医療.....	366
高齢者の社会参加・生きがいつくり.....	367
高齢者のすみよいまちづくり.....	368
市の施策や行政の対応等.....	369
年金について.....	370
その他.....	371

5 調査票・別紙.....	373
----------------------	------------

1 調査の概要

1 調査の概要

1. 1 調査の概要

(1) 調査目的

この調査は、幅広い世代の方々の高齢社会に対する意識や高齢者福祉施策全般に関する考え方を把握・整理し、令和6年度を始期とする新たな「高齢者支援計画」の策定や各高齢者施策・介護保険事業の実施に当たっての基礎資料とすることを目的として実施した。

(2) 調査対象

令和4年12月1日現在、札幌市内に在住する65歳以上の市民5,000人、40歳以上64歳以下の市民1,500人を居住区別の構成比率に基づき無作為に抽出した。

(3) 調査基準日

令和4年12月1日とした。
(令和4年12月1日現在の状況について回答していただいた。)

(4) 調査期間

令和4年12月1日～令和4年12月23日

(5) 調査方法

郵送による調査票の発送・回収

【1 調査の概要】

(6) 回収結果

	40歳以上 64歳以下	65歳以上	合計
発送数	1,500件	5,000件	6,500件
回収数			3,353件 (51.6%)
有効回収数			3,345件 (51.5%)
有効回答数	572件 (38.1%)	2,731件 (54.6%)	3,303件 (50.8%)

(7) 集計・分析の留意事項

- この調査は年齢別、世代別の比較分析を前提として設計しているため、有効回収数3,345件のうち、年齢を問う設問（問1-4）に正しく回答がなされた3,303件をこの報告書における有効回答数として集計している。
- 回答率（各回答の百分比）は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
なお、回答はあったが端数処理により比率が0.0となった場合を「0.0%」、回答がなかった場合を「-」と示している。
- 設問に『(複数回答)』とあるのは、2つ以上の回答を可としたものであり、その百分比の合計は100.0%を超える場合がある。
- グラフにおける「n」は、比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答者に相当するのかを示すものである。

2 調査結果

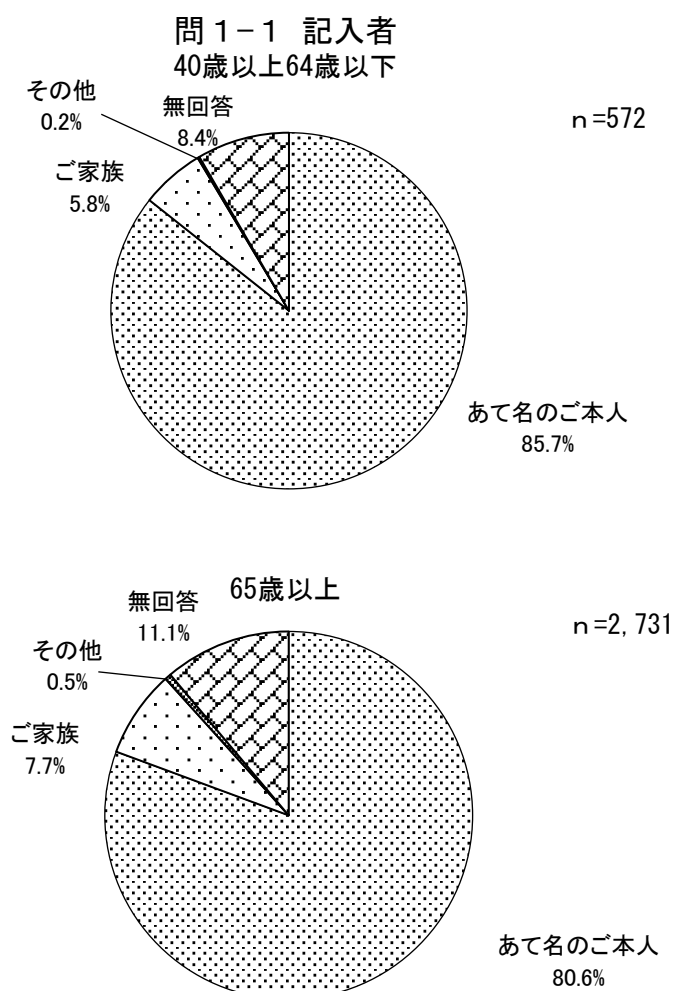
2 調査結果

2. 1 基本的事項について

問 1-1 記入者

調査票を記入しているのはどなたですか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。

調査票を記入しているのは、64 歳以下は「あて名のご本人」が 85.7%、「ご家族」は 5.8%となっており、65 歳以上は「あて名のご本人」は 80.6%、「ご家族」は 7.7%となっている。



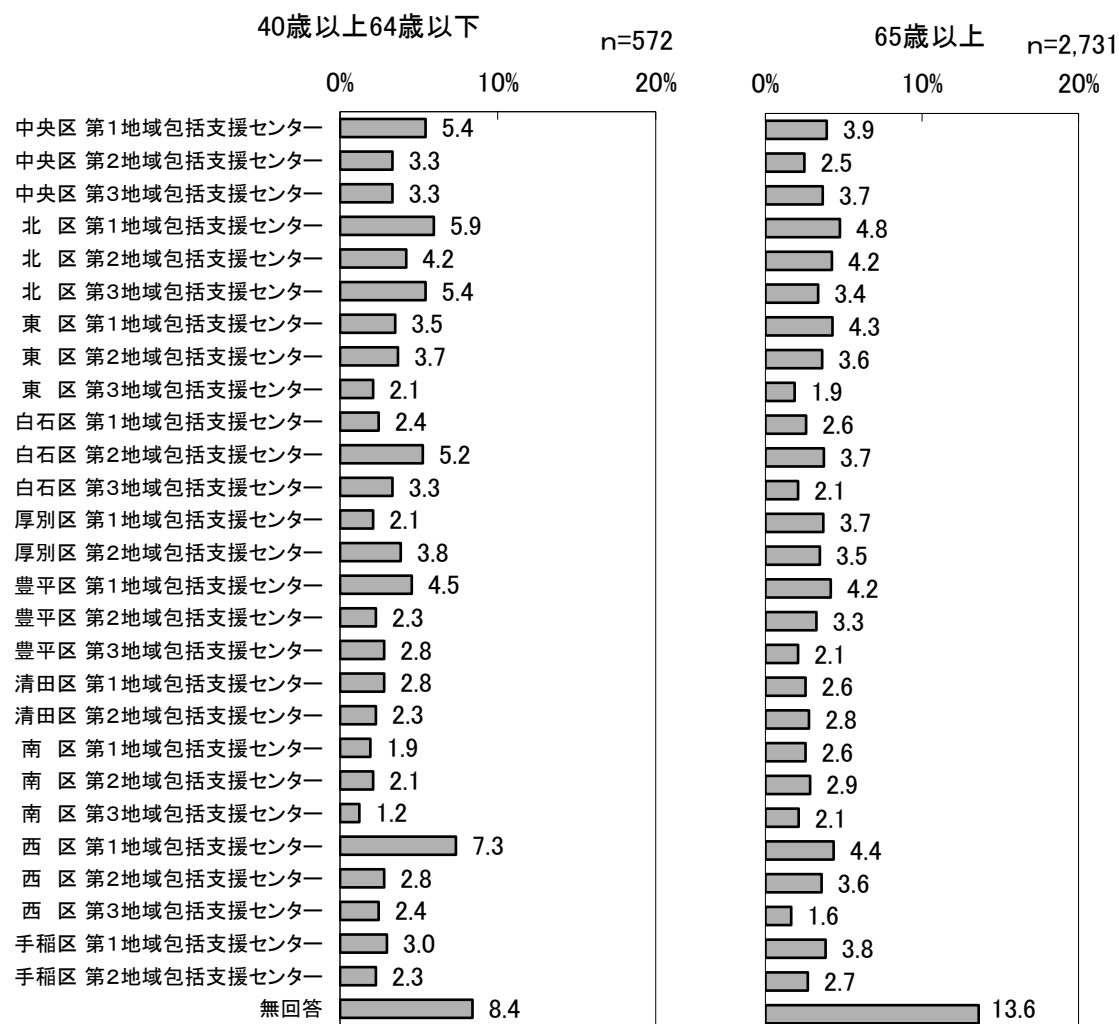
【2 調査結果（基本的事項について）】

問1-2 生活圏域

札幌市では、高齢者とその家族への総合的な支援などを行う地域包括支援センターを27か所設置しています。あなたがお住まいの地区を担当する地域包括支援センターはどこですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在の居住区での地域包括支援センターは、64歳以下は「西区 第1地域包括支援センター」が最も多く7.3%、次いで「北区 第1地域包括支援センター」（5.9%）、「中央区 第1地域包括支援センター」と「北区 第3地域包括支援センター」（5.4%）となっている。65歳以上では、「北区 第1地域包括支援センター」が最も多く4.8%、次いで「西区 第1地域包括支援センター」（4.4%）、「東区 第1地域包括支援センター」（4.3%）となっている。

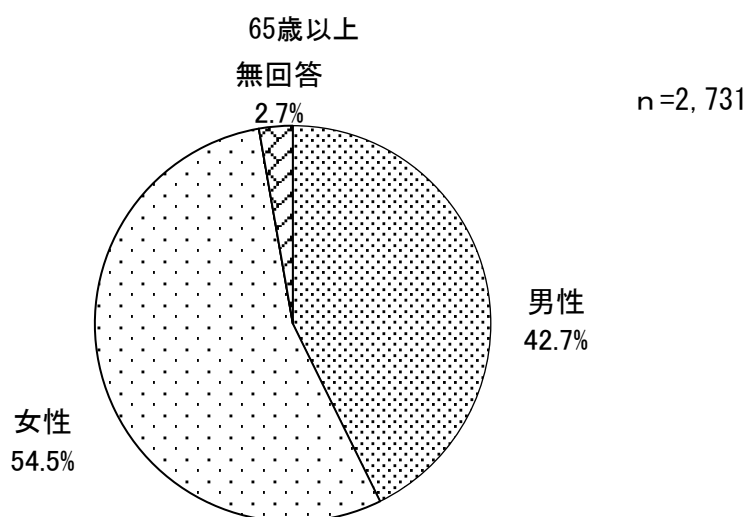
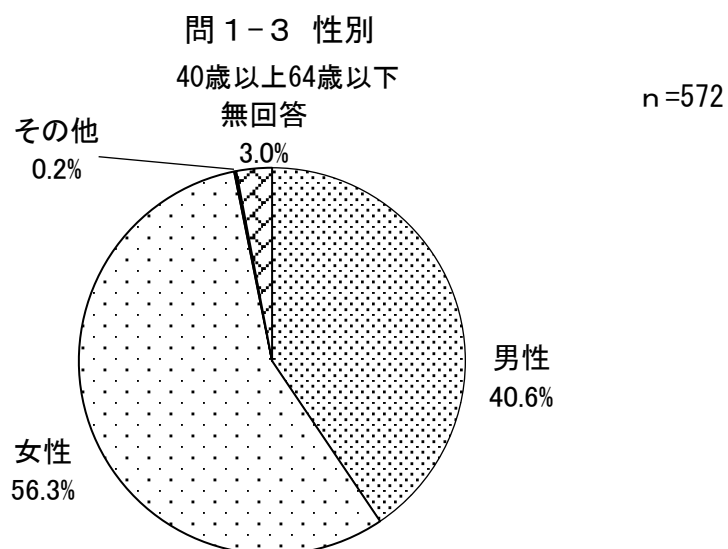
問1-2 生活圏域



問1-3 性別

あなたの性別を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

性別は、64歳以下の「女性」は56.3%、「男性」は40.6%となっており、65歳以上の「女性」は54.5%、「男性」は42.7%となっている。

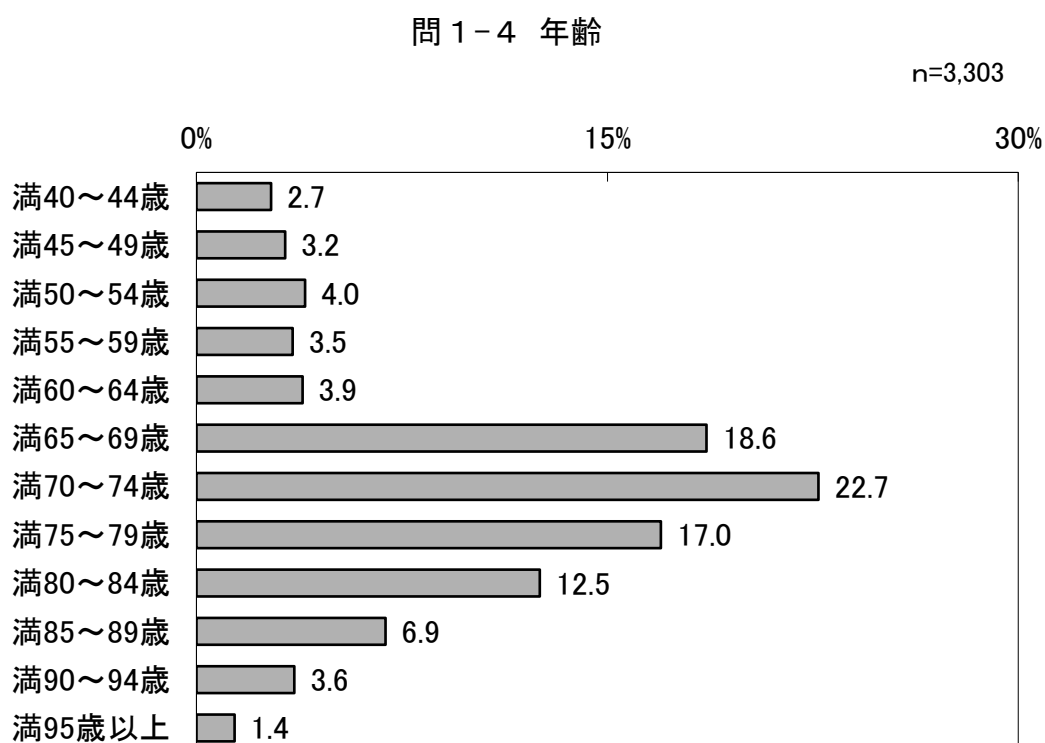


【2 調査結果（基本的事項について）】

問1-4 年齢

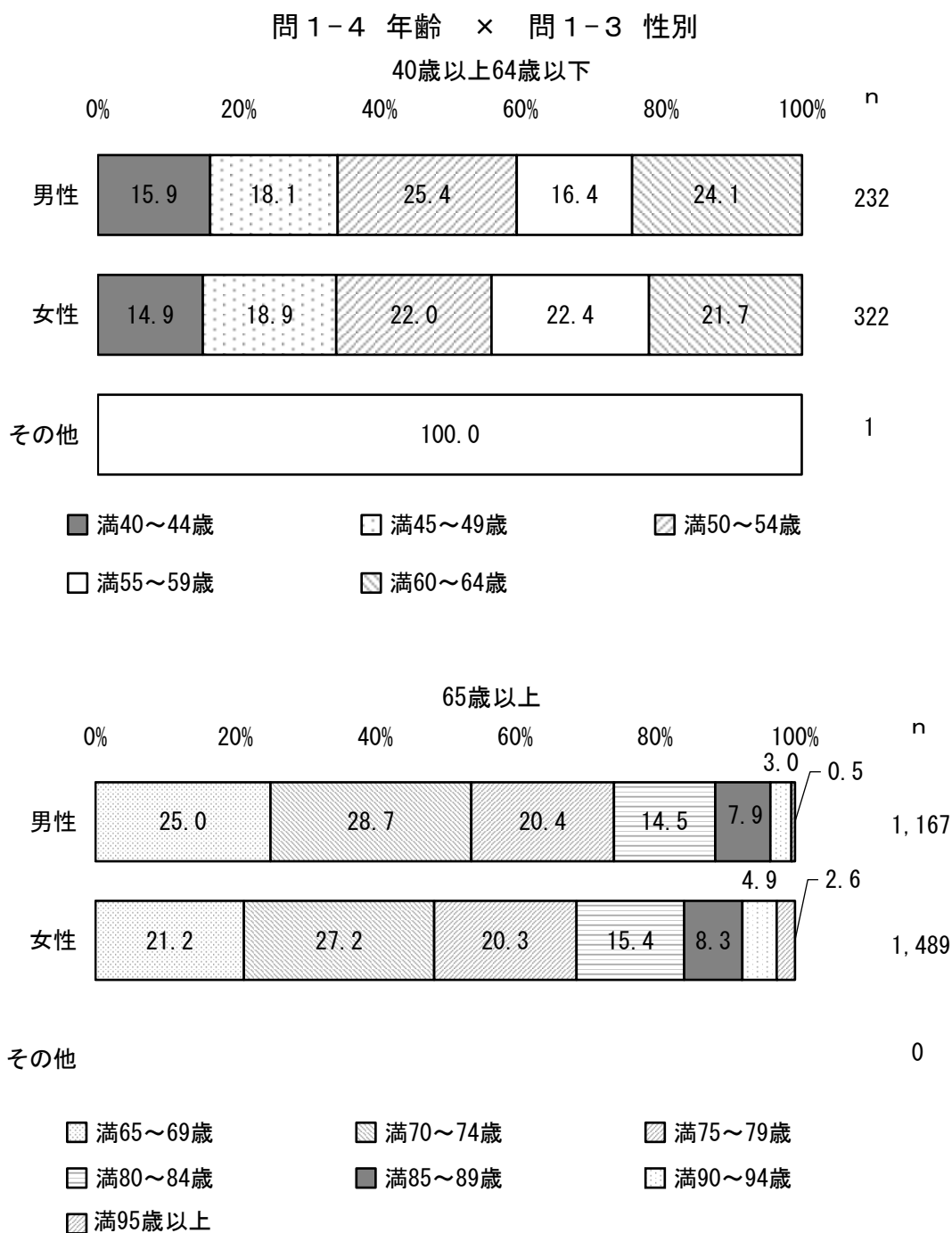
あなたの年齢を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在の年齢は、「満70～74歳」が最も多く22.7%、次いで「満65～69歳」(18.6%)、「満75～79歳」(17.0%)となっている。



【2 調査結果（基本的事項について）】

男女別にみると、64歳以下は「満50～54歳」は男性が女性より3.4ポイント高く、「満55～59歳」は女性が6.0ポイント高くなっており、65歳以上は「満65～69歳」は男性が3.8ポイント高く、「満95歳以上」で女性が2.1ポイント高くなっている。



【2 調査結果（基本的事項について）】

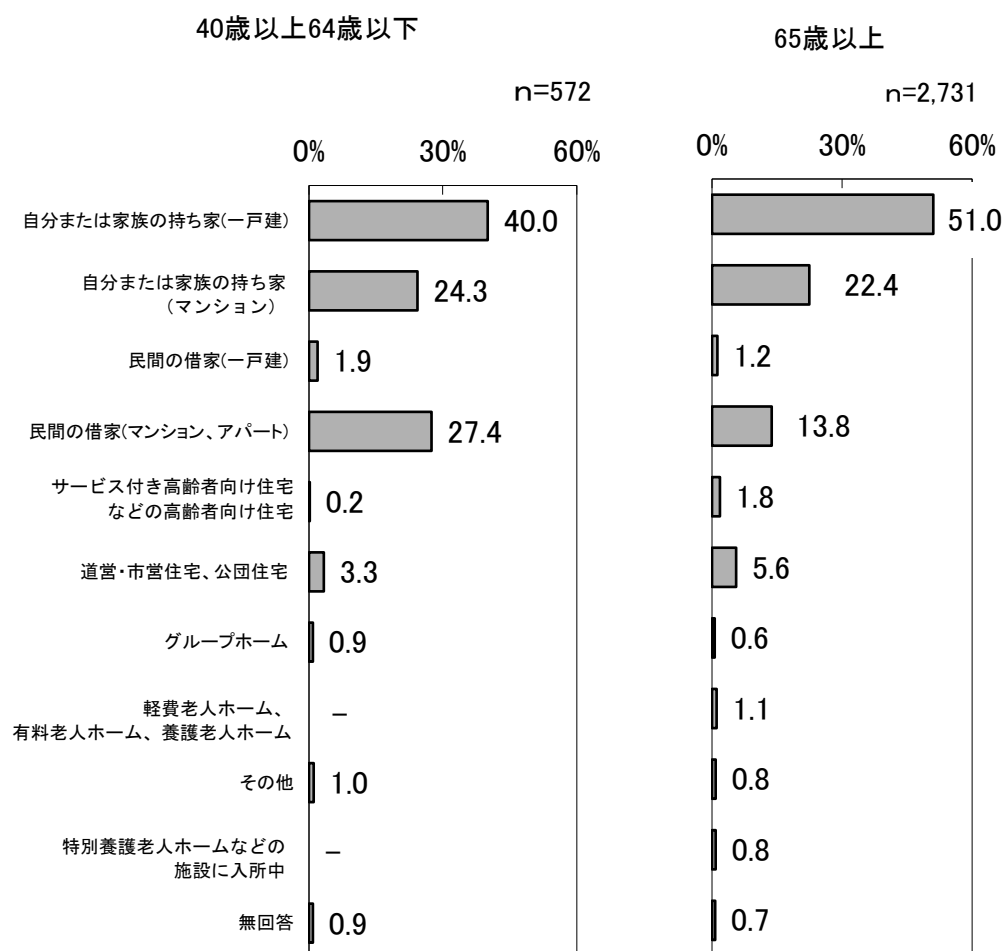
問 1-5 現在の生活場所

あなたは現在、どこで生活していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在の生活場所は、64歳以下で「自分または家族の持ち家（一戸建）」が最も多く40.0%となっており、次いで「民間の借家（マンション、アパート）」（27.4%）、「自分または家族の持ち家（マンション）」（24.3%）の順となっている。

65歳以上でも同様に「自分または家族の持ち家（一戸建）」が最も多く51.0%となっており、次いで「自分または家族の持ち家（マンション）」（22.4%）、「民間の借家（マンション、アパート）」（13.8%）となっている。

問 1-5 現在の生活場所



【2 調査結果（基本的事項について）】

居住区の地域包括支援センター別にみると、「自分または家族の持ち家（一戸建）」と「自分または家族の持ち家（マンション）」を合わせた割合が、64歳以下は「東区 第3地域包括支援センター」で91.6%、65歳以上では「中央区 第2地域包括支援センター」で89.7%と特に高くなっている。「民間の借家（マンション、アパート）」でみると、64歳以下は「東区 第1地域包括支援センター」で50.0%、65歳以上では「豊平区 第1地域包括支援センター」で33.3%と最も高くなっている。

【2 調査結果（基本的事項について）】

問1-5 現在の生活場所 × 問1-2 生活圏域【40歳以上64歳以下】

	上段：件数 下段：%										
	自分または家族の持ち家（一戸建）	自分または家族の持ち家（マンション）	民間の借家（一戸建）	民間の借家（マンション、アパート）	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	道営・市営住宅、公団住宅	グループホーム	軽費老人ホーム、有料老人ホーム、養護老人ホーム	その他	特別養護老人ホームなどの施設に入所中	無回答
中央区 第1	1	16	-	12	-	-	-	-	-	-	2
地域包括支援センター	3.2	51.6	-	38.7	-	-	-	-	-	-	6.5
中央区 第2	7	6	1	4	-	-	-	-	-	-	1
地域包括支援センター	36.8	31.6	5.3	21.1	-	-	-	-	-	-	5.3
中央区 第3	3	8	-	8	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	15.8	42.1	-	42.1	-	-	-	-	-	-	-
北区 第1	13	6	2	10	-	2	-	-	1	-	-
地域包括支援センター	38.2	17.6	5.9	29.4	-	5.9	-	-	2.9	-	-
北区 第2	15	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	62.5	4.2	-	29.2	-	4.2	-	-	-	-	-
北区 第3	21	6	1	3	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	67.7	19.4	3.2	9.7	-	-	-	-	-	-	-
東区 第1	7	2	-	10	-	1	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	35.0	10.0	-	50.0	-	5.0	-	-	-	-	-
東区 第2	9	2	-	9	-	1	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	42.9	9.5	-	42.9	-	4.8	-	-	-	-	-
東区 第3	7	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	58.3	33.3	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-
白石区 第1	5	4	-	5	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	35.7	28.6	-	35.7	-	-	-	-	-	-	-
白石区 第2	12	11	-	7	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	40.0	36.7	-	23.3	-	-	-	-	-	-	-
白石区 第3	8	2	1	7	-	1	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	42.1	10.5	5.3	36.8	-	5.3	-	-	-	-	-
厚別区 第1	3	2	-	4	-	3	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	25.0	16.7	-	33.3	-	25.0	-	-	-	-	-
厚別区 第2	7	7	1	6	1	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	31.8	31.8	4.5	27.3	4.5	-	-	-	-	-	-
豊平区 第1	5	10	-	10	-	-	-	-	1	-	-
地域包括支援センター	19.2	38.5	-	38.5	-	-	-	-	3.8	-	-
豊平区 第2	9	1	-	2	-	-	-	-	1	-	-
地域包括支援センター	69.2	7.7	-	15.4	-	-	-	-	7.7	-	-
豊平区 第3	5	4	1	6	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	31.3	25.0	6.3	37.5	-	-	-	-	-	-	-
清田区 第1	7	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	43.8	31.3	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
清田区 第2	10	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	76.9	7.7	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-
南区 第1	4	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	36.4	45.5	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-
南区 第2	9	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-
地域包括支援センター	75.0	-	8.3	8.3	-	-	8.3	-	-	-	-
南区 第3	3	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	42.9	42.9	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-
西区 第1	9	12	1	11	-	3	3	-	3	-	-
地域包括支援センター	21.4	28.6	2.4	26.2	-	7.1	7.1	-	7.1	-	-
西区 第2	10	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	62.5	12.5	6.3	18.8	-	-	-	-	-	-	-
西区 第3	3	5	-	6	-	-	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	21.4	35.7	-	42.9	-	-	-	-	-	-	-
手稲区 第1	12	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	70.6	-	-	17.6	-	11.8	-	-	-	-	-
手稲区 第2	7	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	53.8	15.4	-	15.4	-	15.4	-	-	-	-	-
無回答	18	12	1	12	-	2	1	-	-	-	2
	37.5	25.0	2.1	25.0	-	4.2	2.1	-	-	-	4.2

【2 調査結果（基本的事項について）】

問1-5 現在の生活場所 × 問1-2 生活圏域【65歳以上】

	上段：件数 下段：%										
	自分または家族の持ち家（一戸建）	自分または家族の持ち家（マンション）	民間の借家（一戸建）	民間の借家（マンション、アパート）	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	道営・市営住宅、公団住宅	グループホーム	軽費老人ホーム、有料老人ホーム、介護老人ホーム	その他	特別養護老人ホームなどの施設に入所中	無回答
中央区 第1	15	63	1	24	2	-	-	1	1	-	-
地域包括支援センター	14.0	58.9	0.9	22.4	1.9	-	-	0.9	0.9	-	-
中央区 第2	28	33	1	3	1	1	-	-	-	-	1
地域包括支援センター	41.2	48.5	1.5	4.4	1.5	1.5	-	-	-	-	1.5
中央区 第3	32	45	-	16	2	-	1	3	1	-	-
地域包括支援センター	32.0	45.0	-	16.0	2.0	-	1.0	3.0	1.0	-	-
北区 第1	58	34	2	26	1	3	1	1	1	2	1
地域包括支援センター	44.6	26.2	1.5	20.0	0.8	2.3	0.8	0.8	0.8	1.5	0.8
北区 第2	80	19	2	12	2	-	-	-	-	1	-
地域包括支援センター	69.0	16.4	1.7	10.3	1.7	-	-	-	-	0.9	-
北区 第3	76	4	-	6	1	2	1	1	1	-	-
地域包括支援センター	82.6	4.3	-	6.5	1.1	2.2	1.1	1.1	1.1	-	-
東区 第1	45	25	1	23	3	16	-	1	1	1	1
地域包括支援センター	38.5	21.4	0.9	19.7	2.6	13.7	-	0.9	0.9	0.9	0.9
東区 第2	58	11	1	15	3	8	1	2	-	-	-
地域包括支援センター	58.6	11.1	1.0	15.2	3.0	8.1	1.0	2.0	-	-	-
東区 第3	29	9	-	7	1	1	1	-	-	2	1
地域包括支援センター	56.9	17.6	-	13.7	2.0	2.0	2.0	-	-	3.9	2.0
白石区 第1	26	23	2	15	2	2	-	-	-	1	-
地域包括支援センター	36.6	32.4	2.8	21.1	2.8	2.8	-	-	-	1.4	-
白石区 第2	42	25	3	22	2	2	-	-	3	3	-
地域包括支援センター	41.2	24.5	2.9	21.6	2.0	2.0	-	-	2.9	2.9	-
白石区 第3	24	13	1	12	2	4	1	-	-	-	-
地域包括支援センター	42.1	22.8	1.8	21.1	3.5	7.0	1.8	-	-	-	-
厚別区 第1	56	10	1	1	-	26	2	1	1	1	2
地域包括支援センター	55.4	9.9	1.0	1.0	-	25.7	2.0	1.0	1.0	1.0	2.0
厚別区 第2	39	27	-	9	1	16	1	1	-	-	1
地域包括支援センター	41.1	28.4	-	9.5	1.1	16.8	1.1	1.1	-	-	1.1
豊平区 第1	29	34	1	38	-	4	2	1	1	3	1
地域包括支援センター	25.4	29.8	0.9	33.3	-	3.5	1.8	0.9	0.9	2.6	0.9
豊平区 第2	62	11	7	4	1	2	-	-	-	2	-
地域包括支援センター	69.7	12.4	7.9	4.5	1.1	2.2	-	-	-	2.2	-
豊平区 第3	13	26	-	14	1	1	-	1	-	-	1
地域包括支援センター	22.8	45.6	-	24.6	1.8	1.8	-	1.8	-	-	1.8
清田区 第1	56	4	1	4	1	2	-	-	1	-	1
地域包括支援センター	80.0	5.7	1.4	5.7	1.4	2.9	-	-	1.4	-	1.4
清田区 第2	61	2	1	6	2	2	-	-	-	2	-
地域包括支援センター	80.3	2.6	1.3	7.9	2.6	2.6	-	-	-	2.6	-
南区 第1	47	6	-	11	2	2	-	1	-	1	-
地域包括支援センター	67.1	8.6	-	15.7	2.9	2.9	-	1.4	-	1.4	-
南区 第2	61	7	-	3	2	3	-	-	1	1	-
地域包括支援センター	78.2	9.0	-	3.8	2.6	3.8	-	-	1.3	1.3	-
南区 第3	22	17	-	4	-	11	-	3	1	-	-
地域包括支援センター	37.9	29.3	-	6.9	-	19.0	-	5.2	1.7	-	-
西区 第1	39	52	-	20	2	3	-	1	2	-	-
地域包括支援センター	32.8	43.7	-	16.8	1.7	2.5	-	0.8	1.7	-	-
西区 第2	68	11	2	12	1	1	-	1	1	1	-
地域包括支援センター	69.4	11.2	2.0	12.2	1.0	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-
西区 第3	20	10	-	9	1	5	-	-	-	-	-
地域包括支援センター	44.4	22.2	-	20.0	2.2	11.1	-	-	-	-	-
手稲区 第1	77	8	-	5	4	7	2	2	-	-	-
地域包括支援センター	73.3	7.6	-	4.8	3.8	6.7	1.9	1.9	-	-	-
手稲区 第2	50	11	-	7	1	3	-	1	-	-	1
地域包括支援センター	67.6	14.9	-	9.5	1.4	4.1	-	1.4	-	-	1.4
無回答	181	73	7	48	9	25	4	7	7	2	9
	48.7	19.6	1.9	12.9	2.4	6.7	1.1	1.9	1.9	0.5	2.4

【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

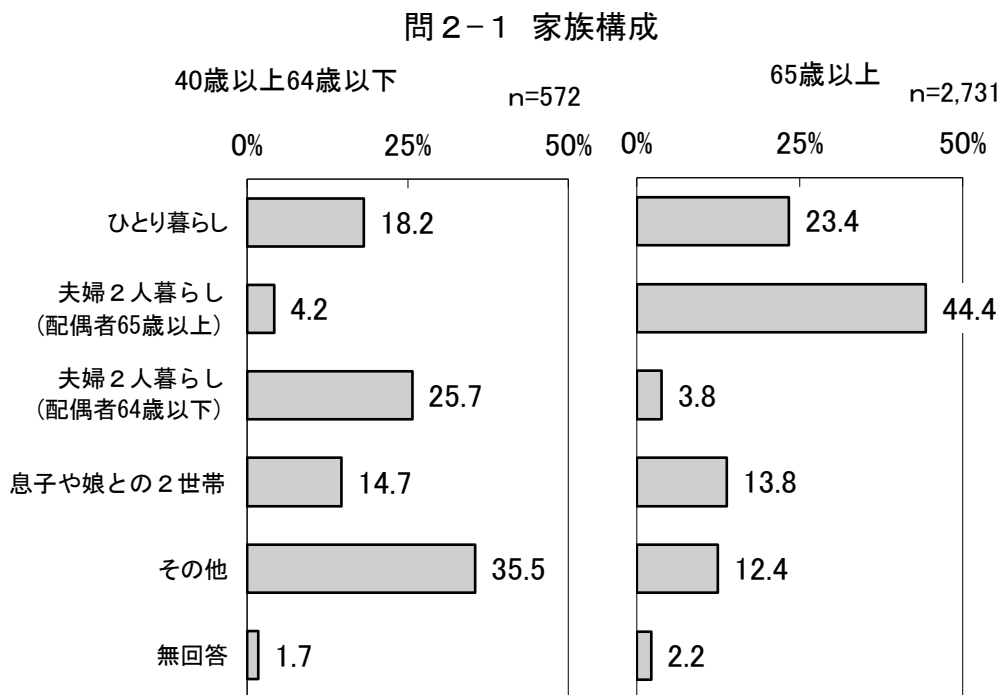
2. 2 世帯の状況・住まいについて

問2-1 家族構成

あなたの世帯の家族構成を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

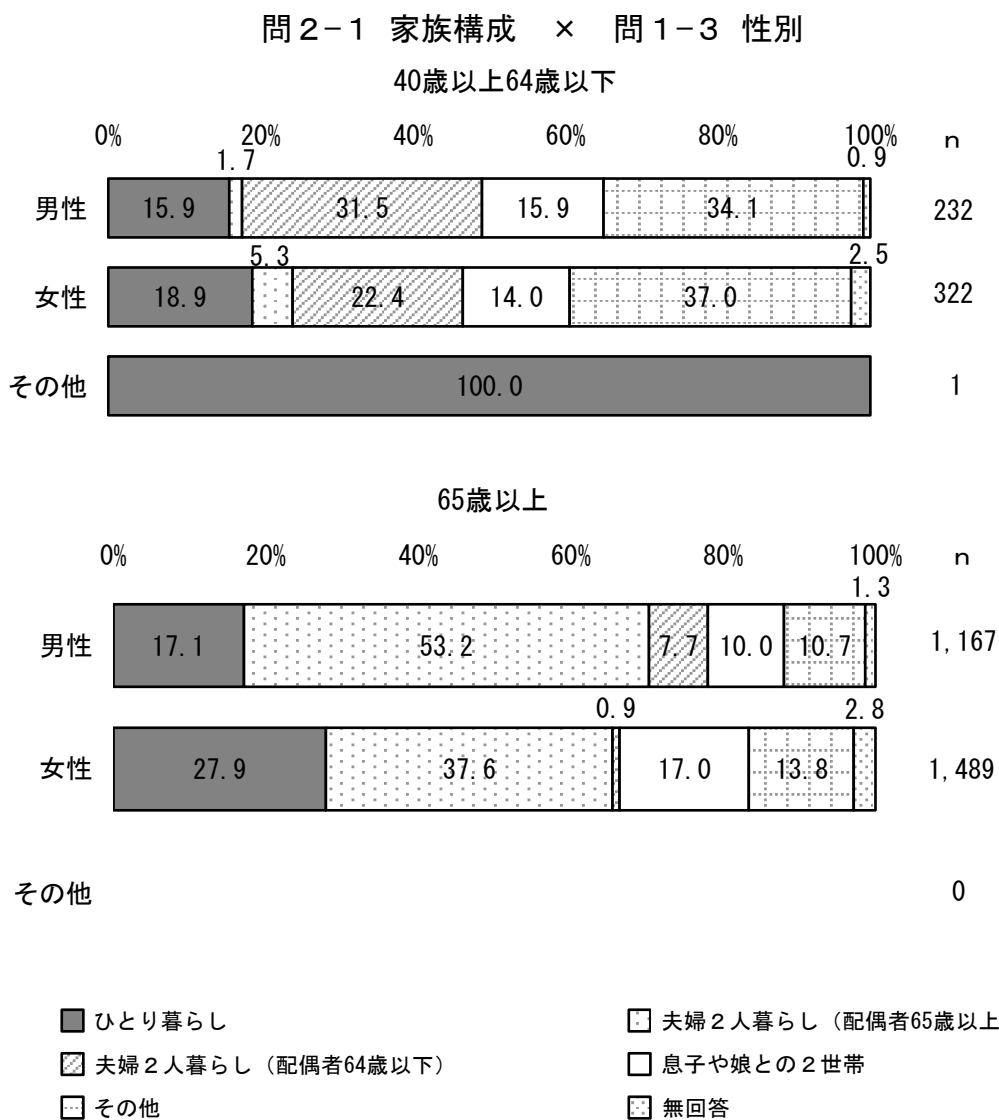
世帯の家族構成について尋ねたところ、64歳以下は「その他」が最も多く35.5%、65歳以上は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多く44.4%となっている。

一方、「ひとり暮らし」は、64歳以下は18.2%、65歳以上では23.4%となっている。



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

男女別にみると、64歳以下では、男性・女性ともに「その他」が最も多く、男性は34.1%、女性は37.0%となっている。65歳以上では、男性・女性ともに「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も多く、男性は53.2%、女性は37.6%となっている。



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

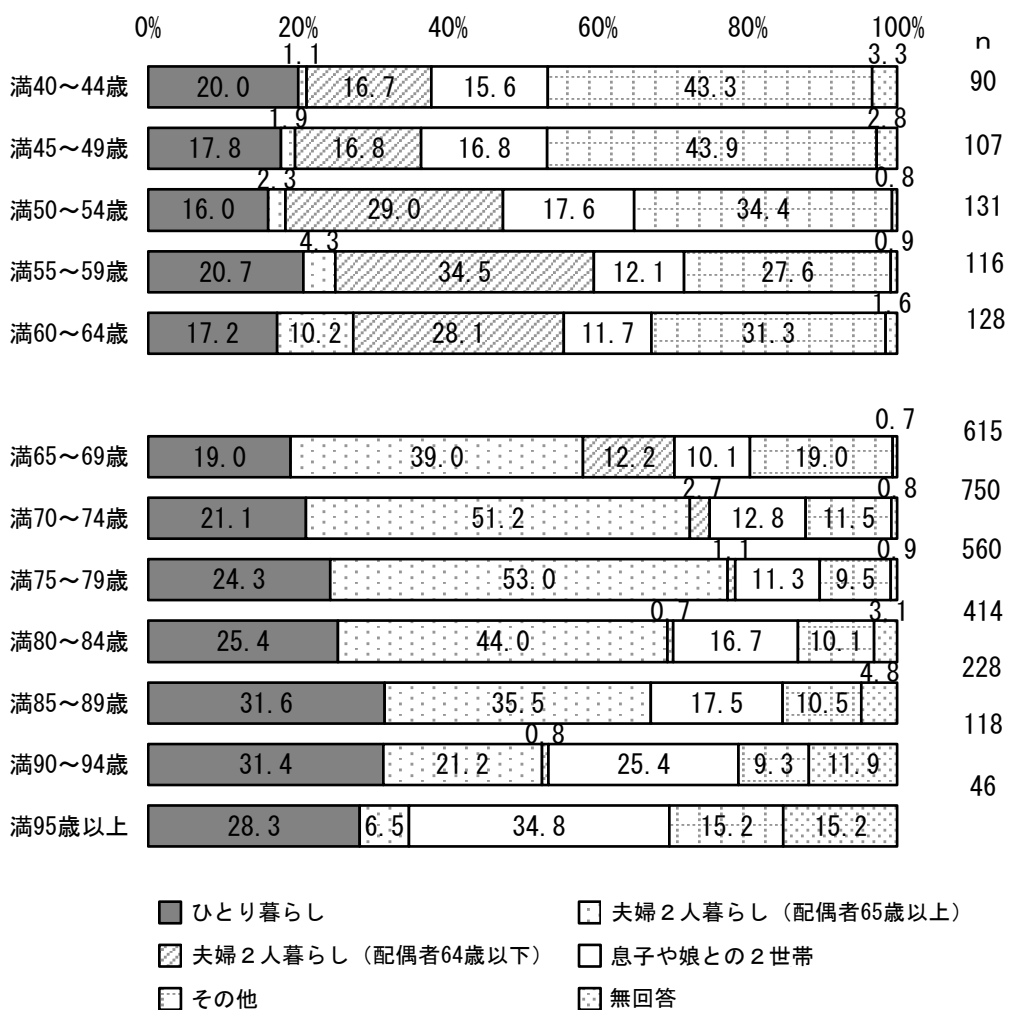
年齢別にみると、64歳以下では「満55～59歳」を除くすべての年齢階層で「その他」の割合が最も多く、「満40～44歳」で43.3%、「満45～49歳」で43.9%、「満50～54歳」で34.4%、「満60～64歳」で31.3%となっている。

一方、「満55～59歳」では「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が最も多く、34.5%となっている。

65歳以上では「満90～94歳」「満95歳以上」を除くすべての年齢階層で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が最も多く、「満65～69歳」で39.0%、「満70～74歳」で51.2%、「満75～79歳」で53.0%、「満80～84歳」で44.0%、「満85～89歳」で35.5%となっている。

一方、「満90～94歳」では「ひとり暮らし」が最も多く31.4%、「満95歳以上」では「息子や娘との2世帯」が最も多く34.8%となっている。

問2-1 家族構成 × 問1-4 年齢

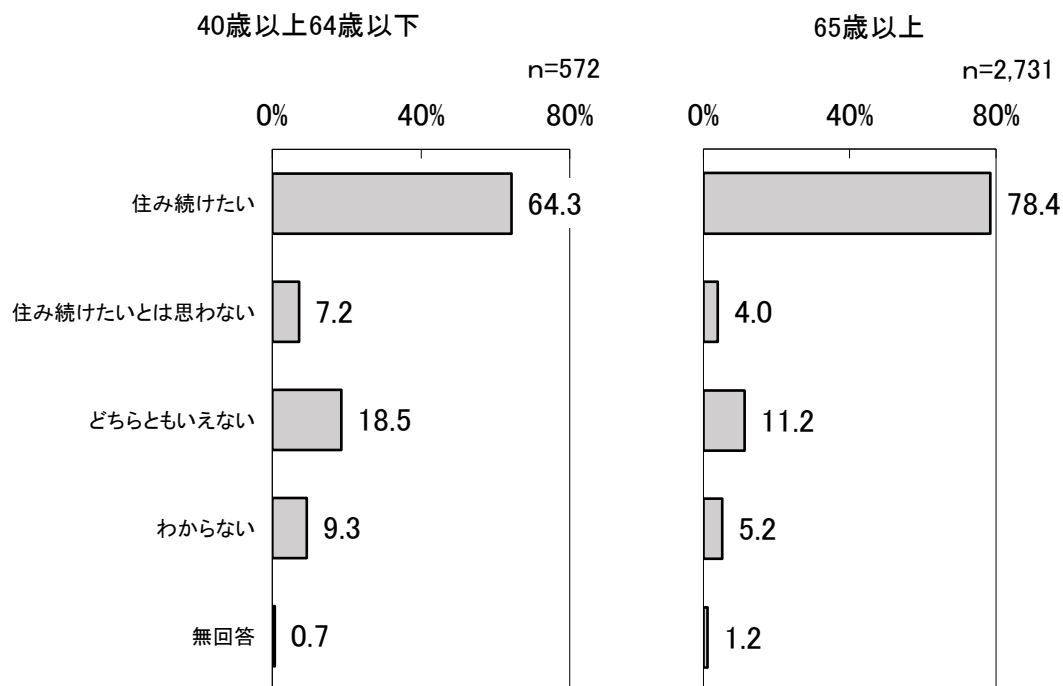


問2-2 現地域での居住継続希望

あなたは、今後も現在お住まいの地域に住み続けたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

今後も現在住んでいる地域に住み続けたいと思うか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「住み続けたい」が最も多く、64歳以下は64.3%、65歳以上は78.4%となっている。一方、「住み続けたいとは思わない」は、64歳以下は7.2%、65歳以上は4.0%となっている。

問2-2 現地域での居住継続希望

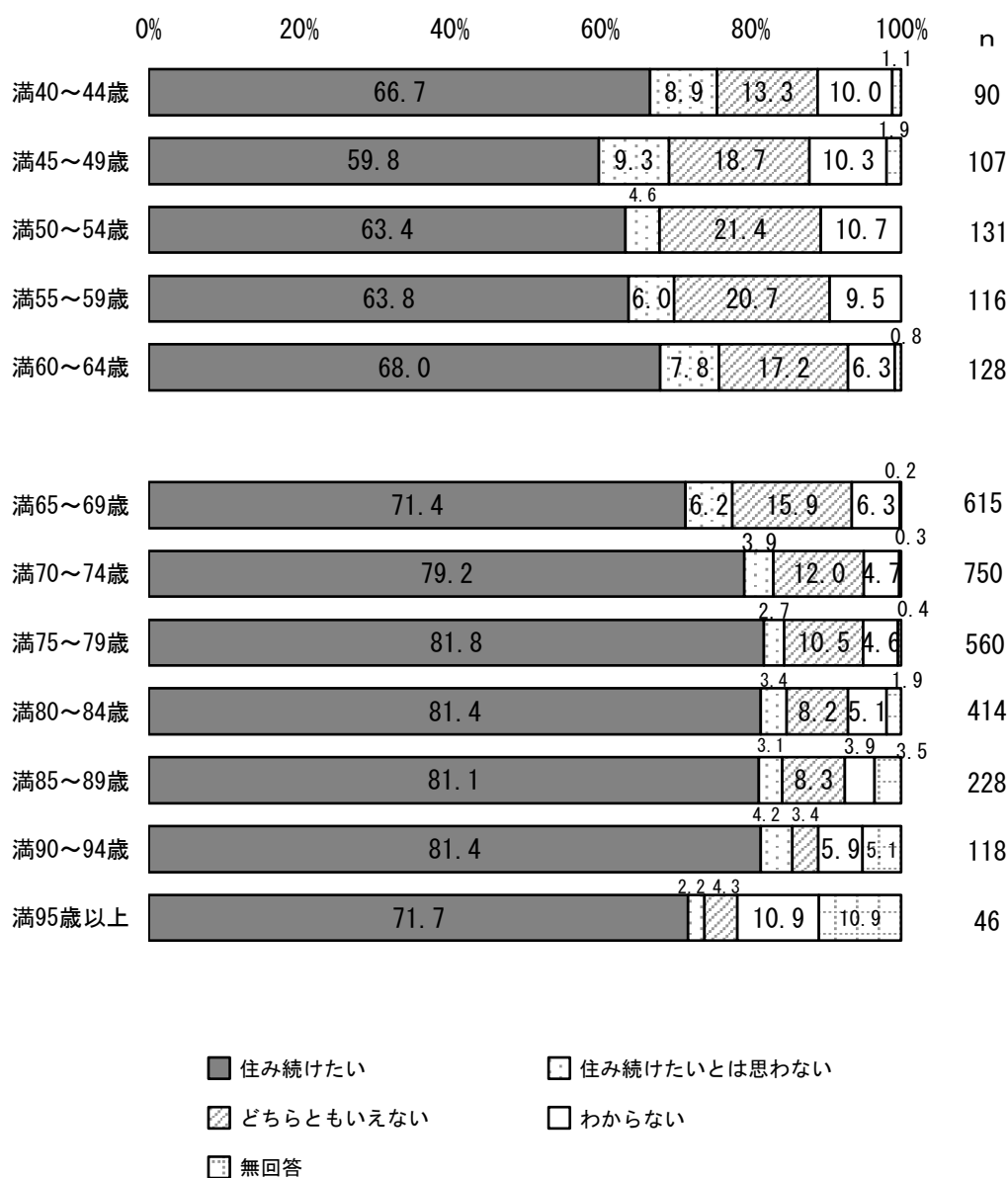


【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

年齢別にみると、64歳以下では全年齢で「住み続けたい」が最も多く、多い順に「満60～64歳」（68.0%）、「満40～44歳」（66.7%）、「満55～59歳」（63.8%）となっている。

65歳以上でも同様に、全年齢で「住み続けたい」が最も多く、多い順に「満75～79歳」（81.8%）、「満80～84歳」「満90～94歳」（81.4%）、「満85～89歳」（81.1%）となっている。

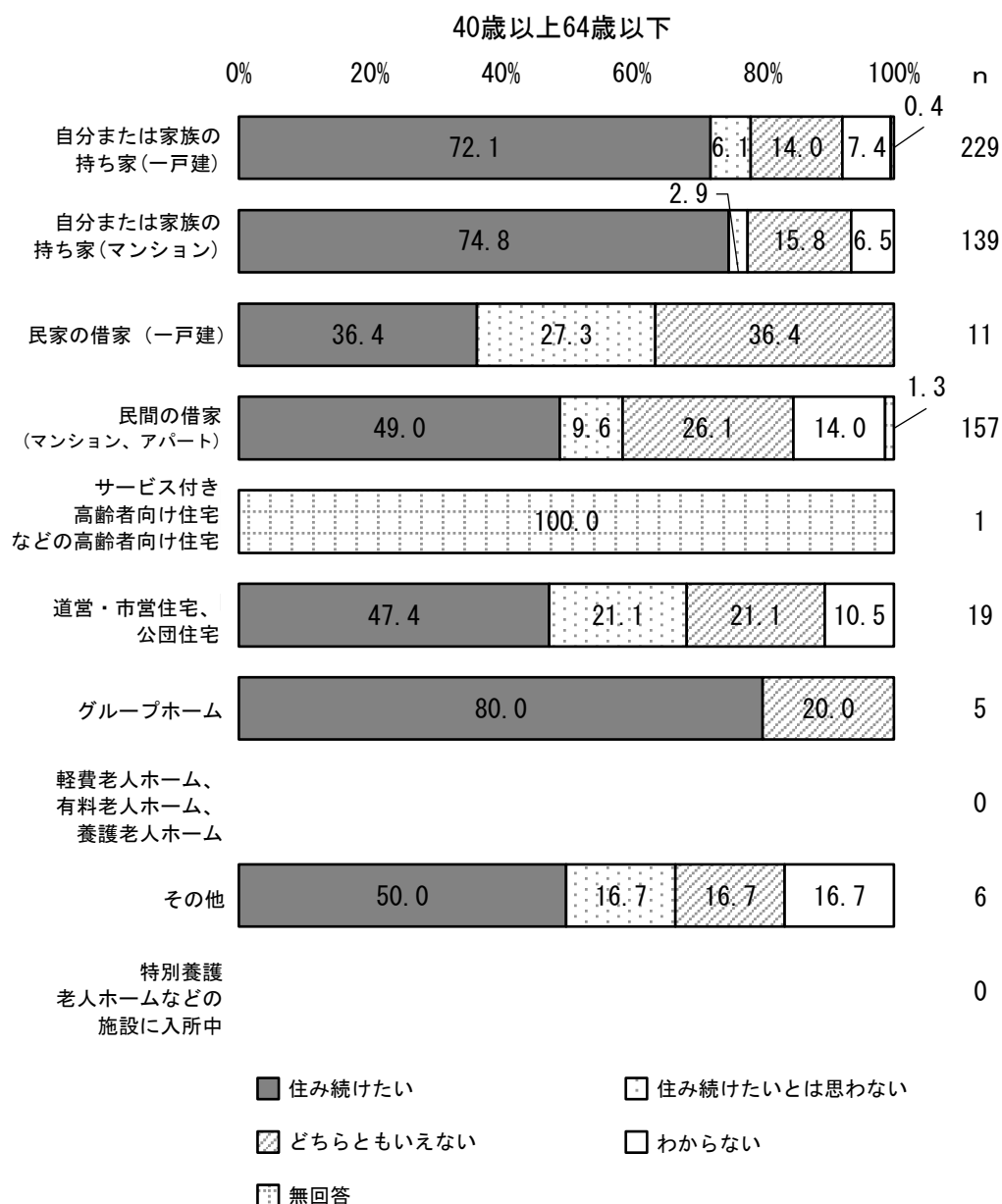
問2-2 現地域での居住継続希望 × 問1-4 年齢



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

現在の生活場所別にみると、「住み続けたい」とする割合は64歳以下で「グループホーム」が80.0%と最も多く、次いで「自分または家族の持ち家（マンション）」が74.8%となっている。

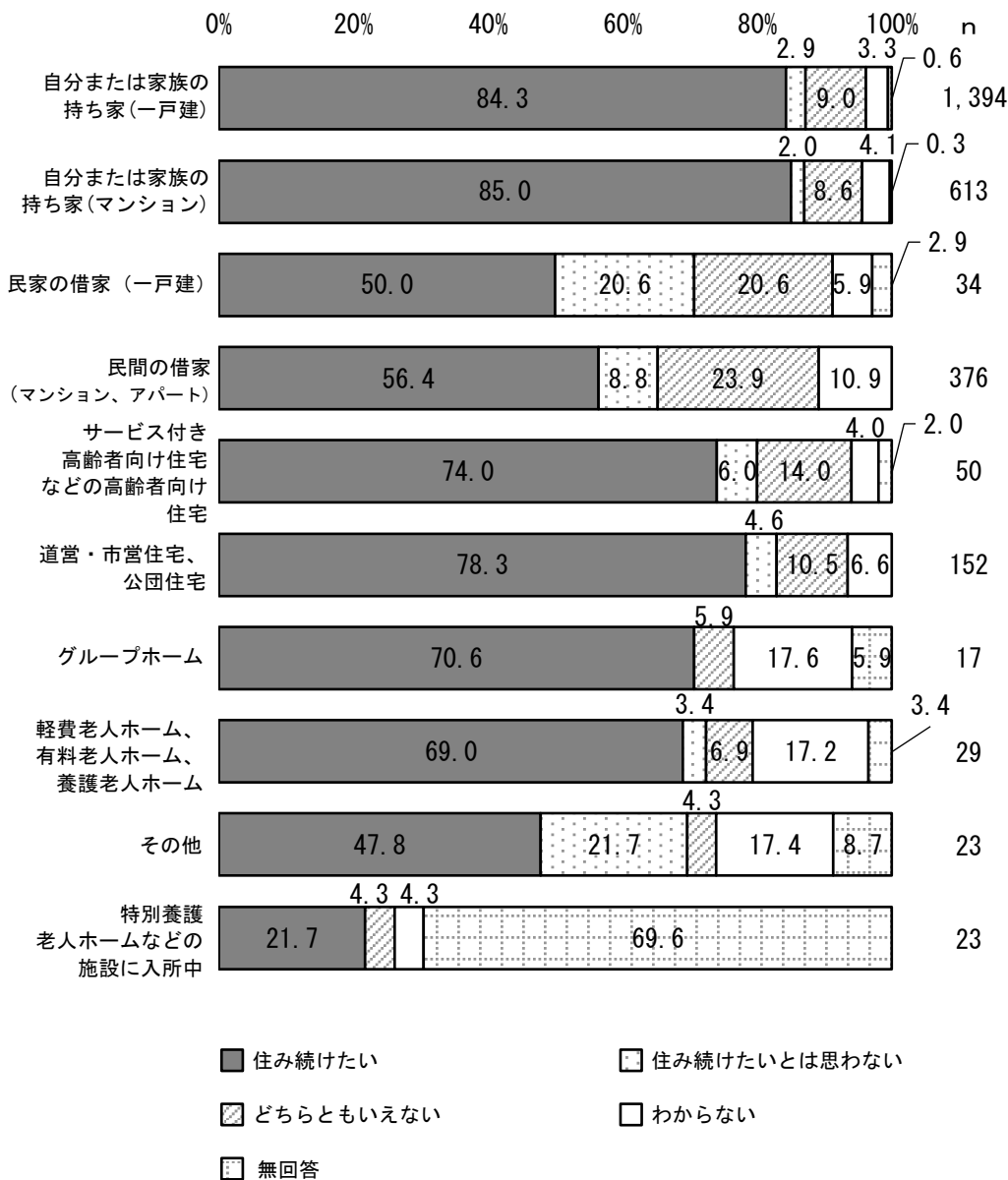
問2-2 現地域での居住継続希望 × 問1-5 現在の生活場所



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

「住み続けたい」とする割合は65歳以上で「自分または家族の持ち家（マンション）」が85.0%と最も多く、次いで「自分または家族の持ち家（一戸建）」が84.3%となっている。

問2-2 現地域での居住継続希望 × 問1-5 現在の生活場所
65歳以上

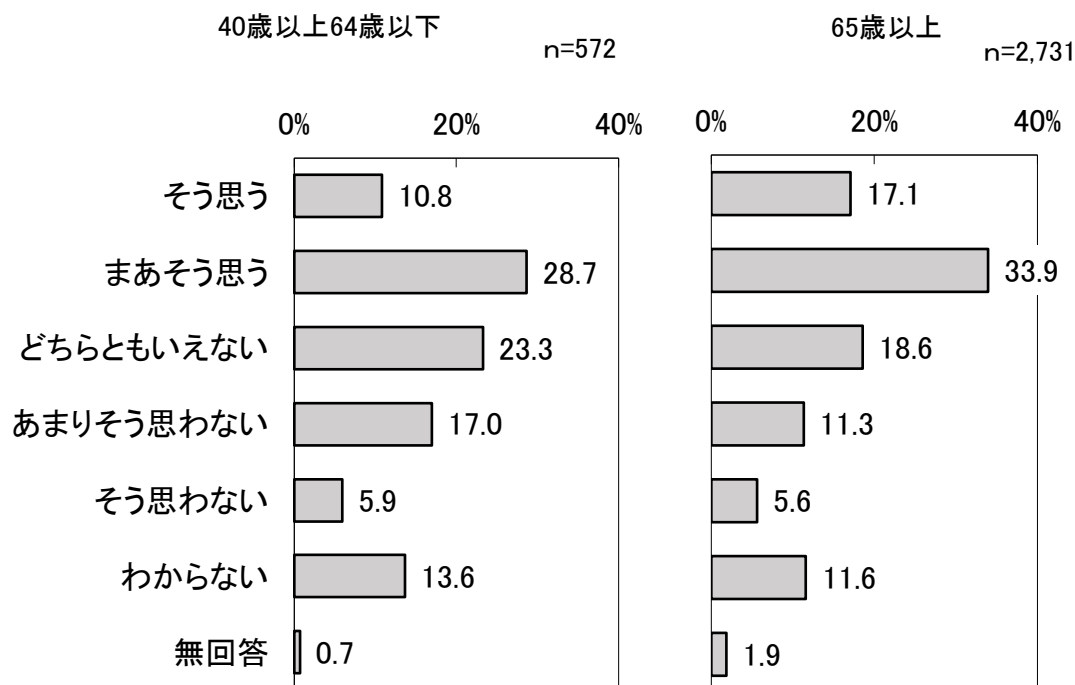


問2-3 生活環境の整備状況

あなたは、札幌市には、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市は、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための生活環境が整っていると思うかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「まあそう思う」が最も多く、それぞれ28.7%、33.9%となっている。

問2-3 生活環境の整備状況



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

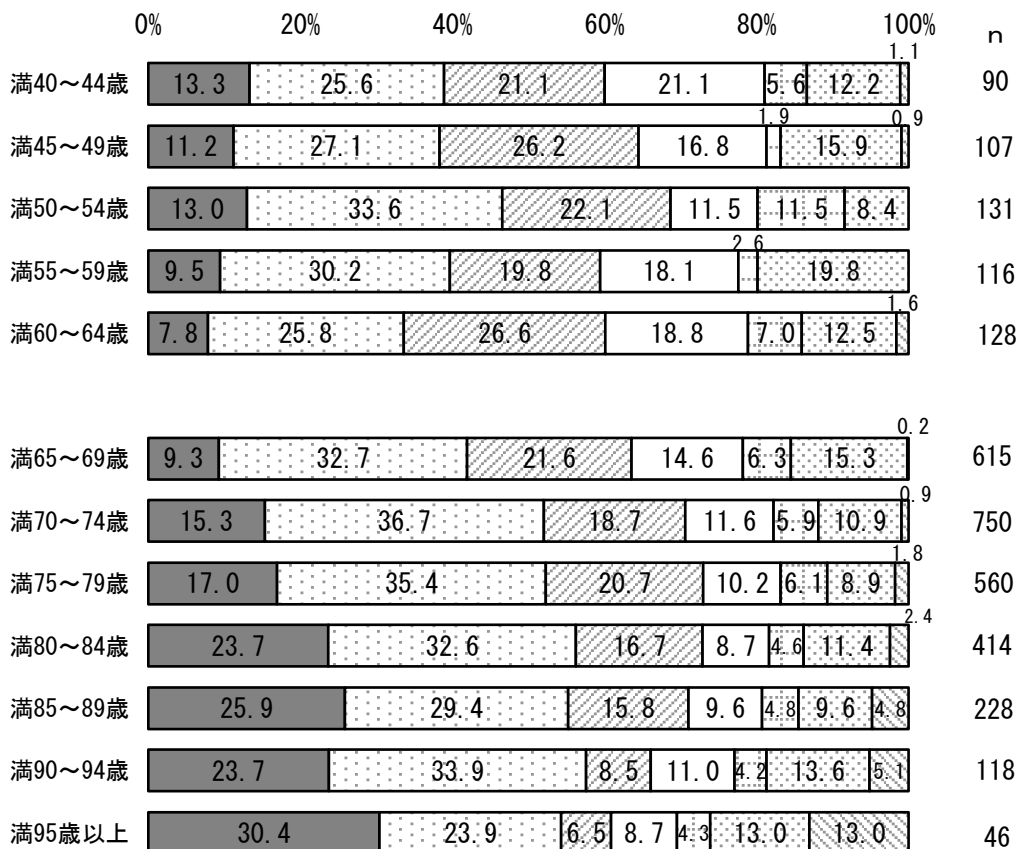
年齢別にみると、64歳以下では「満60～64歳」を除くすべての年齢階層で「まあそう思う」の割合が最も多く、「満40～44歳」で25.6%、「満45～49歳」で27.1%、「満50～54歳」で33.6%、「満55～59歳」で30.2%となっている。

一方、「満60～64歳」では「どちらともいえない」が最も多く、26.6%となっている。

65歳以上でも「満95歳以上」を除くすべての年齢階層で「まあそう思う」の割合が最も多く、「満65～69歳」で32.7%、「満70～74歳」で36.7%、「満75～79歳」で35.4%、「満80～84歳」で32.6%、「満85～89歳」で29.4%、「満90～94歳」で33.9%となっている。

一方、「満95歳以上」では「そう思う」が最も多く、30.4%となっている。

問2-3 生活環境の整備状況 × 問1-4 年齢



そう思う
 まあそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない

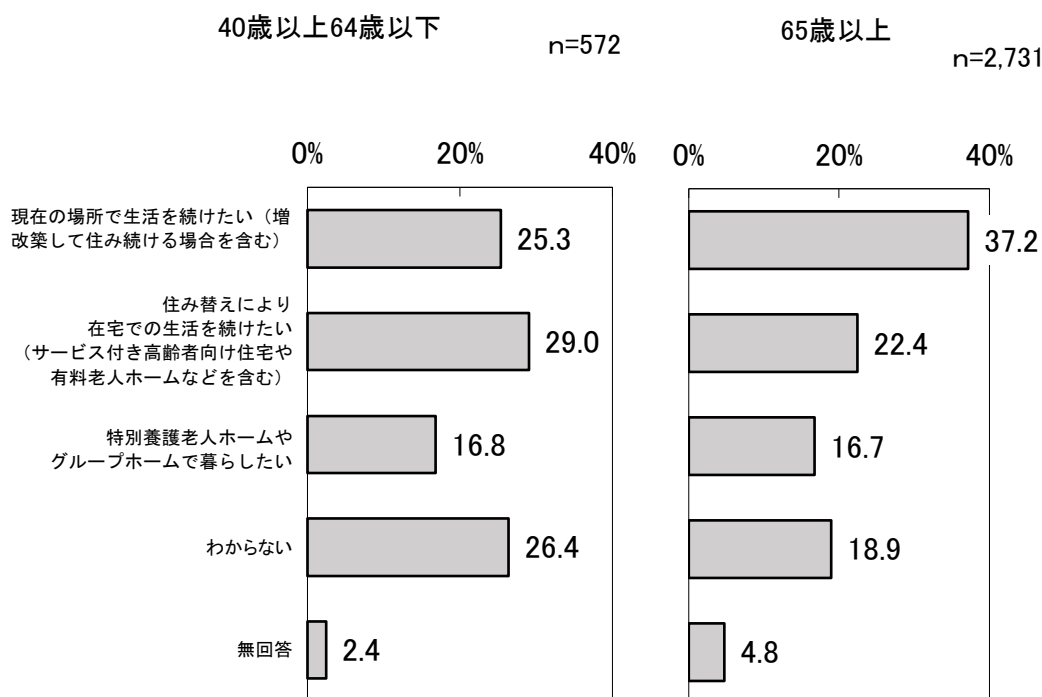
そう思わない
 わからない
 無回答

問2-4 今後の生活場所の希望

あなたは、仮にひとり暮らしになったり、身体が弱くなったり、日常生活を送るうえで判断力が不十分になった場合に、どこで生活したいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

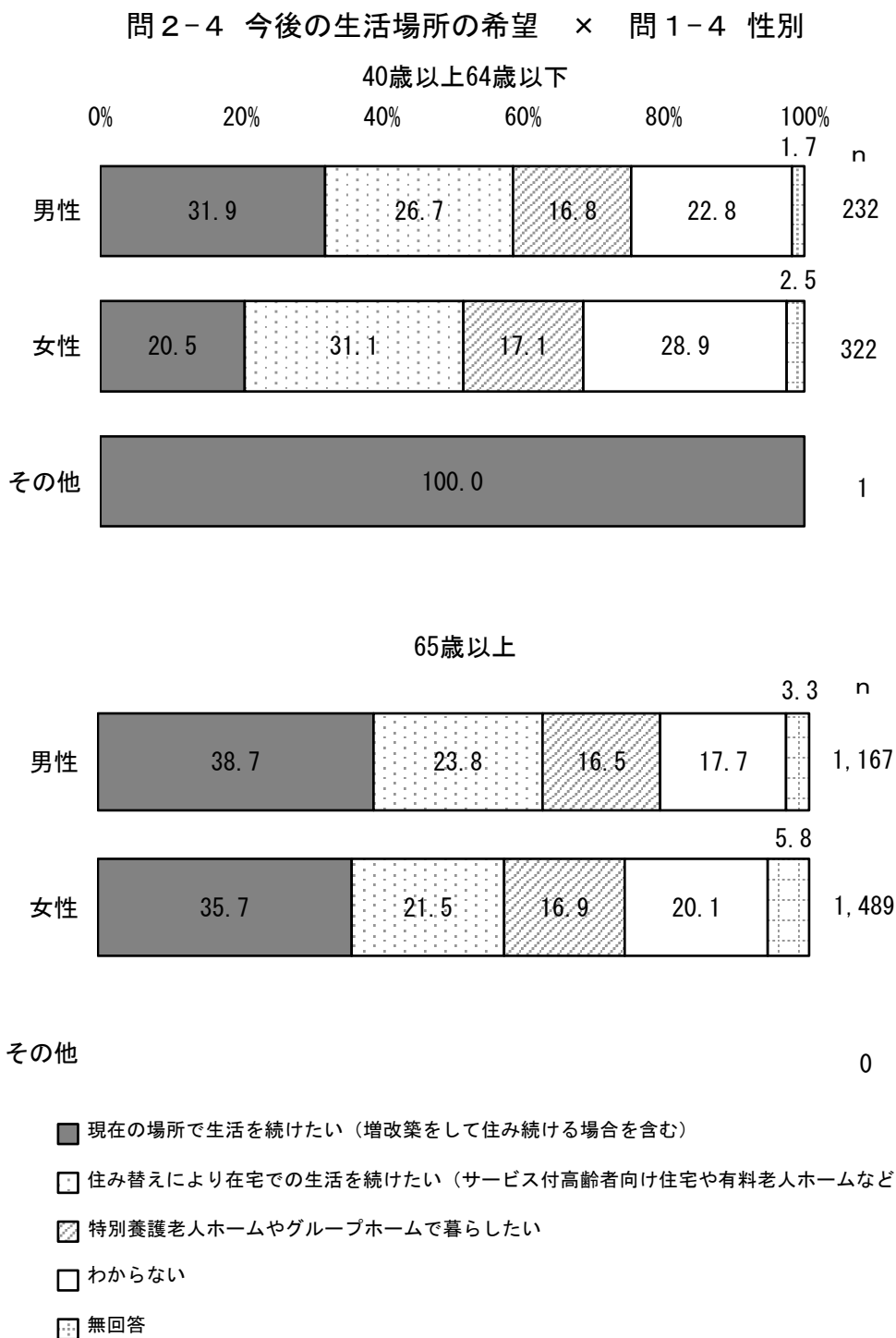
身体が弱くなったりした場合の生活場所について尋ねたところ、64歳以下は「住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）」(29.0%)が最も多く、次いで「わからない」(26.4%)となっている。65歳以上は、「現在の場所で生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む）」(37.2%)が最も多く、次いで「住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）」(22.4%)となっている。

問2-4 今後の生活場所の希望



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

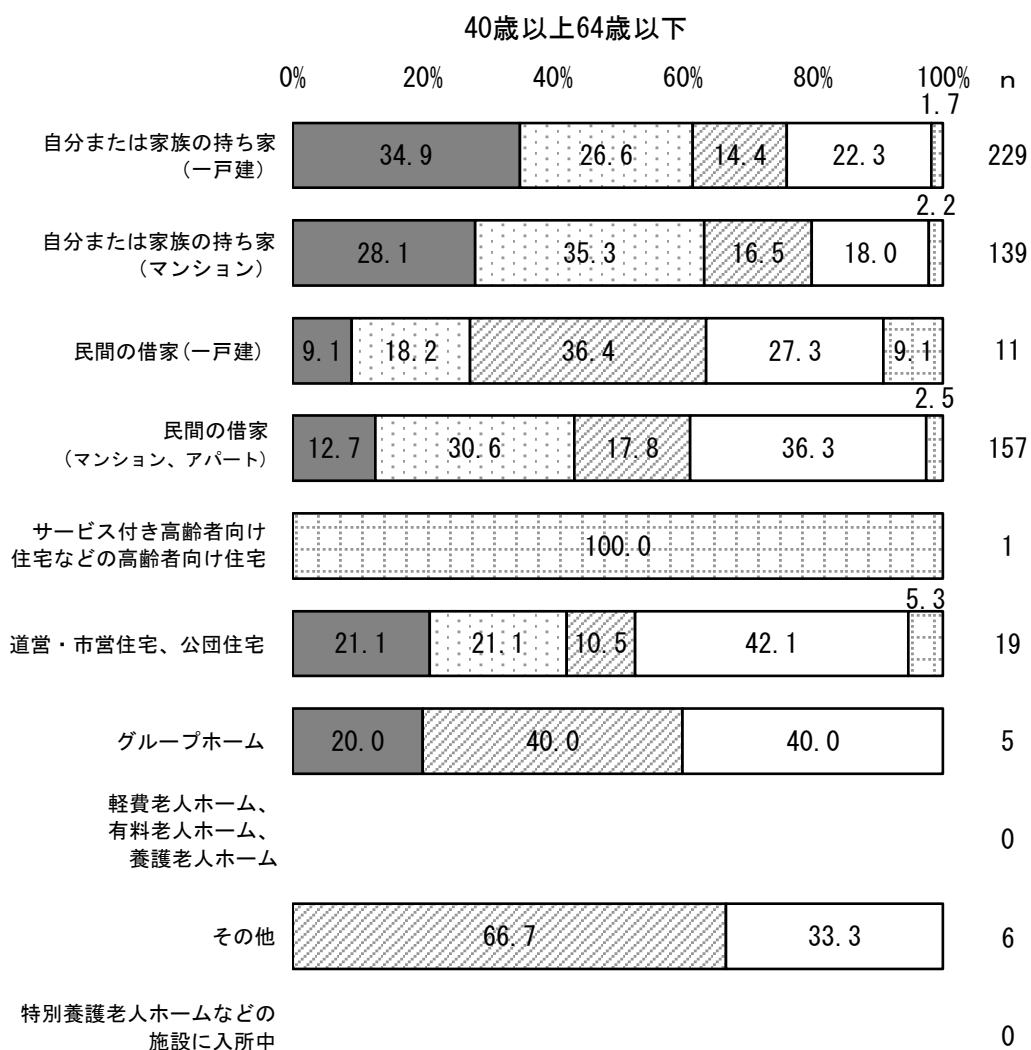
男女別にみると、64歳以下で「現在の場所で生活を続けたい（増改築をして住み続ける場合を含む）」とする割合が、64歳以下は、男性が31.9%、女性は20.5%となっており、65歳以上は、男性が38.7%、女性は35.7%となっている。



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

現在の生活場所別にみると、64歳以下で「わからない」とする割合は、「道営・市営住宅、公団住宅」（42.1%）が特に多くなっている一方、「特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい」とする割合は「グループホーム」（40.0%）が高くなっている。

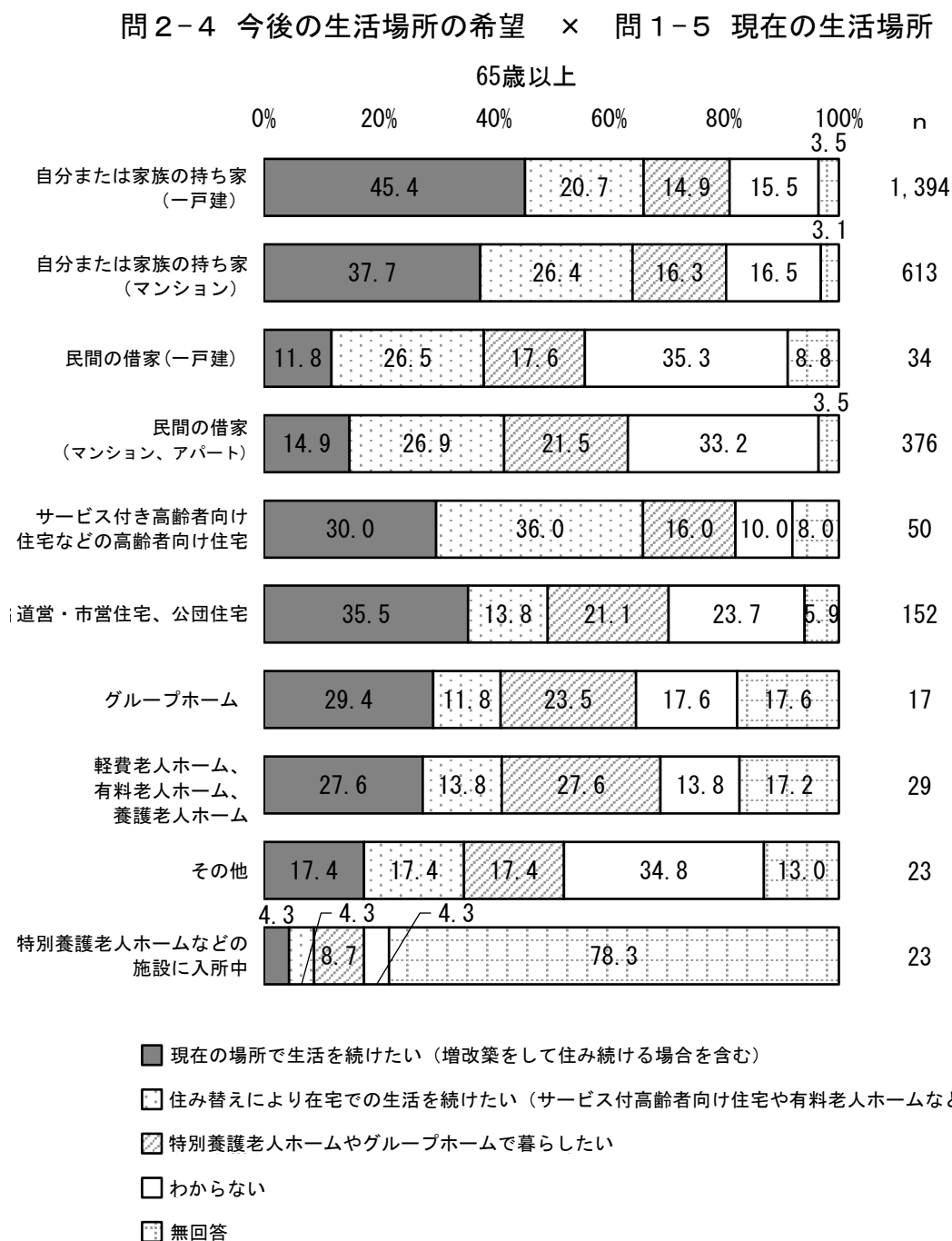
問2-4 今後の生活場所の希望 × 問1-5 現在の生活場所



- 現在の場所で生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む）
- 住み替えにより在宅での生活を続けたい（サービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどを含む）
- 特別養護老人ホームやグループホームで暮らしたい
- わからない
- 無回答

【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

65歳以上で、「現在の場所で生活を続けたい（増改築して住み続ける場合を含む）」とする割合は、「自分または家族の持ち家（一戸建）」（45.4%）が特に多くなっている。



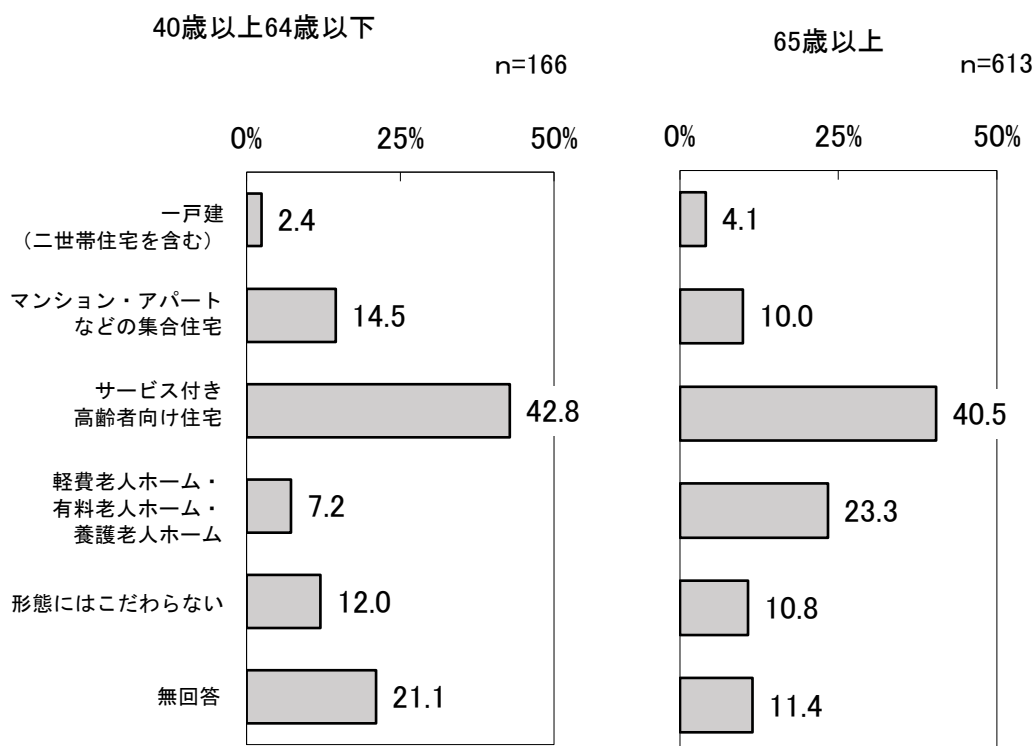
問2-5 住み替えたい住宅の形態

【問2-4で「住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方にお聞きします】

どのような形態の住まいを考えていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

どのような形態の住まいを考えているかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「サービス付き高齢者向け住宅」が最も多く、64歳以下は42.8%、65歳以上は40.5%となっている。次いで、64歳以下は「マンション・アパートなどの集合住宅」(14.5%)、「形態にはこだわらない」(12.0%)となっており、65歳以上では「軽費老人ホーム・有料老人ホーム・養護老人ホーム」(23.3%)、「形態にはこだわらない」(10.8%)となっている。

問2-5 住み替えたい住宅の形態



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

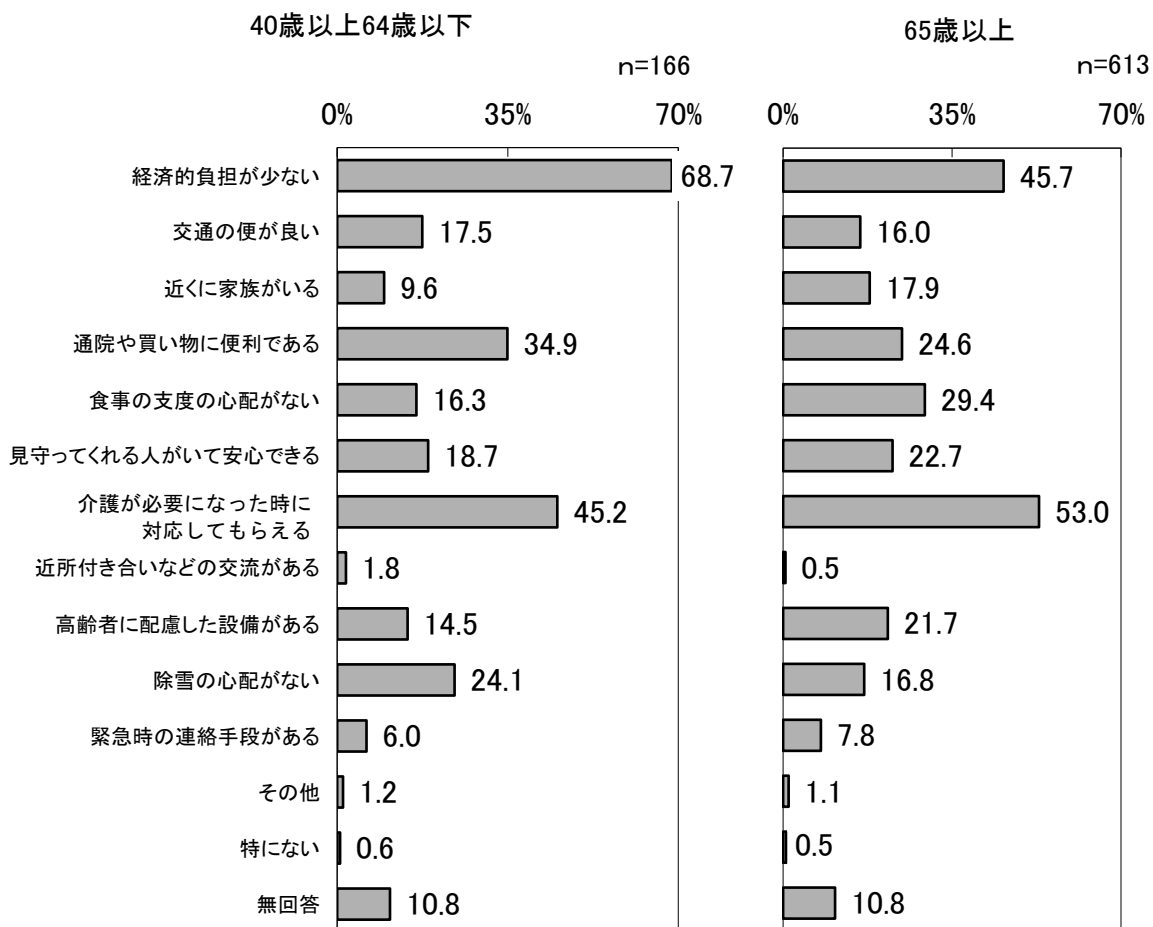
問2-6 住み替え先で重視する点（複数回答）

【問2-4で「住み替えにより在宅での生活を続けたい」と回答した方にお聞きします】
 住み替え先を選ぶにあたって重視するのはどのようなことですか。当てはまるもの最大3つに○をつけてください。

住み替え先を選ぶにあたって重視することを尋ねたところ、64歳以下で「経済的負担が少ない」が68.7%と最も多く、次いで「介護が必要になった時に対応してもらえる」(45.2%)、「通院や買い物に便利である」(34.9%)の順となっている。

一方、65歳以上では「介護が必要になった時に対応してもらえる」が53.0%と最も多く、次いで「経済的負担が少ない」(45.7%)、「食事の支度の心配がない」(29.4%)の順となっている。

問2-6 住み替え先で重視する点（複数回答）



【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

現在の生活場所別にみると、64歳以下、65歳以上ともに、「自分または家族の持ち家（一戸建）と回答した人は、「除雪の心配がない」とする割合が特に高くなっている。

問2-6 住み替え先で重視する点（複数回答） × 問1-5 現在の生活場所【40歳以上64歳以下】

	上段：件数 下段：%										
	自分または家族の持ち家（一戸建）	自分または家族の持ち家（マンション）	民間の借家（一戸建）	民間の借家（マンション、アパート）	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	道営・市営住宅、公団住宅	グループホーム	軽費老人ホーム、有料老人ホーム、養護老人ホーム	その他	特別養護老人ホームなどの施設に入所中	無回答
経済的負担が少ない	44 38.6	28 24.6	2 1.8	35 30.7	-	3 2.6	-	-	-	-	2 1.8
交通の便が良い	11 37.9	10 34.5	-	8 27.6	-	-	-	-	-	-	-
近くに家族がいる	8 50.0	6 37.5	1 6.3	1 6.3	-	-	-	-	-	-	-
通院や買い物に便利である	23 39.7	15 25.9	-	17 29.3	-	2 3.4	-	-	-	-	1 1.7
食事の支度の心配がない	7 25.9	14 51.9	-	6 22.2	-	-	-	-	-	-	-
見守ってくれる人がいて安心できる	6 19.4	14 45.2	-	10 32.3	-	1 3.2	-	-	-	-	-
介護が必要になった時に対応してもらえる	23 30.7	30 40.0	-	17 22.7	-	3 4.0	-	-	-	-	2 2.7
近所付き合いなどの交流がある	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-
高齢者に配慮した設備がある	7 29.2	6 25.0	1 4.2	7 29.2	-	2 8.3	-	-	-	-	1 4.2
除雪の心配がない	24 60.0	6 15.0	-	9 22.5	-	1 2.5	-	-	-	-	-
緊急時の連絡手段がある	1 10.0	3 30.0	1 10.0	5 50.0	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
特になし	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	6 33.3	5 27.8	-	7 38.9	-	-	-	-	-	-	-

【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

問2-6 住み替え先で重視する点（複数回答） × 問1-5 現在の生活場所【65歳以上】

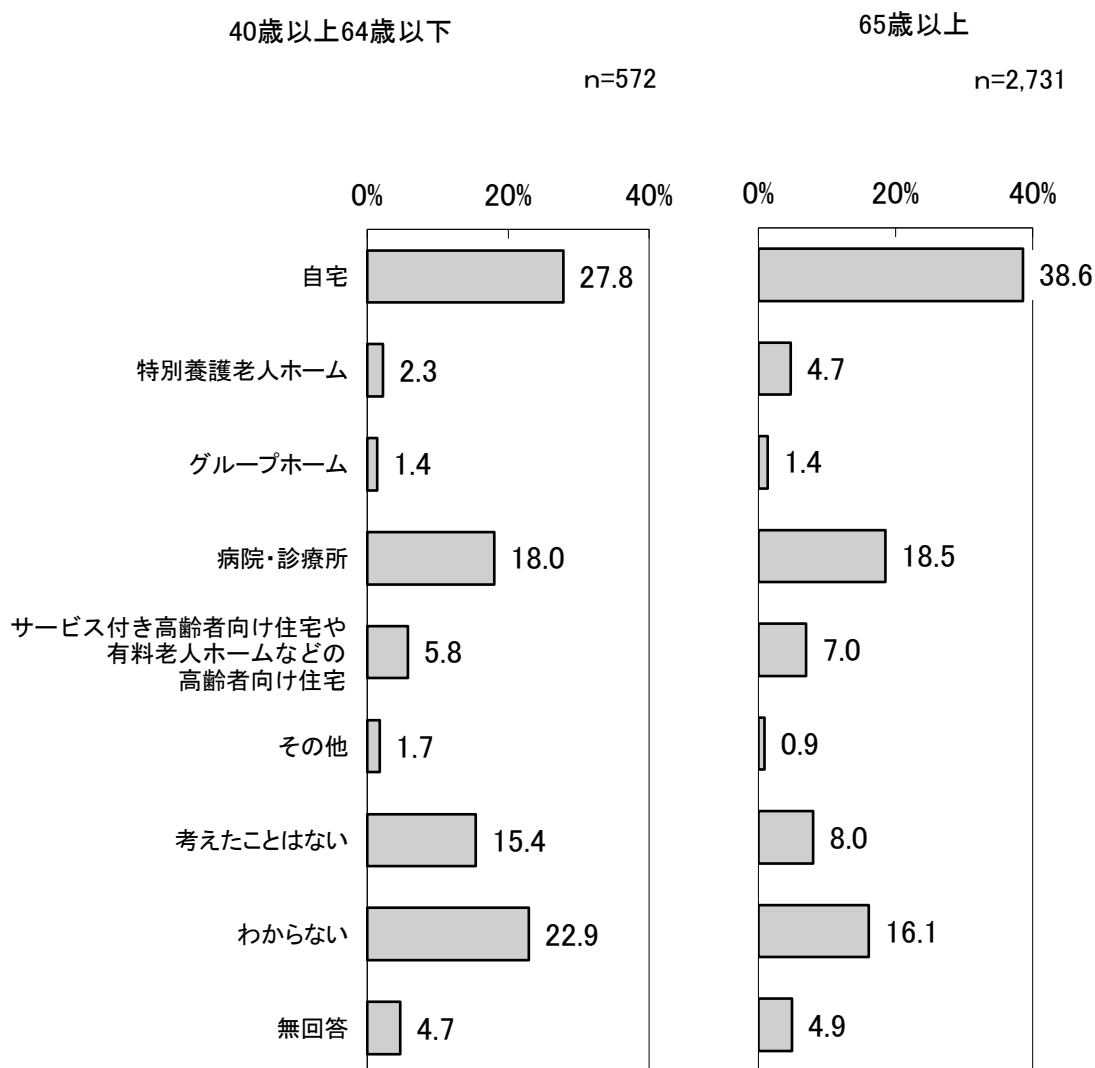
	上段：件数 下段：%										
	自分または家族の持ち家（一戸建）	自分または家族の持ち家（マンション）	民間の借家（一戸建）	民間の借家（マンション、アパート）	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	道営・市営住宅、公団住宅	グループホーム	軽費老人ホーム、有料老人ホーム、養護老人ホーム	その他	特別養護老人ホームなどの施設に入所中	無回答
経済的負担が少ない	111 39.6	76 27.1	6 2.1	66 23.6	3 1.1	13 4.6	-	3 1.1	1 0.4	-	1 0.4
交通の便が良い	49 50.0	18 18.4	1 1.0	22 22.4	3 3.1	5 5.1	-	-	-	-	-
近くに家族がいる	60 54.5	22 20.0	3 2.7	16 14.5	6 5.5	3 2.7	-	-	-	-	-
通院や買い物に便利である	62 41.1	38 25.2	4 2.6	37 24.5	1 0.7	6 4.0	1 0.7	1 0.7	-	-	1 0.7
食事の支度の心配がない	87 48.3	60 33.3	2 1.1	18 10.0	8 4.4	1 0.6	-	1 0.6	2 1.1	1 0.6	-
見守ってくれる人がいて安心できる	68 48.9	44 31.7	1 0.7	16 11.5	4 2.9	3 2.2	1 0.7	-	1 0.7	-	1 0.7
介護が必要になった時に対応してもらえる	155 47.7	101 31.1	5 1.5	41 12.6	8 2.5	10 3.1	-	2 0.6	1 0.3	-	2 0.6
近所付き合いなどの交流がある	-	1 33.3	-	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-	-	-
高齢者に配慮した設備がある	58 43.6	49 36.8	3 2.3	14 10.5	3 2.3	3 2.3	-	-	2 1.5	1 0.8	-
除雪の心配がない	70 68.0	10 9.7	2 1.9	12 11.7	4 3.9	1 1.0	1 1.0	-	3 2.9	-	-
緊急時の連絡手段がある	24 50.0	13 27.1	-	6 12.5	4 8.3	-	-	-	-	1 2.1	-
その他	1 14.3	3 42.9	-	1 14.3	-	2 28.6	-	-	-	-	-
特になし	2 66.7	-	-	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-
無回答	34 51.5	14 21.2	-	12 18.2	3 4.5	-	1 1.5	1 1.5	-	-	1 1.5

問2-7 最期を迎えたい場所

あなたは最期をどこで迎えたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

最期を迎えたい場所について尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「自宅」が最も多く、64歳以下は27.8%、65歳以上は38.6%となっている。次いで、64歳以下は、「わからない」(22.9%)、「病院・診療所」(18.0%)となっており、65歳以上は、「病院・診療所」(18.5%)、「わからない」(16.1%)となっている。

問2-7 最期を迎えたい場所

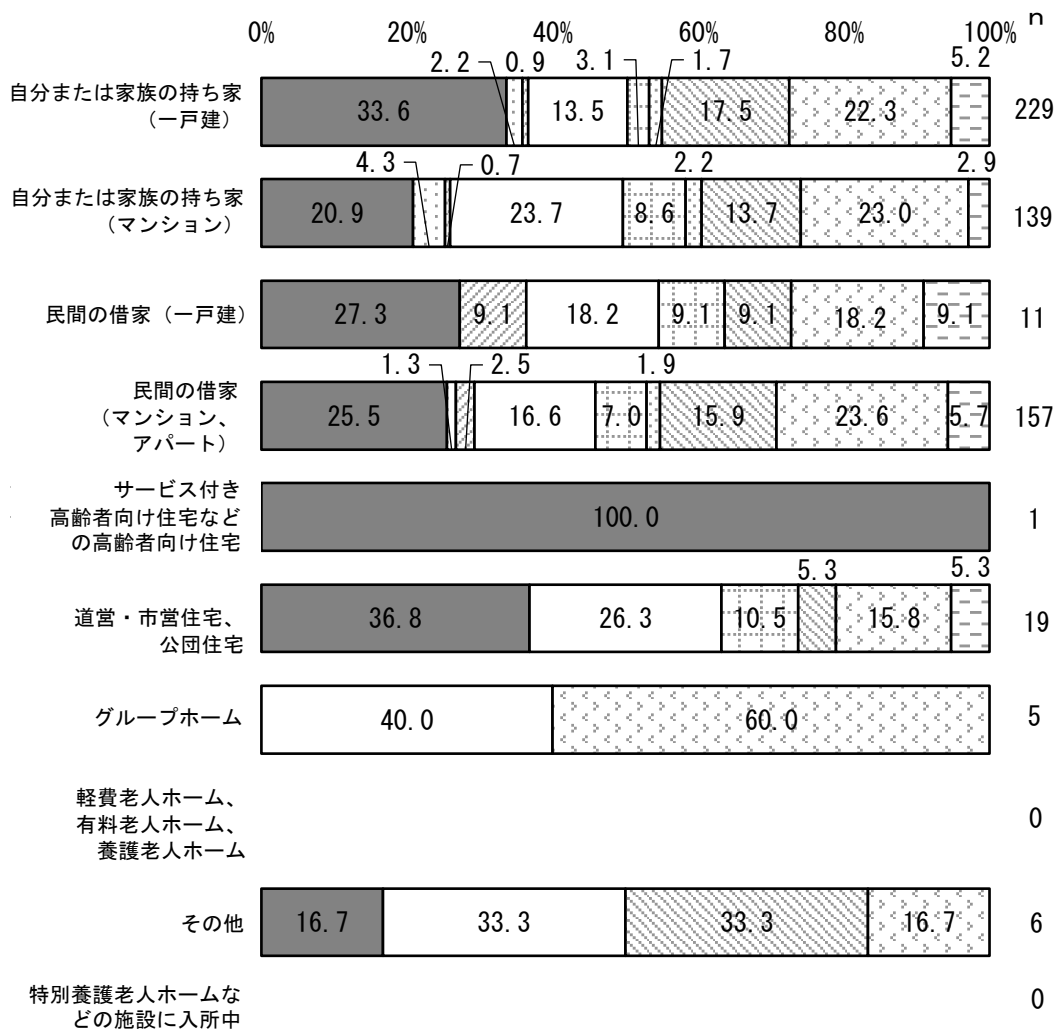


【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

現在の生活場所別にみると、64歳以下で「自分または家族の持ち家（一戸建）」、「道営・市営住宅、公団住宅」と回答した人は、「自宅」とする割合が高くなっている。

問2-7 最期を迎えたい場所 × 問1-5 現在の生活場所

40歳以上64歳以下

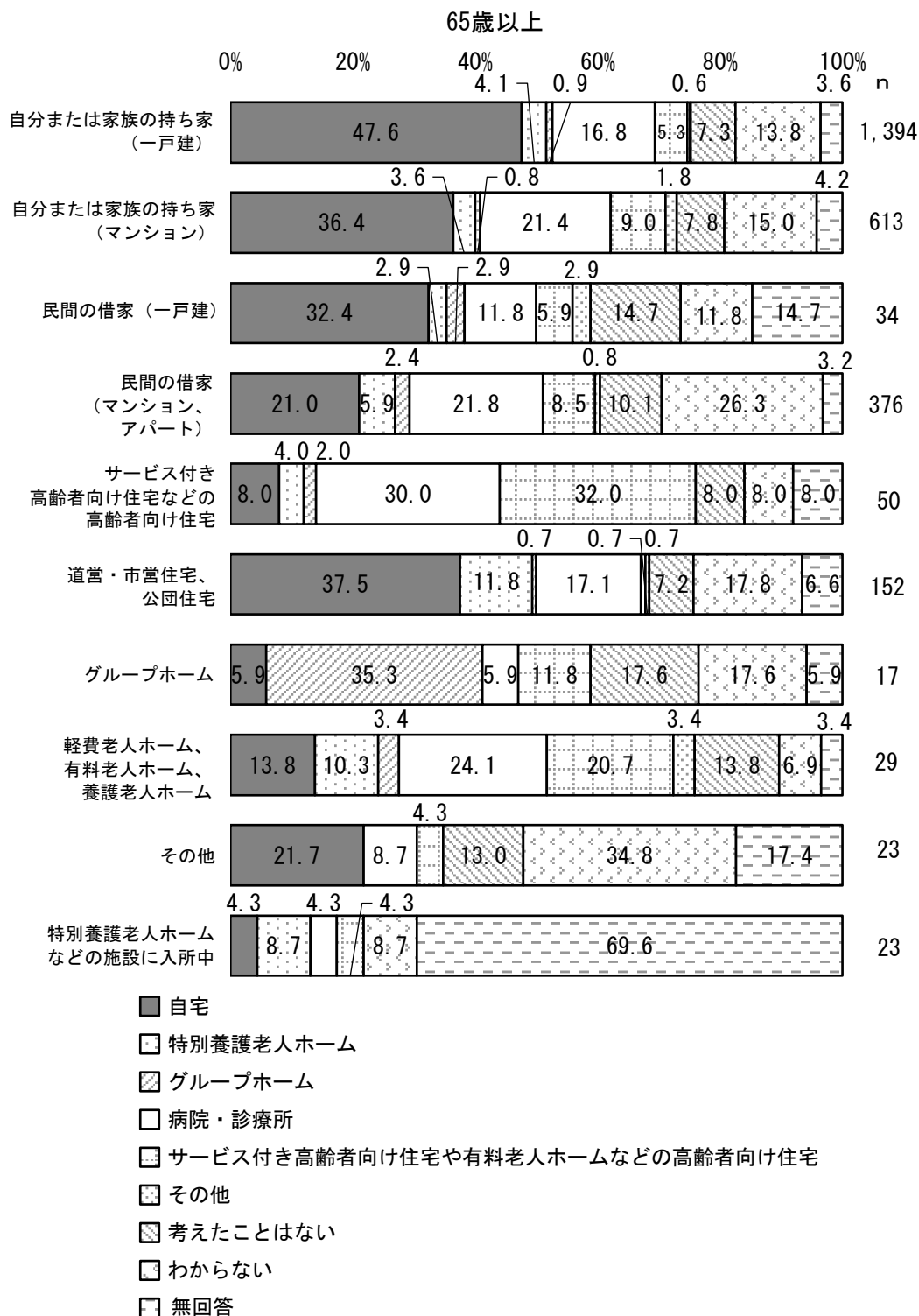


- 自宅
- 特別養護老人ホーム
- ▨ グループホーム
- 病院・診療所
- ▨ サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの高齢者向け住宅
- ▨ その他
- ▨ 考えたことはない
- ▨ わからない
- 無回答

【2 調査結果（世帯の状況・住まいについて）】

現在の生活場所別にみると、65歳以上は64歳以下と同様、「自分または家族の持ち家（一戸建）」、「道営・市営住宅、公団住宅」と回答した人は、「自宅」とする割合が多くなっている。

問2-7 最期を迎えたい場所 × 問1-5 現在の生活場所



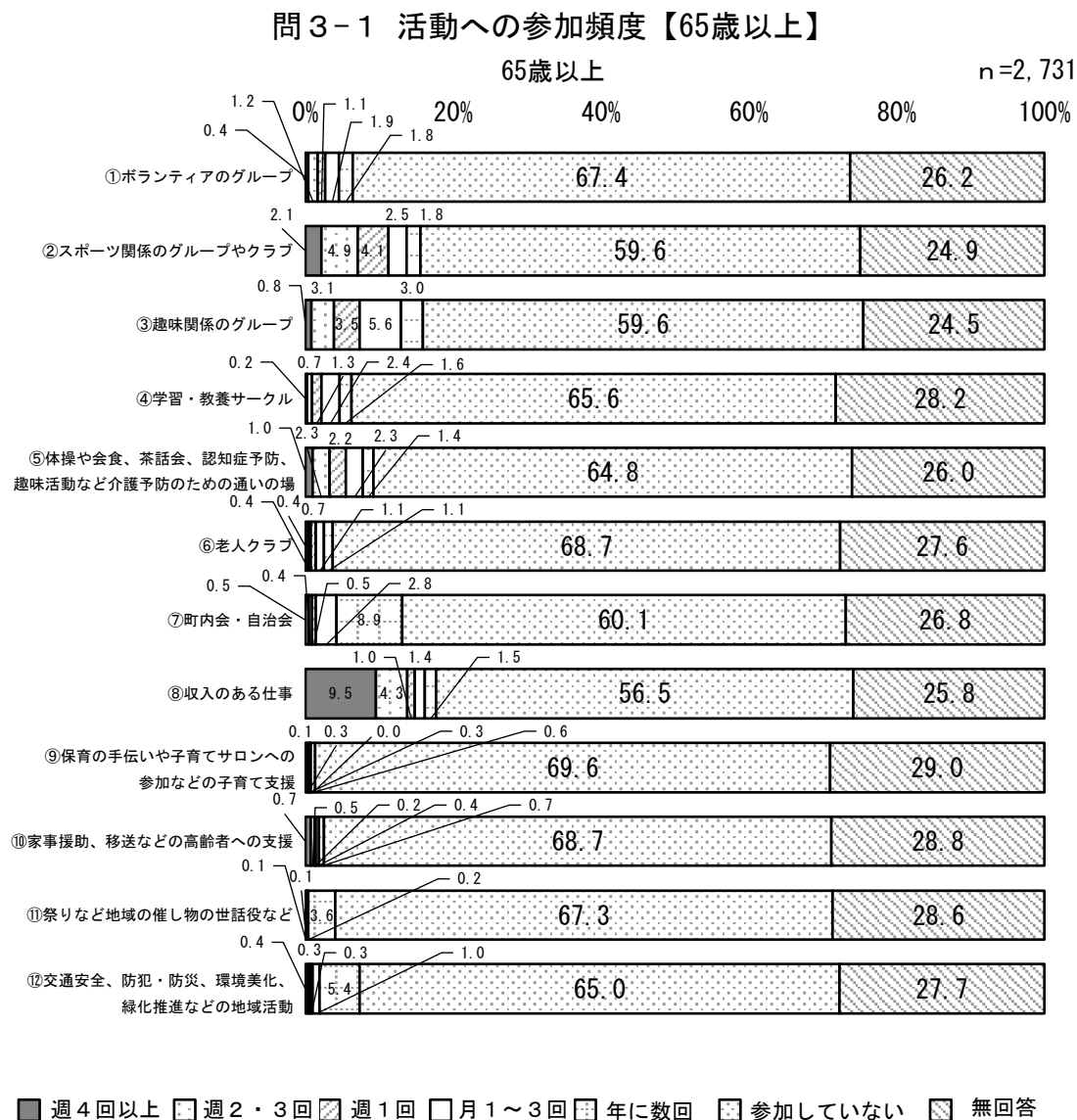
【2 調査結果（地域での活動について）】

2. 3 地域での活動について

問3-1 活動への参加頻度【65歳以上】

以下のような会・グループなどにどのくらいの頻度で参加していますか。①～⑫のそれぞれ当てはまるもの1つずつに○をつけてください。

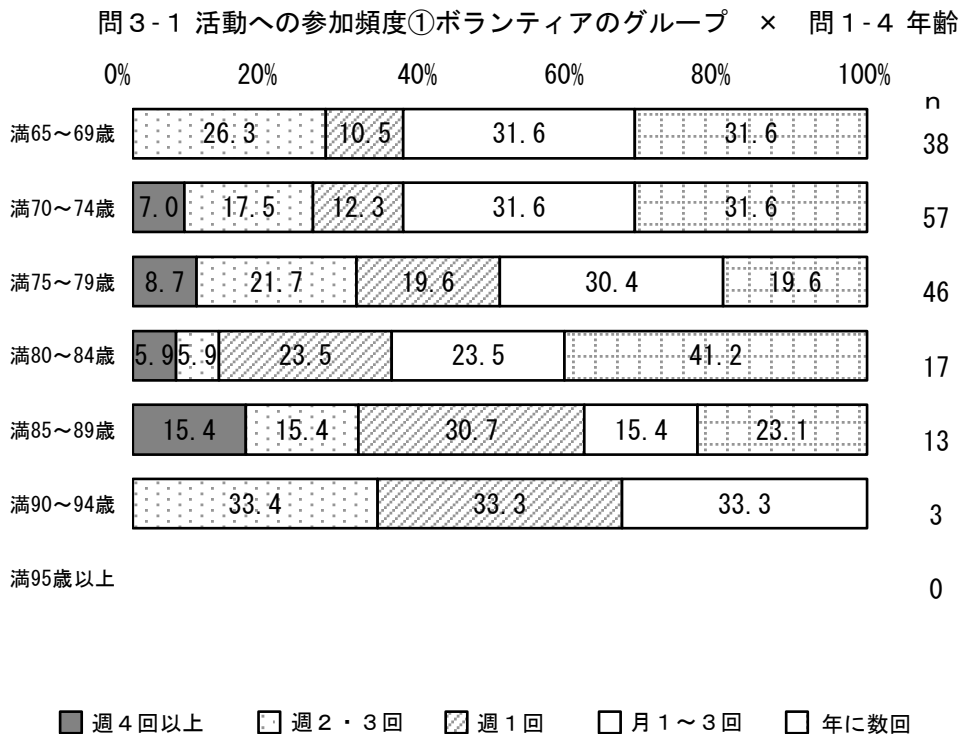
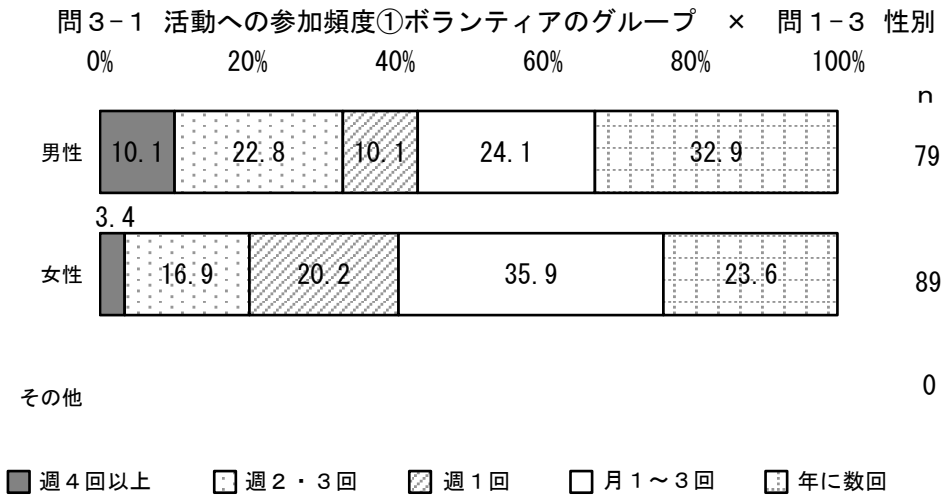
地域活動参加の頻度について尋ねたところ、すべての会・グループにおいて「参加していない」が半数を超える結果となった。



① ボランティアのグループ

男女別にみると、男性では「年に数回」とする割合が 32.9%、女性では「月 1～3 回」とする割合が 35.9%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、年齢を重ねるにつれて「週 1 回」の割合が増加している。



※ 「参加していない」 (n=1,841)、「無回答」 (n=716) を除いて集計している。

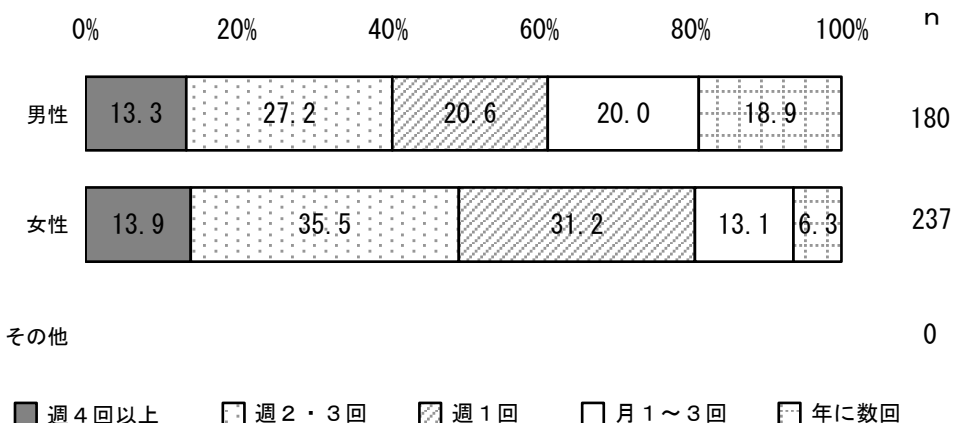
【2 調査結果（地域での活動について）】

② スポーツ関係のグループやクラブ

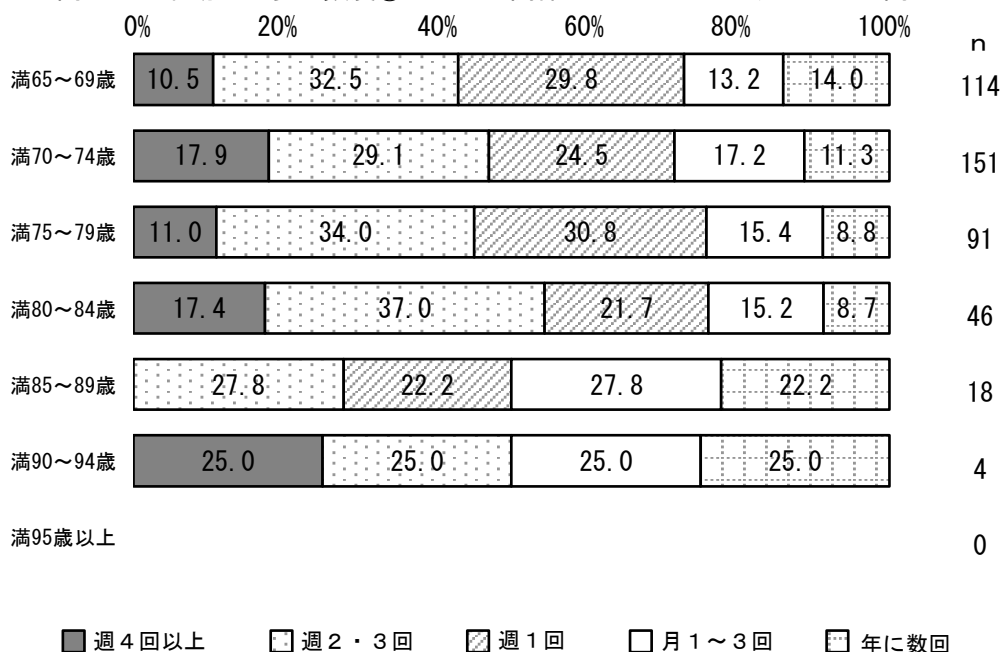
男女別にみると、「週2・3回」とする割合が男性では27.2%、女性では35.5%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみても、「週2・3回」とする割合が多くなっている。

問3-1 活動への参加頻度②スポーツ関係のグループやクラブ × 問1-3 性別



問3-1 活動への参加頻度②スポーツ関係のグループやクラブ × 問1-4 年齢

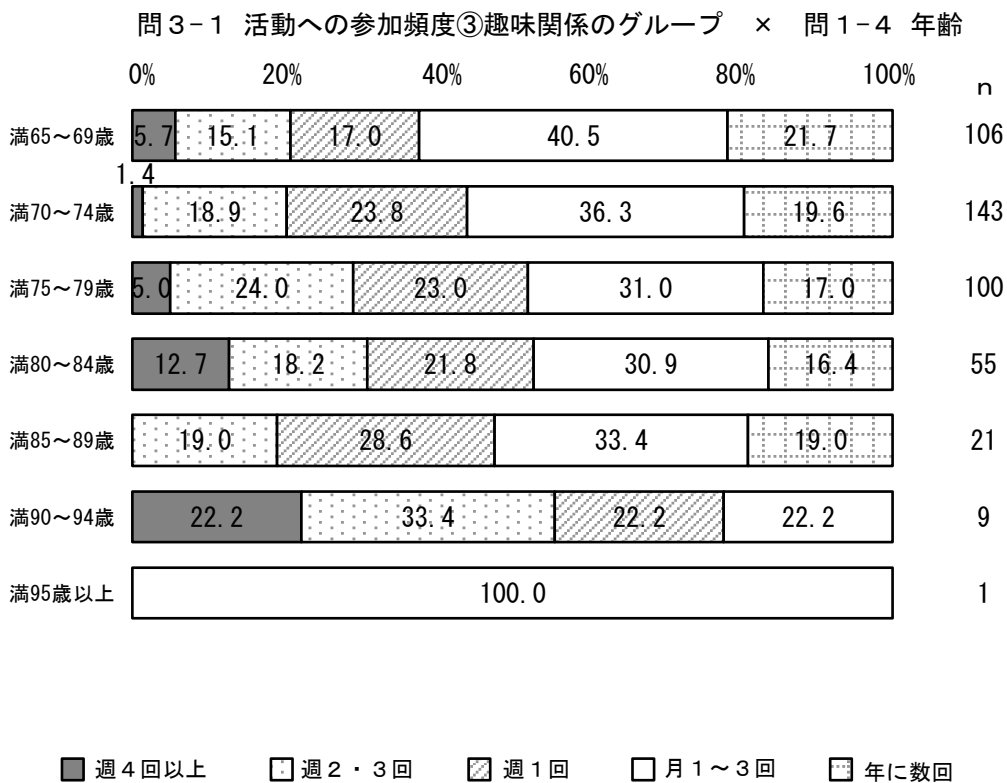
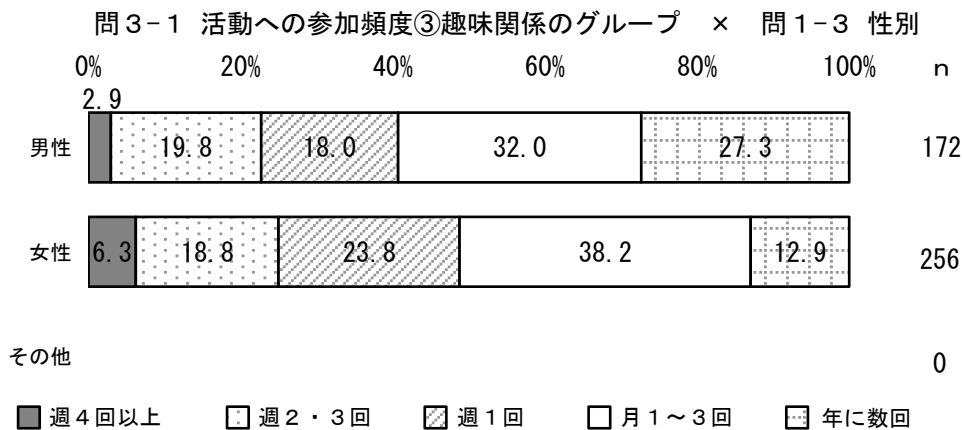


※「参加していない」（n=1,627）、「無回答」（n=680）を除いて集計している。

③趣味関係のグループ

男女別にみると、「月1～3回」とする割合が男性では32.0%、女性では38.2%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満65～69歳」から「満85～89歳」までのそれぞれの年代で「月1～3回」とする割合が多くなっている。



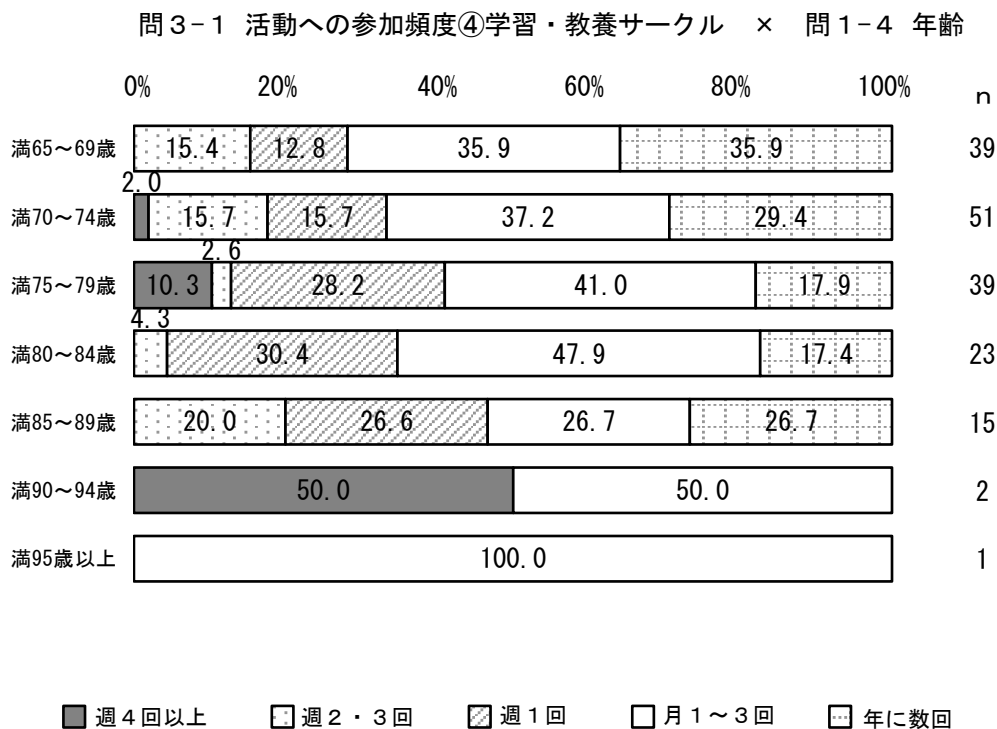
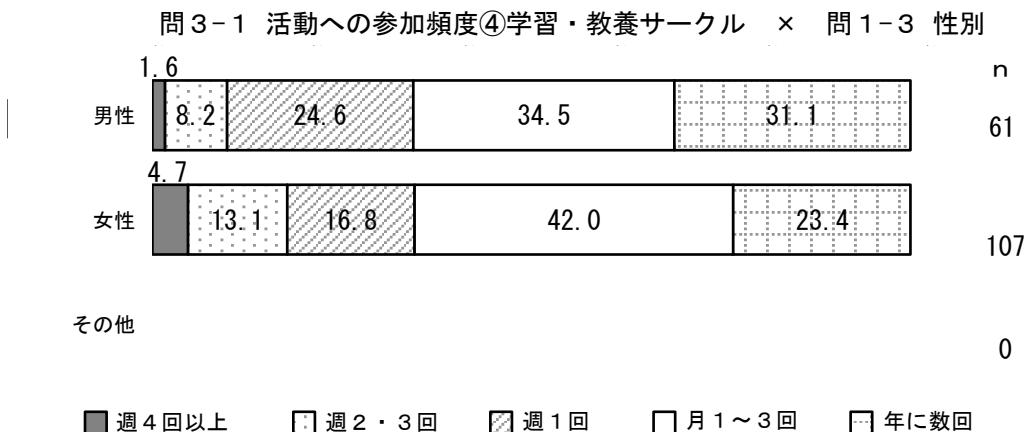
※「参加していない」（n=1,628）、「無回答」（n=668）を除いて集計している。

【2 調査結果（地域での活動について）】

④学習・教養サークル

男女別にみると、「月1～3回」とする割合が男性では34.5%、女性では42.0%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、すべての年代で「月1～3回」とする割合が多くなっている。

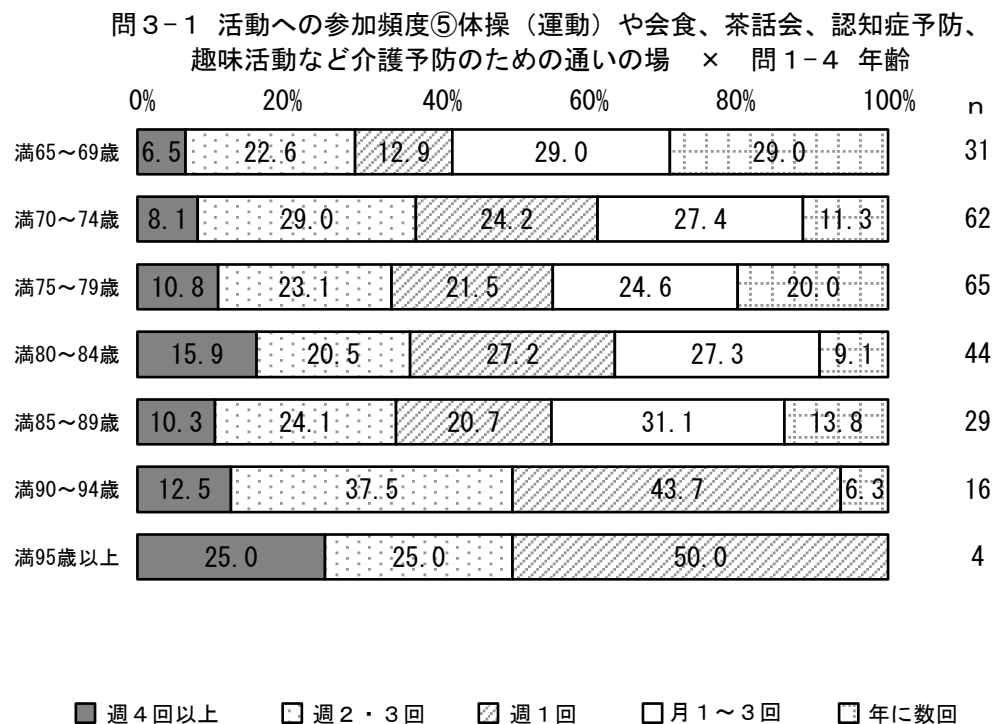
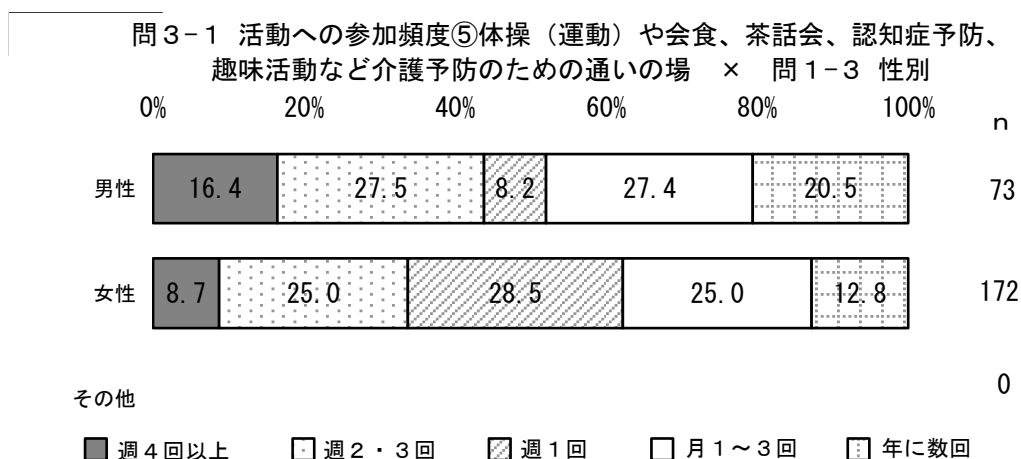


※「参加していない」（n=1,791）、「無回答」（n=770）を除いて集計している。

⑤体操（運動）や会食、茶話会、認知症予防、趣味活動など介護予防のための通いの場

男女別にみると、「月1～3回」とする割合が男性では27.4%、女性では「週1回」が28.5%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満65～69歳」「満75～79歳」「満80～84歳」「満85～89歳」において「月1～3回」とする割合が最も多くなっている。



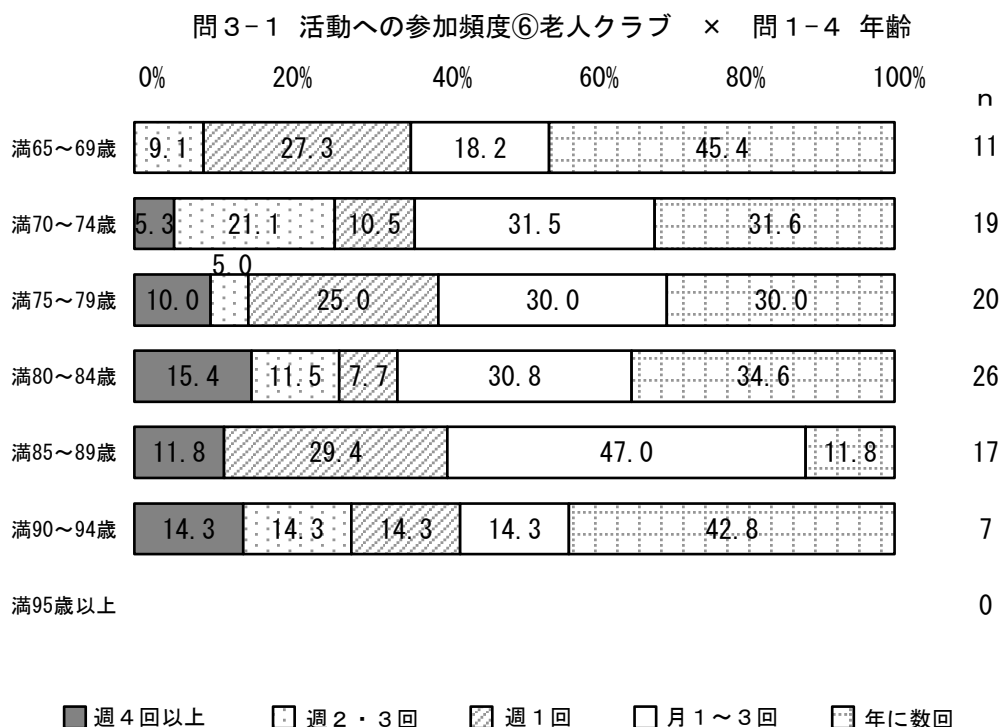
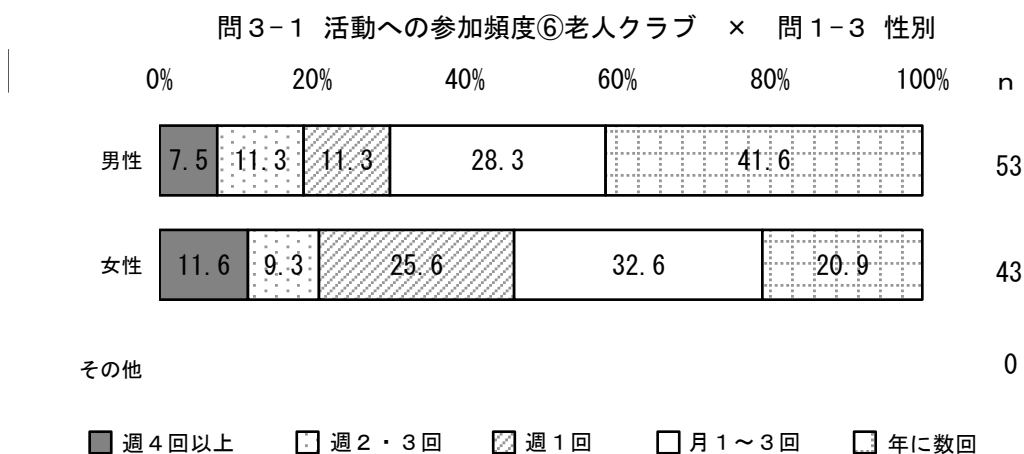
※「参加していない」（n=1,771）、「無回答」（n=709）を除いて集計している。

【2 調査結果（地域での活動について）】

⑥老人クラブ

男女別にみると、男性では「年に数回」とする割合が 41.6%、女性では「月 1～3 回」とする割合が 32.6%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満 65～69 歳」「満 70～74 歳」「満 75～79 歳」「満 80～84 歳」「満 90～94 歳」において「年に数回」とする割合が最も多くなっている。

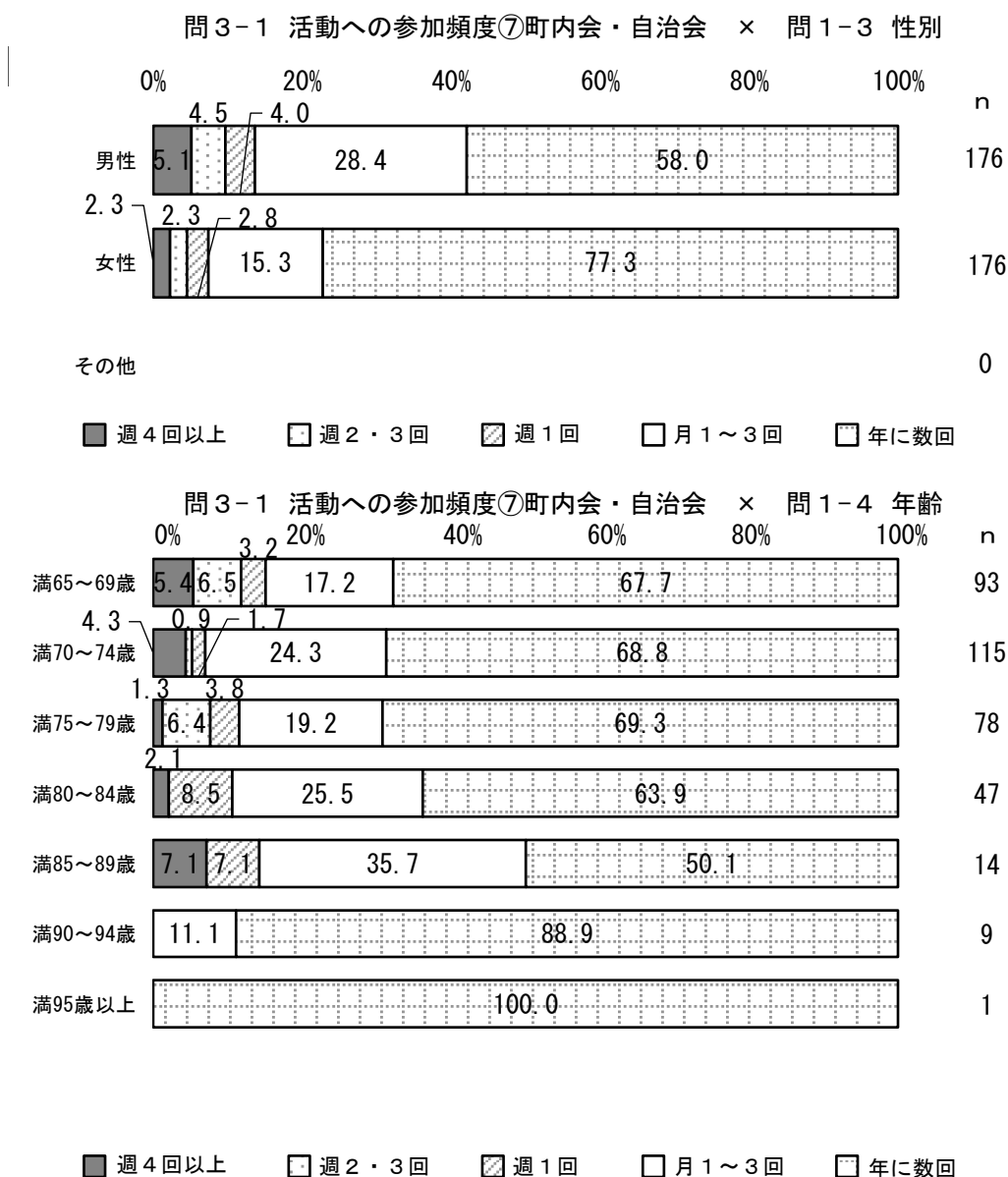


※「参加していない」（n=1,877）、「無回答」（n=754）を除いて集計している。

⑦町内会・自治会

男女別にみると、「年に数回」とする割合が男性では58.0%、女性では77.3%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみても、すべての年代で「年に数回」とする割合が最も多くなっている。



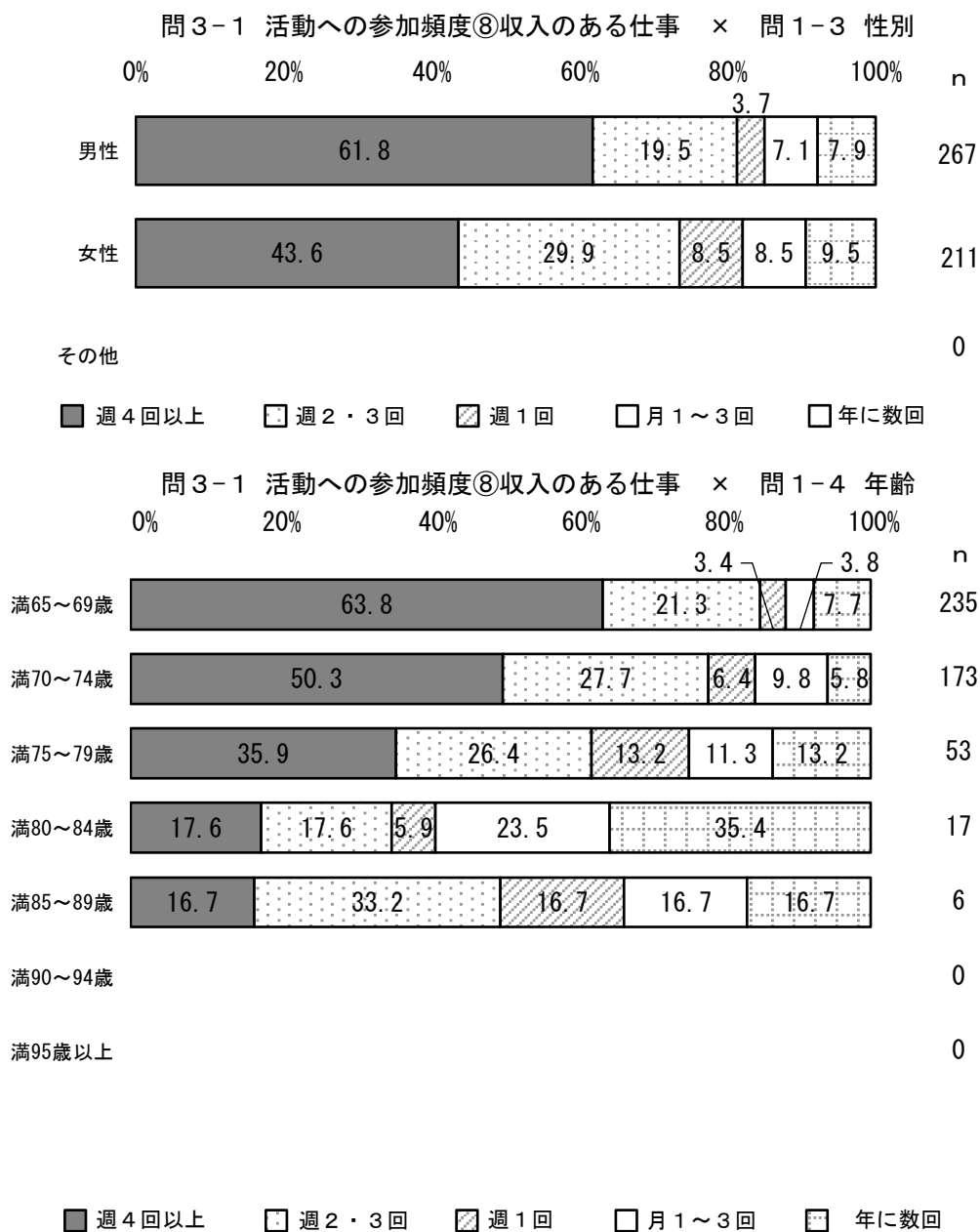
※「参加していない」（n=1,641）、「無回答」（n=733）を除いて集計している。

【2 調査結果（地域での活動について）】

⑧収入のある仕事

男女別にみると、「週4回以上」とする割合が男性では61.8%、女性では43.6%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、満80歳以上を除くすべての年代で「週4回以上」とする割合が最も多くなっている。

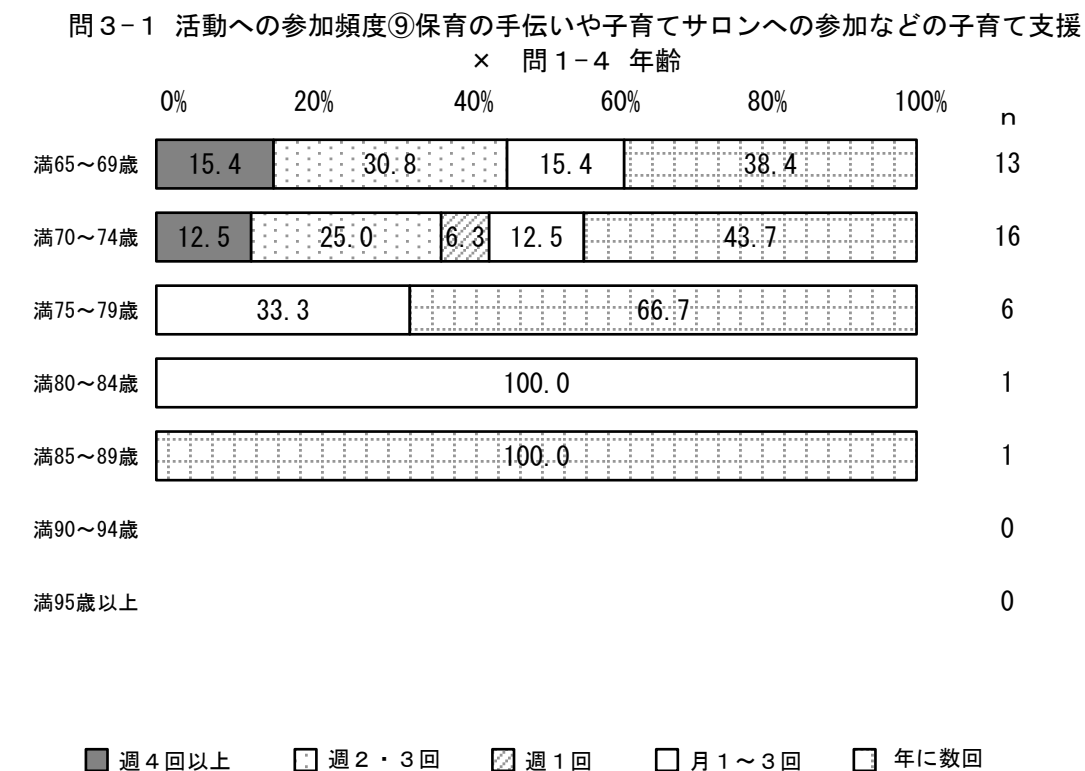
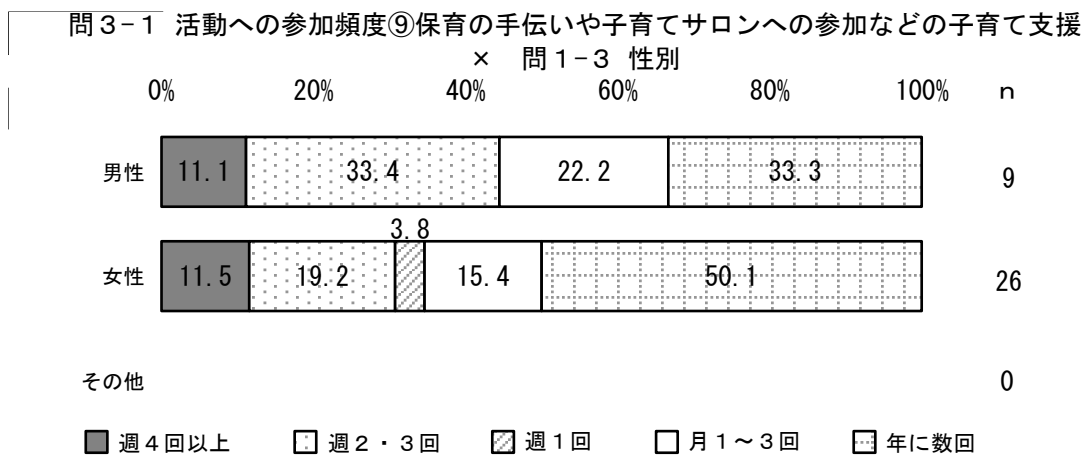


※「参加していない」（n=1,542）、「無回答」（n=705）を除いて集計している。

⑨保育の手伝いや子育てサロンへの参加などの子育て支援

男女別にみると、「週2・3回」とする割合が男性では33.4%、女性では「年に数回」とする割合が50.1%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満80～84歳」と「満90～94歳」、「満95歳以上」を除くすべての年代において「年に数回」とする割合が最も多くなっている。



※「参加していない」（n=1,902）、「無回答」（n=792）を除いて集計している。

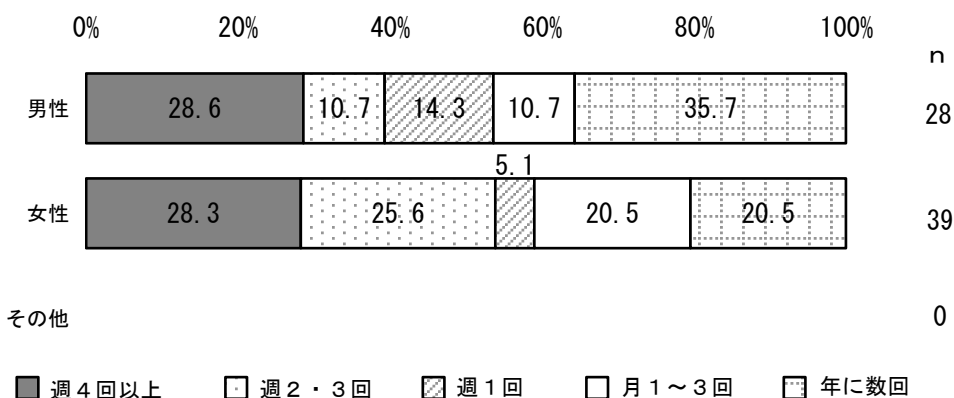
【2 調査結果（地域での活動について）】

⑩家事援助、移送などの高齢者への支援

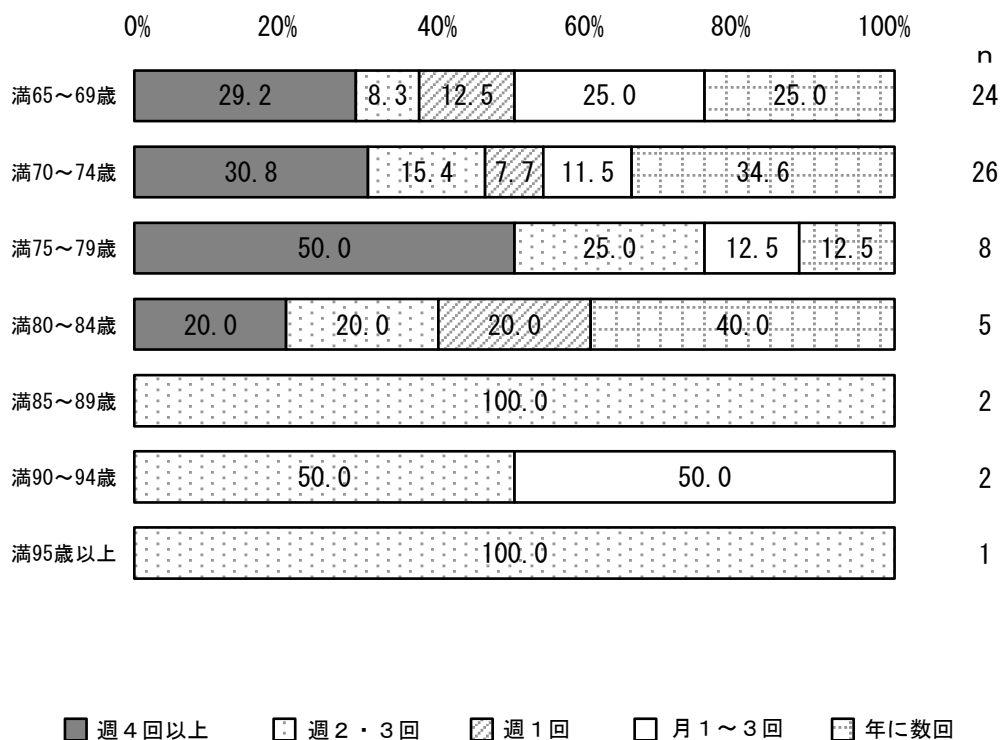
男女別にみると、男性では「年に数回」とする割合が 35.7%、女性では「週 4 回以上」とする割合が 28.3%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみると、「満 65～69 歳」「満 75～79 歳」では「週 4 回以上」が、「満 70～74 歳」「満 80～84 歳」では「年に数回」がそれぞれ最も多くなっている。

問 3-1 活動への参加頻度⑩家事援助、移送などの高齢者への支援 × 問 1-3 性別



問 3-1 活動への参加頻度⑩家事援助、移送などの高齢者への支援 × 問 1-4 年齢



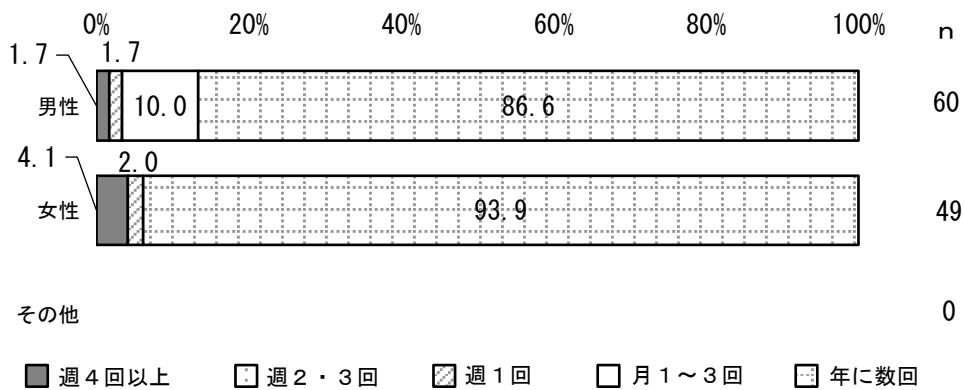
※「参加していない」（n=1,876）、「無回答」（n=787）を除いて集計している。

⑪祭りなど地域の催し物の世話役など

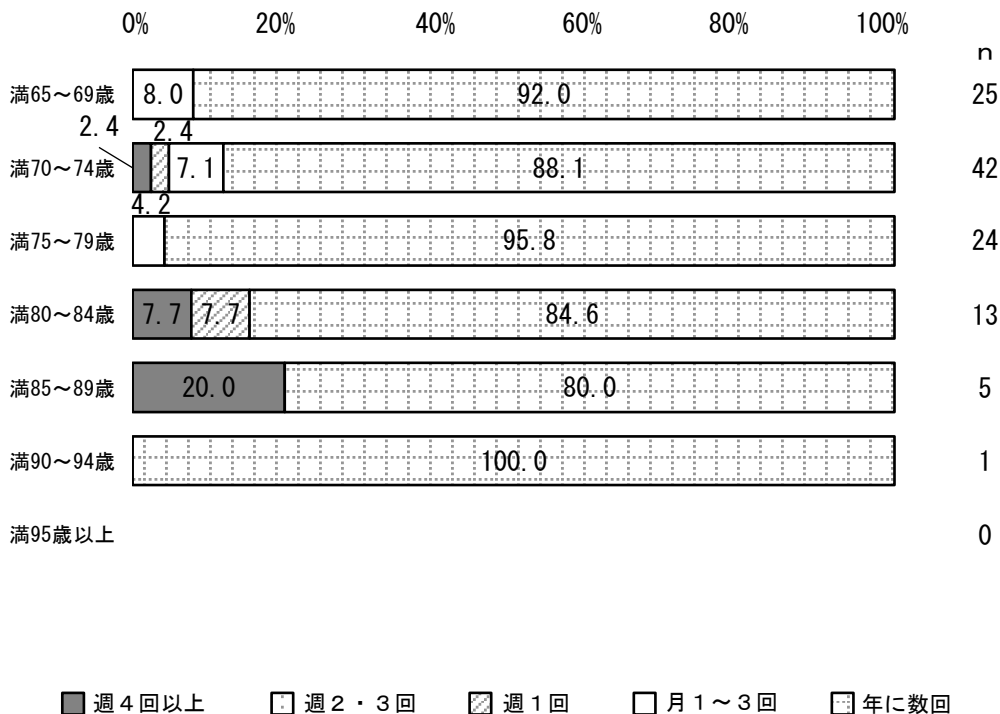
男女別にみると、「年に数回」とする割合が男性では86.6%、女性では93.9%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみても「満95歳以上」を除くすべての年代で「年に数回」とする割合が最も多くなっている。

問3-1 活動への参加頻度⑪祭りなど地域の催し物の世話役など × 問1-3 性別



問3-1 活動への参加頻度⑪祭りなど地域の催し物の世話役など × 問1-4 年齢



※「参加していない」(n=1,839)、「無回答」(n=782)を除いて集計している。

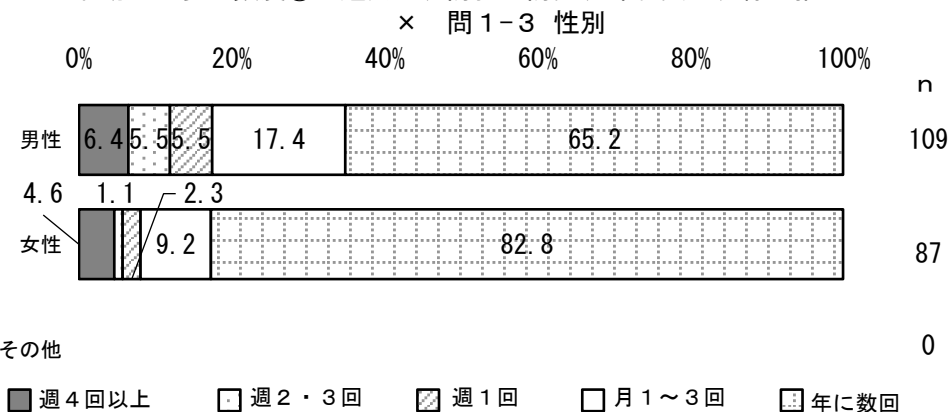
【2 調査結果（地域での活動について）】

⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動

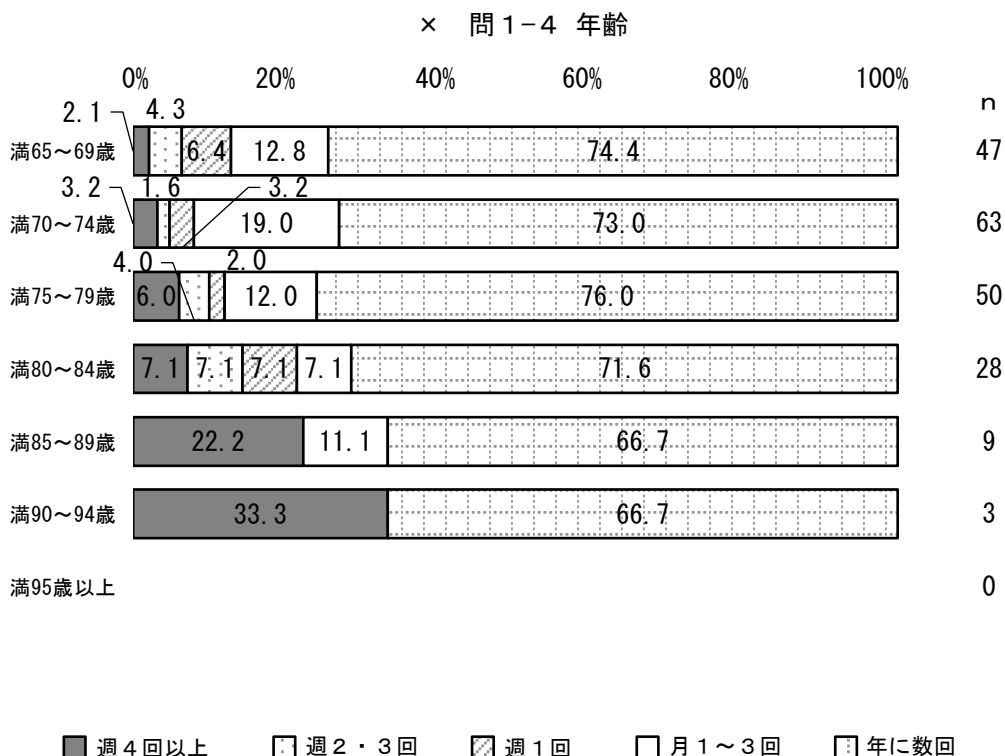
男女別にみると、「年に数回」とする割合が男性では65.2%、女性では82.8%とそれぞれ最も多くなった。

年齢別にみても、「満95歳以上」を除くすべての年代で「年に数回」とする割合が最も多くなっている。

問3-1 活動への参加頻度⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動



問3-1 活動への参加頻度⑫交通安全、防犯・防災、環境美化、緑化推進などの地域活動



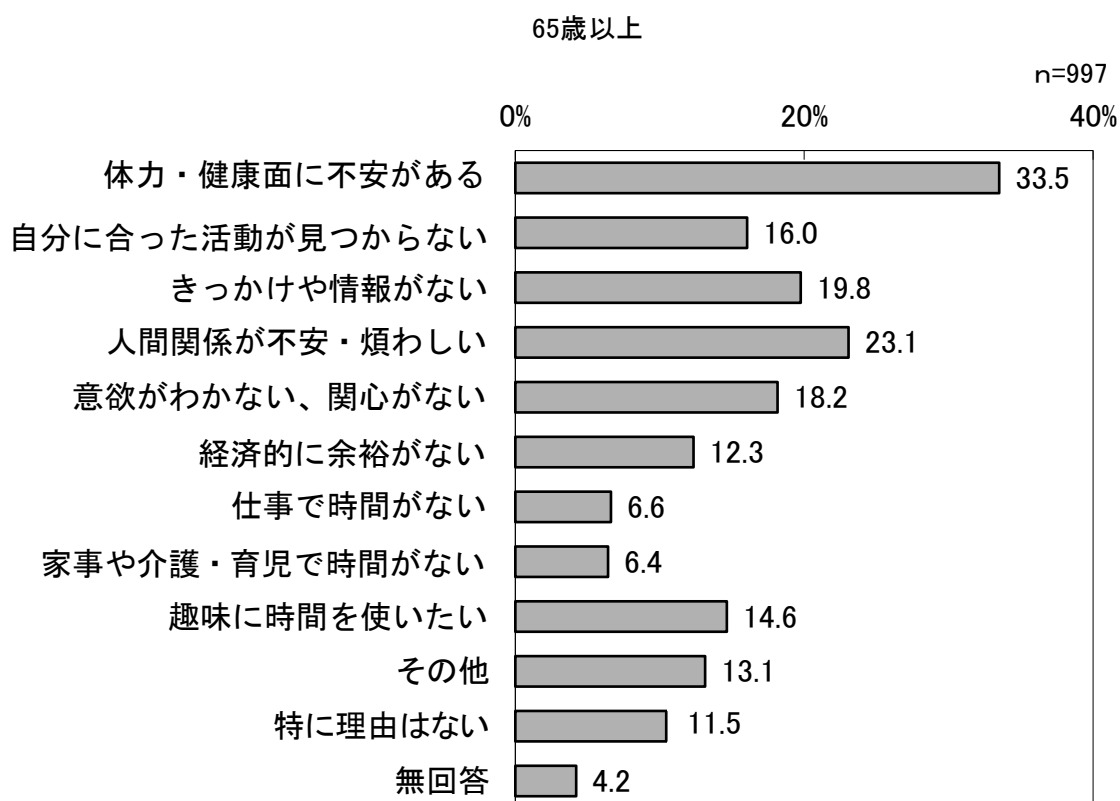
※「参加していない」（n=1,774）、「無回答」（n=757）を除いて集計している。

問3-2 不参加の理由【65歳以上】（複数回答）

参加していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

65歳以上の方を対象に、地域活動に参加しない理由について尋ねたところ、「体力・健康面に不安がある」(33.5%)が最も多く、次いで、「人間関係が不安・煩わしい」(23.1%)、「きっかけや情報がない」(19.8%)となっている。

問3-2 不参加の理由【65歳以上】（複数回答）



【2 調査結果（地域での活動について）】

問3-3 参加意欲【65歳以上】

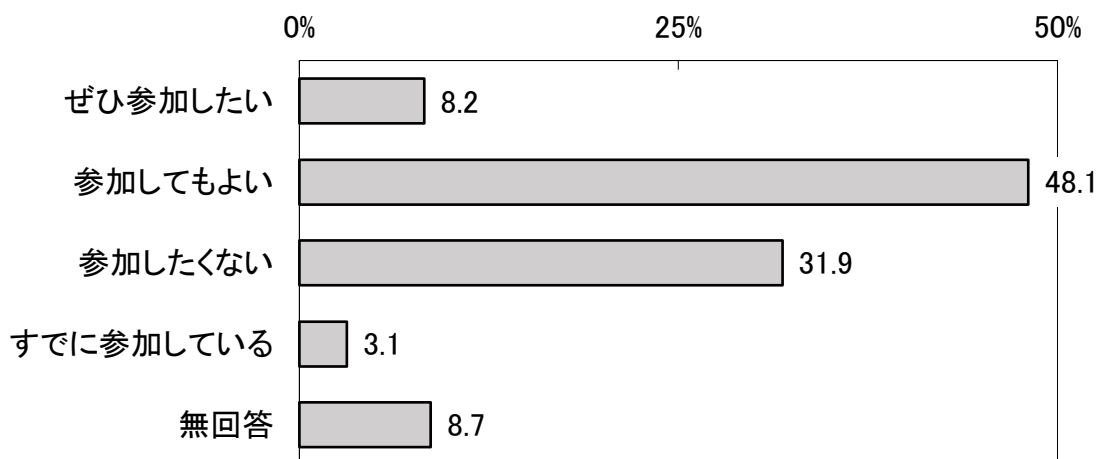
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行い、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

65歳以上の方を対象に、地域づくり活動に参加者として参加したいかについて尋ねたところ、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は56.3%、一方、「参加したくない」は31.9%となっている。

問3-3 参加意欲【65歳以上】

65歳以上

n=2,731



問3-4 企画・運営意欲【65歳以上】

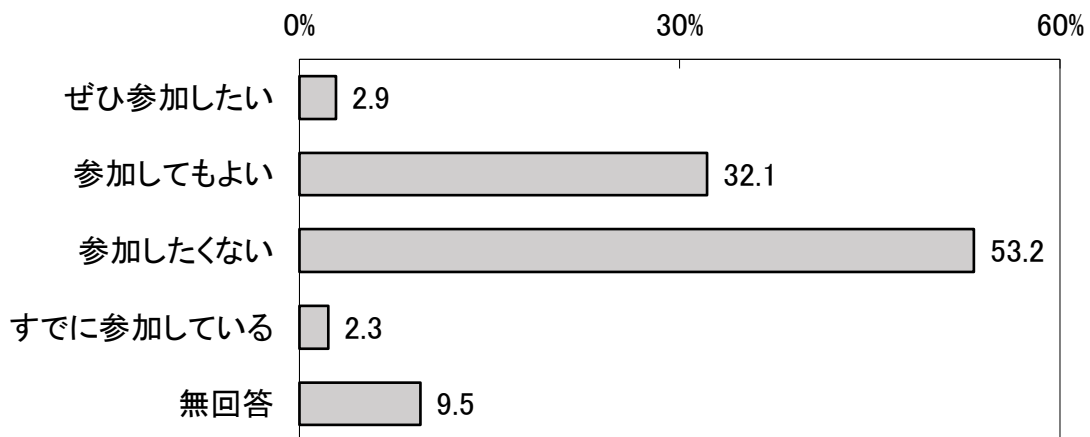
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

地域づくり活動に企画・運営として参加したいかについて尋ねたところ、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」を合わせた割合は35.0%、一方、「参加したくない」は53.2%となっている。

問3-4 企画・運営意欲【65歳以上】

65歳以上

n=2,731

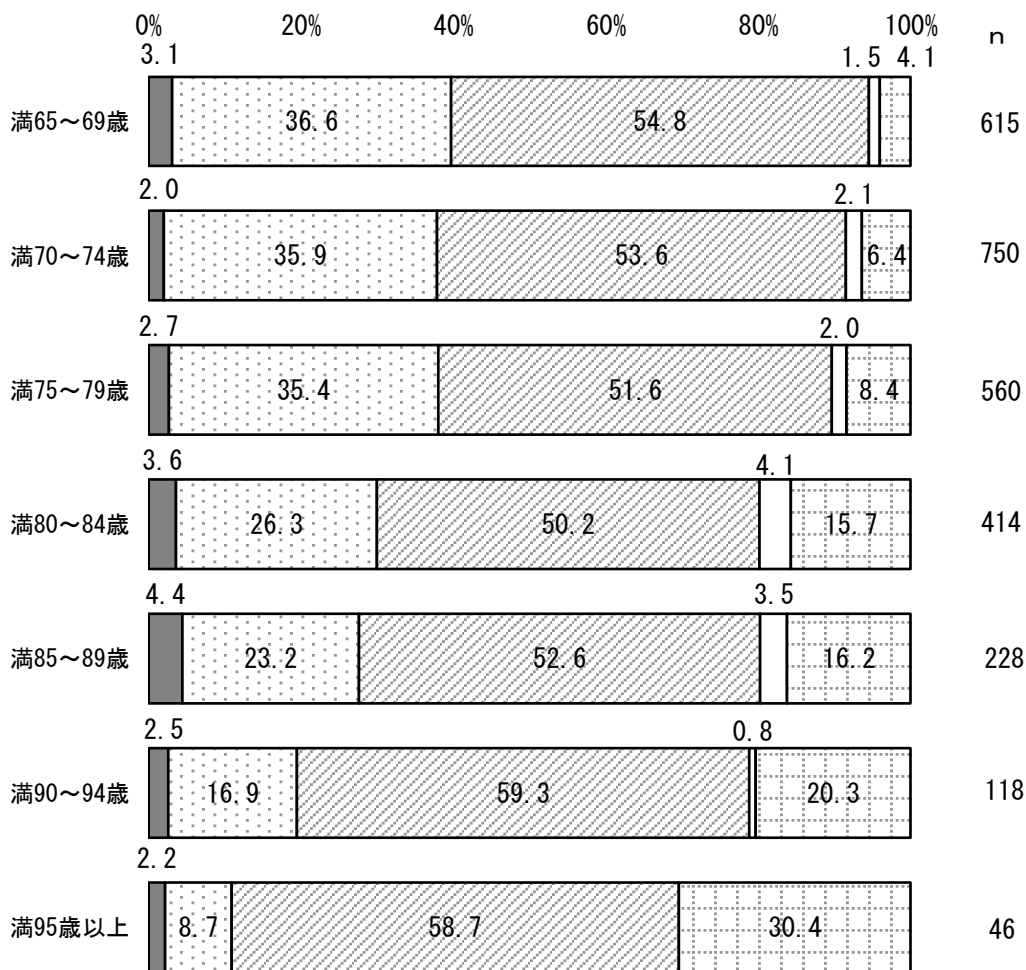


【2 調査結果（地域での活動について）】

年齢別にみると、「参加してもよい」の割合は、「満65～69歳」で36.6%である一方、「満95歳以上」では8.7%となっており、年齢を重ねるにつれて企画・運営意欲が低下する傾向がみられる。

問3-4 企画・運営意欲【65歳以上】 × 問1-4 年齢

65歳以上



- ぜひ参加したい
- 参加してもよい
- ▨ 参加したくない
- すでに参加している
- 無回答

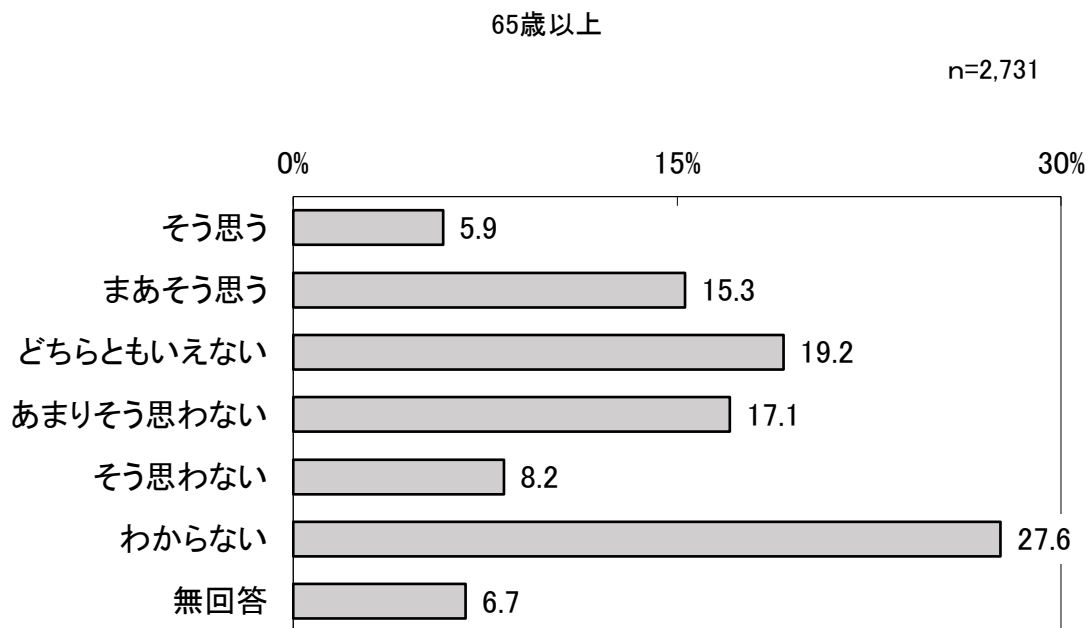
問3-5 社会参加の機会【65歳以上】

札幌市では、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市は、高齢者が積極的に社会参加できる機会が十分にあると思うかを尋ねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が 21.2%となっている。

一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は 25.3%となっている。

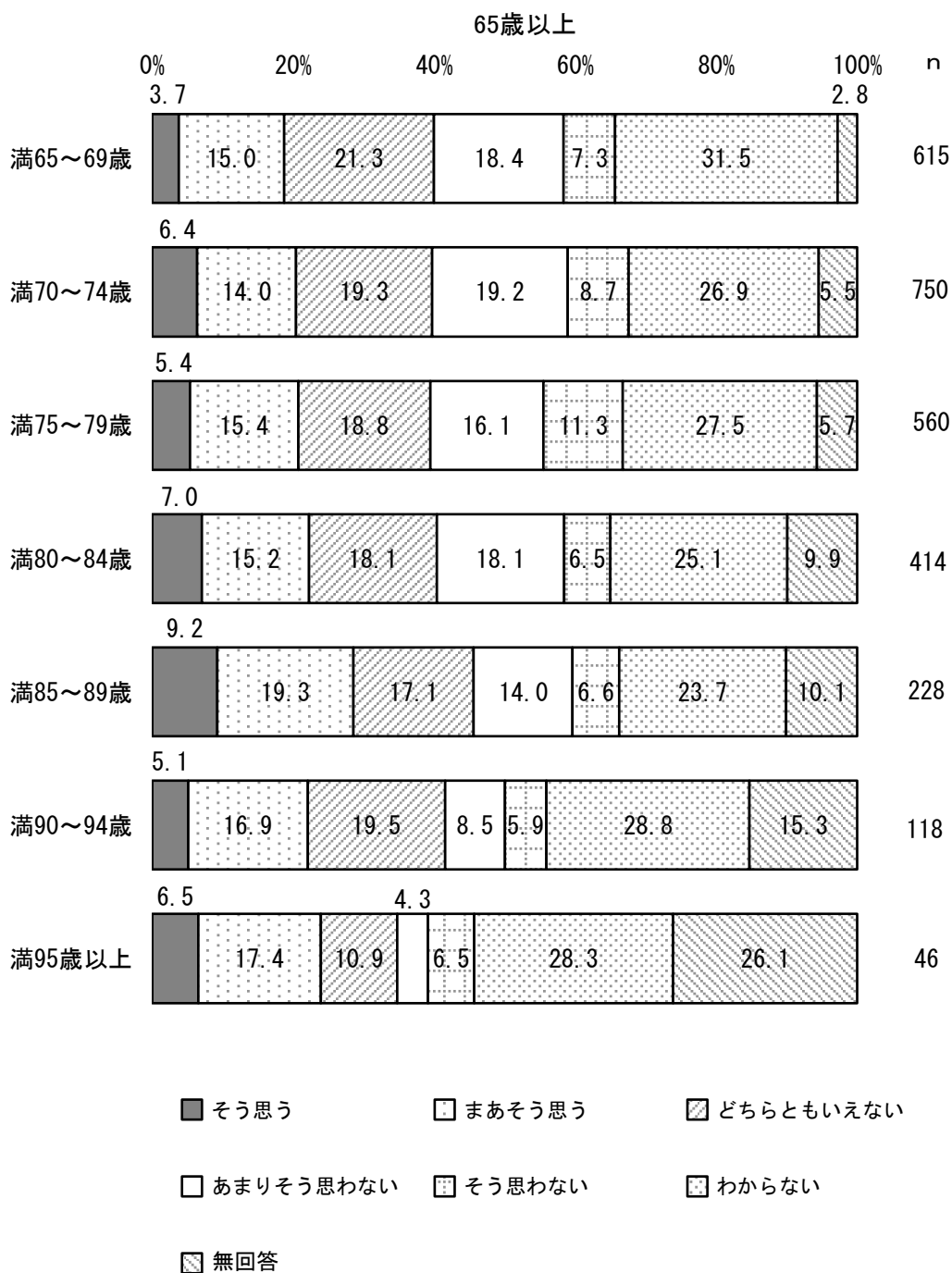
問3-5 社会参加の機会【65歳以上】



【2 調査結果（地域での活動について）】

年齢別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、「満85～89歳」が最も多く、28.5%となっている。

問3-5 社会参加の機会【65歳以上】 × 問1-4 年齢



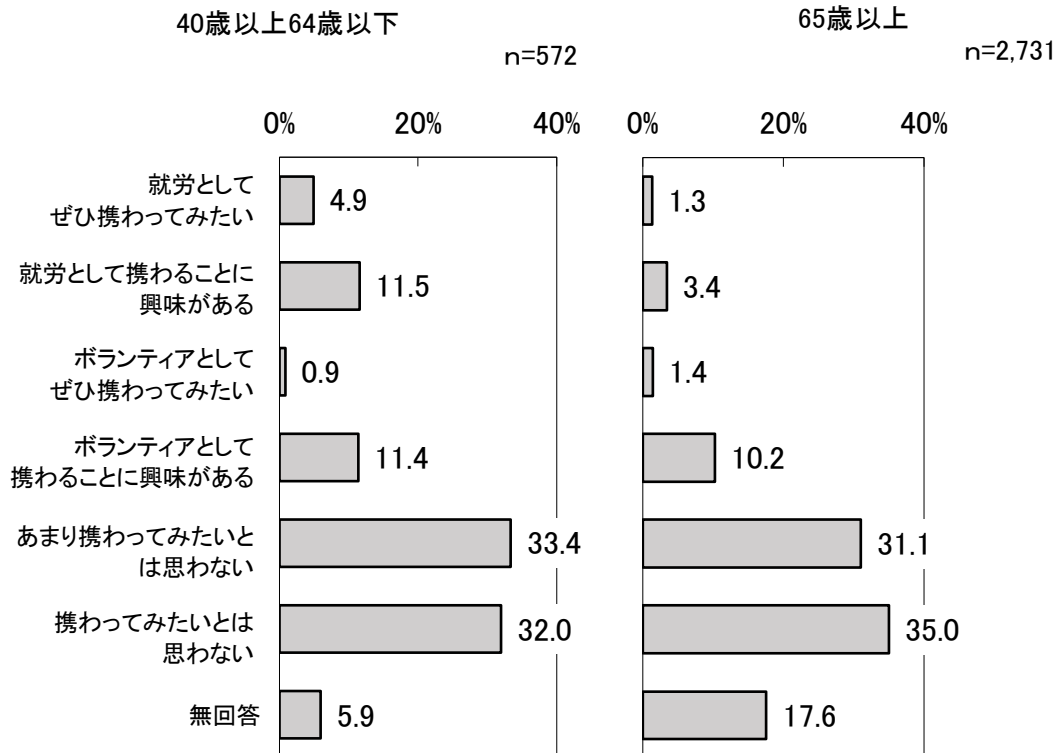
問3-6 「介護のおしごと」等への従事意向

少子高齢化に伴い、「介護のおしごと」の需要が高まっていますが、あなたは携わってみたいと思いますか（介護福祉士などの介護職や、特別な資格のいない介護助手としての就労のほか、ボランティアとしてのお手伝いも含みます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

「介護のおしごと」に携わってみたいかについて、「就労としてぜひ携わってみたい」「就労して携わることに興味がある」を合わせた割合は、64歳以下で16.4%、65歳以上は4.7%となっており、「ボランティアとしてぜひ携わってみたい」「ボランティアとして携わることに興味がある」を合わせた割合は64歳以下で12.3%、65歳以上は11.6%となっている。

一方、「あまり携わってみたいとは思わない」「携わってみたいとは思わない」を合わせた割合は64歳以下で65.4%、65歳以上は66.1%となっている。

問3-6 「介護のおしごと」等への従事意向



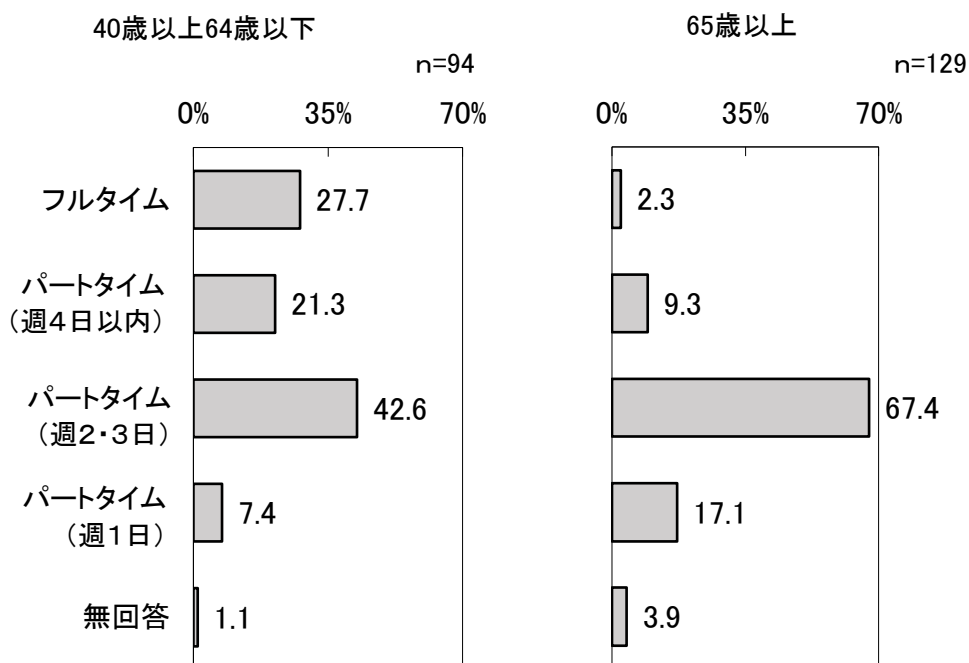
【2 調査結果（地域での活動について）】

問3-7 勤務形態（頻度）の希望

【問3-6で「就労としてぜひ携わってみたい」、「就労として携わることに興味がある」のいずれかを回答した方にお聞きします】
どのような勤務形態（頻度）で働きたいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

どのような勤務形態（頻度）で働きたいかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「パートタイム（週2・3日）」の割合が最も多く、64歳以下は42.6%、65歳以上は67.4%となっている。

問3-7 勤務形態（頻度）の希望



2. 4 心身の状況について

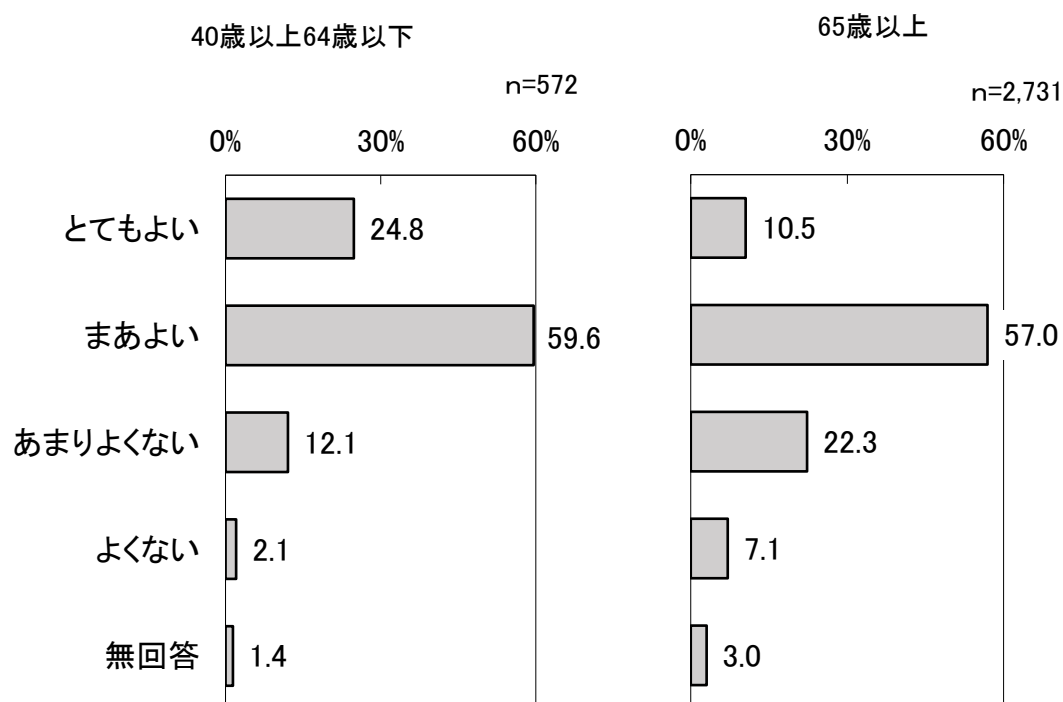
問4-1 主観的健康感

現在のあなたの健康状態はいかがですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

健康状態について尋ねたところ、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が、64歳以下は84.4%、65歳以上は67.5%と、ともに半数を超えている。

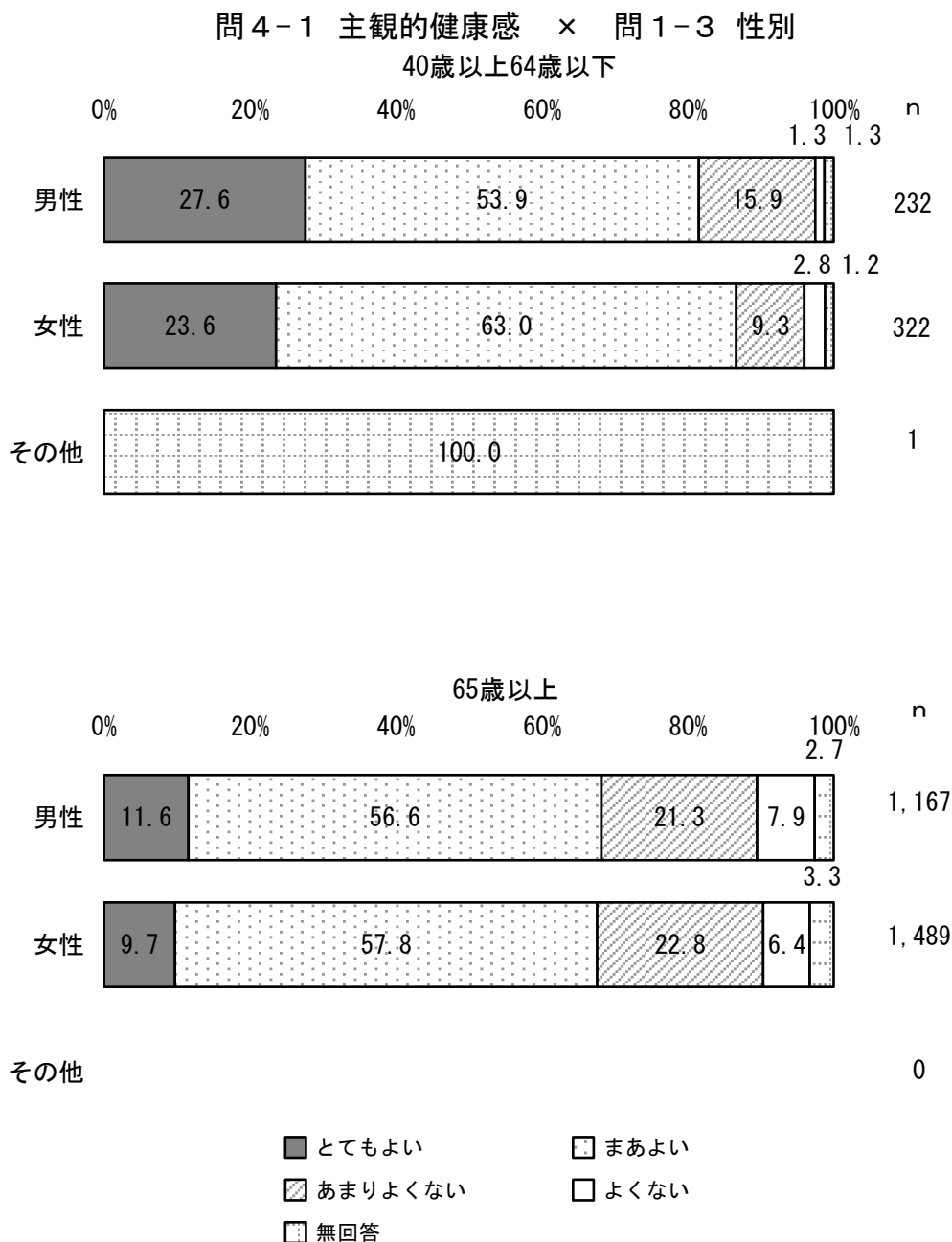
一方、「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合は、64歳以下は14.2%、65歳以上は29.4%となっている。

問4-1 主観的健康感



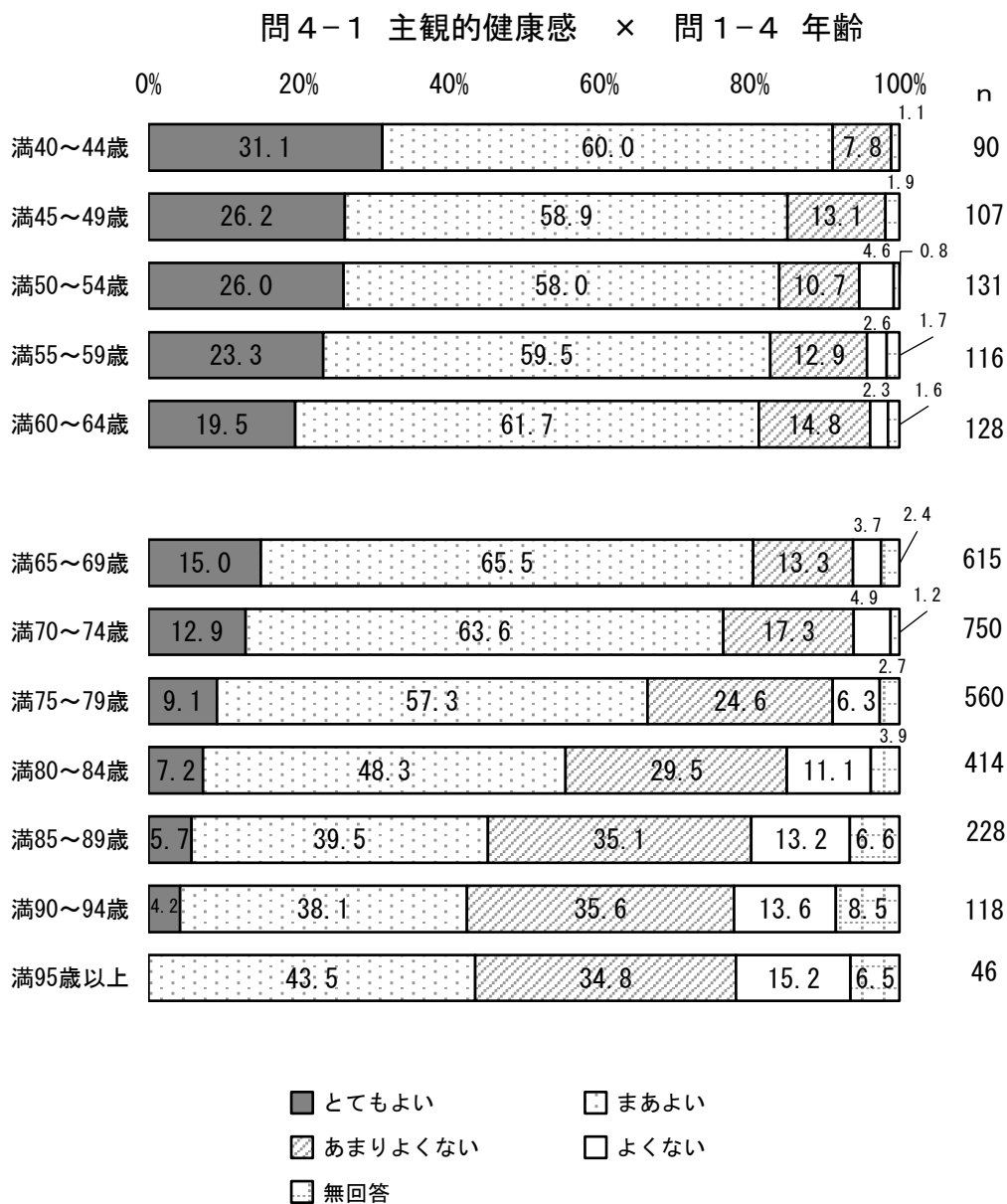
【2 調査結果（心身の状況について）】

男女別にみると、「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は、64歳以下は、男性は81.5%、女性は86.6%となっており、65歳以上は、男性は68.2%、女性は67.5%となっている。



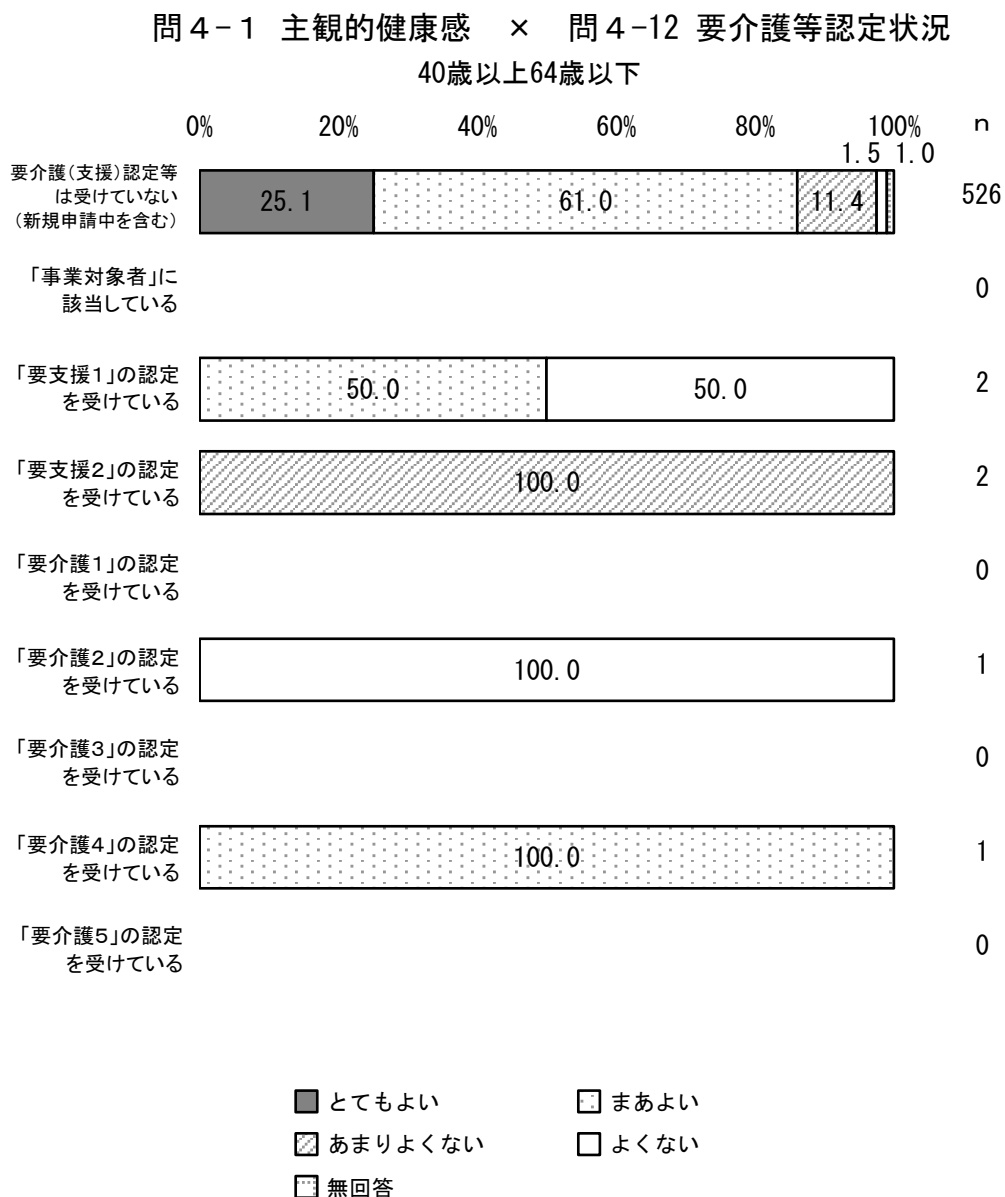
【2 調査結果（心身の状況について）】

64歳以下で年齢別にみると、全年齢で「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合は50%を超えており、65歳以上でも「とてもよい」「まあよい」を合わせた割合が満85歳以上を除いて50%を超えている。



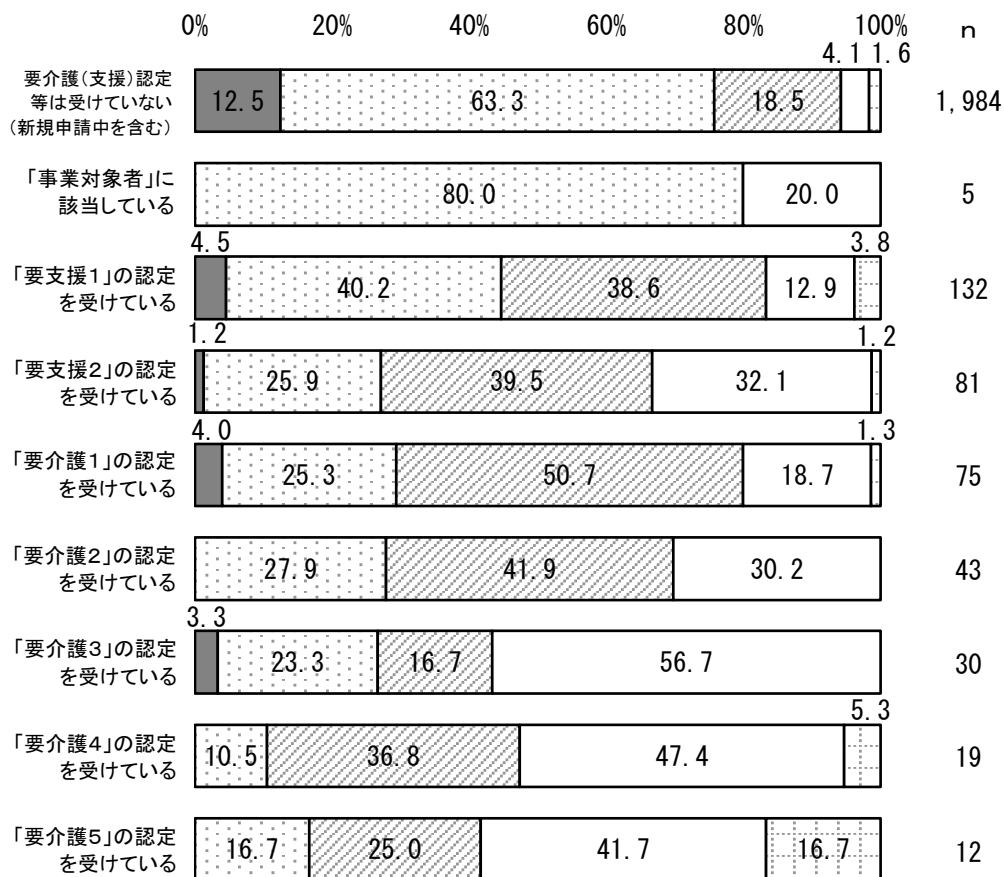
【2 調査結果（心身の状況について）】

65 歳以上で要介護等認定状況別にみると、要介護（支援）認定を受けていると回答した方は、「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合が全ての項目で半数を超えている。



問4-1 主観的健康感 × 問4-12 要介護等認定状況

65歳以上



- とてもよい
- まあよい
- あまりよくない
- よくない
- 無回答

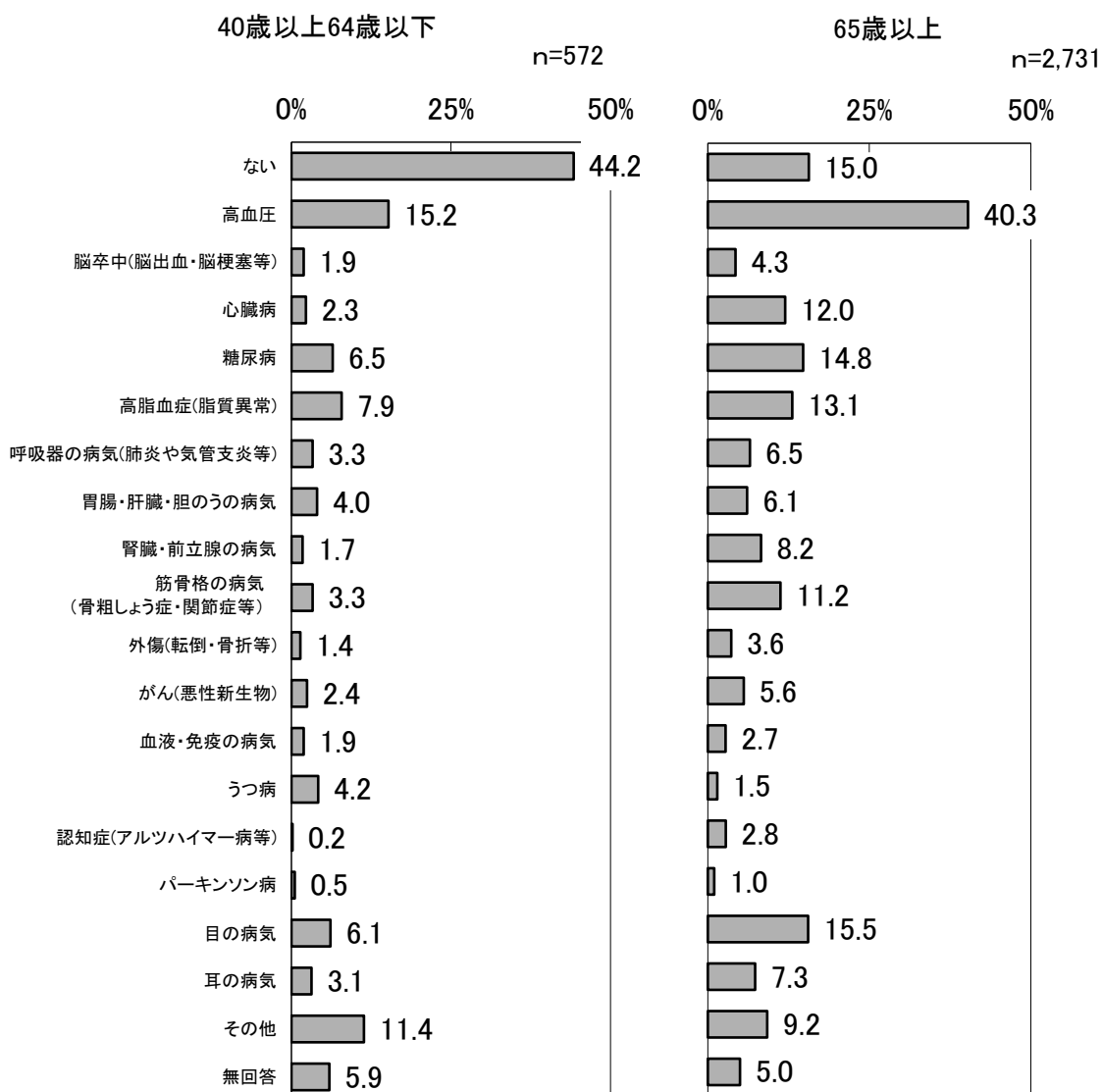
【2 調査結果（心身の状況について）】

問4-2 リ患中の疾病、後遺症（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在、治療中、または後遺症のある病気を尋ねたところ、64歳以下は「ない」（44.2%）が最も多く、次いで「高血圧」（15.2%）、「その他」（11.4%）となっており、65歳以上は「高血圧」（40.3%）が最も多く、次いで「目の病気」（15.5%）、「ない」（15.0%）となっている。

問4-2 リ患中の疾病、後遺症（複数回答）



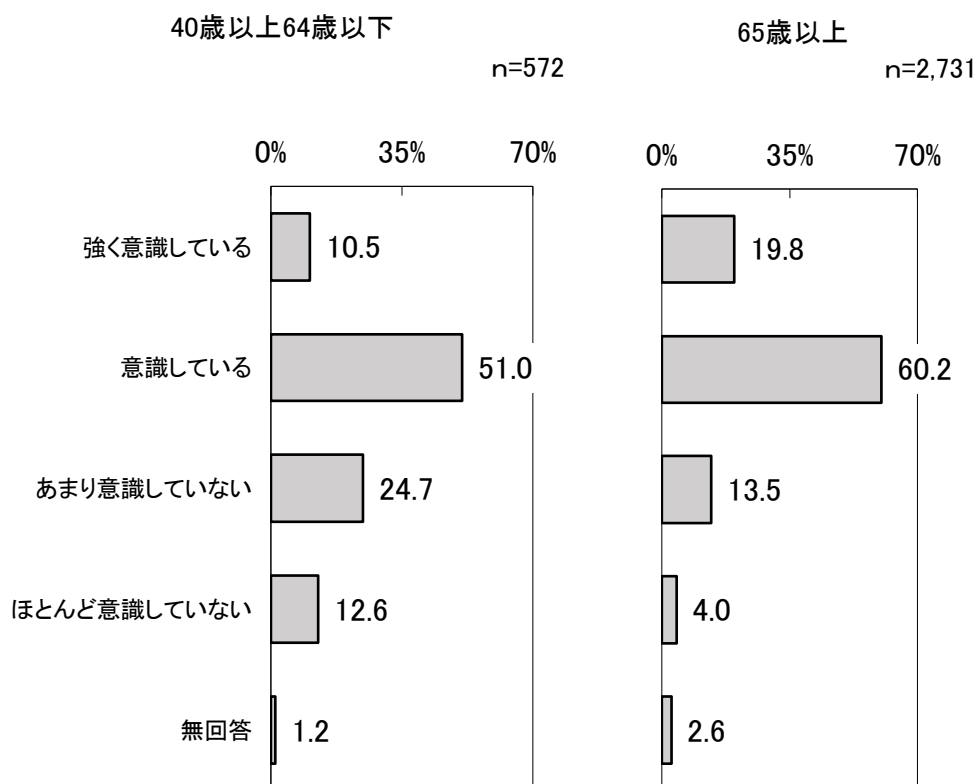
問4-3 健康維持・増進の意識

「介護予防」とは、要介護状態にならないように取り組むこと、または、要介護状態であってもその悪化を防ぐよう取り組むことをいいます。
 あなたは、普段から介護予防のためにご自身の健康維持・増進を意識していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

介護予防のために健康維持・増進を意識しているか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「意識している」の割合が最も多く、64歳以下で51.0%、65歳以上で60.2%となっている。

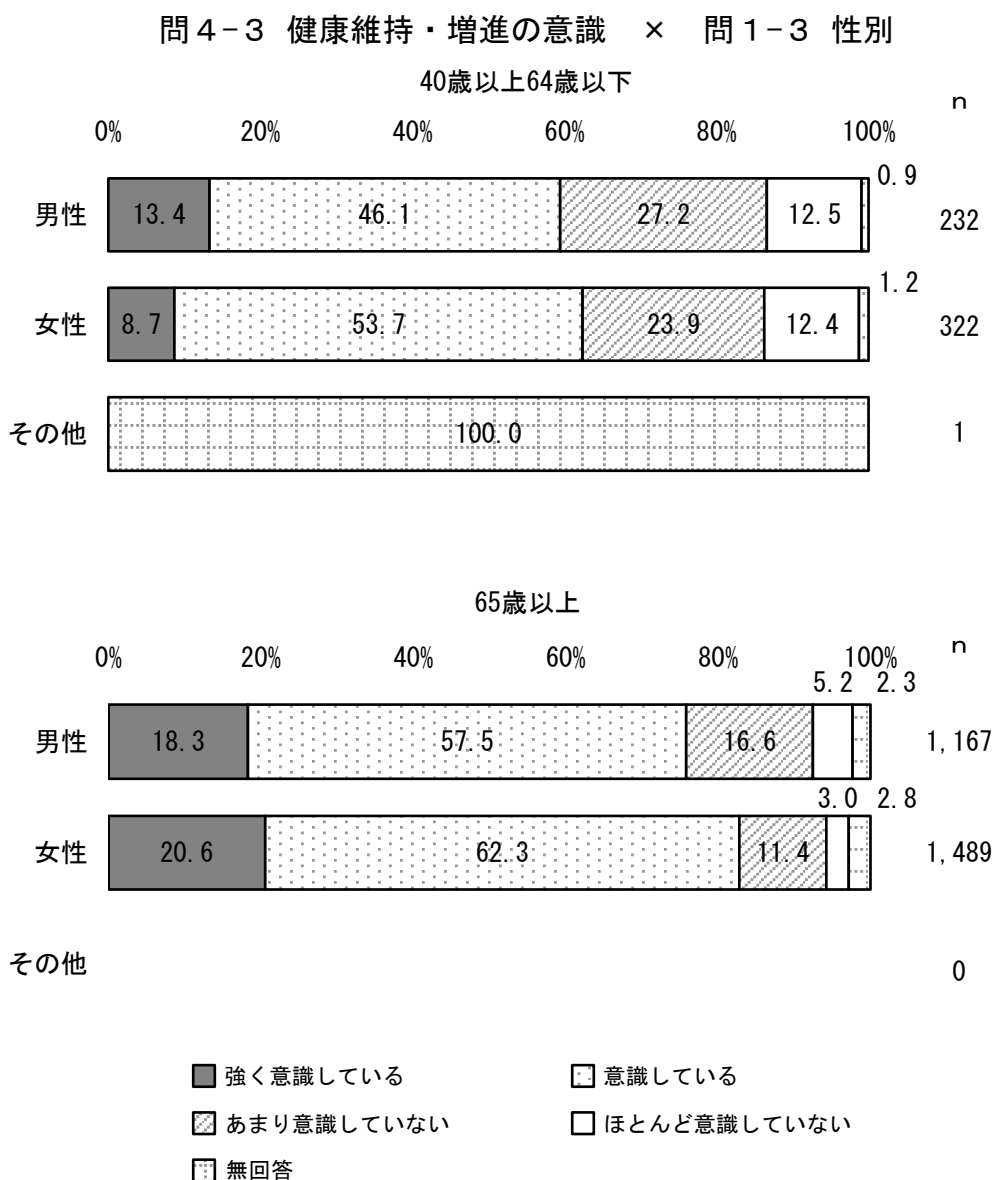
一方、64歳以下で次いで多いのは「あまり意識していない」（24.7%）、65歳以上では、「強く意識している」（19.8%）となっている。

問4-3 健康維持・増進の意識



【2 調査結果（心身の状況について）】

男女別にみると、64歳以下、65歳以上ともに「強く意識している」「意識している」を合わせた割合が半数以上を占めており、64歳以下は「男性」は59.5%、「女性」は62.4%で、65歳以上では「男性」は75.8%、「女性」は82.9%となっている。



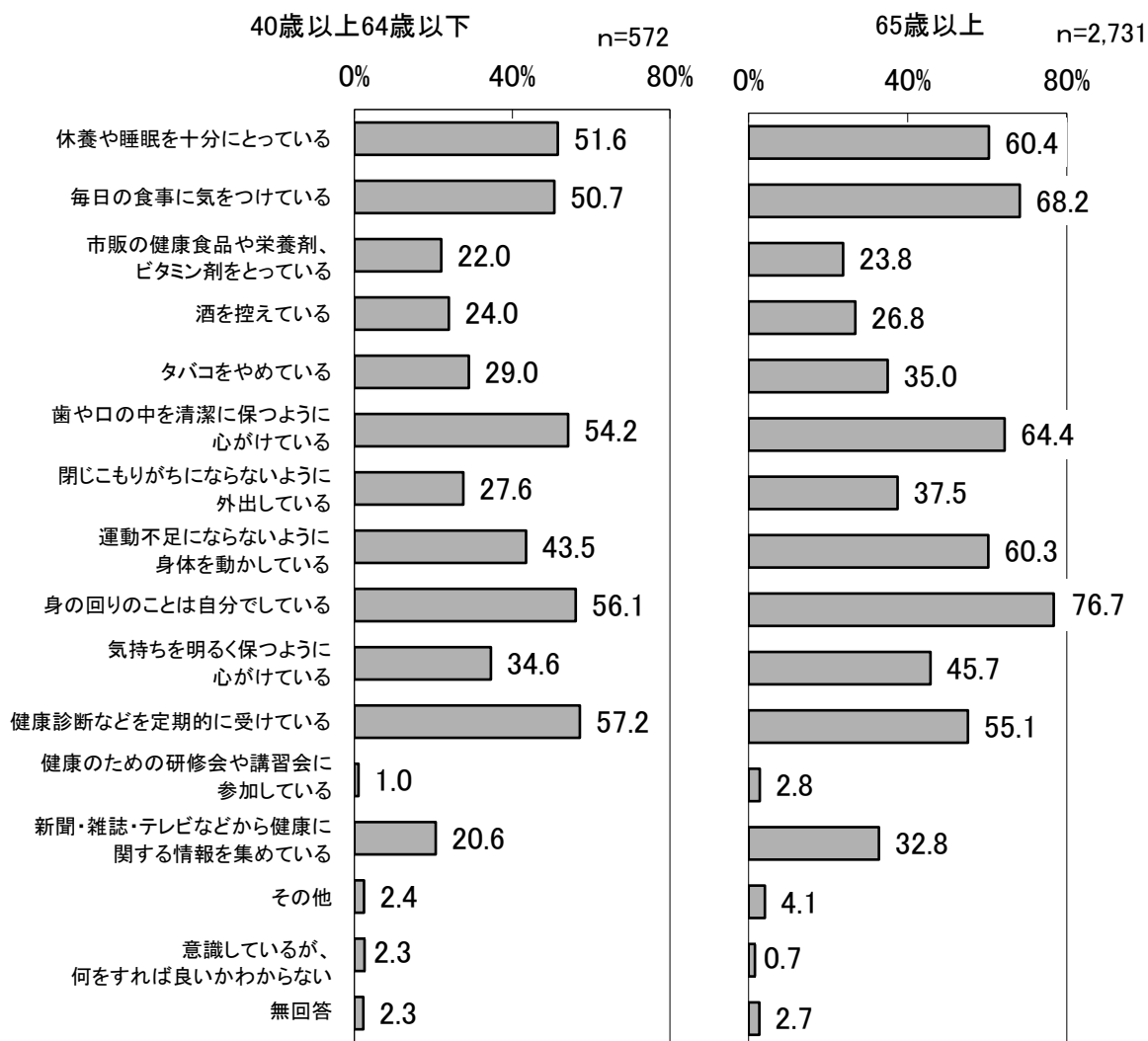
問4-4 健康維持の取組（複数回答）

現在、健康維持のために気をつけていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

現在、健康維持のために気をつけていることを尋ねたところ、64歳以下は「健康診断などを定期的を受けている」（57.2%）が最も多く、次いで、「身の回りのことは自分でしている」（56.1%）、「歯や口の中を清潔に保つように心がけている」（54.2%）となっている。

一方、65歳以上では「身の回りのことは自分でしている」（76.7%）が最も多く、次いで、「毎日の食事に気をつけている」（68.2%）、「歯や口の中を清潔に保つように心がけている」（64.4%）となっている。

問4-4 健康維持の取組（複数回答）

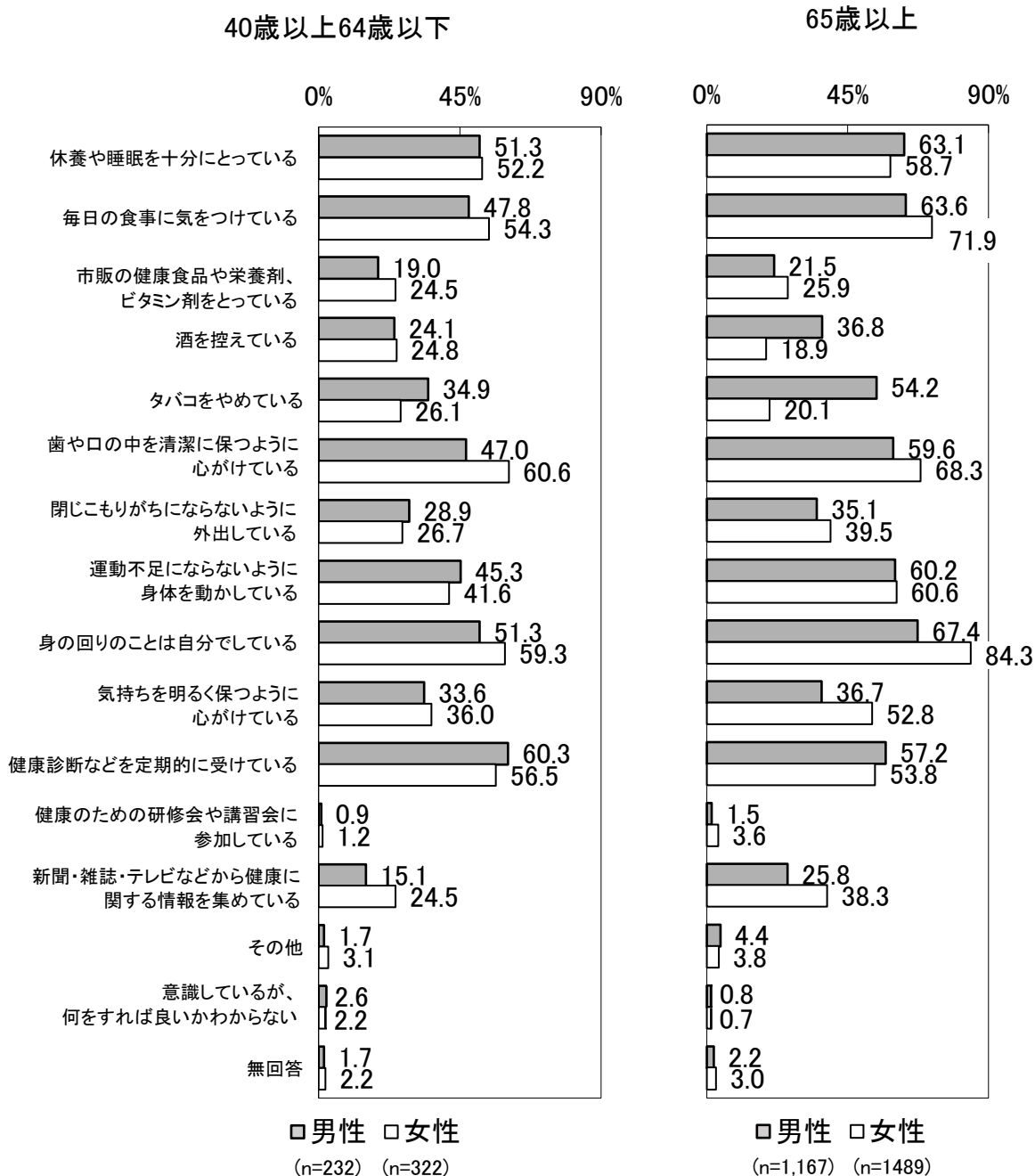


【2 調査結果（心身の状況について）】

男女別にみると、64歳以下は男性は「健康診断などを定期的を受けている」（60.3%）が最も多く、女性は「歯や口の中を清潔に保つように心がけている」（60.6%）が最も多くなっている。

65歳以上は、「身の回りのことは自分でしている」が男女ともに最も多くなっており、男性67.4%、女性84.3%となっている。

問4-4 健康維持の取組（複数回答） × 問1-3 性別



※ 40歳以上64歳以下の性別「その他」（n=1）は無回答であった。

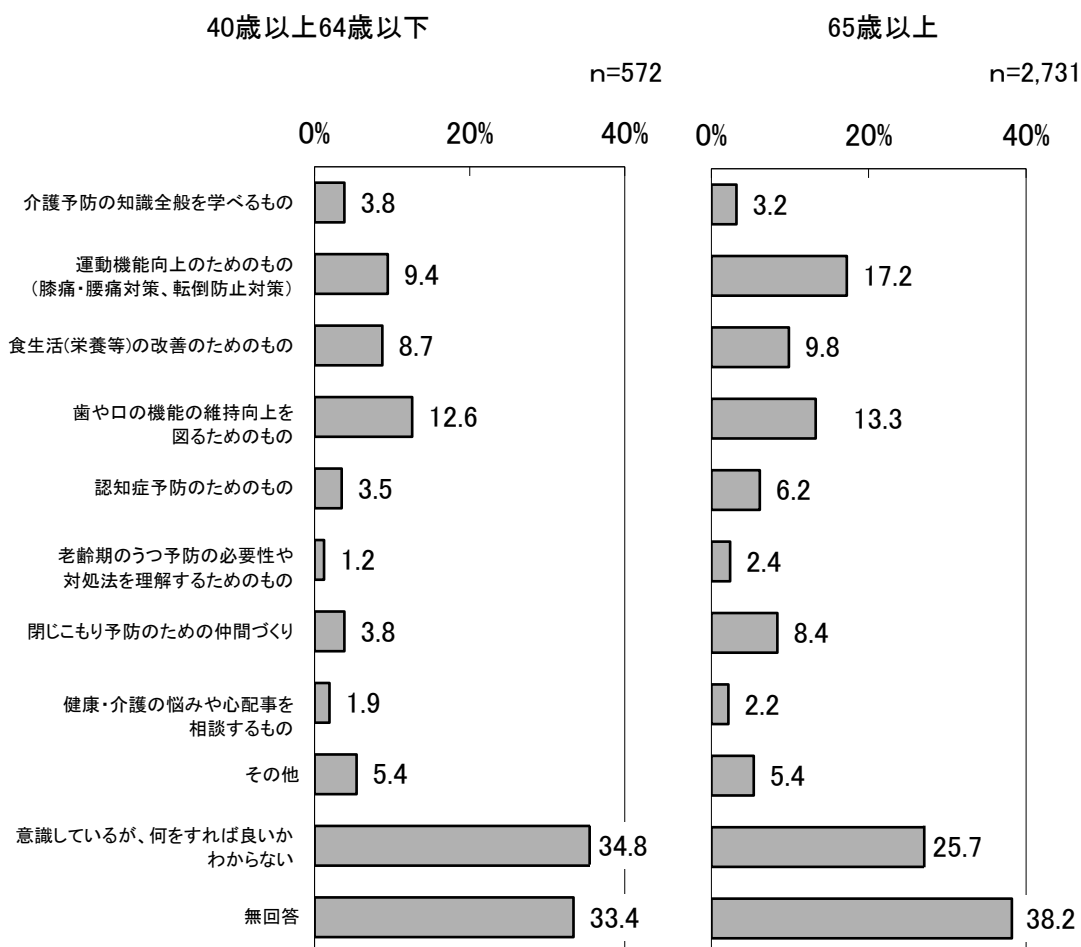
問4-5 介護予防の取組（複数回答）

あなたが、介護予防のために参加しているものはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

介護予防のために参加しているものを尋ねたところ、64歳以下は「意識しているが、何をすれば良いかわからない」（34.8%）が最も多く、次いで、「歯や口の機能の維持向上を図るためのもの」（12.6%）、「運動機能向上のためのもの（膝痛・腰痛対策、転倒防止対策）」（9.4%）となっている。

一方、65歳以上では「意識しているが、何をすれば良いかわからない」（25.7%）が最も多く、次いで、「運動機能向上のためのもの（膝痛・腰痛対策、転倒防止対策）」（17.2%）、「歯や口の機能の維持向上を図るためのもの」（13.3%）となっている。

問4-5 介護予防の取組（複数回答）



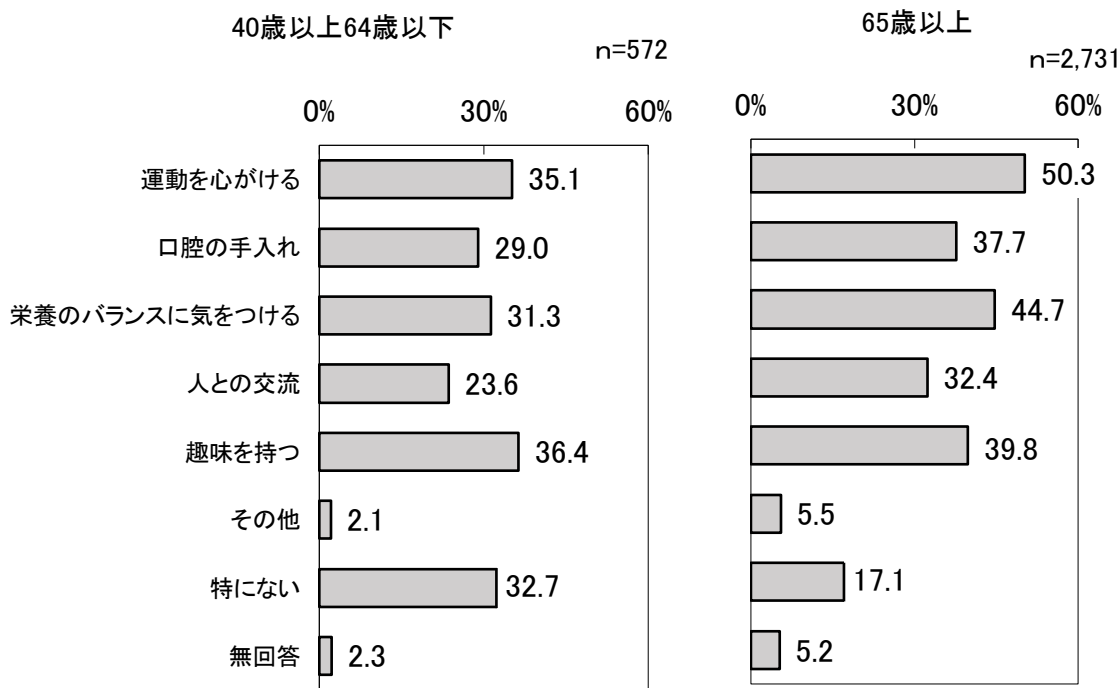
【2 調査結果（心身の状況について）】

問4-6 認知症予防の取組（複数回答）

あなたが、認知症予防のために取り組んでいることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

認知症予防について尋ねたところ、64歳以下は「趣味を持つ」(36.4%)が最も多く、次いで、「運動を心がける」(35.1%)、「特にない」(32.7%)となっており、65歳以上では「運動を心がける」(50.3%)、次いで「栄養のバランスに気をつける」(44.7%)、「趣味を持つ」(39.8%)となっている。

問4-6 認知症予防の取組（複数回答）

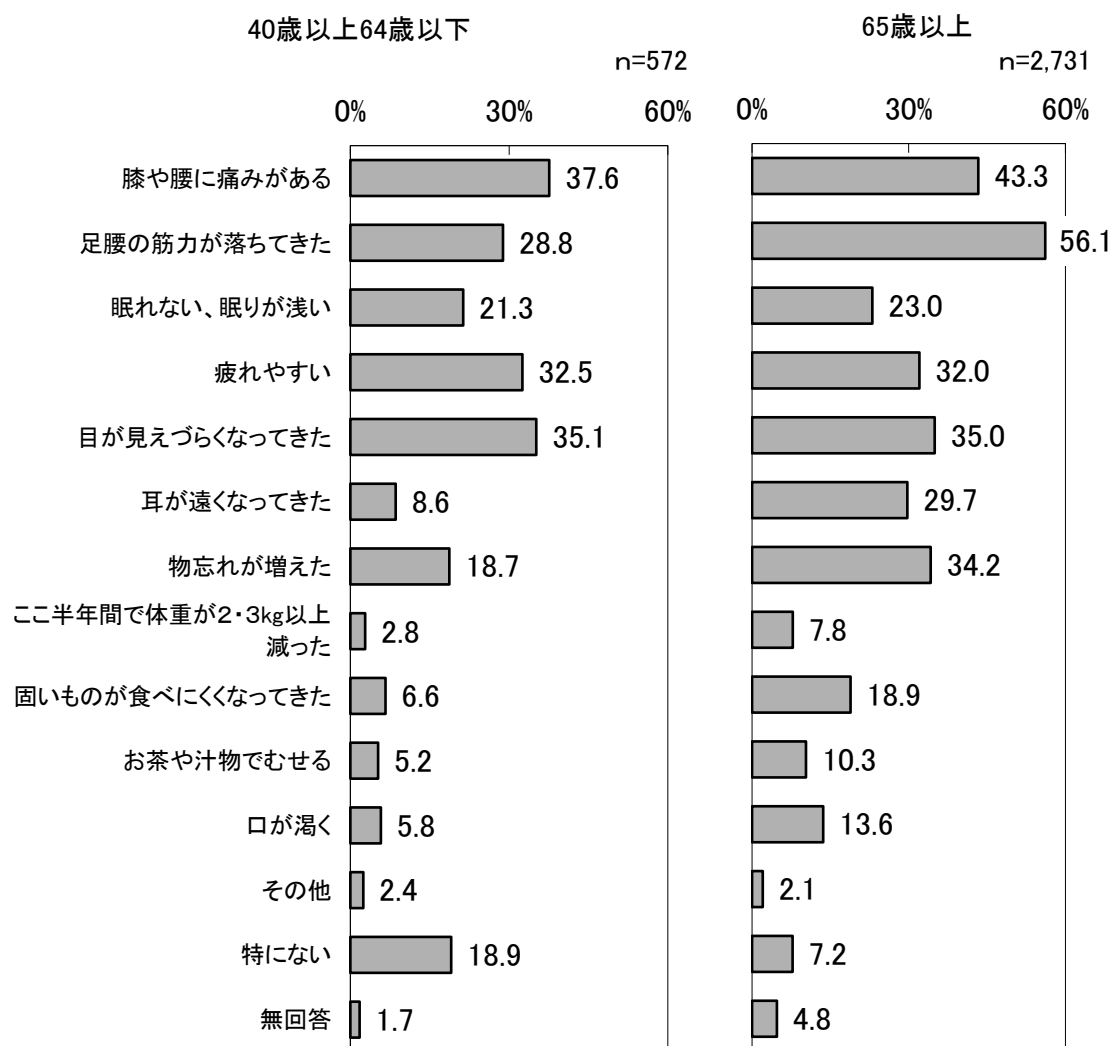


問4-7 健康状態で気になっていること（複数回答）

最近、ご自身の健康状態について気になっていることはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

最近の自身の健康状態について気になっていることを尋ねたところ、64歳以下は「膝や腰に痛みがある」(37.6%)が最も多く、次いで、「目が見えづらくなってきた」(35.1%)、「疲れやすい」(32.5%)となっており、65歳以上は「足腰の筋力が落ちてきた」(56.1%)が最も多く、次いで、「膝や腰に痛みがある」(43.3%)、「目が見えづらくなってきた」(35.0%)となっている。

問4-7 健康状態で気になっていること（複数回答）



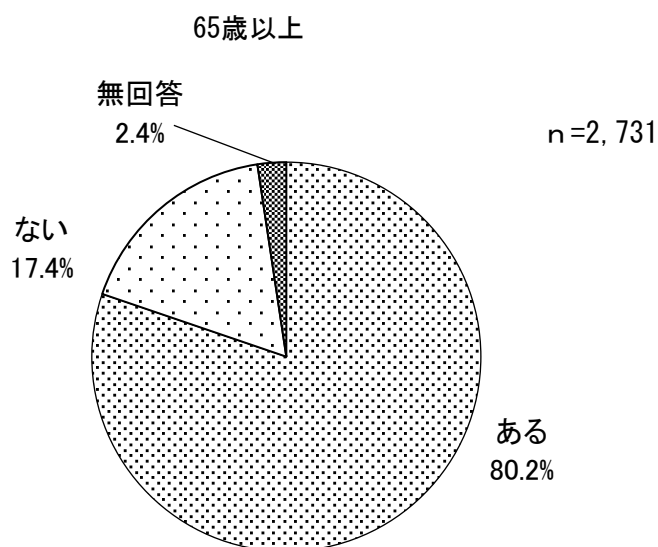
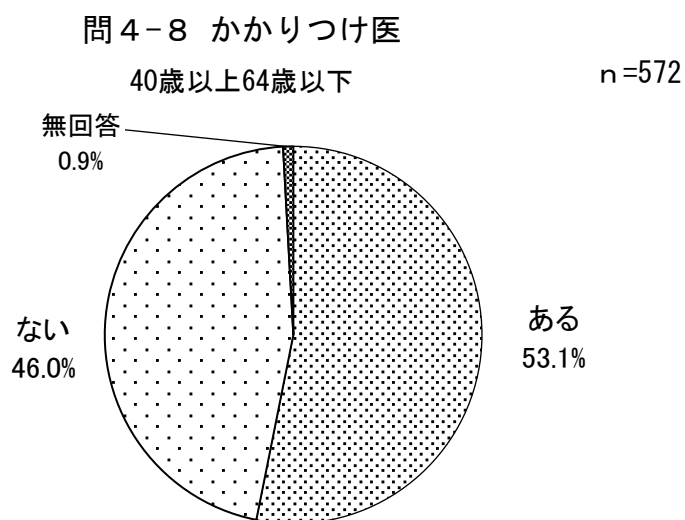
【2 調査結果（心身の状況について）】

問4-8 かかりつけ医の有無

かかりつけ医はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

かかりつけ医があるか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「ある」が半数を超えており、64歳以下は53.1%、65歳以上は80.2%となっている。

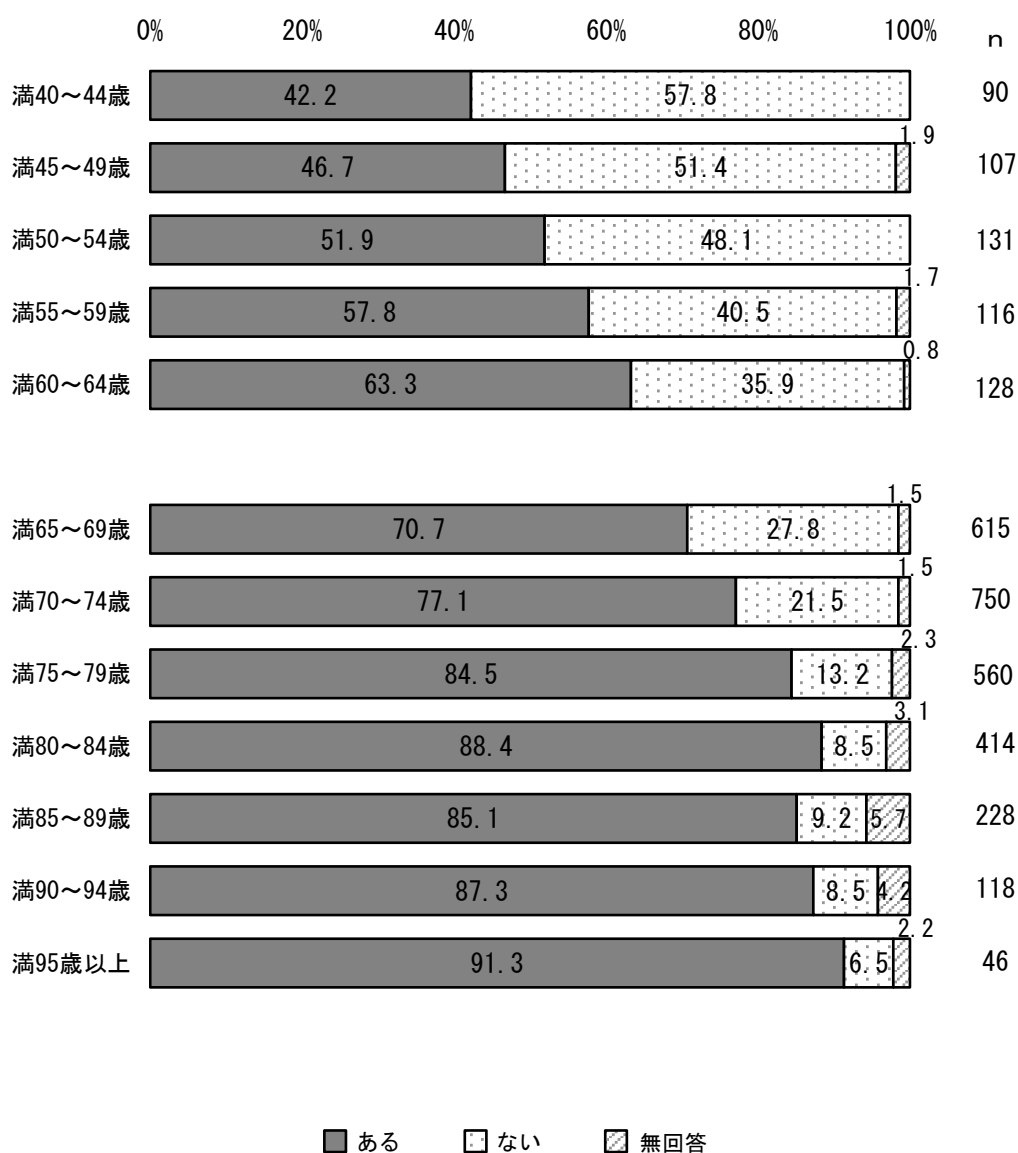
一方、「ない」は、64歳以下は46.0%、65歳以上は17.4%となっている。



【2 調査結果（心身の状況について）】

年齢別にみると、年齢層が高いほど「ある」とする割合が高い傾向にあり、64歳以下は、「満60～64歳」で63.3%、65歳以上は、「満95歳以上」で91.3%と最も高くなっている。

問4-8 かかりつけ医の有無 × 問1-4 年齢



【2 調査結果（心身の状況について）】

問4-9 かかりつけ歯科医の有無

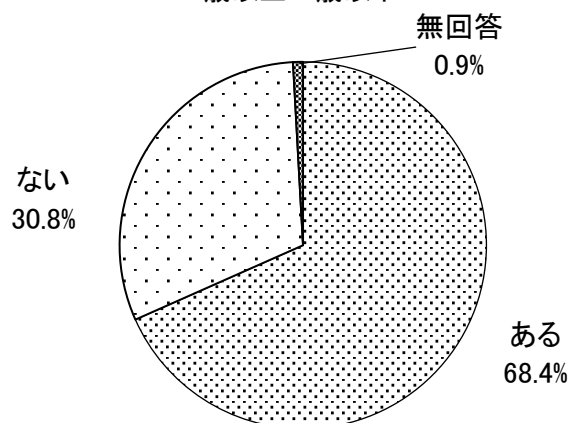
かかりつけ歯科医はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

かかりつけ歯科医があるか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「ある」が半数を超えており、64歳以下は68.4%、65歳以上は74.6%となっている。一方、「ない」は、64歳以下は30.8%、65歳以上は22.0%となっている。

問4-9 かかりつけ歯科医の有無

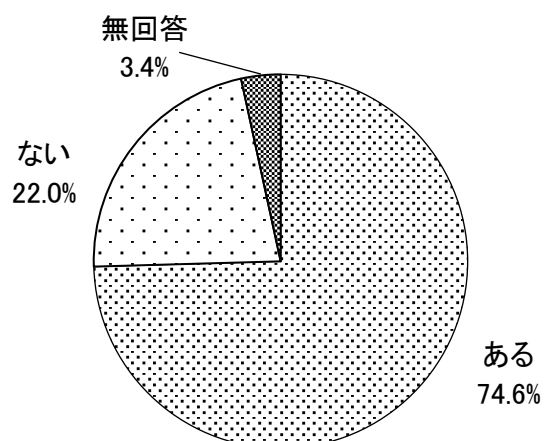
40歳以上64歳以下

n=572



65歳以上

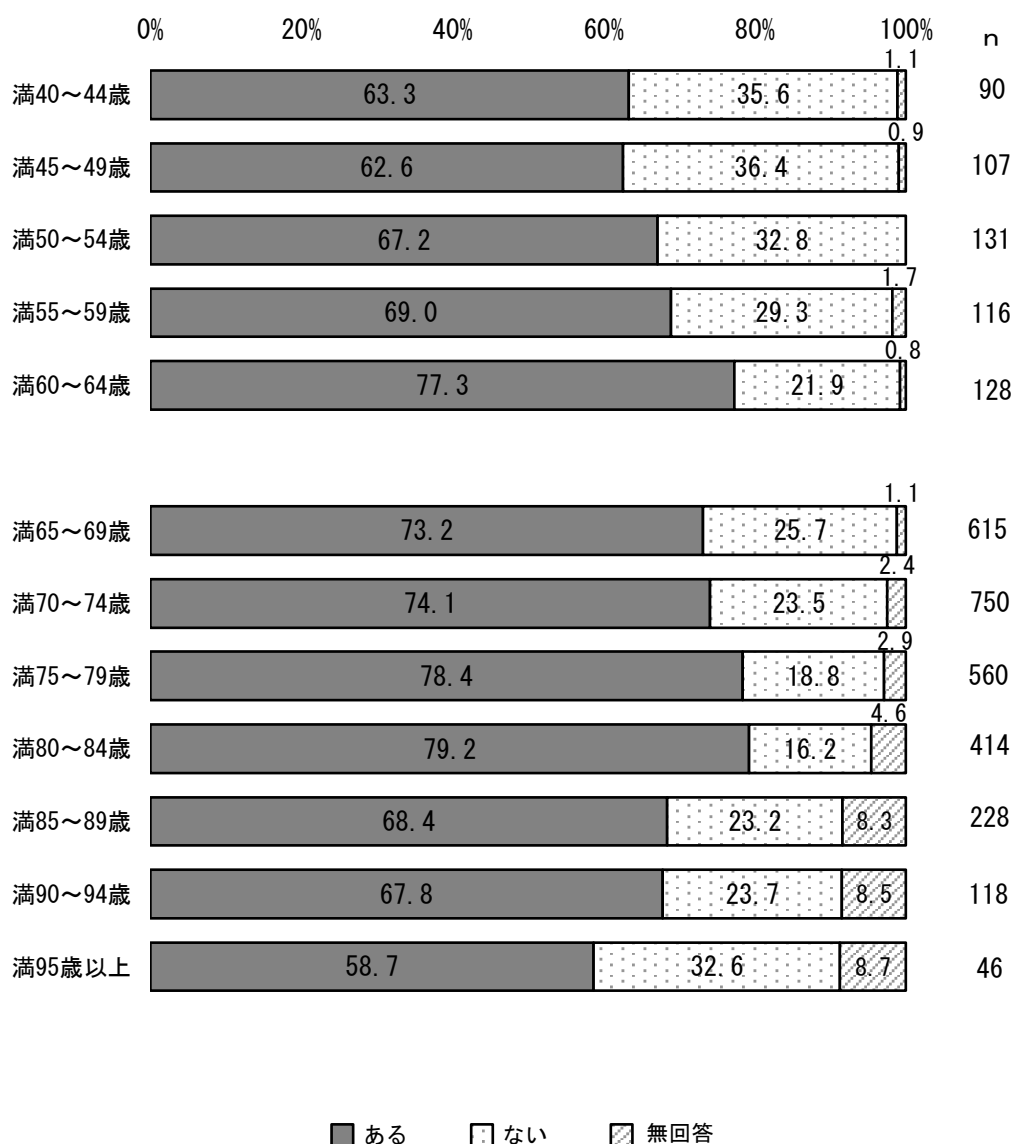
n=2,731



【2 調査結果（心身の状況について）】

年齢別にみると、「ある」の割合は、64歳以下は、「満60～64歳」が最も多く77.3%となっている。一方、65歳以上では「ある」の割合が「満80～84歳」が最も多く79.2%となっている。

問4-9 かかりつけ歯科医の有無 × 問1-4 年齢



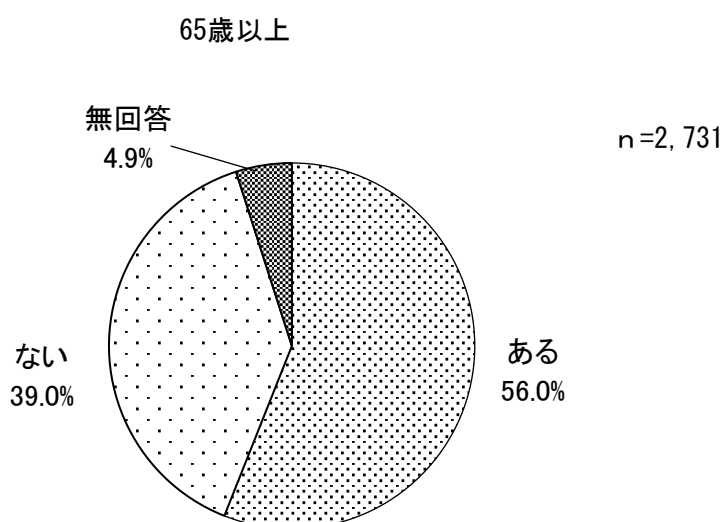
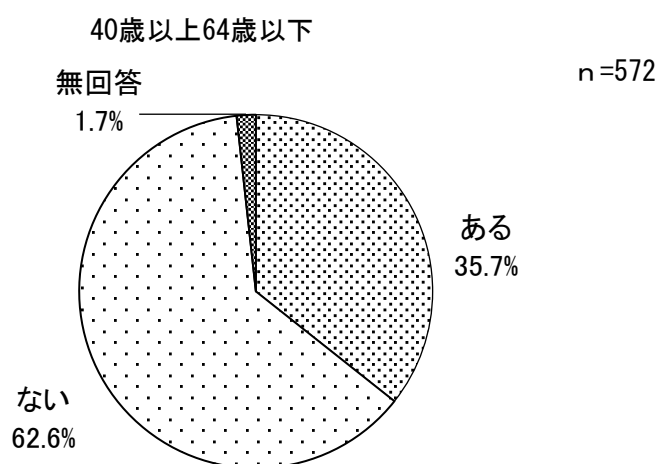
【2 調査結果（心身の状況について）】

問4-10 かかりつけ薬局の有無

かかりつけ薬局はありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

かかりつけ薬局があるか尋ねたところ、64歳以下は「ない」が62.6%、「ある」が35.7%となっており、65歳以上は「ある」が56.0%、「ない」が39.0%となっている。

問4-10 かかりつけ薬局の有無

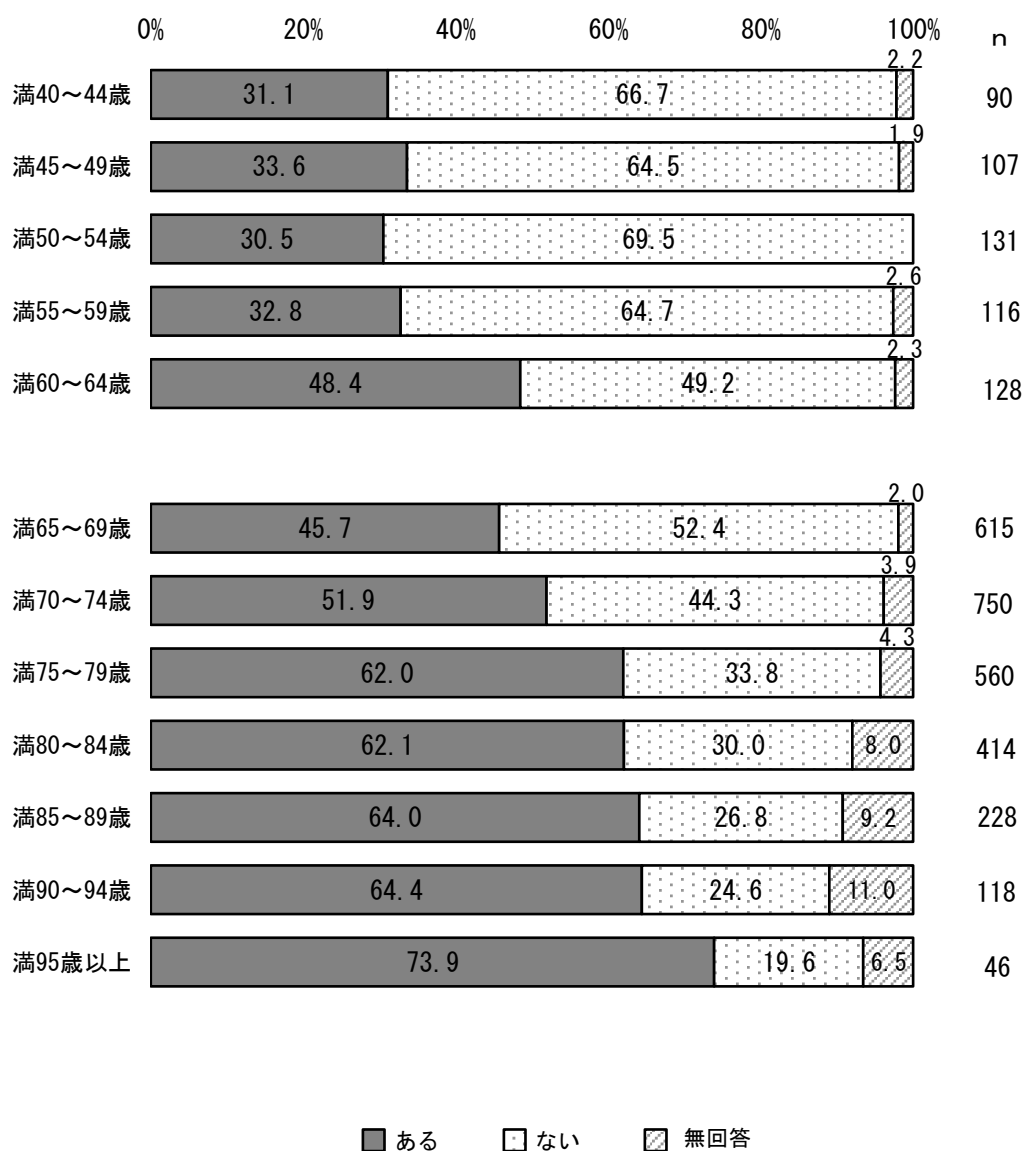


【2 調査結果（心身の状況について）】

年齢別にみると、64歳以下では全年齢層で「ない」の割合が多くなっており、「満50～54歳」（69.5%）で最も多くなっている。

65歳以上では、「ない」の割合が「満65～69歳」（52.4%）のみ多くなっている一方、「ある」の割合については満70歳以上のすべての年齢で半数を超えている。

問4-10 かかりつけ薬局の有無 × 問1-4 年齢

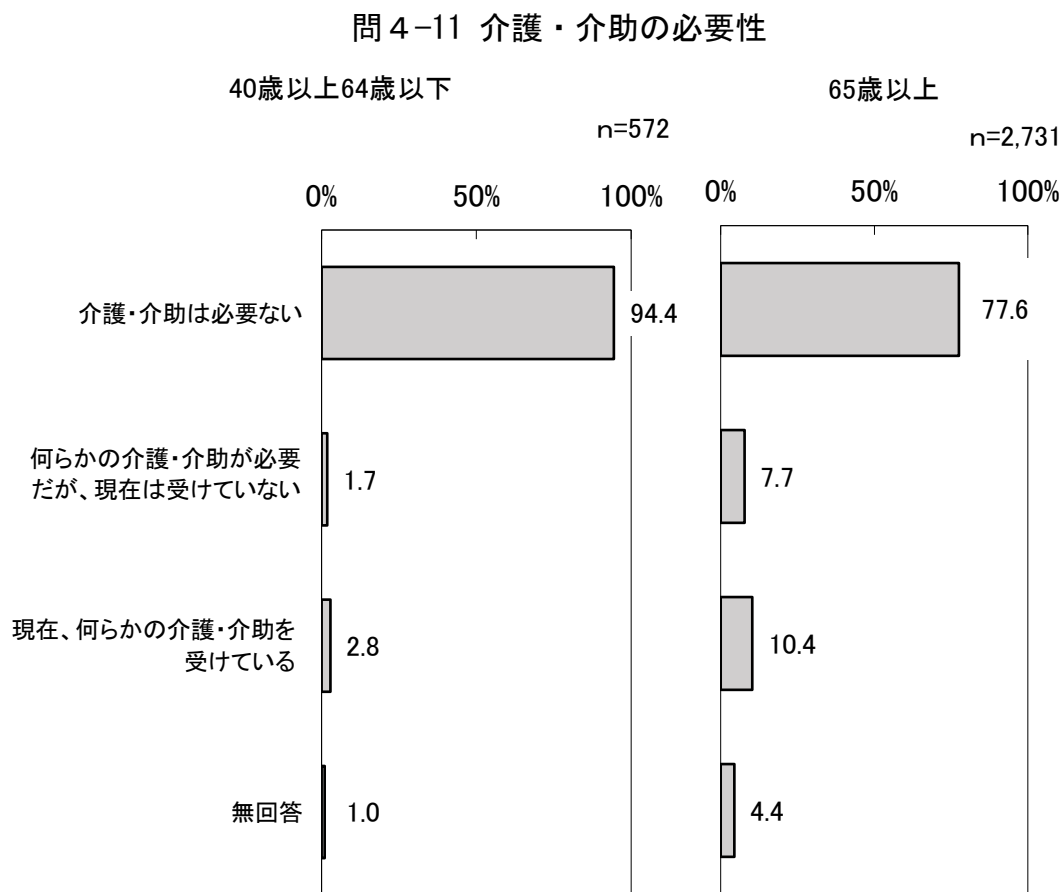


【2 調査結果（心身の状況について）】

問4-11 介護・介助の必要性

あなたは普段の生活でどなたかの介護[※]・介助が必要ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在、介護・介助が必要かを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「介護・介助は必要ない」が大半を占めており、64歳以下は94.4%、65歳以上が77.6%となっている。次いで多いのは「現在、何らかの介護・介助を受けている」で、64歳以下で2.8%、65歳以上で10.4%となっている。

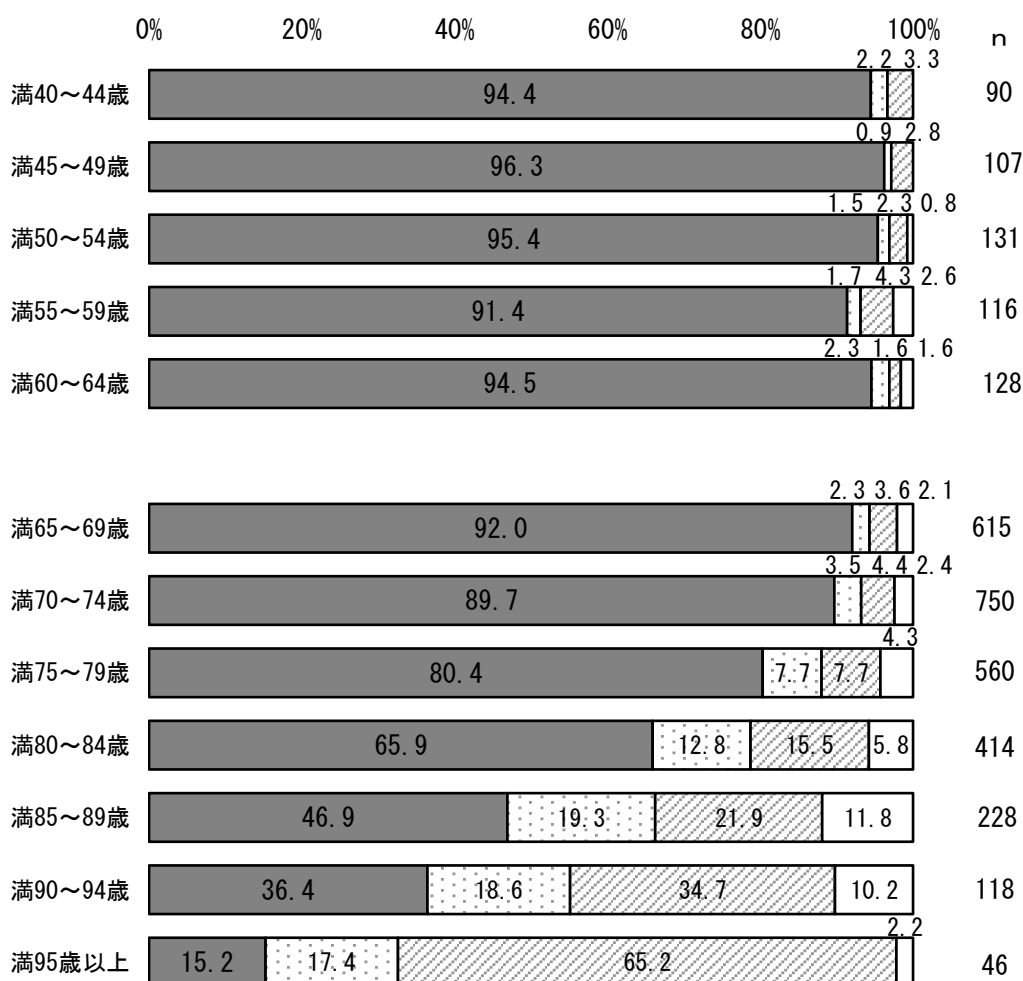


※ ここでの「介護」とは、介護保険のサービスを受けている場合のほか、介護保険の要介護（支援）認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態を含みます。

年齢別にみると、64歳以下ではすべての年齢層で「介護・介助は必要ない」の割合が多くなっており、9割を超えている。

65歳以上では年齢が高くなるにつれて「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合が多くなる傾向が見られ、「満95歳以上」（65.2%）が最も多くなっている。

問4-11 介護・介助の必要性 × 問1-4 年齢



- 介護・介助は必要ない
- 何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない
- 現在、何らかの介護・介助を受けている
- 無回答

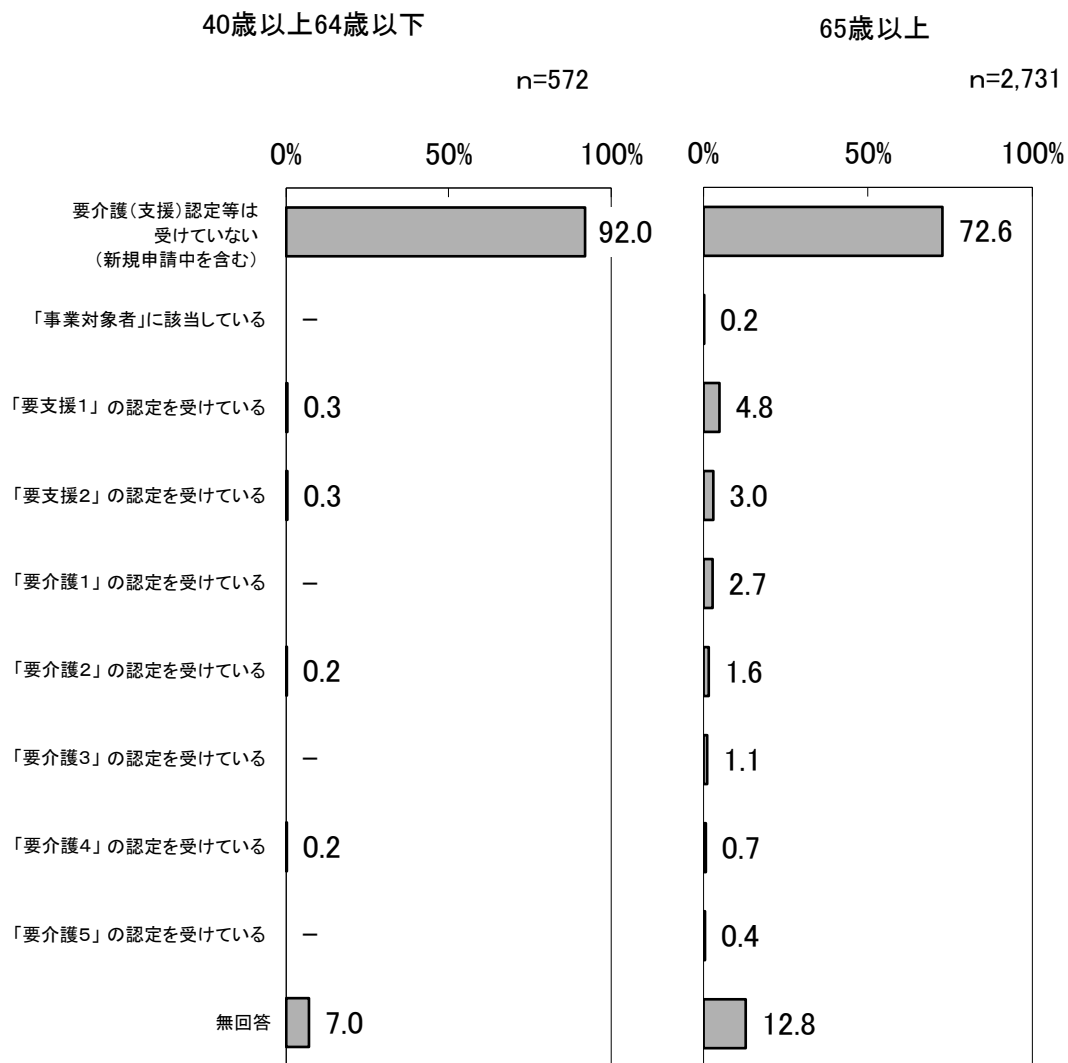
【2 調査結果（心身の状況について）】

問 4-12 要介護等認定状況

介護保険の要介護（支援）認定等は受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

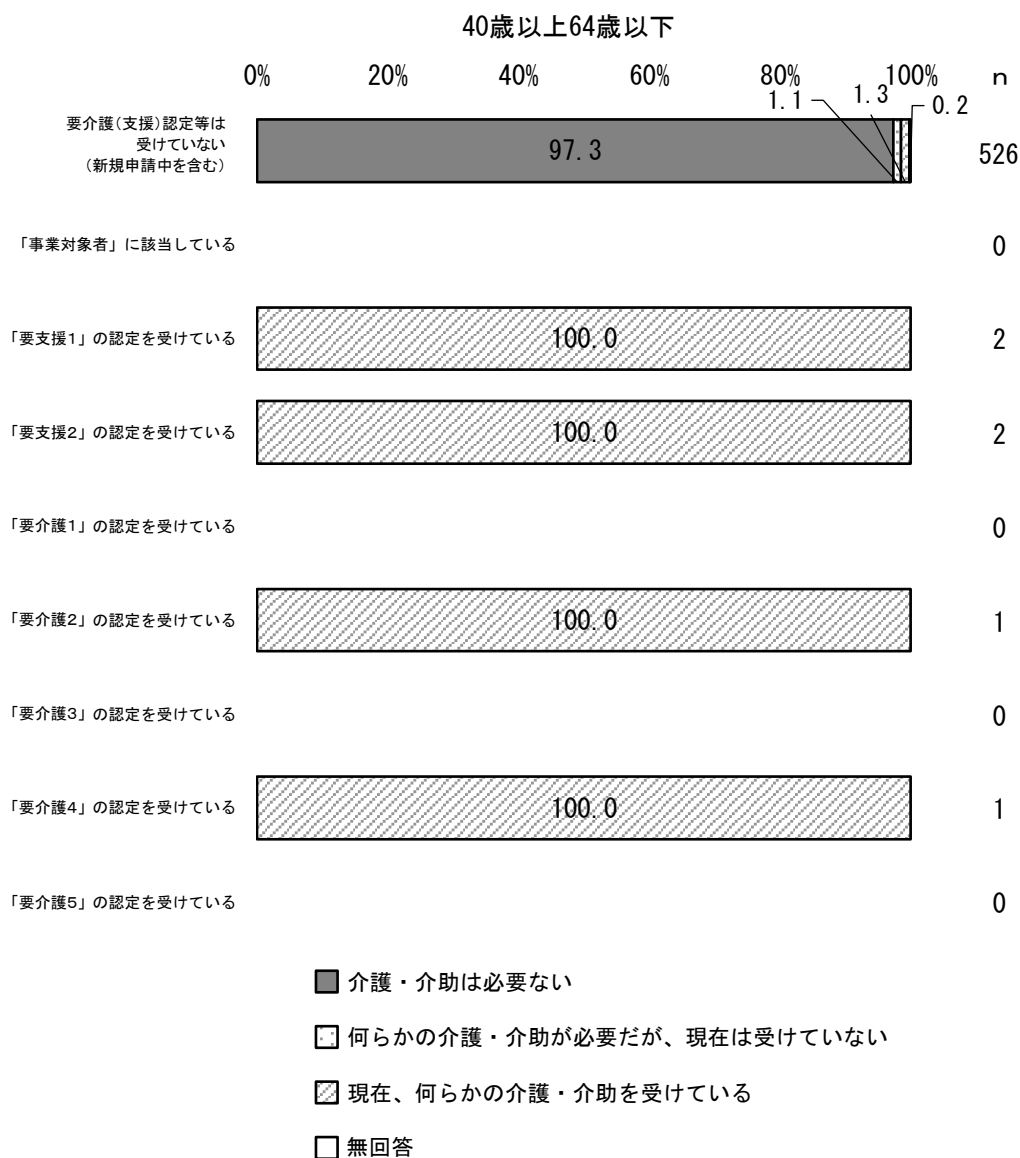
介護保険の要介護（支援）認定等を受けているか尋ねたところ、64 歳以下、65 歳以上ともに「要介護（支援）認定等を受けていない（新規申請中を含む）」が最も多く、64 歳以下では 92.0%、65 歳以上は 72.6%と、ともに半数を大きく超えている。

問 4-12 要介護等認定状況



要介護等認定状況別にみると、64歳以下で「要介護（支援）認定等は受けていない（新規申請中を含む）」と答えた方の殆どが「介護・介助は必要ない」（97.3%）となっている。

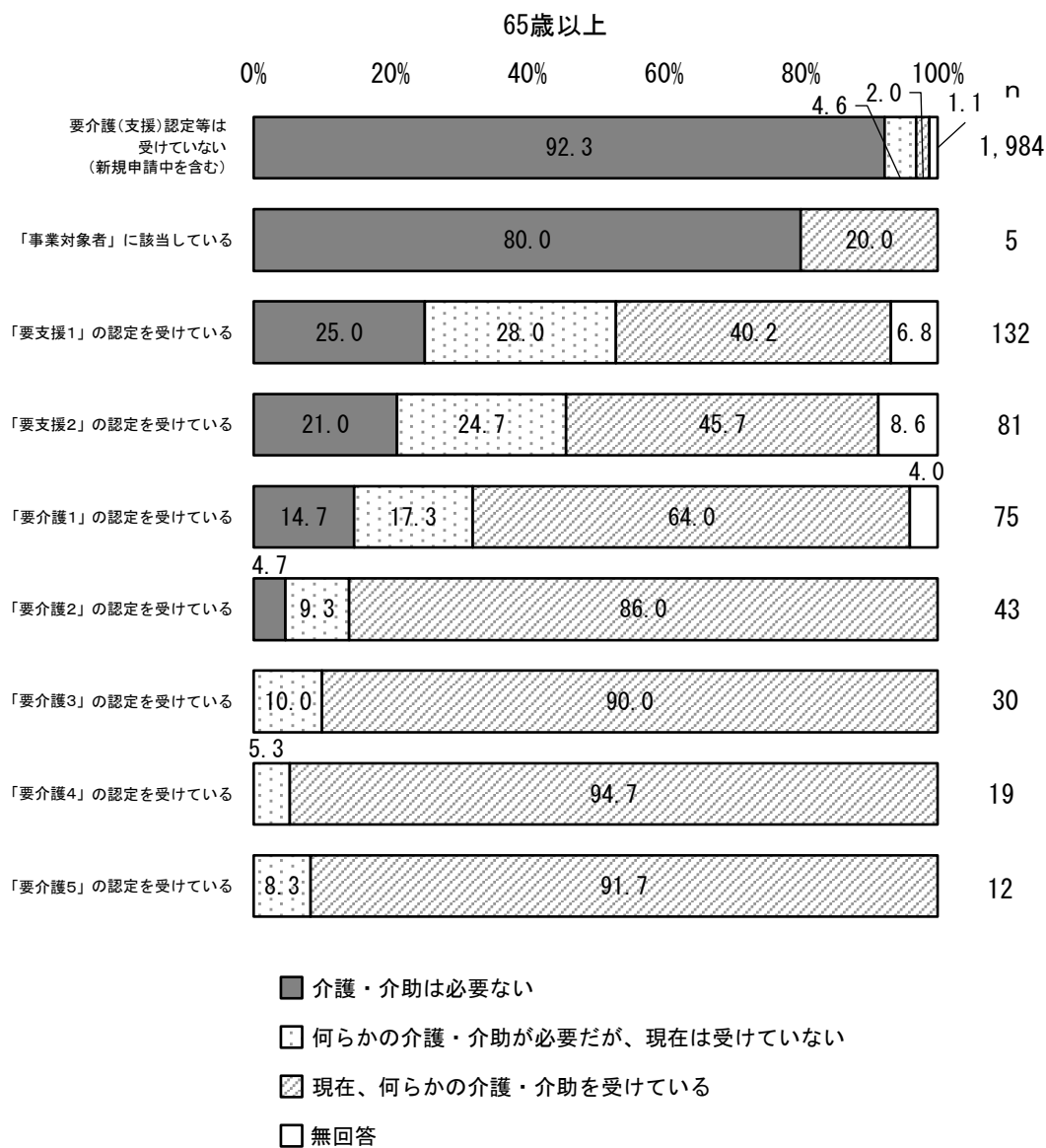
問4-11 介護・介助の必要性 × 問4-12 要介護等認定状況



【2 調査結果（心身の状況について）】

65歳以上では、要介護（支援）度が高くなるにつれて、「現在、何らかの介護・介助を受けている」の割合が多くなる傾向にある。

問4-11 介護・介助の必要性 × 問4-12 要介護等認定状況

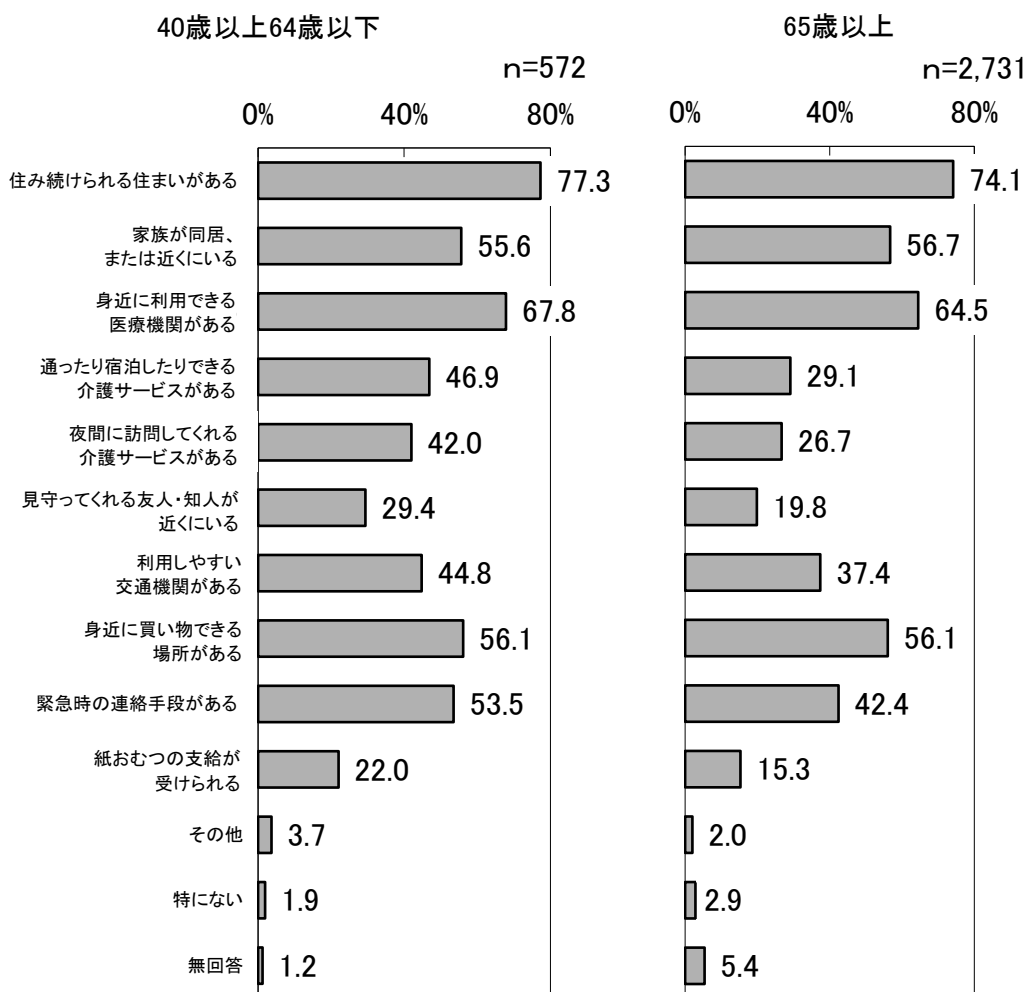


問4-13 在宅生活に必要なこと（複数回答）

介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要だと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

介護が必要になっても、在宅で暮らし続けるためには何が必要かを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「住み続けられる住まいがある」が最も多く、64歳以下では77.3%、65歳以上は74.1%となっている。次いで、64歳以下は「身近に利用できる医療機関がある」で67.8%、「身近に買い物できる場所がある」で56.1%となっており、65歳以上は「身近に利用できる医療機関がある」で64.5%、「家族が同居、または近くにいる」で56.7%となっている。

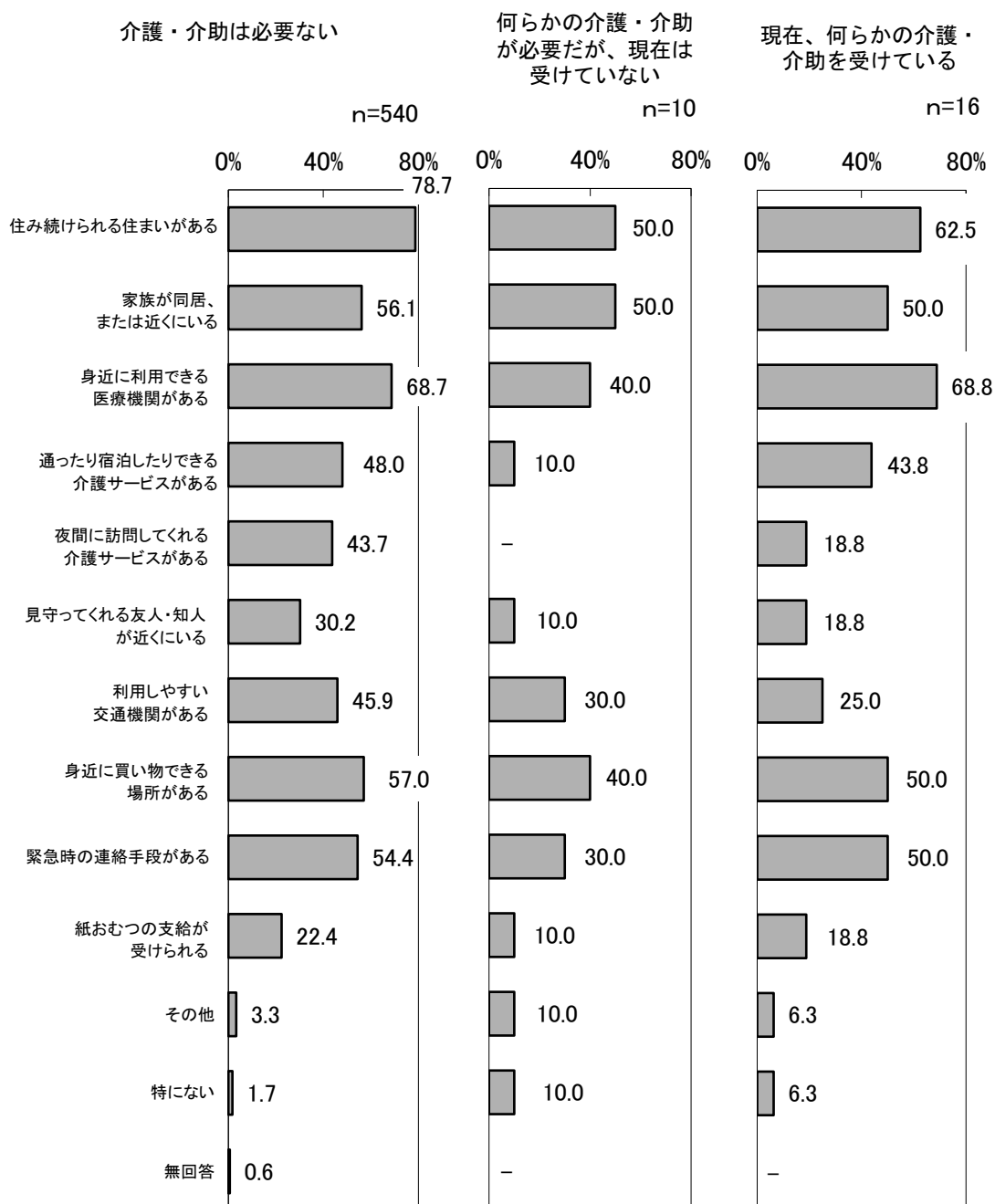
問4-13 在宅生活に必要なこと（複数回答）



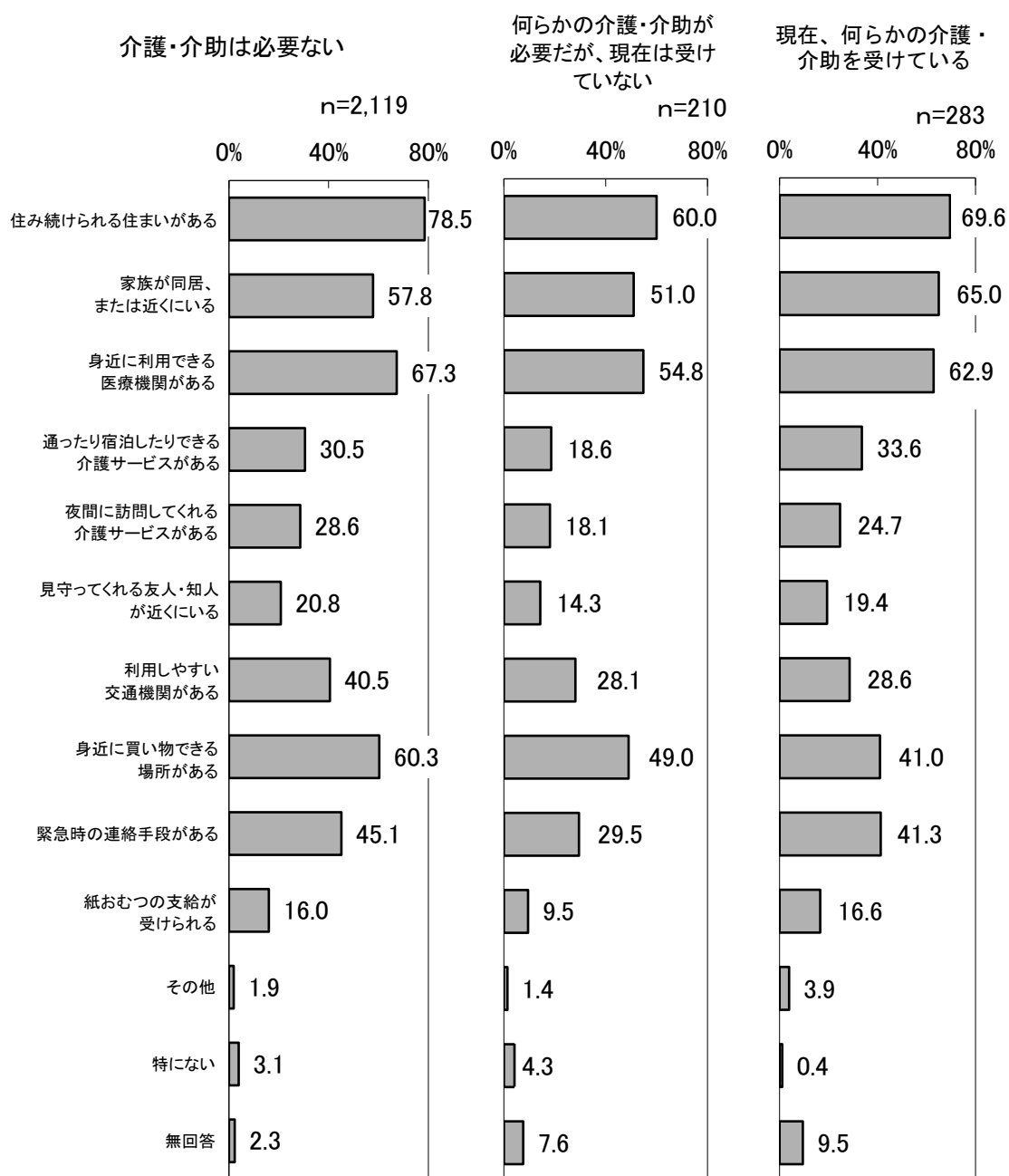
【2 調査結果（心身の状況について）】

介護・介助の必要性別にみると、64歳以下、65歳以上ともに「住み続けられる住まいがある」「身近に利用できる医療機関がある」が多くなる傾向にある。

問4-13 在宅生活に必要なこと（複数回答） × 問4-11 介護・介助の必要性
40歳以上 64歳以下



65 歳以上



【2 調査結果（生活状況について）】

2. 5 生活状況について

問5-1 身長・体重【65歳以上】

身長・体重を教えてください。下表の□の中に回答を記入してください（小数点第1位まで）。

身長と体重を尋ねたところ、65歳以上の男性の身長の平均は166.2cm、体重は65.0kgとなっており、女性は身長が152.4cm、体重が52.2kgとなっている。

一方、令和元年の国民健康・栄養調査における身長・体重平均値は、男性の身長が163.9cm、体重は63.4kgとなっており、女性は身長が150.3cm、体重が51.7kgとなっている。

		身長 (cm)		体重 (kg)	
		人数	平均値	人数	平均値
男性	全体	1,122	166.2	1,124	65.0
	満65～69歳	281	168.6	280	67.3
	満70～74歳	329	167.0	327	65.6
	満75～79歳	233	166.0	233	65.3
	満80～84歳	159	164.2	161	62.4
	満85～89歳	86	162.5	88	61.8
	満90～94歳	29	160.3	30	60.1
	満95歳以上	5	159.8	5	52.0
女性	全体	1,389	152.4	1,386	52.2
	満65～69歳	304	154.8	300	54.7
	満70～74歳	384	152.8	385	52.9
	満75～79歳	286	152.4	286	51.9
	満80～84歳	210	151.5	207	50.8
	満85～89歳	110	150.3	110	51.0
	満90～94歳	58	148.4	61	47.9
	満95歳以上	37	145.7	37	44.8

【2 調査結果（生活状況について）】

【参考】令和元年国民健康・栄養調査 身長・体重平均値

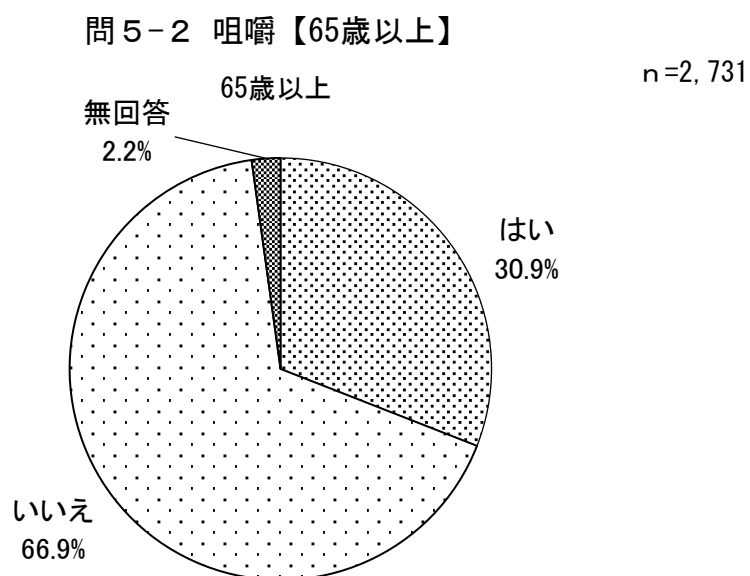
		身長 (cm)		体重 (kg)	
		人数	平均値	人数	平均値
男性	全体	896	163.9	895	63.4
	満65～69歳	277	166.5	277	66.9
	満70～74歳	245	164.5	245	63.7
	満75～79歳	204	163.3	204	62.8
	満80歳以上	170	161.1	169	60.1
女性	全体	1,027	150.3	1,027	51.7
	満65～69歳	290	153.3	290	54.0
	満70～74歳	291	151.4	290	52.9
	満75～79歳	212	149.8	213	51.4
	満80歳以上	234	146.6	234	48.6

【2 調査結果（生活状況について）】

問5-2 咀嚼【65歳以上】

半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

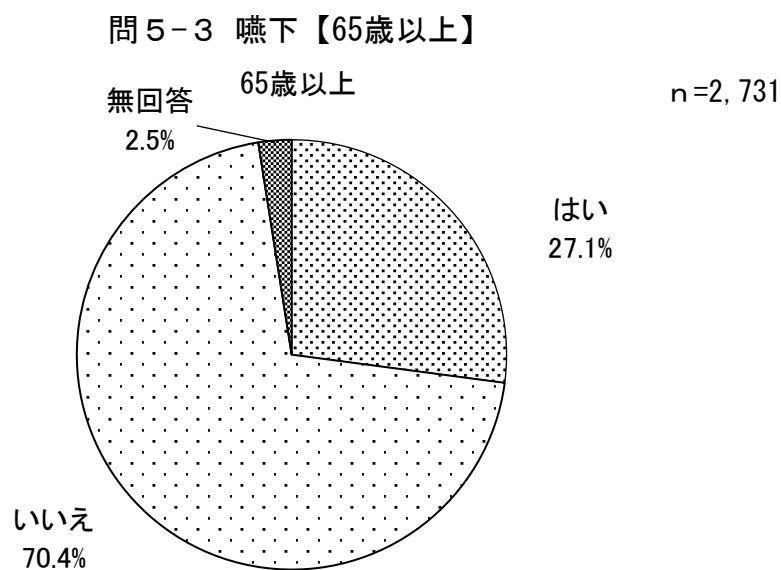
半年前と比較して固いものの食べにくさがあるかを尋ねたところ、「いいえ」が66.9%、「はい」が30.9%となっている。



問5-3 嚥下【65歳以上】

お茶や汁物などでむせることがありますか。当てはまるものもの1つに○をつけてください。

お茶や汁物でむせることがあるかを尋ねたところ、「いいえ」が70.4%、「はい」が27.1%となっている。

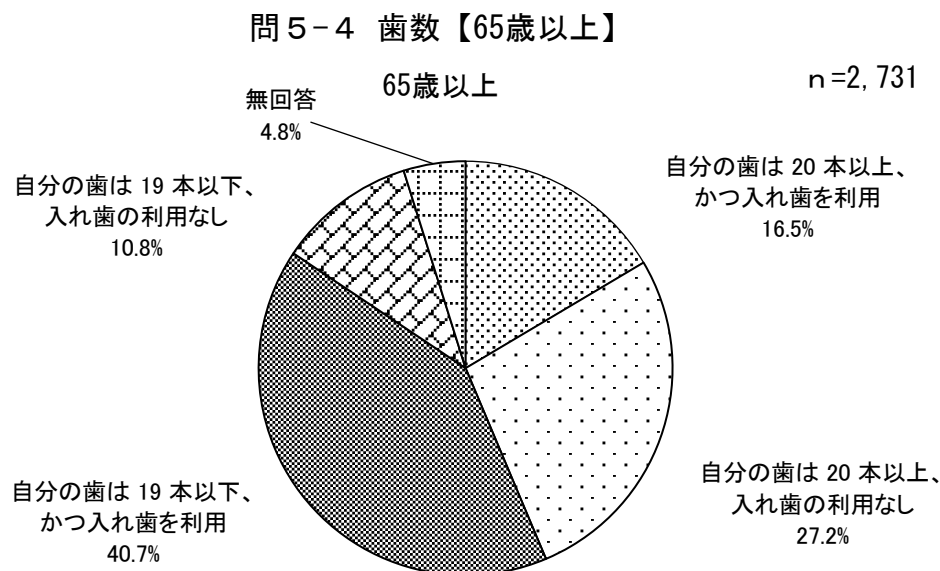


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-4 歯数【65歳以上】

歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

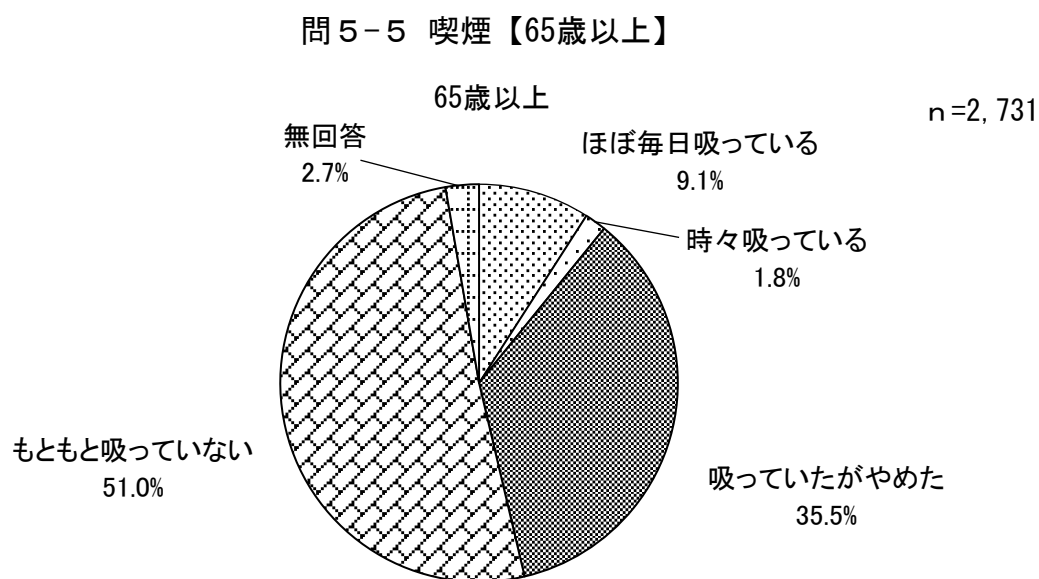
歯の数と入れ歯の利用状況について尋ねたところ、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」（40.7%）が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」（27.2%）、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」（16.5%）となっている。



問5-5 喫煙【65歳以上】

タバコは吸っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

喫煙について尋ねたところ、「もともと吸っていない」(51.0%)が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(35.5%)、「ほぼ毎日吸っている」(9.1%)となっている。

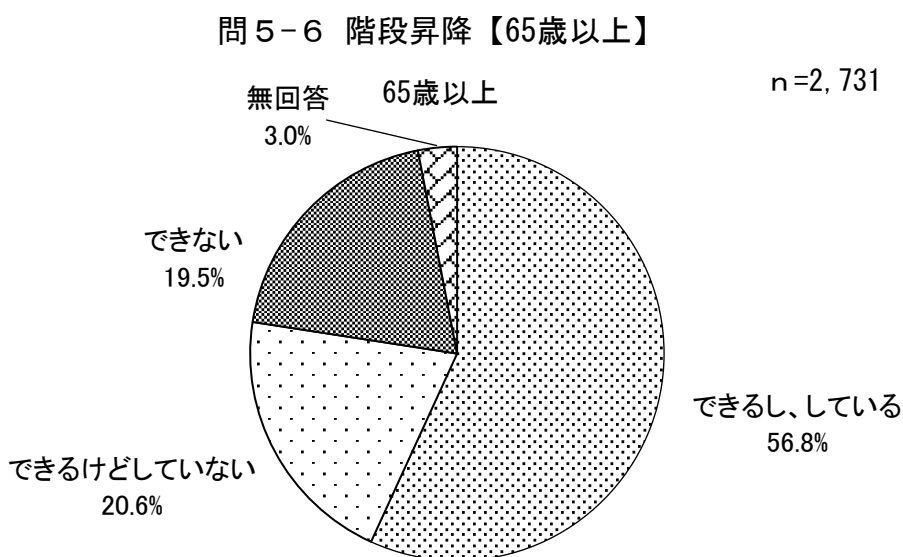


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-6 階段昇降【65歳以上】

階段を手すりや壁をつたわずに上がっていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

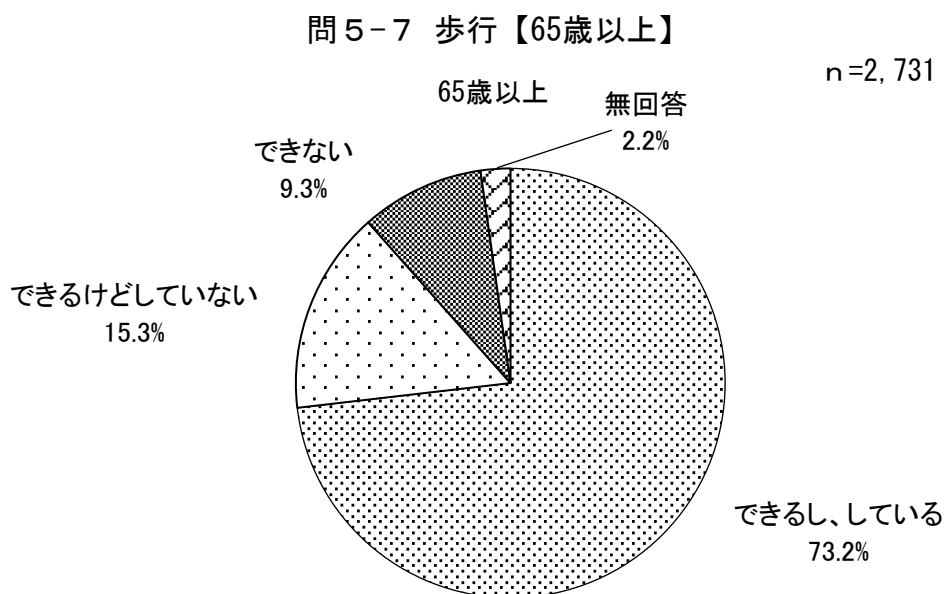
階段昇降が手すりや壁をつたわずにできるかを尋ねたところ、「できるし、している」(56.8%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(20.6%)、「できない」(19.5%)となっている。



問5-7 歩行【65歳以上】

15分位続けて歩いていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

15分位続けて歩いているかを尋ねたところ、「できるし、している」(73.2%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(15.3%)、「できない」(9.3%)となっている。

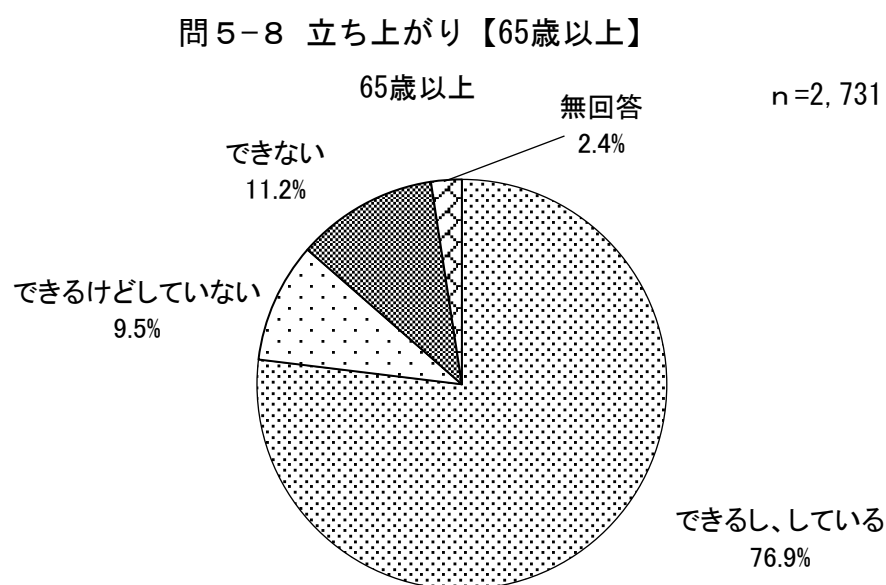


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-8 立ち上がり【65歳以上】

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかを尋ねたところ、「できるし、している」(76.9%)が最も多く、次いで「できない」(11.2%)、「できるけどしていない」(9.5%)となっている。

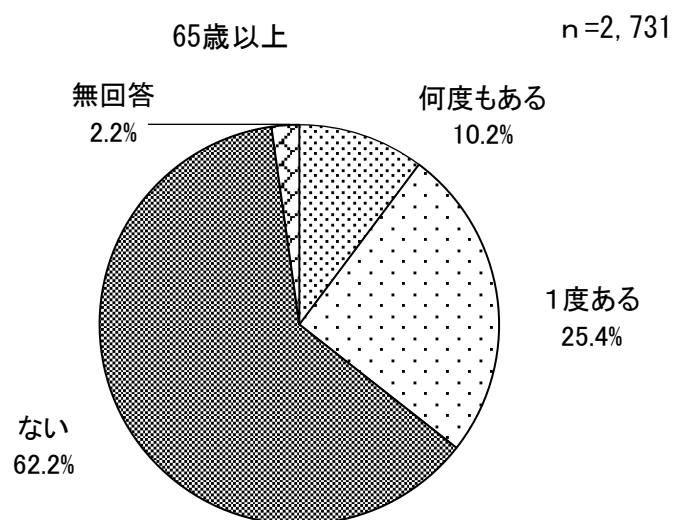


問5-9 過去1年間の転倒【65歳以上】

過去1年間に転んだ経験がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

過去1年間に転んだことがあるかを尋ねたところ、「ない」(62.2%)が最も多く、次いで「1度ある」(25.4%)、「何度もある」(10.2%)となっている。

問5-9 過去1年間の転倒【65歳以上】

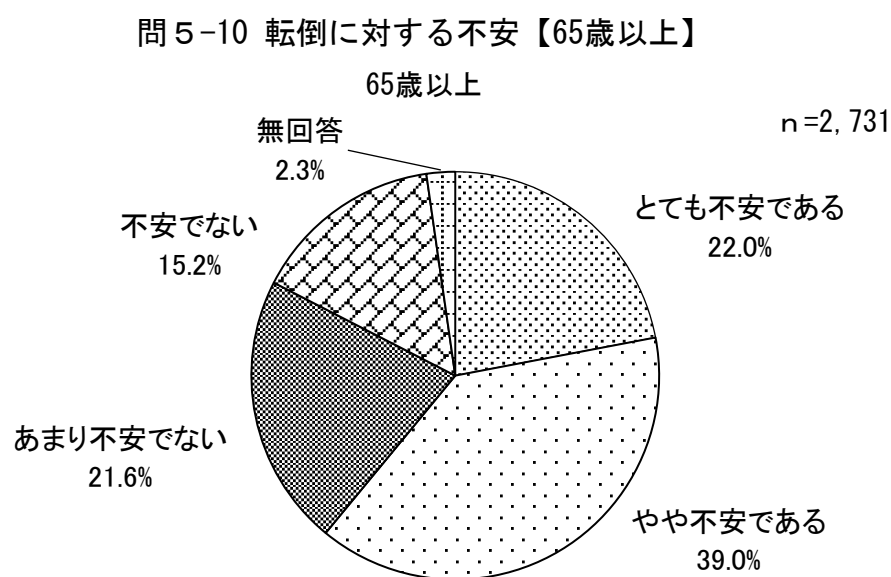


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-10 転倒に対する不安【65歳以上】

転倒に対する不安は大きいですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

転倒に対する不安は大きいかを尋ねたところ、「とても不安である」と「やや不安である」が合わせて61.0%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせて36.8%となっている。

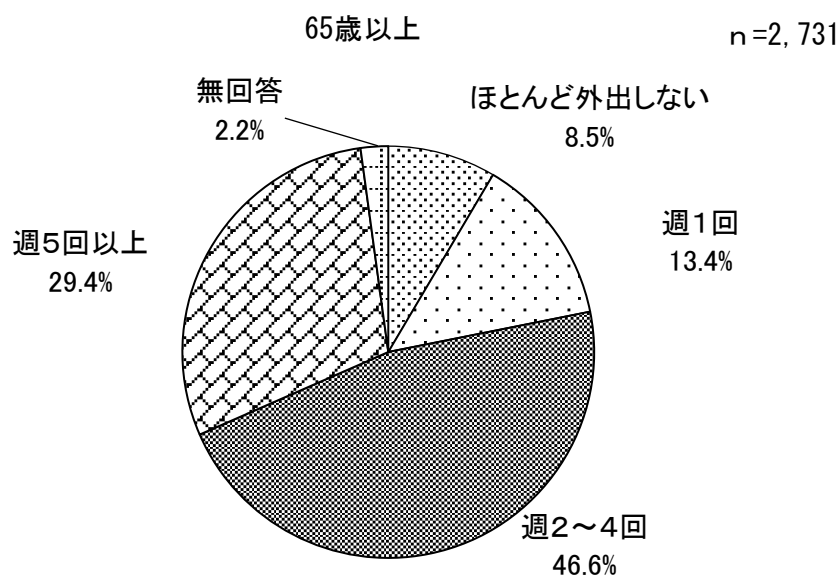


問5-11 外出頻度【65歳以上】

週に1回以上は外出していますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

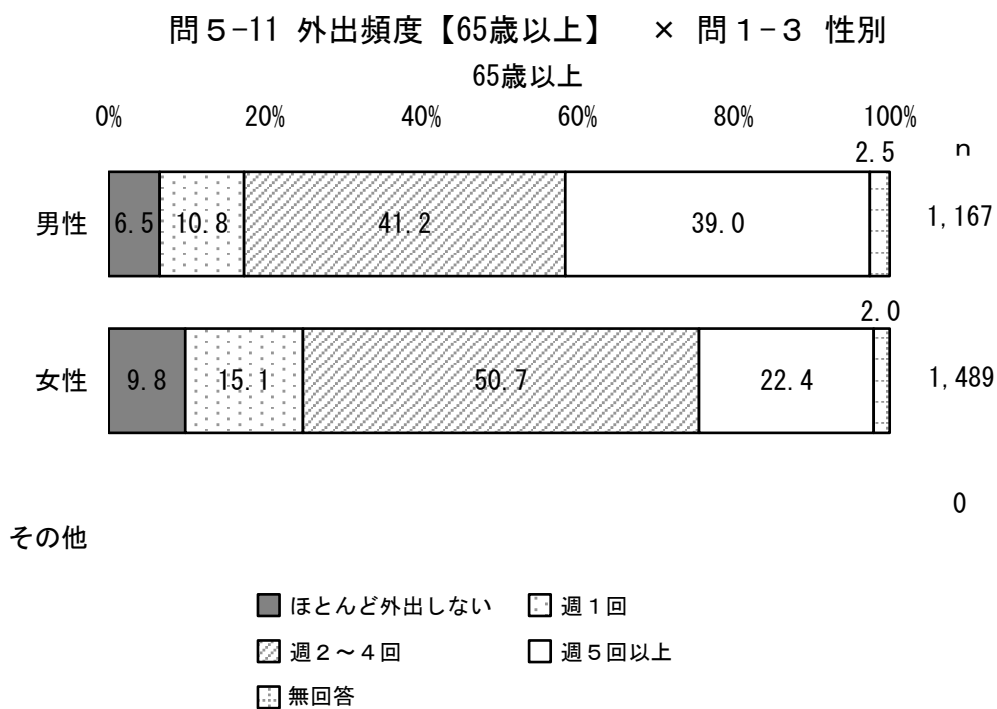
週に1回以上は外出しているかを尋ねたところ、「週2～4回」（46.6%）が最も多く、次いで「週5回以上」（29.4%）、「週1回」（13.4%）となっている。

問5-11 外出頻度【65歳以上】



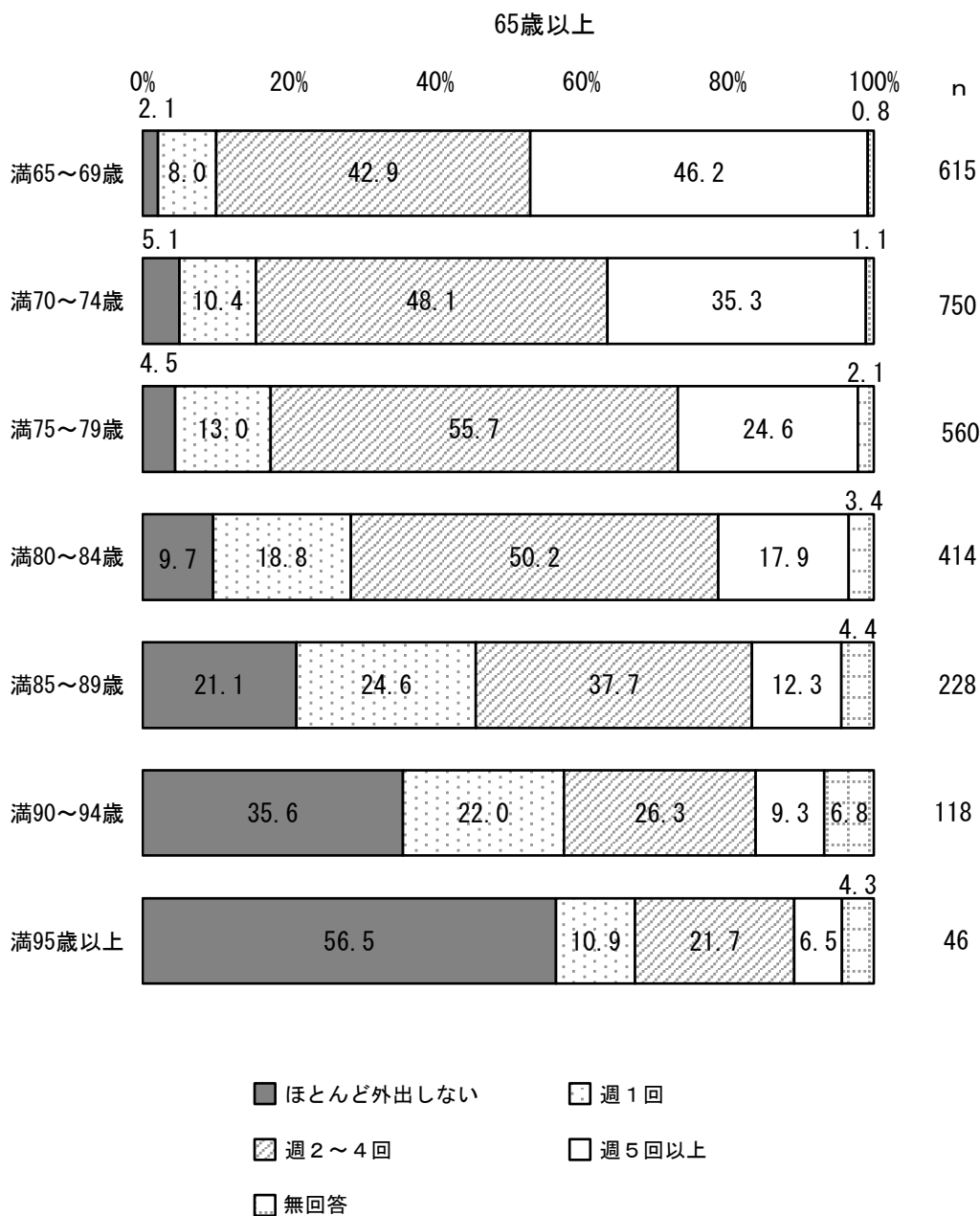
【2 調査結果（生活状況について）】

男女別にみると、男性、女性ともに「週2～4回」が最も多く、男性は41.2%、女性は50.7%となっている。次いで「週5回以上」が多く、男性は39.0%、女性は22.4%となっている。



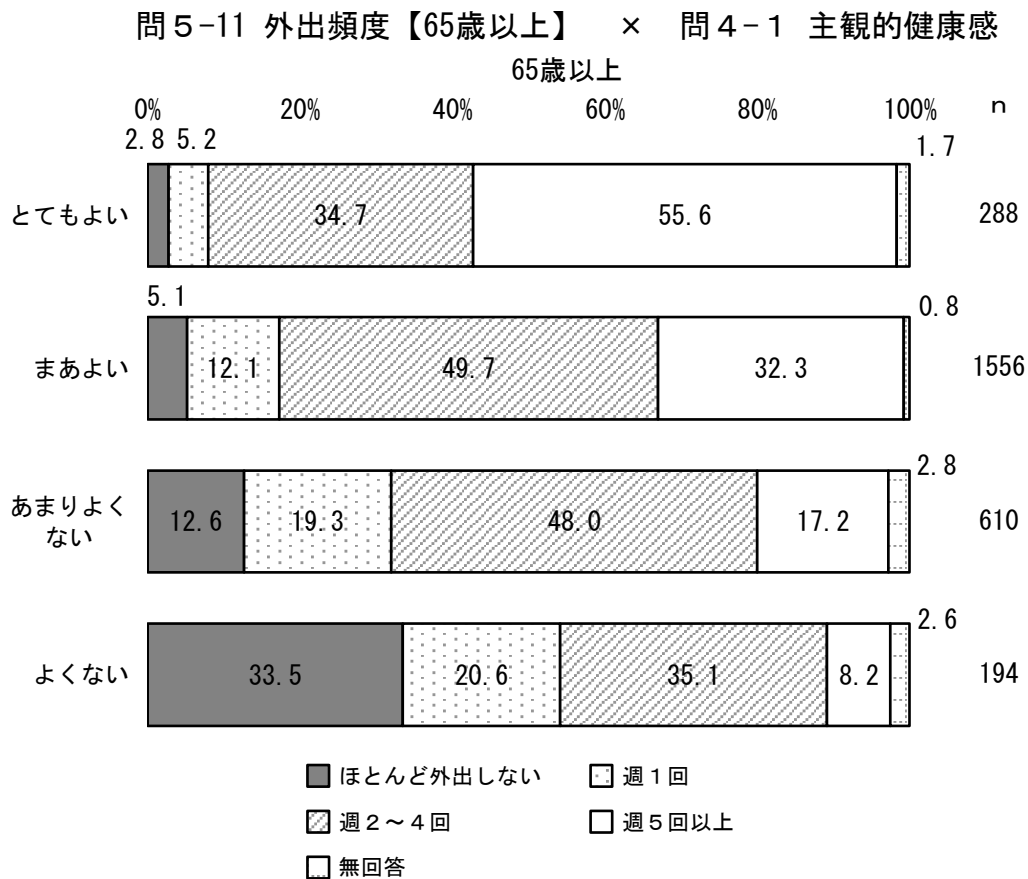
年齢別にみると、年齢層が高いほど「ほとんど外出しない」とする割合が多い傾向にあり、満95歳以上は、56.5%となっている。

問5-11 外出頻度【65歳以上】 × 問1-4 年齢

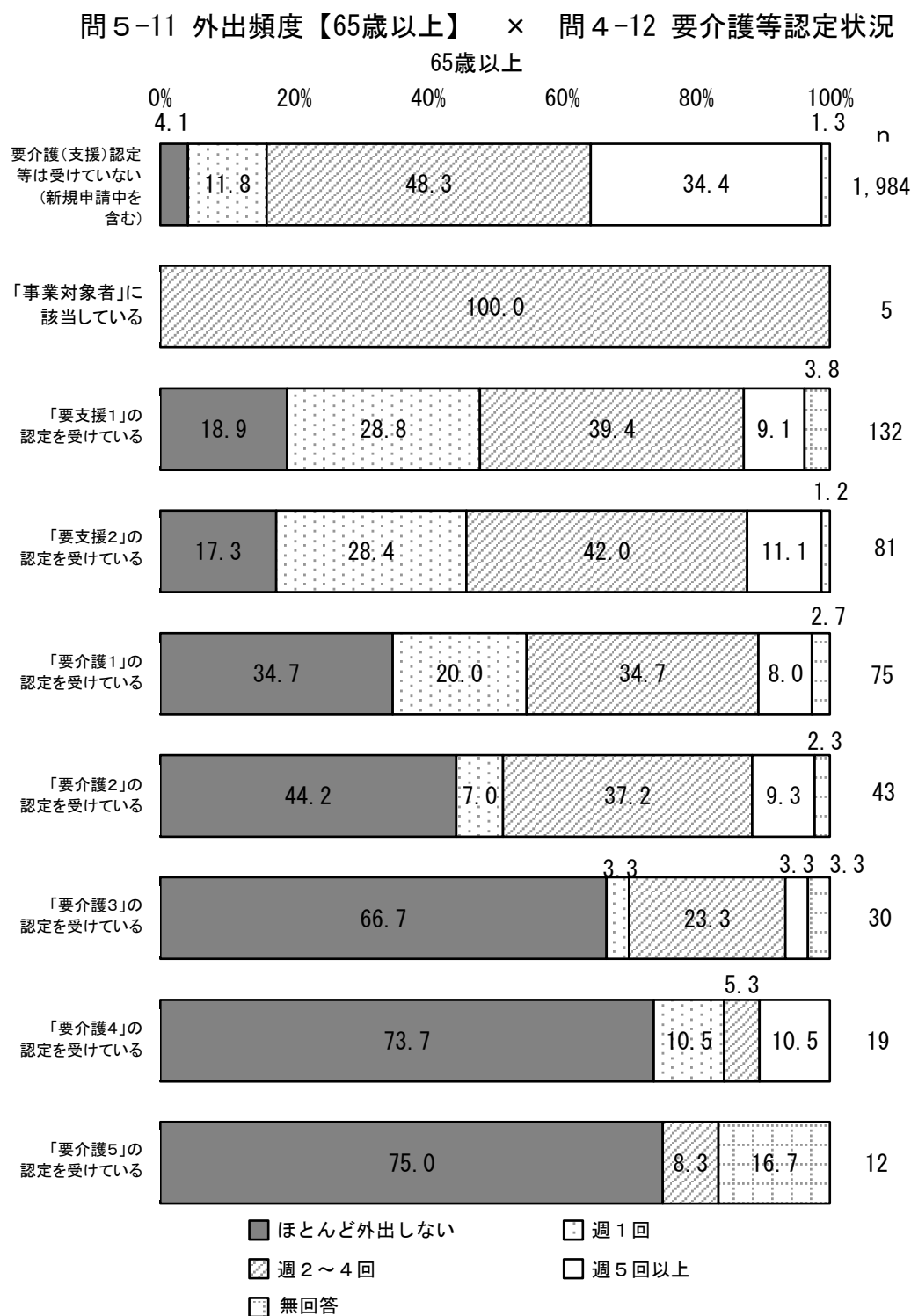


【2 調査結果（生活状況について）】

主観的健康感別に見ると、「とてもよい」は週5回以上外出する割合が55.6%と半数以上を占めており、次いで「まあよい」(32.3%)、「あまりよくない」(17.2%)、「よくない」(8.2%)となっている。



要介護等認定状況別にみると、要介護（支援）度が高まるほど「ほとんど外出しない」の割合が多くなる傾向にある。

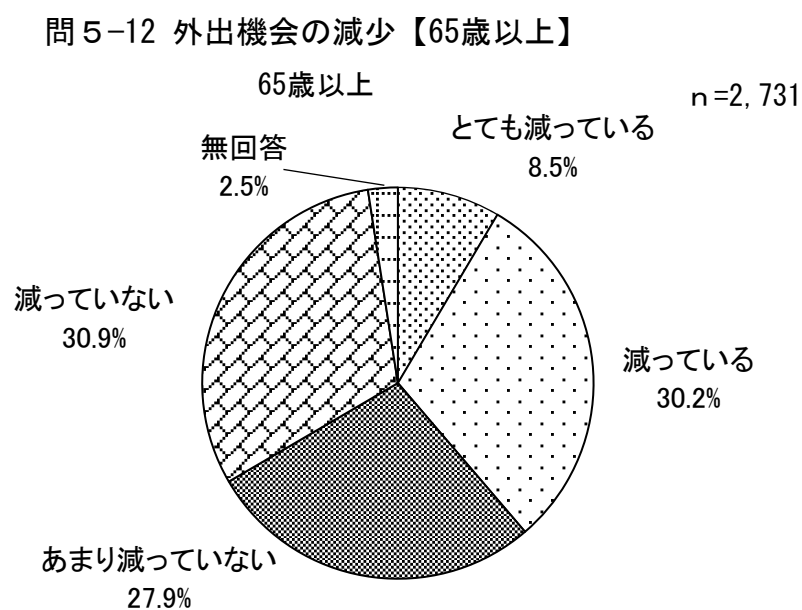


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-12 外出機会の減少【65歳以上】

昨年と比べて外出回数が減っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

昨年と比べて外出回数が減っているかを尋ねたところ、「とても減っている」と「減っている」が合わせて38.7%、「あまり減っていない」と「減っていない」が合わせて58.8%となっている。



問5-13 移動手段【65歳以上】（複数回答）

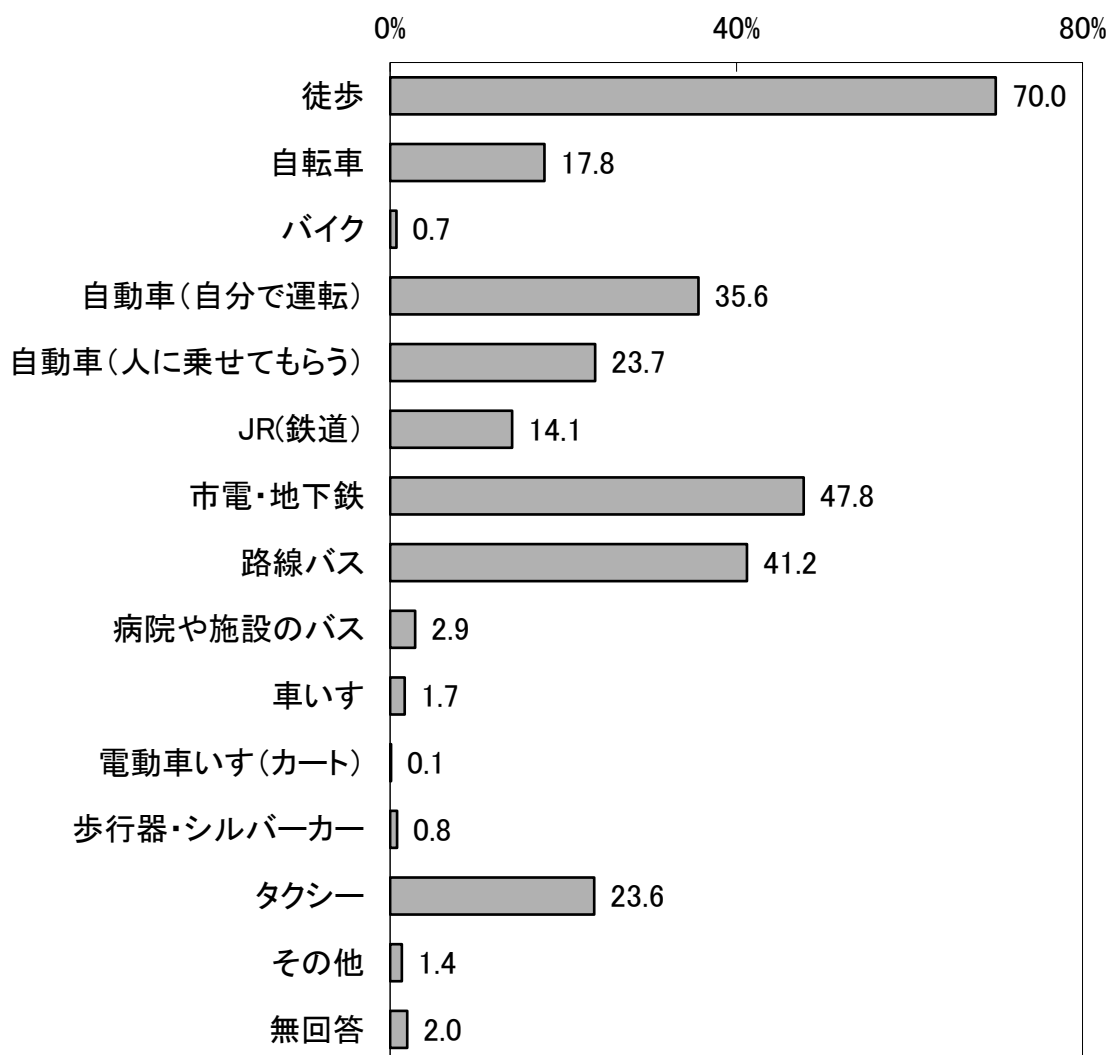
外出する際の移動手段は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

外出する際の移動手段について尋ねたところ、「徒歩」(70.0%) が最も多く、次いで「市電・地下鉄」(47.8%)、「路線バス」(41.2%) となっている。

問5-13 移動手段【65歳以上】（複数回答）

65歳以上

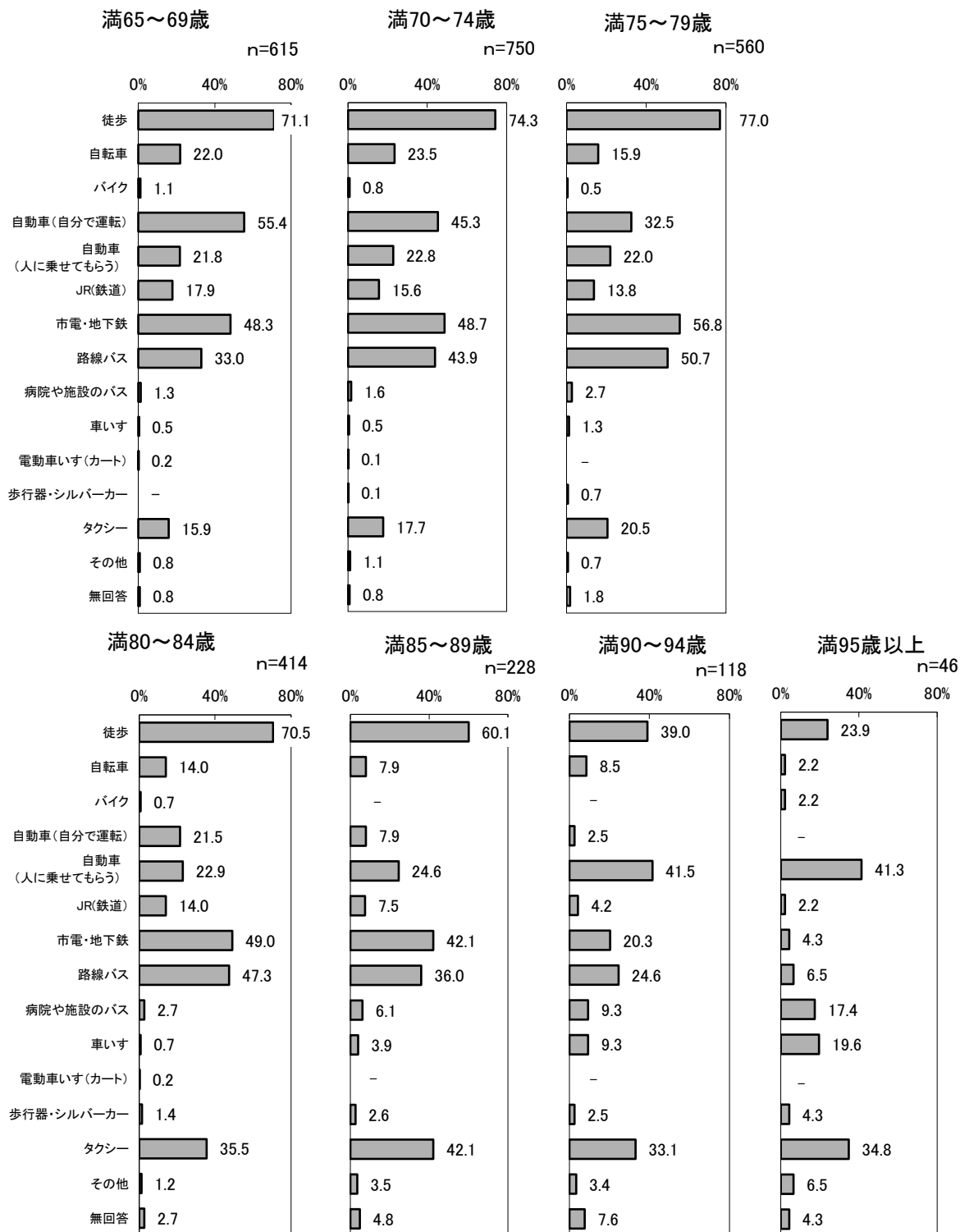
n=2,731



【2 調査結果（生活状況について）】

年齢別にみると、「満85～89歳」までは「徒歩」が最も多くなっており、「満90～94歳」、「満95歳以上」は「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多くなっている。

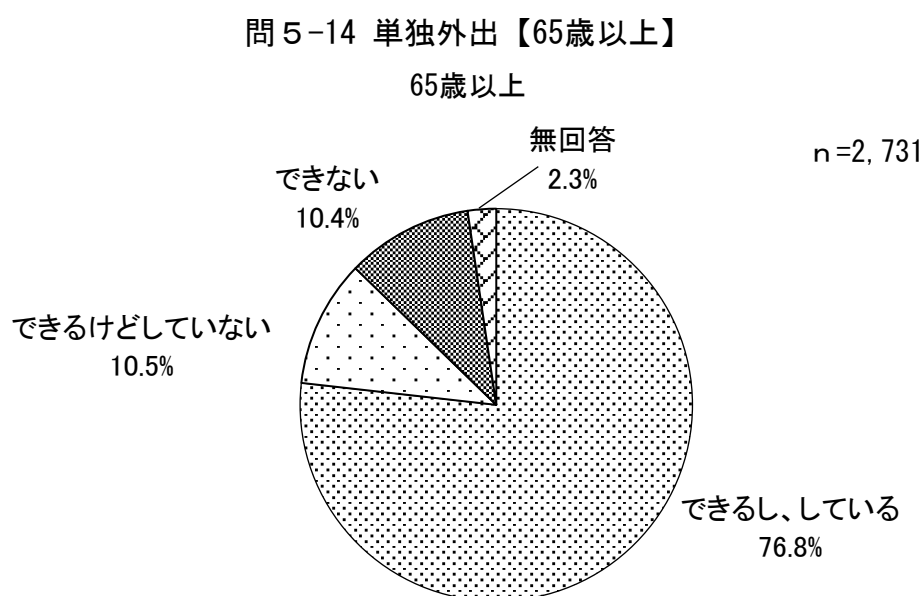
問5-13 移動手段【65歳以上】（複数回答） × 問1-4 年齢



問5-14 単独外出【65歳以上】

バスやJR（鉄道）、市電・地下鉄を使って1人で外出していますか（自家用車での外出も含めます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

バスや電車を使って1人で外出しているかを尋ねたところ、「できるし、している」（76.8%）が最も多く、次いで「できるけどしていない」（10.5%）、「できない」（10.4%）となっている。

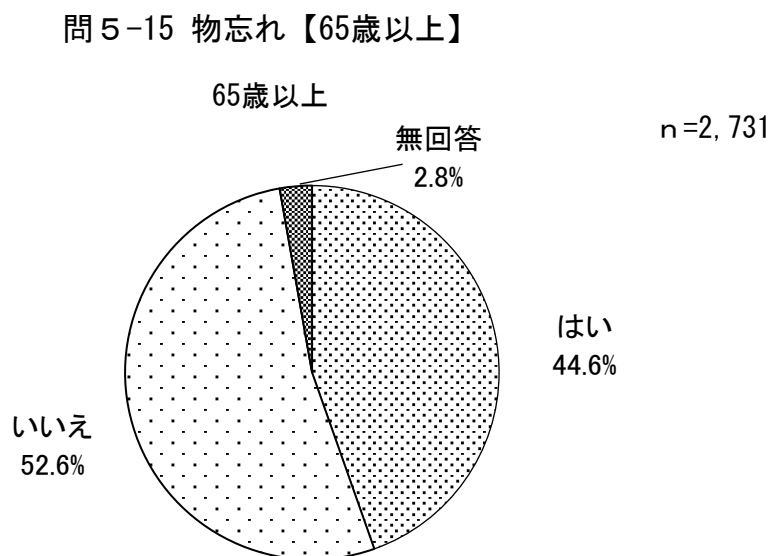


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-15 物忘れ【65歳以上】

物忘れが多いと感じますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

物忘れが多いと感じるかを尋ねたところ、「いいえ」が52.6%、「はい」が44.6%となっている。



問5-16 幸福度【65歳以上】

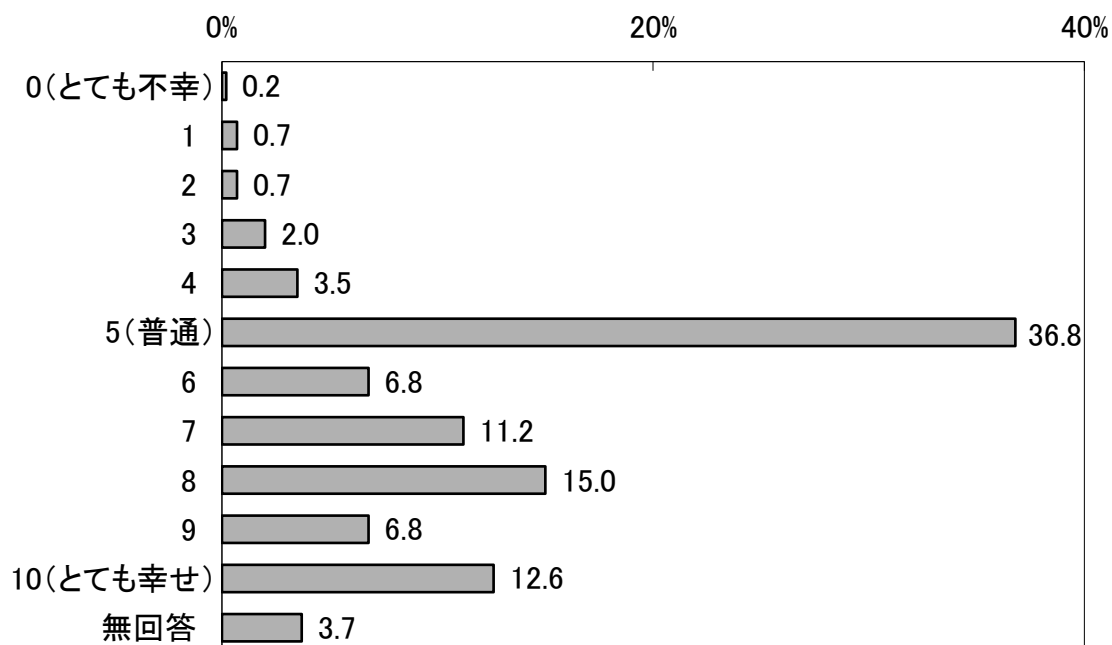
あなたは、現在どの程度幸せですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在の幸福度について尋ねたところ、「5（普通）」（36.8%）が最も多く、次いで「8」（15.0%）、「10（とても幸せ）」（12.6%）となっている。

問5-16 幸福度【65歳以上】

65歳以上

n=2,731



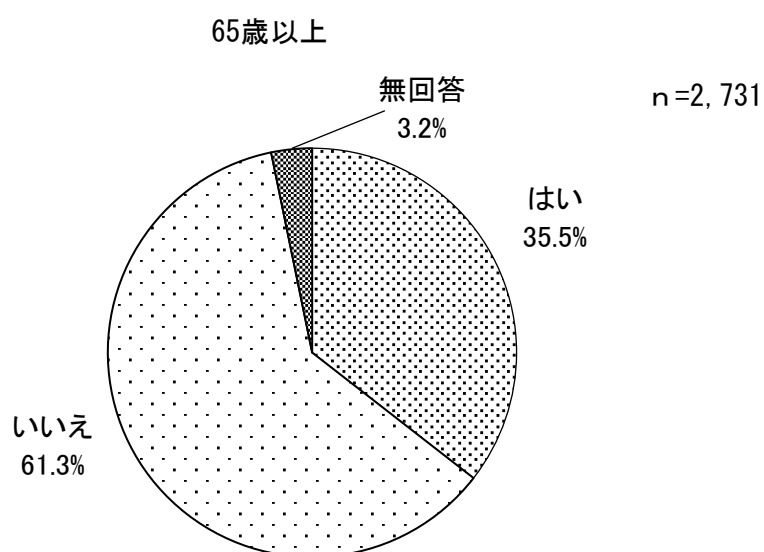
【2 調査結果（生活状況について）】

問5-17 抑うつ（気分・気持ち）【65歳以上】

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかを尋ねたところ、「いいえ」が61.3%、「はい」が35.5%となっている。

問5-17 抑うつ（気分・気持ち）【65歳以上】

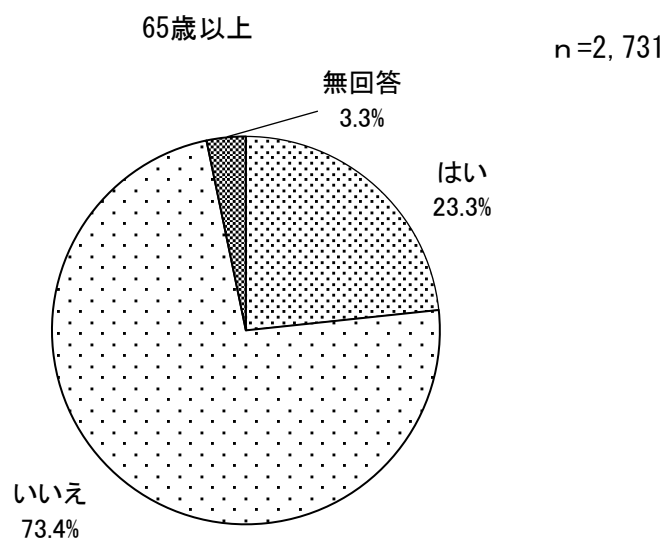


問5-18 抑うつ（興味・関心）【65歳以上】

この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかを尋ねたところ、「いいえ」が73.4%、「はい」が23.3%となっている。

問5-18 抑うつ（興味・関心）【65歳以上】

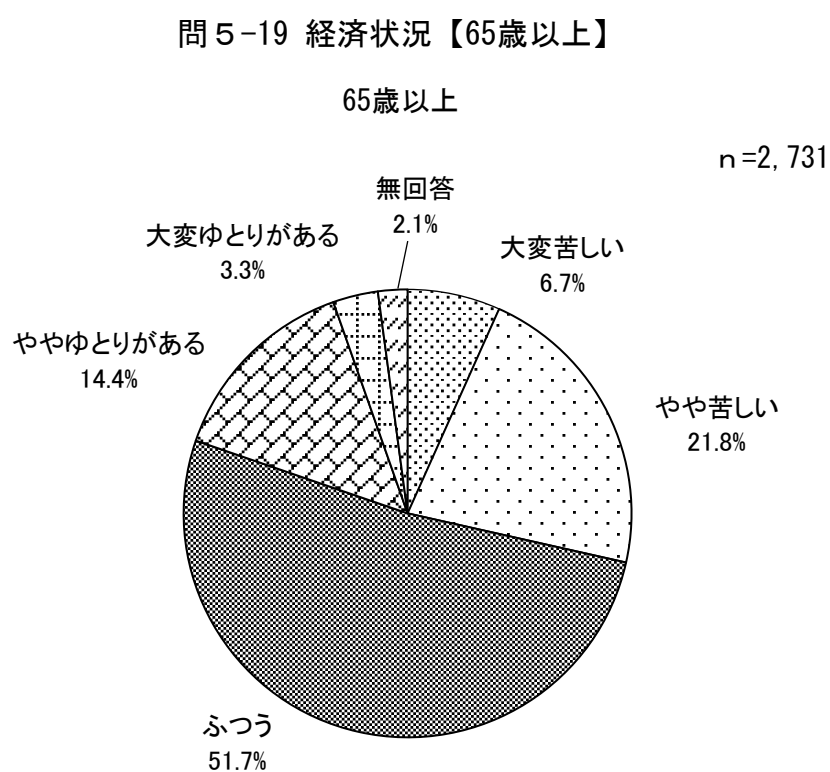


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-19 経済状況【65歳以上】

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

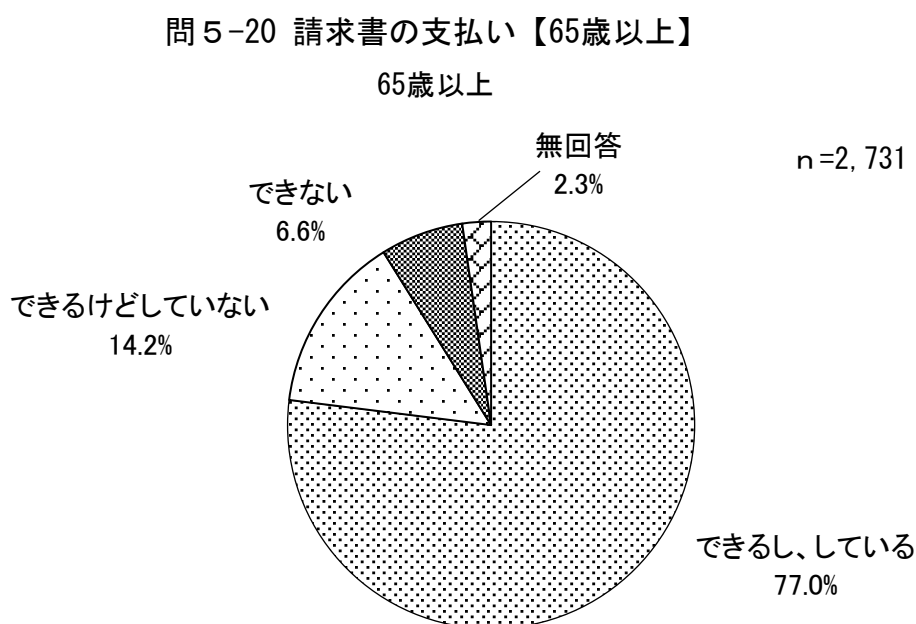
現在の経済的な暮らしの状況について尋ねたところ、「ふつう」（51.7%）が最も多く、次いで「やや苦しい」（21.8%）、「ややゆとりがある」（14.4%）となっている。



問5-20 請求書の支払い【65歳以上】

自分で請求書の支払いをしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分で請求書の支払いをしているかを尋ねたところ、「できるし、している」(77.0%) が最も多く、次いで「できるけどしていない」(14.2%)、「できない」(6.6%) となっている。

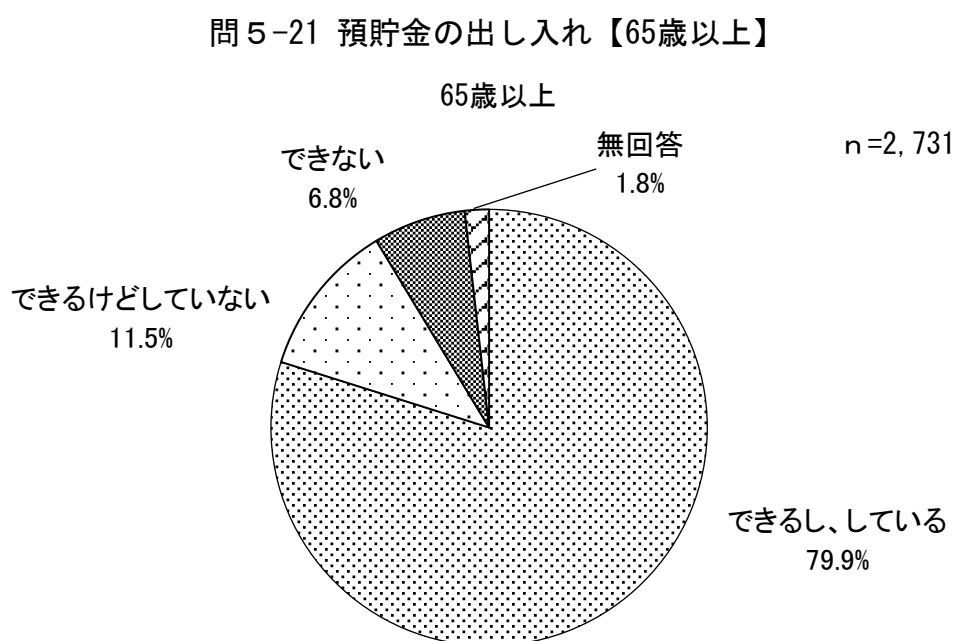


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-21 預貯金の出し入れ【65歳以上】

自分で預貯金の出し入れをしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分で預貯金の出し入れをしているかを尋ねたところ、「できるし、している」(79.9%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(11.5%)、「できない」(6.8%)となっている。

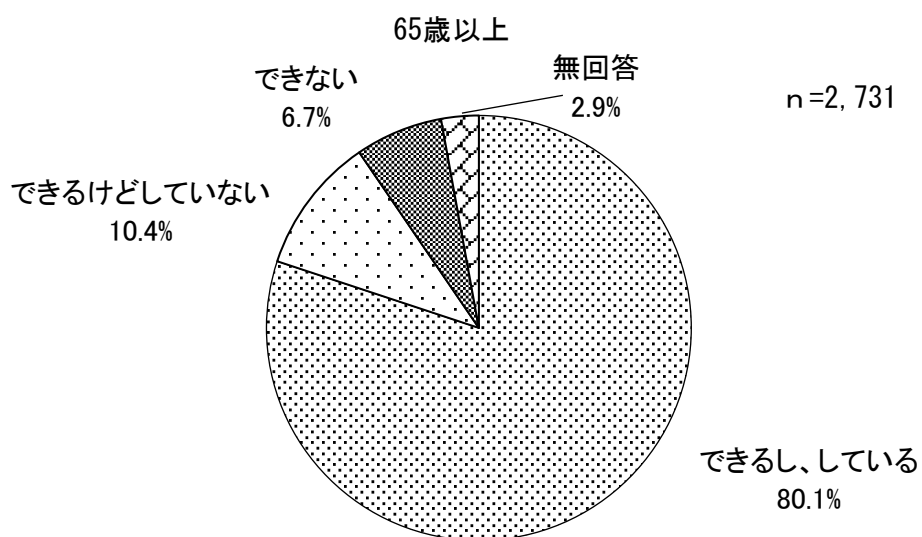


問5-22 食品・日用品の買い物【65歳以上】

自分で食品・日用品の買い物をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分で食品・日用品の買い物をしているか尋ねたところ、「できるし、している」(80.1%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(10.4%)、「できない」(6.7%)となっている。

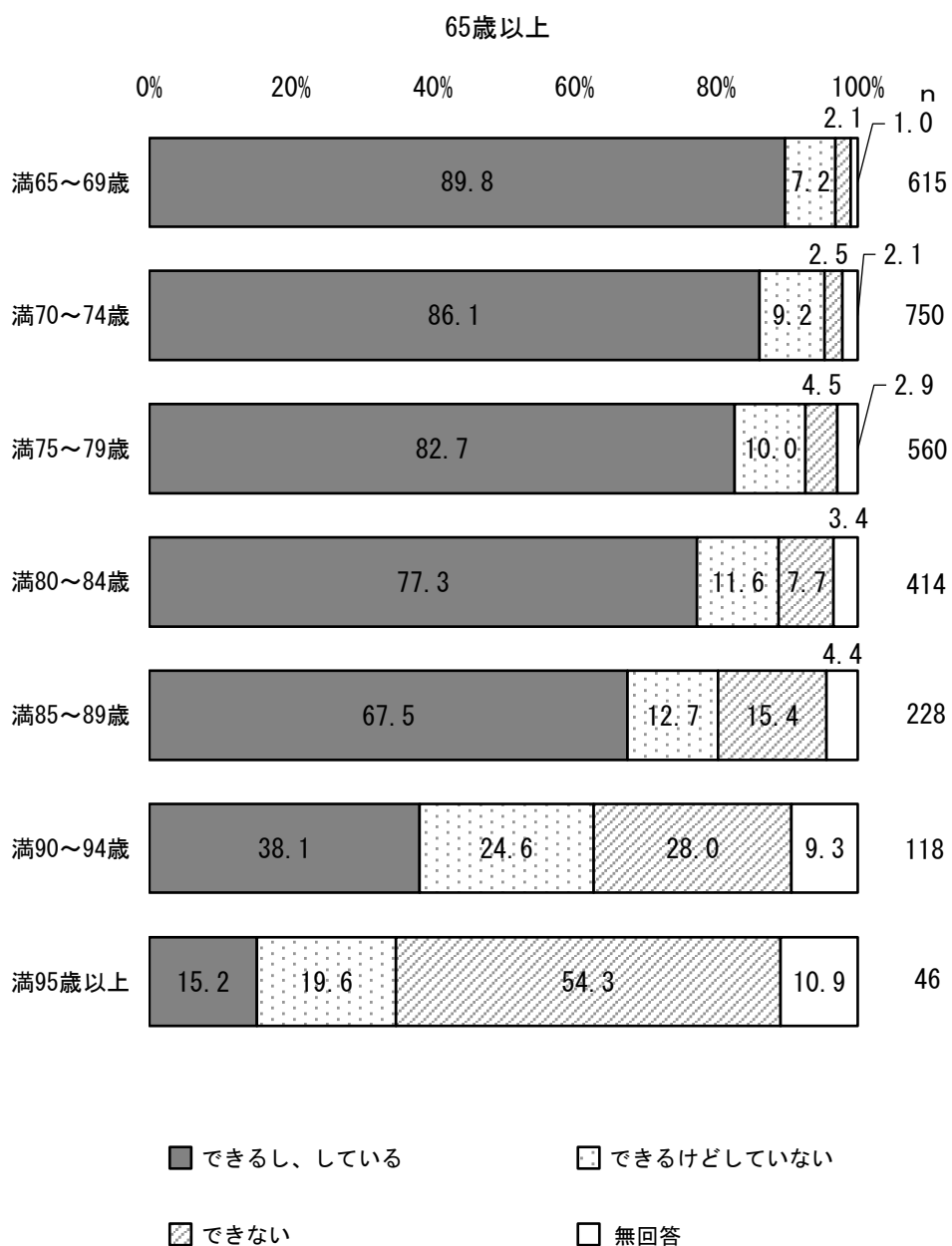
問5-22 食品・日用品の買い物【65歳以上】



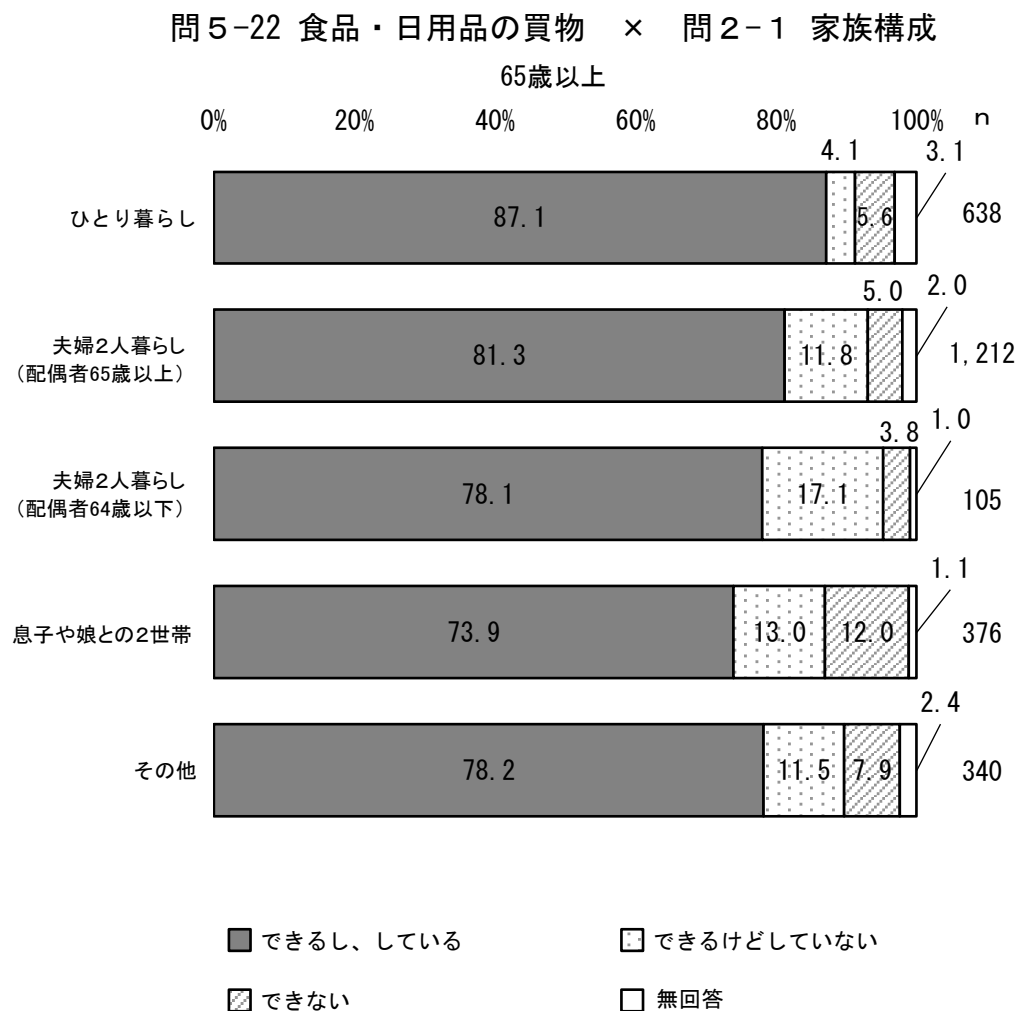
【2 調査結果（生活状況について）】

年齢別にみると、「満85～89歳」までは「できるし、している」が半数以上と最も多くなっているが、「満95歳以上」は「できない」（54.3%）が最も高くなっている。

問5-22 食品・日用品の買物 × 問1-4 年齢



家族構成別にみると、すべての世帯において「できるし、している」が最も多くなっている。



【2 調査結果（生活状況について）】

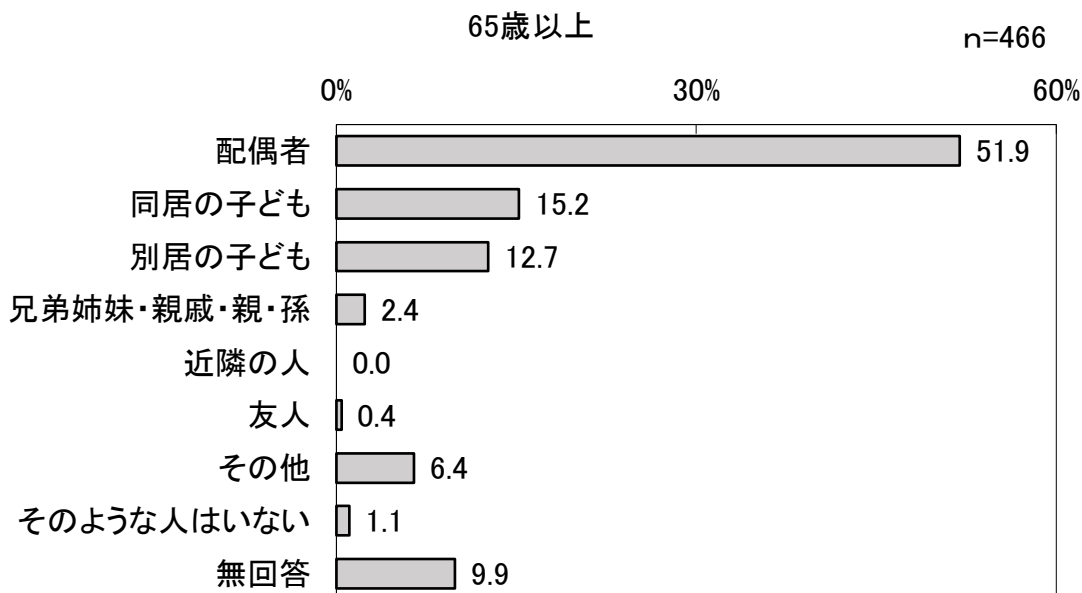
問5-23 預貯金の出入金をする人【65歳以上】

【問5-22 で「できるけどしていない」「できない」のいずれかを回答した方にお聞きします】

自分で預貯金の出し入れをしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

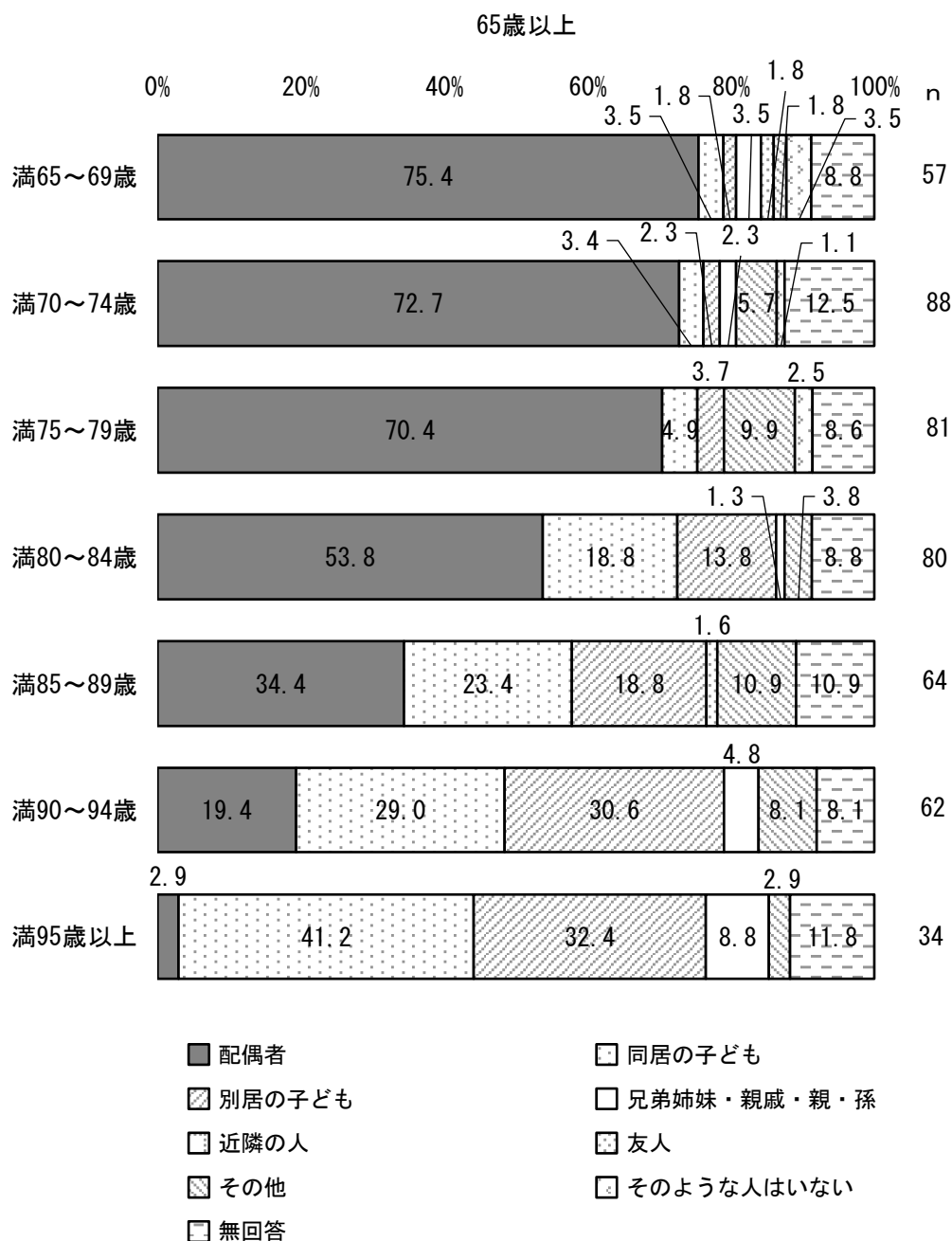
預貯金の出し入れをしている人を尋ねたところ、「配偶者」(51.9%)が最も多く、次いで「同居の子ども」(15.2%)、「別居の子ども」(12.7%)となっている。

問5-23 預貯金の出入金をする人【65歳以上】



年齢別にみると、「満80～84歳」までは「配偶者」の割合が半数以上と最も多くなっており、「満95歳以上」は「同居の子ども」（41.2%）が最も高くなっている。

問5-23 預貯金の出入金をする人【65歳以上】 × 問1-4 年齢

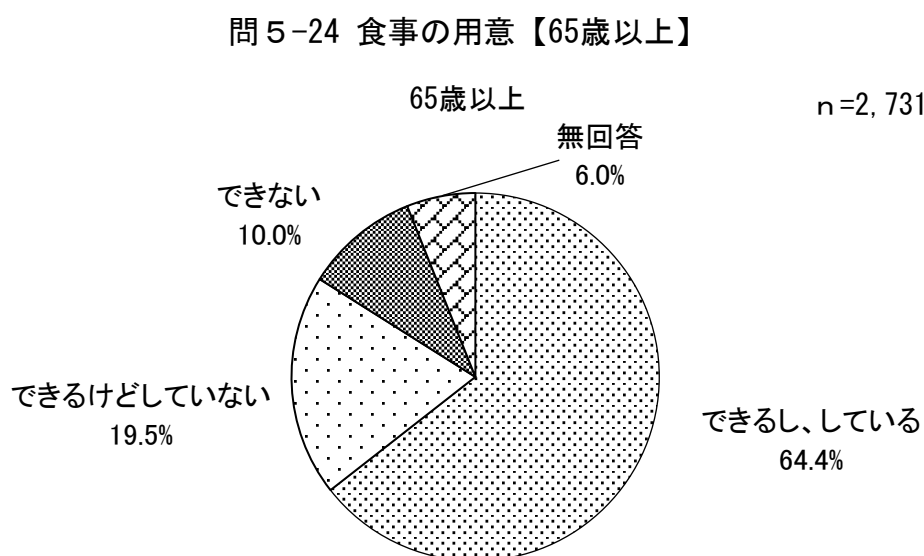


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-24 食事の用意【65歳以上】

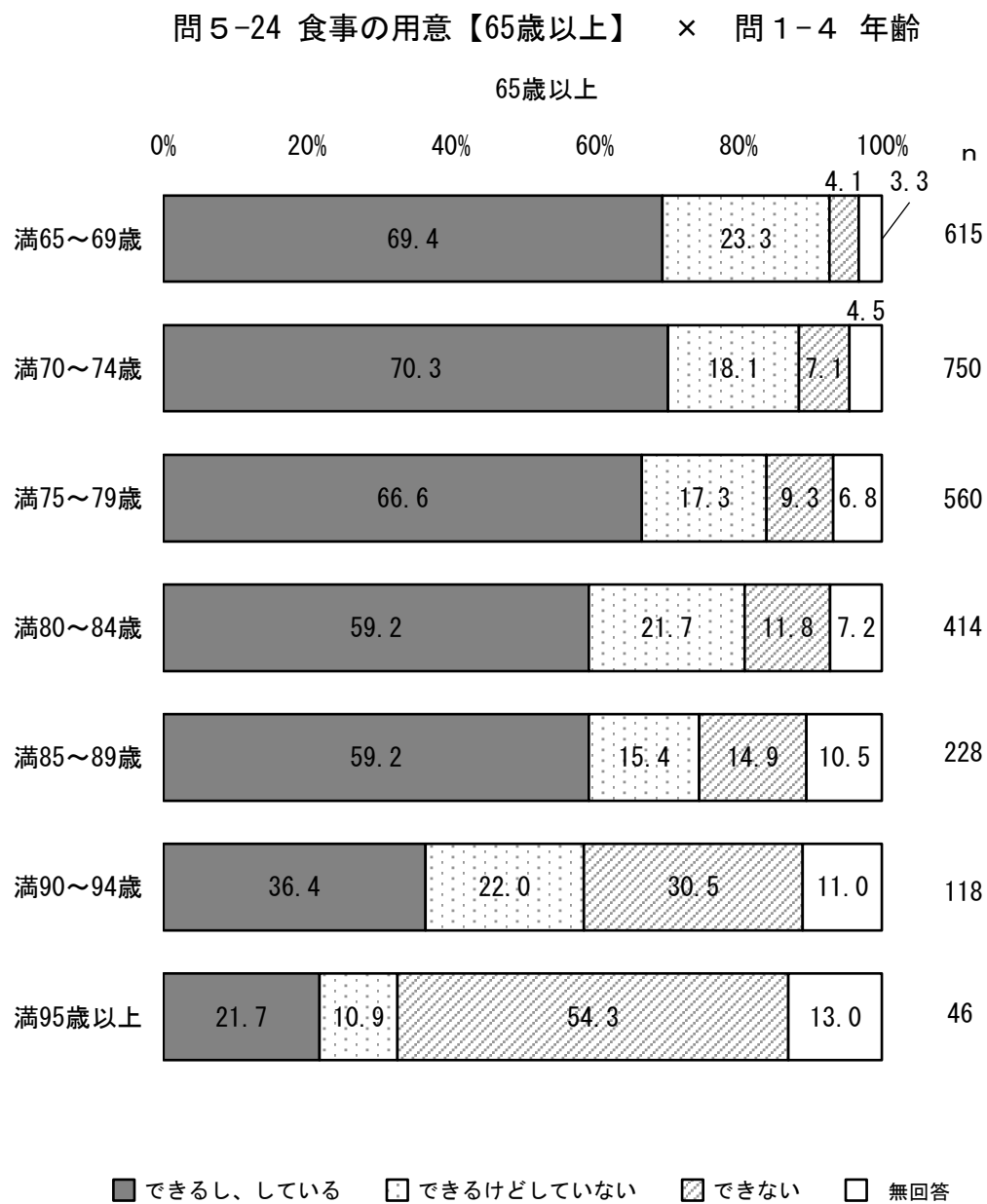
自分で食事の用意をしていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分で食事の用意をしているかを尋ねたところ、「できるし、している」(64.4%)が最も多く、次いで「できるけどしていない」(19.5%)、「できない」(10.0%)となっている。



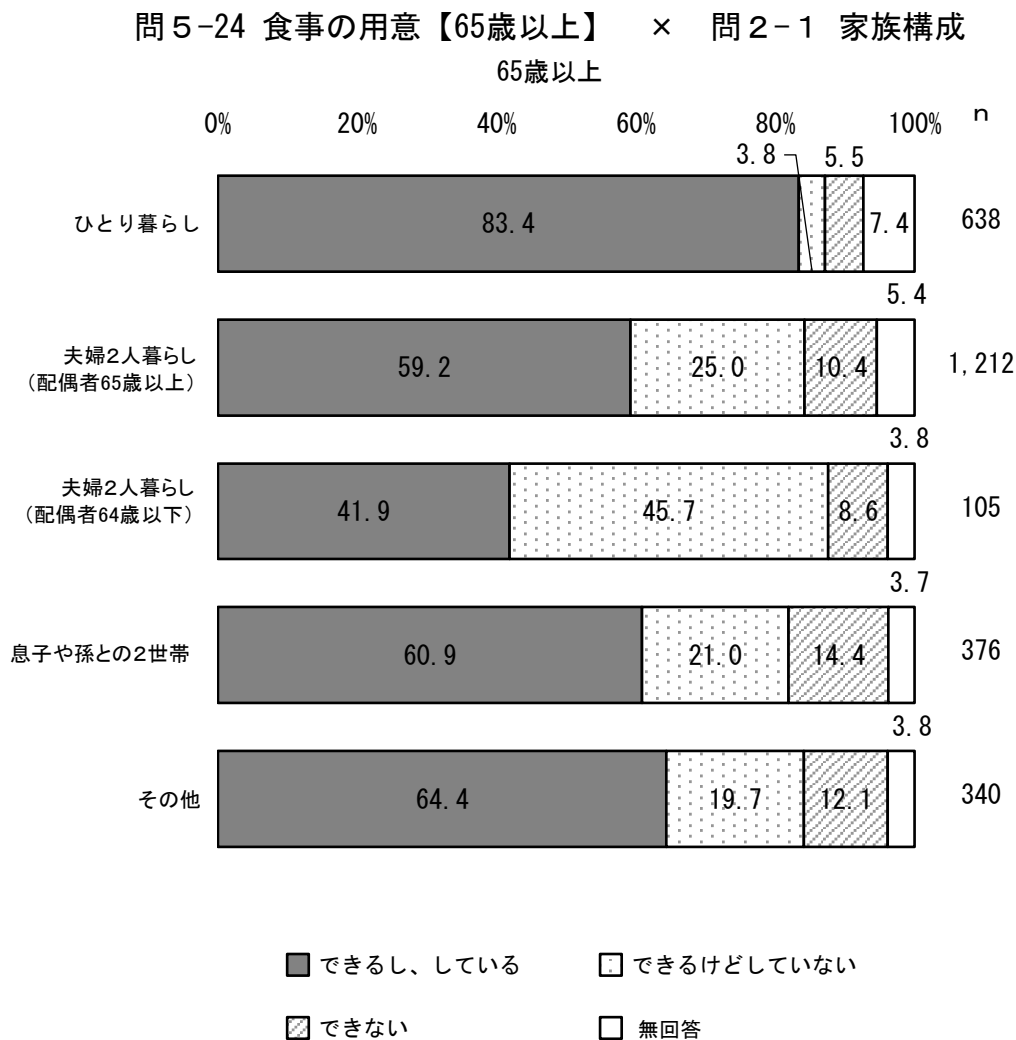
【2 調査結果（生活状況について）】

年齢別にみると、「満70～74歳」の「できるし、している」が最も多く70.3%となっているが、高齢になるにつれて割合が減少する傾向にある。



【2 調査結果（生活状況について）】

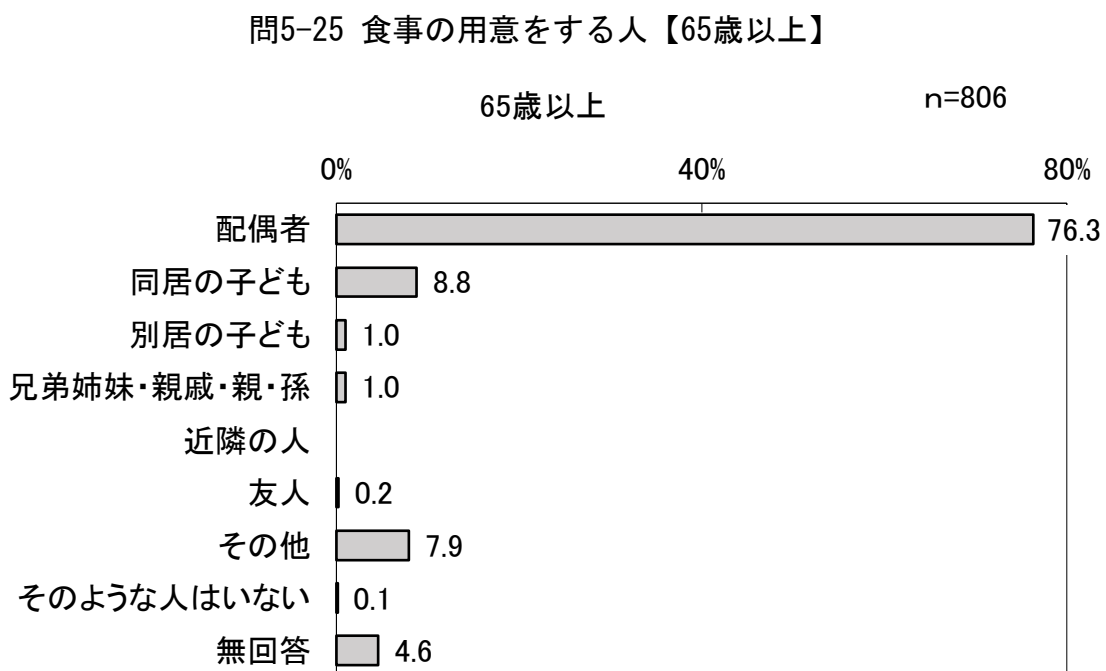
家族構成別にみると、「できるし、している」の割合は「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（41.9%）において最も低くなっている。



問5-25 食事の用意をする人【65歳以上】

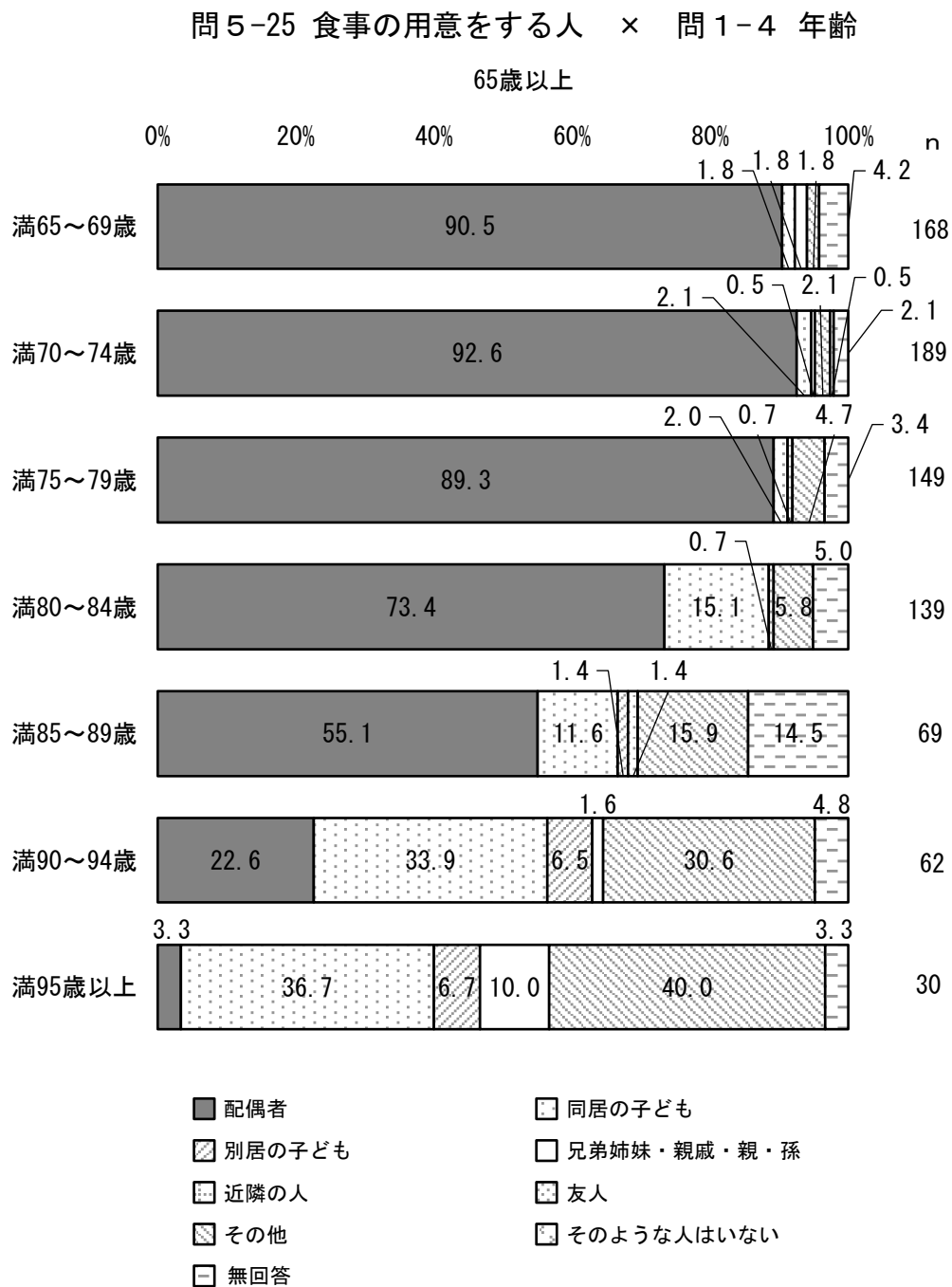
主に食事の用意をするのはどなたですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

主に食事の用意をする人を尋ねたところ、「配偶者」(76.3%)が最も多く、次いで「同居の子ども」(8.8%)、「その他」(7.9%)となっている。



【2 調査結果（生活状況について）】

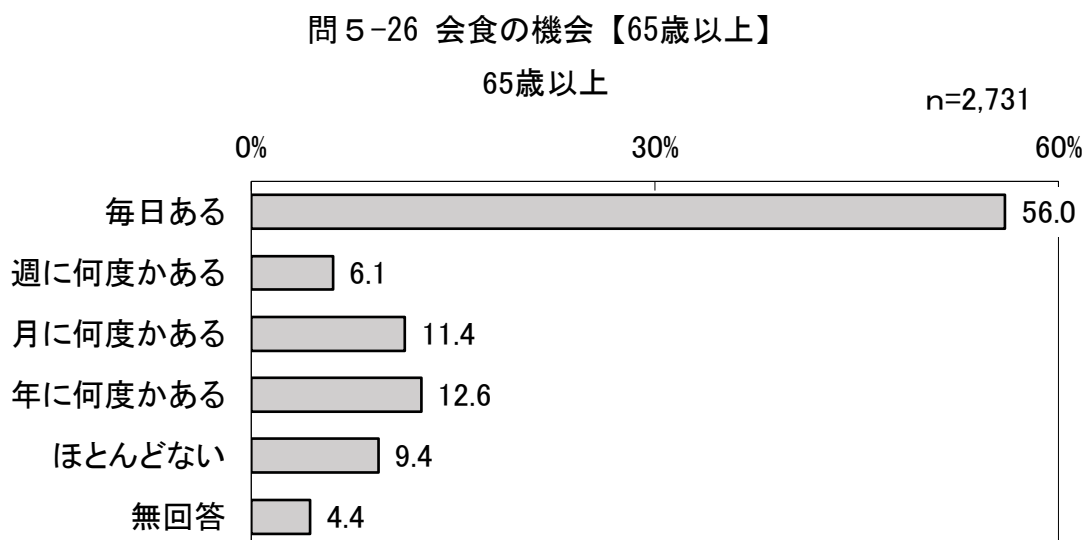
年齢別にみると、「満85～89歳」までは「配偶者」が最も多くなっている。



問5-26 会食の機会【65歳以上】

どなたかと食事をとにもする機会がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

誰かと食事をとにもする機会があるか尋ねたところ、「毎日ある」(56.0%)が最も多く、次いで「年に何度かある」(12.6%)、「月に何度かある」(11.4%)となっている。

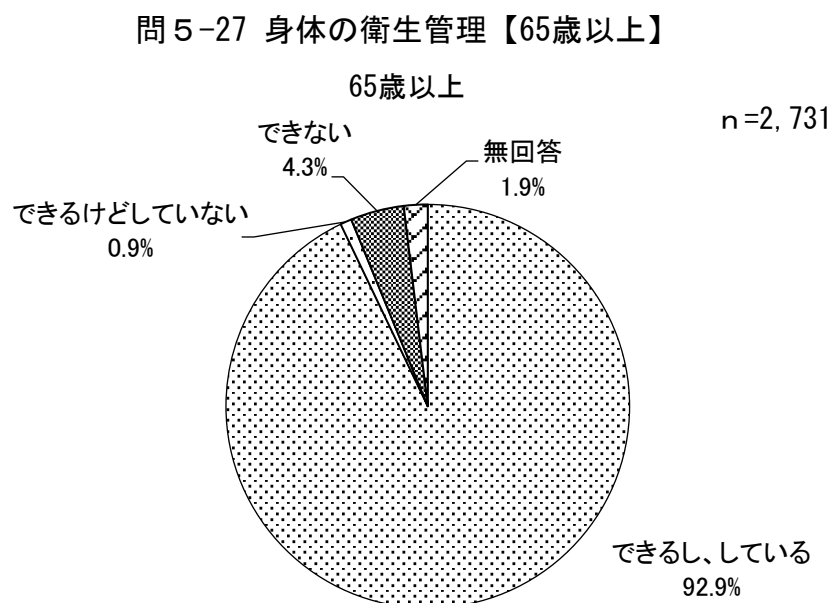


【2 調査結果（生活状況について）】

問5-27 身体の衛生管理【65歳以上】

自分でお風呂に入ったり、身体を清潔に保ったりすることはできますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分でお風呂に入ったり、身体を清潔に保ったりすることはできるかを尋ねたところ、「できるし、している」(92.9%)となっている。

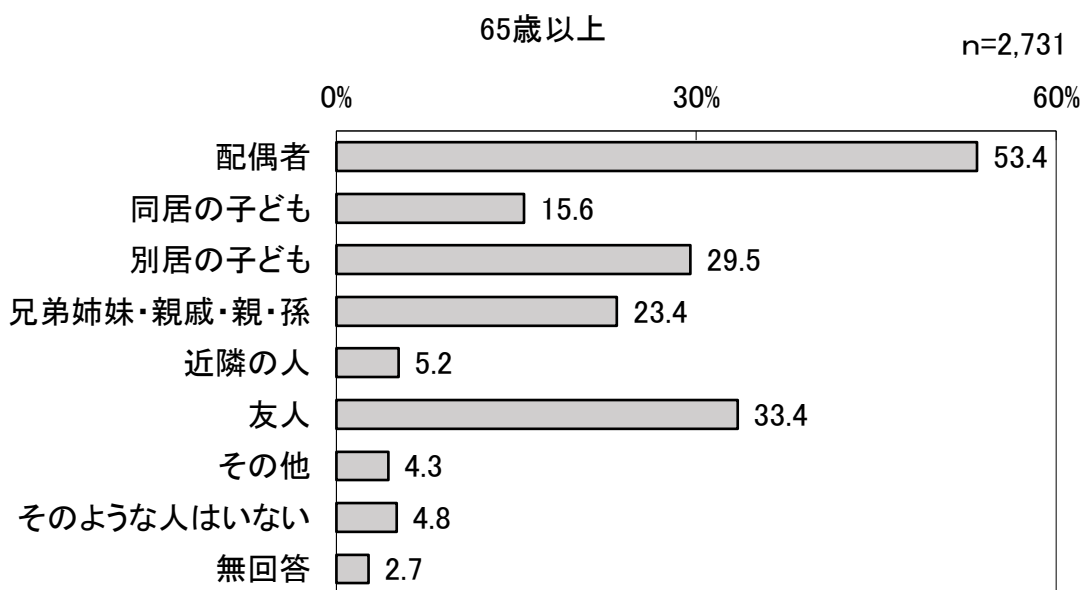


問5-28 心配事などを聞いてくれる人【65歳以上】（複数回答）

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

心配事や愚痴を聞いてくれる人は誰かを尋ねたところ、「配偶者」(53.4%)が最も多く、次いで「友人」(33.4%)、「別居の子ども」(29.5%)となっている。

問5-28 心配事などを聞いてくれる人【65歳以上】（複数回答）



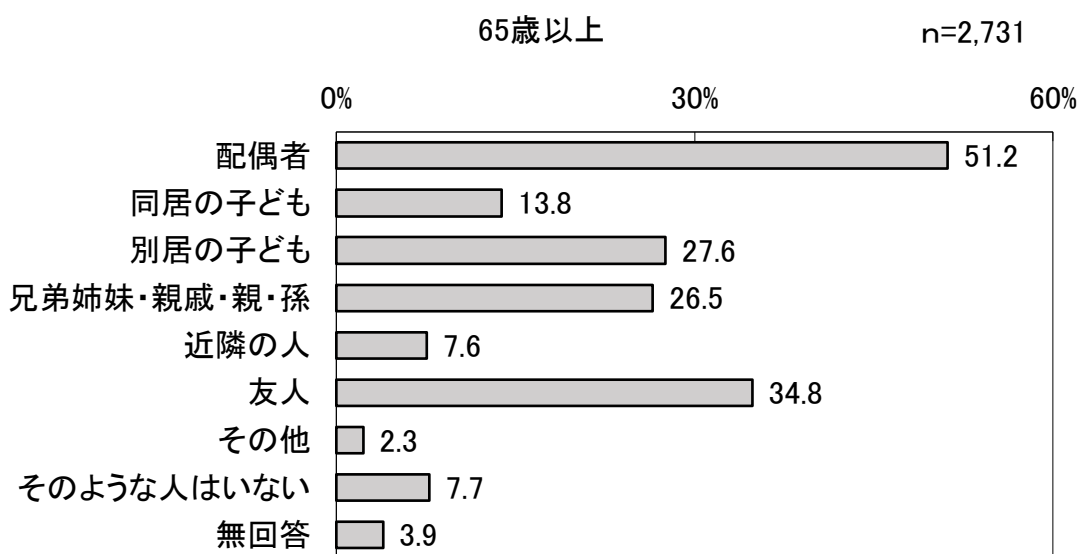
【2 調査結果（生活状況について）】

問5-29 心配事などを聞いてあげる人【65歳以上】（複数回答）

反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

心配事や愚痴を聞いてあげる人は誰か尋ねたところ、「配偶者」(51.2%)が最も多く、次いで「友人」(34.8%)、「別居の子ども」(27.6%)となっている。

問5-29 心配事などを聞いてあげる人【65歳以上】（複数回答）

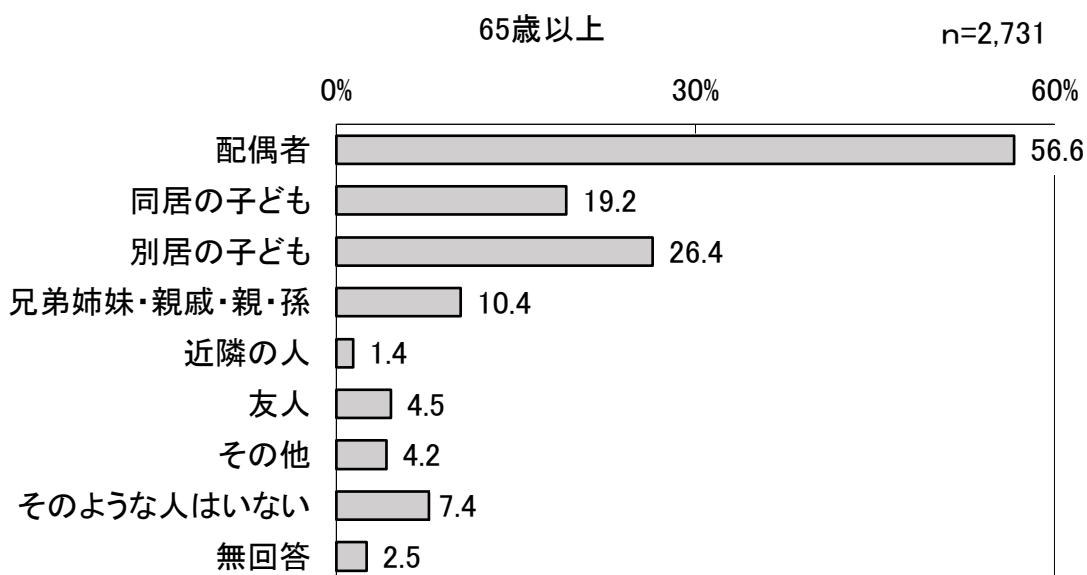


問5-30 看病などをしてくれる人【65歳以上】（複数回答）

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は誰かを尋ねたところ、「配偶者」（56.6%）が最も多く、次いで「別居の子ども」（26.4%）、「同居の子ども」（19.2%）となっている。

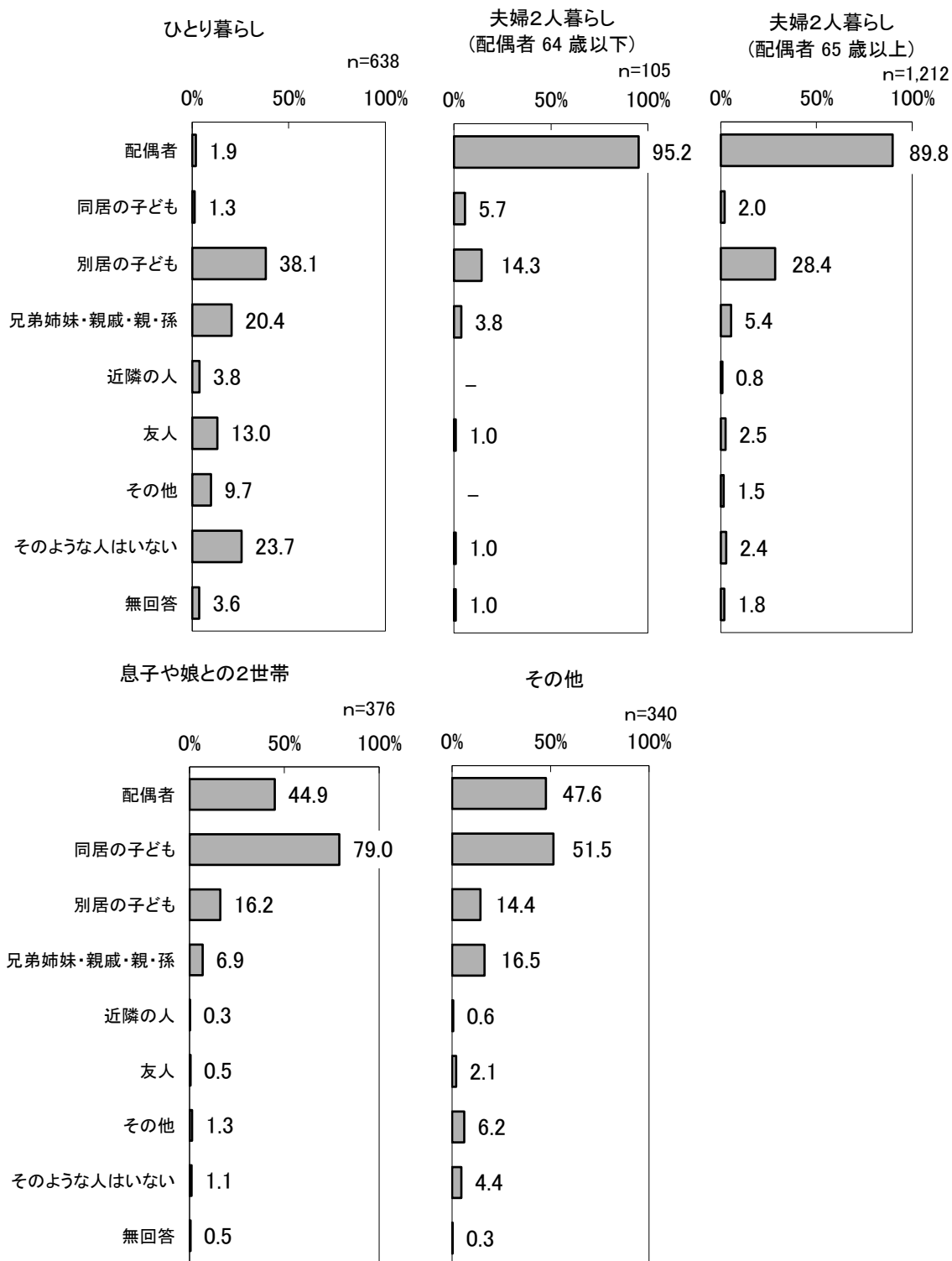
問5-30 看病などをしてくれる人【65歳以上】（複数回答）



【2 調査結果（生活状況について）】

家族構成別にみると、「ひとり暮らし」は「別居の子ども」（38.1%）が最も多く、「夫婦2人暮らし」では配偶者の年齢を問わず「配偶者」が約9割、「息子や娘との2世帯」では「同居の子ども」（79.0%）が最も多くなっている。

問5-30 看病などをしてくれる人【65歳以上】（複数回答） × 問2-1 家族構成

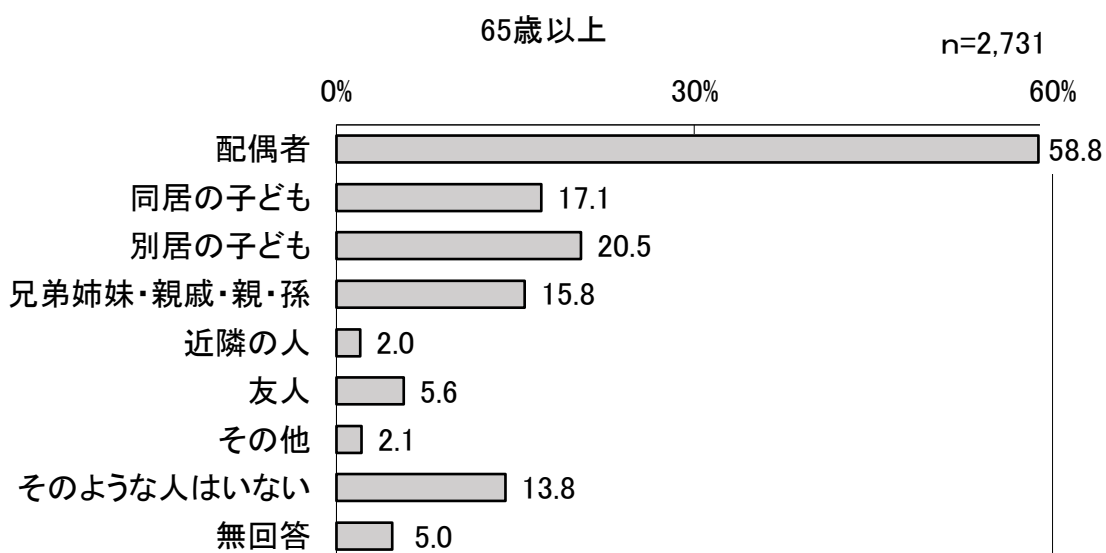


問5-31 看病などをしてあげる人【65歳以上】（複数回答）

反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

看病や世話をしてあげる人は誰かを尋ねたところ、「配偶者」(58.8%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(20.5%)、「同居の子ども」(17.1%)となっている。

問5-31 看病などをしてあげる人【65歳以上】（複数回答）



【2 調査結果（介護保険について）】

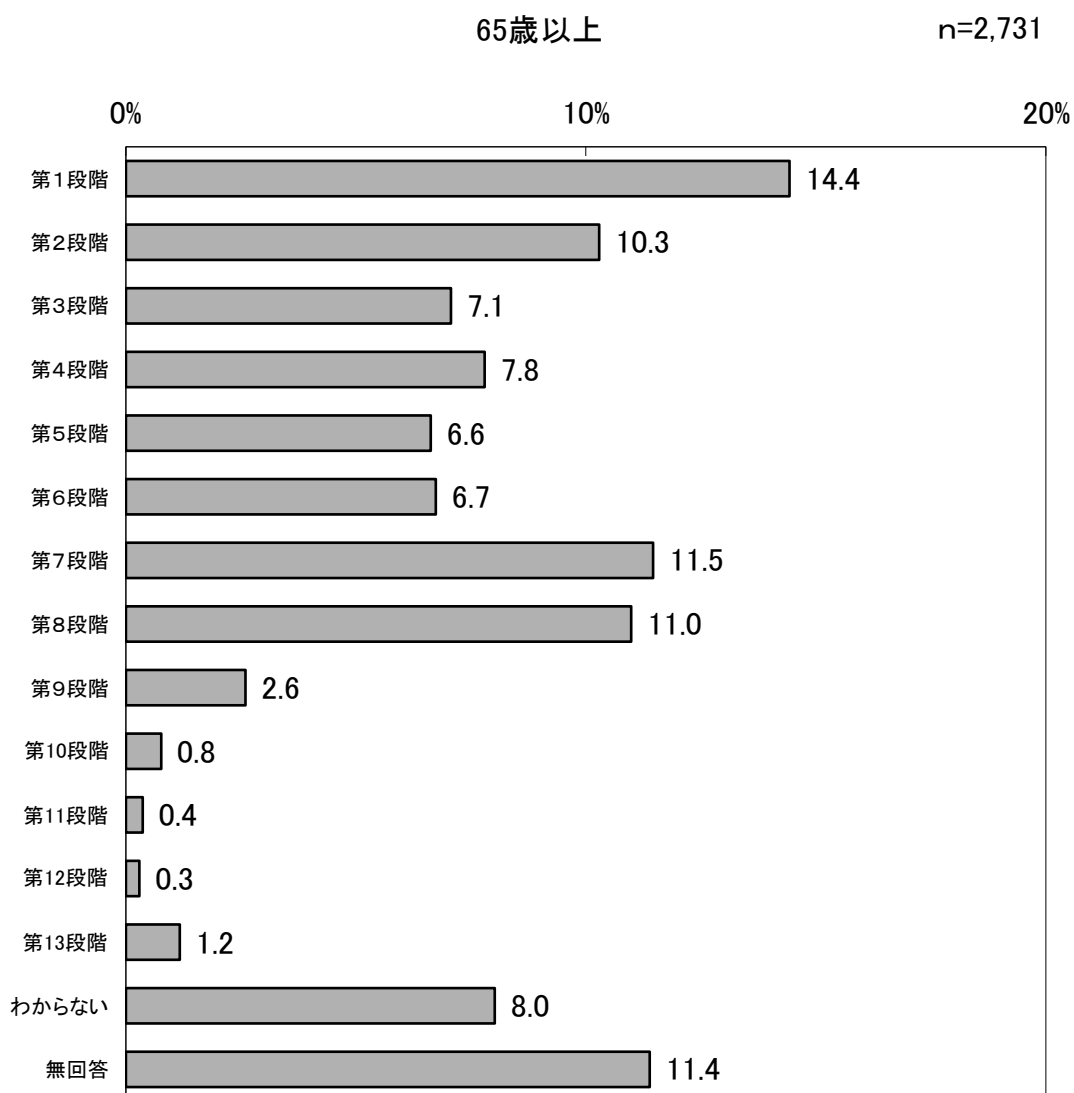
2. 6 介護保険について

問6-1 保険料段階【65歳以上】

介護保険料の段階は何段階ですか。当てはまるものに1つに○をつけてください。

介護保険料段階について尋ねたところ、「第1段階」（14.4%）が最も多く、次いで、「第7段階」（11.5%）となっている。

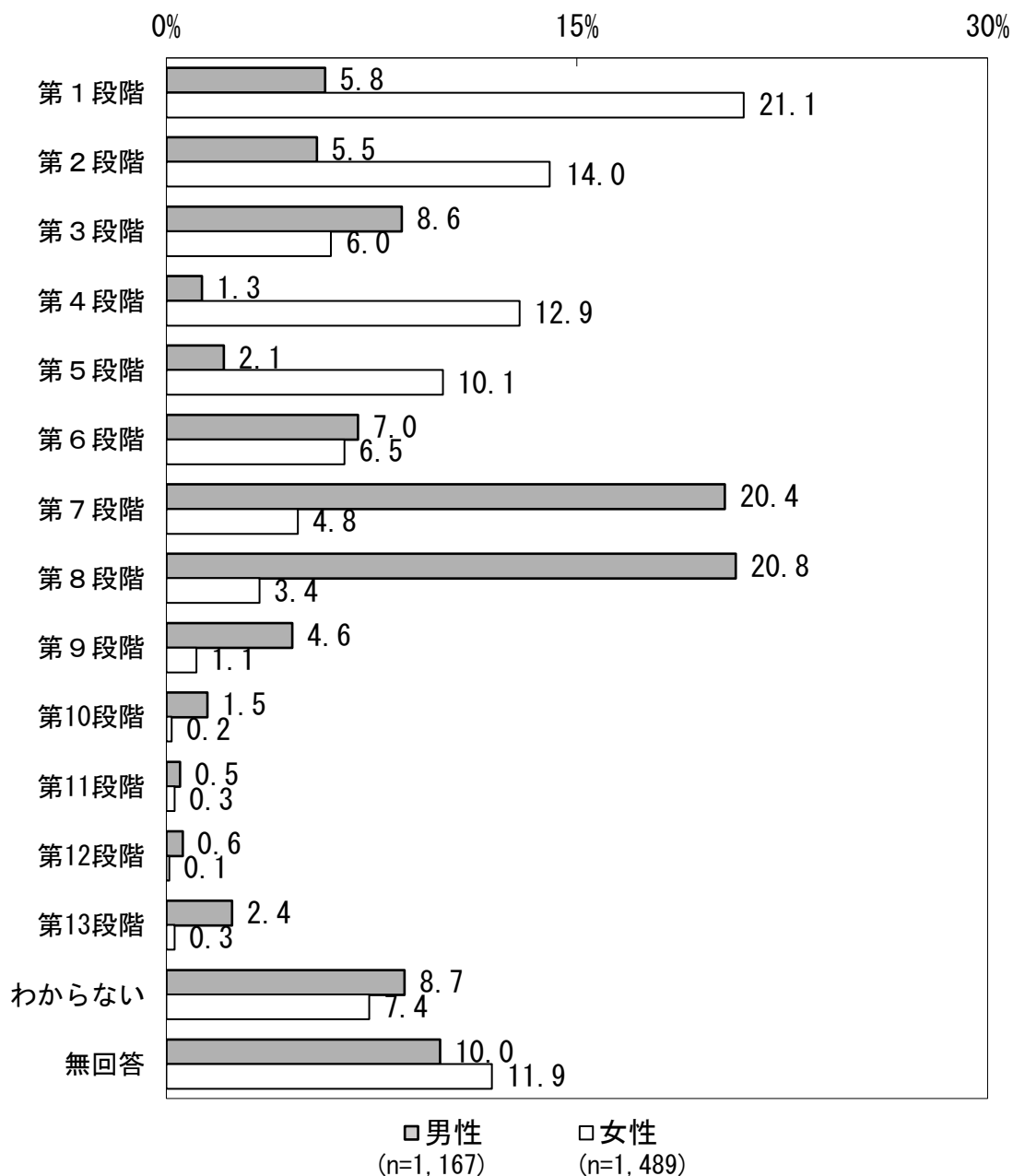
問6-1 保険料段階【65歳以上】



男女別にみると、「男性」では「第8段階」（20.8%）が最も多く、「女性」では「第1段階」（21.1%）となっている。

問6-1 保険料段階【65歳以上】 × 問1-3 性別

65歳以上

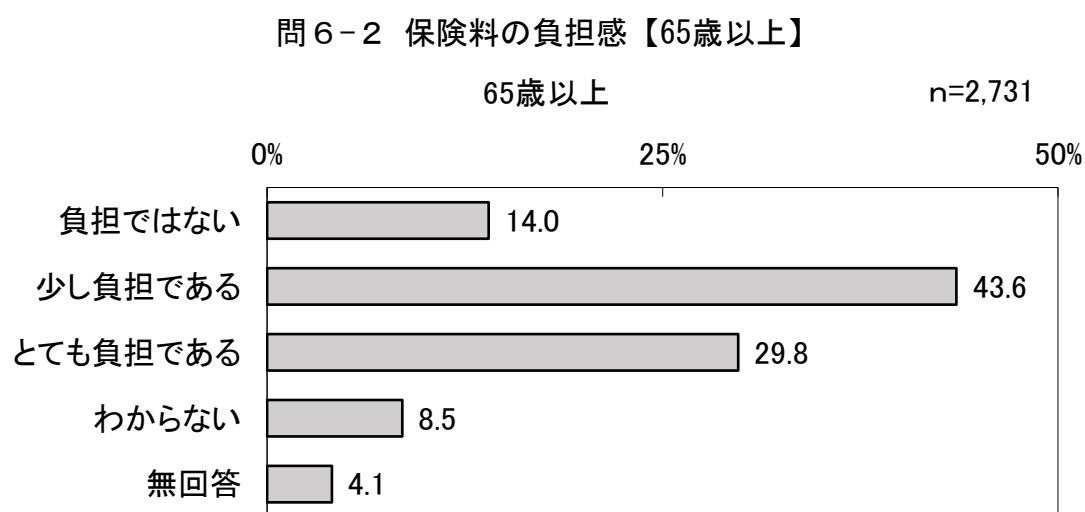


【2 調査結果（介護保険について）】

問6-2 保険料の負担感【65歳以上】

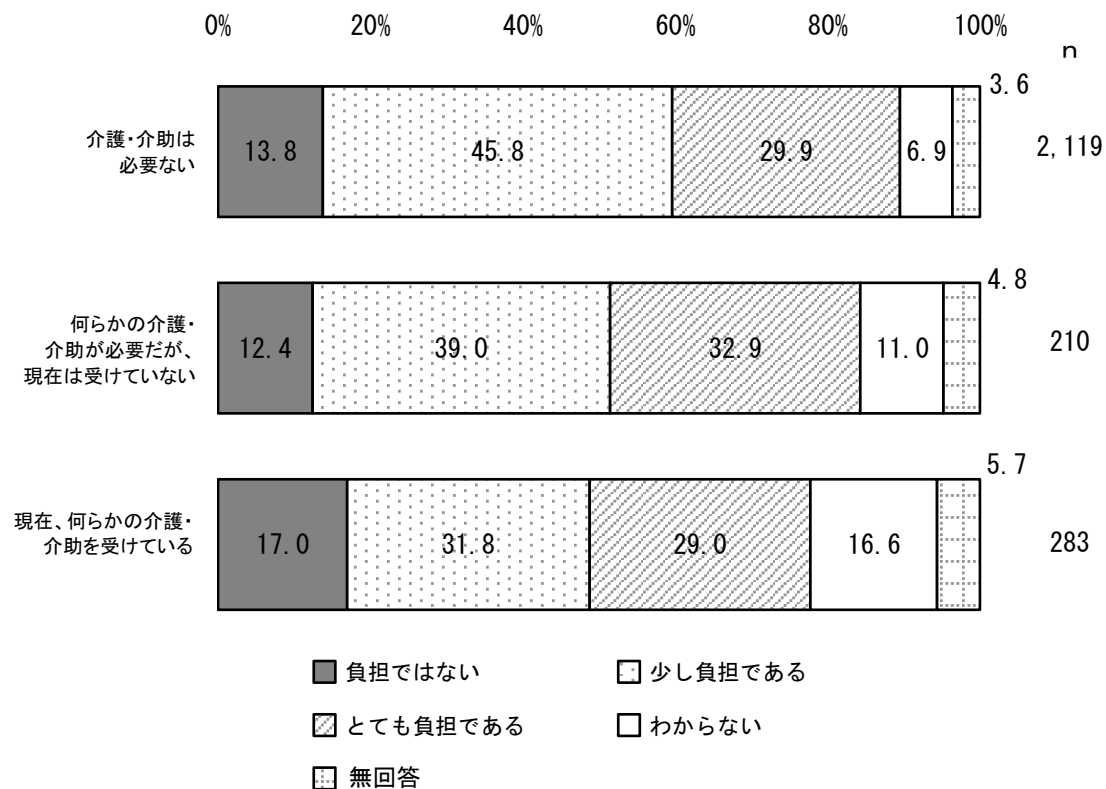
あなたは、現在支払っている介護保険料について、どう思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

現在支払っている介護保険料の負担感について尋ねたところ、「少し負担である」（43.6%）が最も多く、次いで、「とても負担である」（29.8%）、「負担ではない」（14.0%）となっている。



介護・介助の必要性別にみると、「少し負担である」「とても負担である」を合わせた割合が、すべて6割を超えている。

問6-2 保険料の負担感【65歳以上】 × 問4-11 介護・介助の必要性
65歳以上

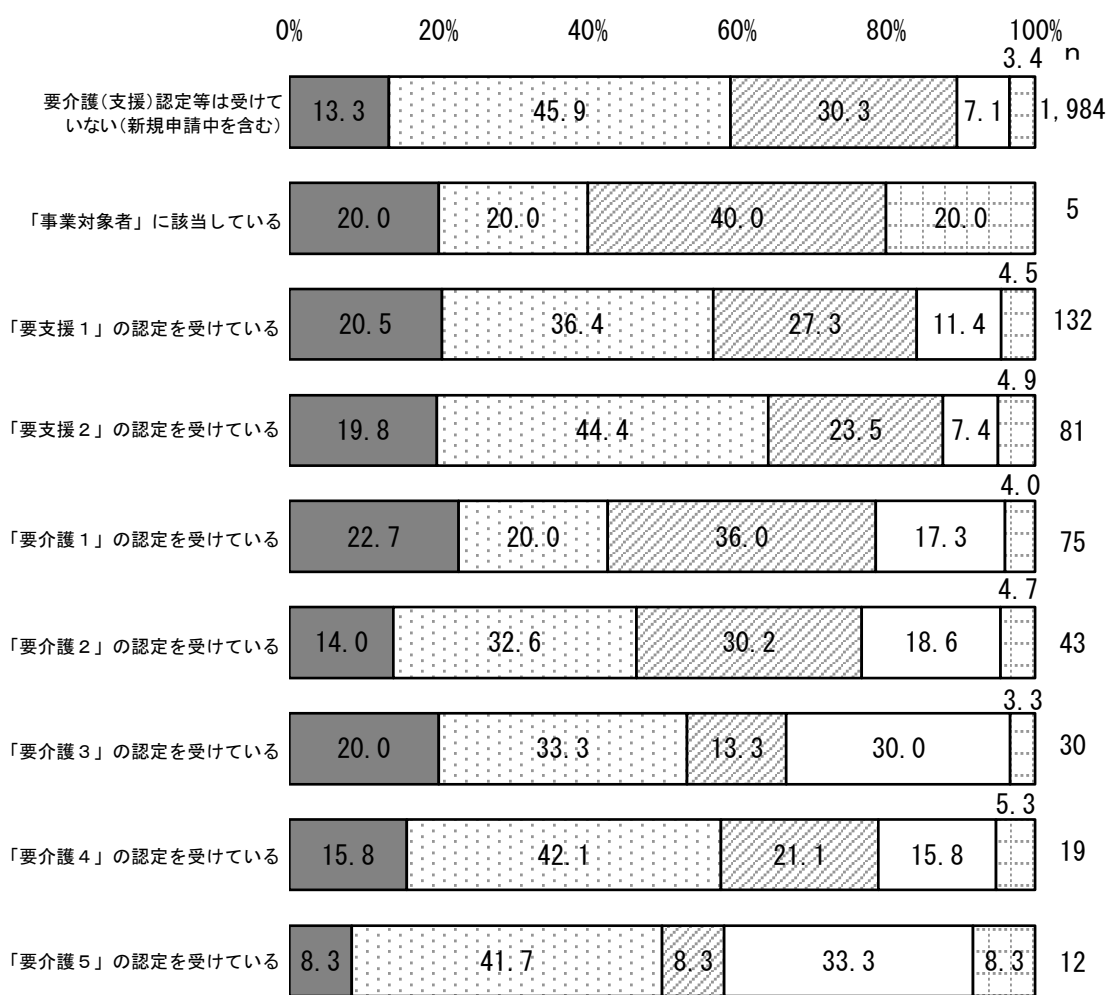


【2 調査結果（介護保険について）】

要介護等認定状況別にみると、「少し負担である」「とても負担である」を合わせた割合が、『要介護3』の認定を受けている」を除き、すべて半数を超えている。

問6-2 保険料の負担感【65歳以上】 × 問4-12 要介護等認定状況

65歳以上

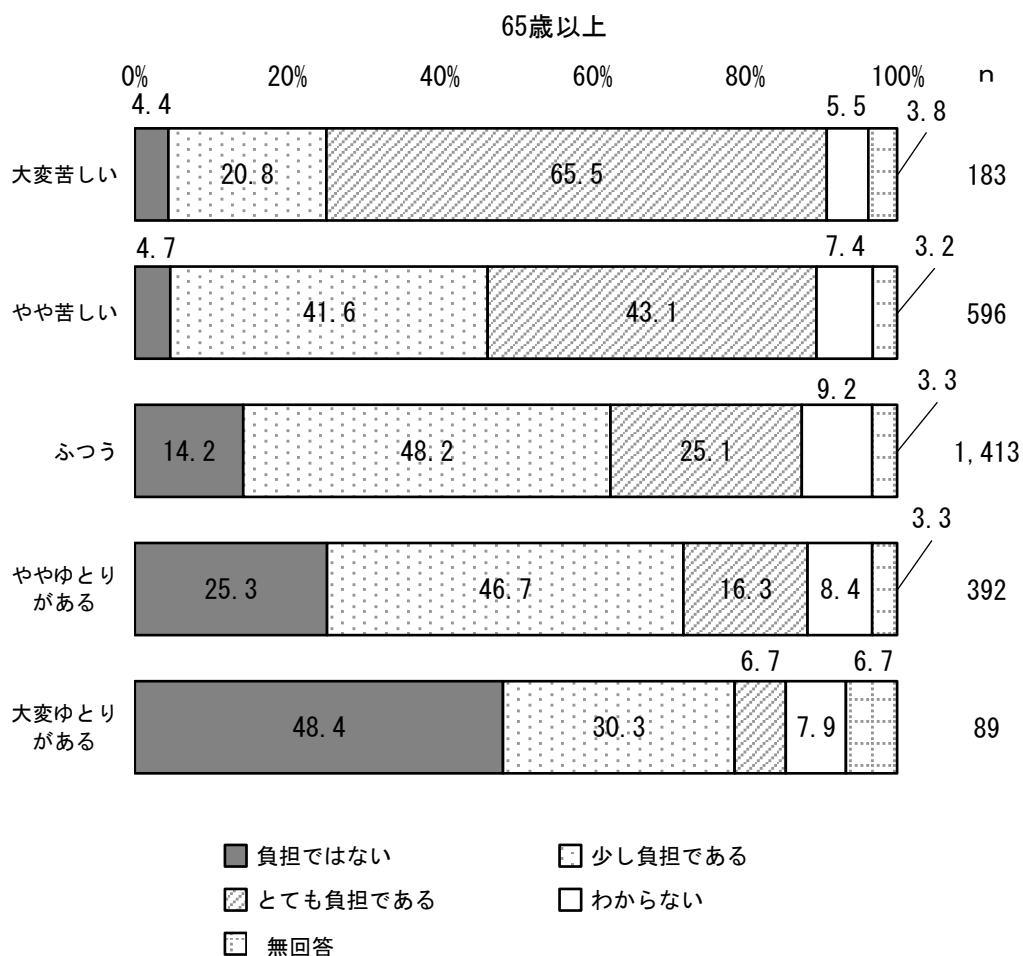


負担ではない 少し負担である とても負担である
 わからない 無回答

経済状況別にみると、「負担ではない」とする割合は、「大変ゆとりがある」と回答した方が48.4%と多くなっている。

一方で、「とても負担である」とする割合は、「大変苦しい」と回答した方では65.5%と多くなっている。

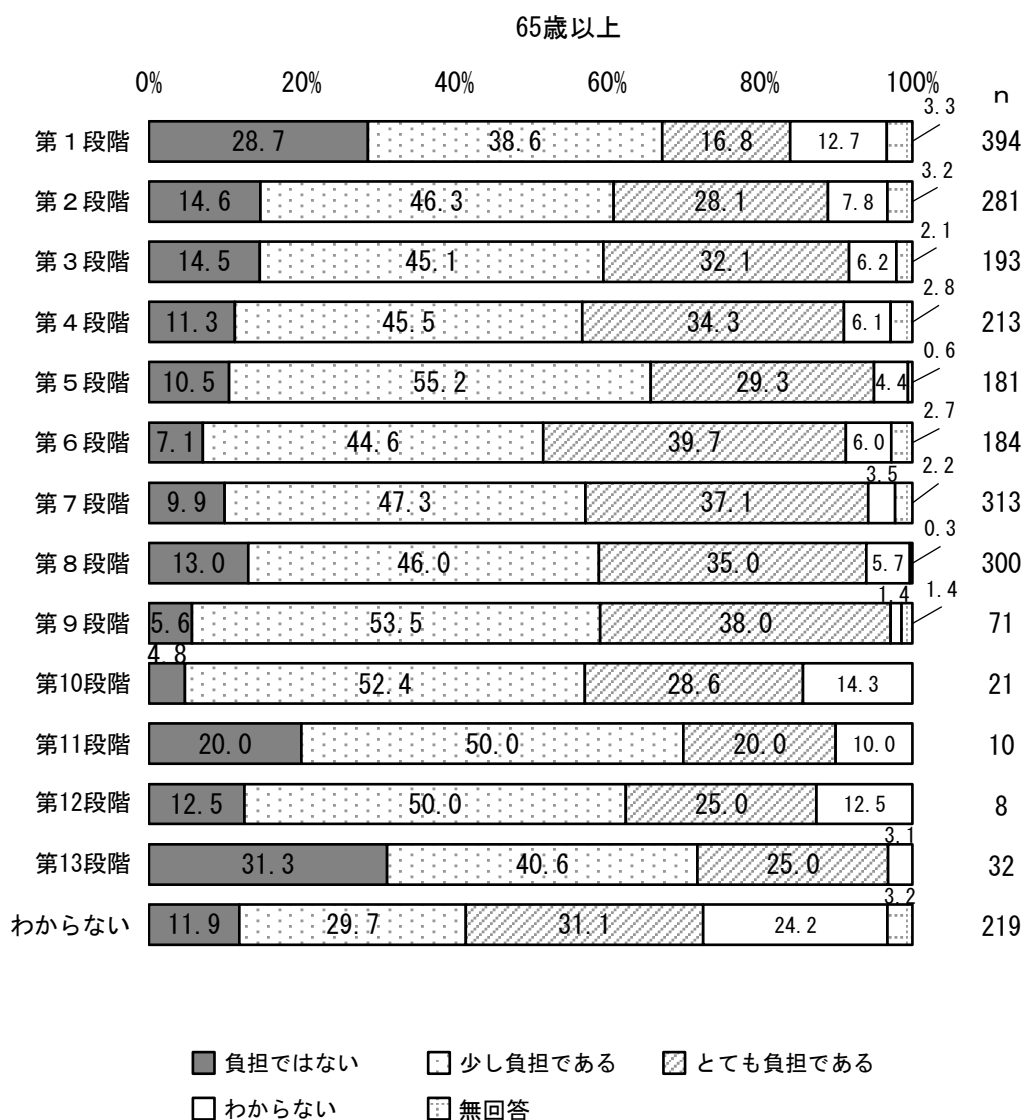
問6-2 保険料の負担感【65歳以上】 × 問5-19 経済状況【65歳以上】



【2 調査結果（介護保険について）】

保険料段階別にみると、「負担ではない」とする割合は「第13段階」と回答した方が最も多く31.3%となっている。一方、「とても負担である」とする割合は「第6段階」（39.7%）が最も多く、次いで「第9段階」（38.0%）となっている。

問6-2 保険料の負担感【65歳以上】 × 問6-1 保険料段階【65歳以上】

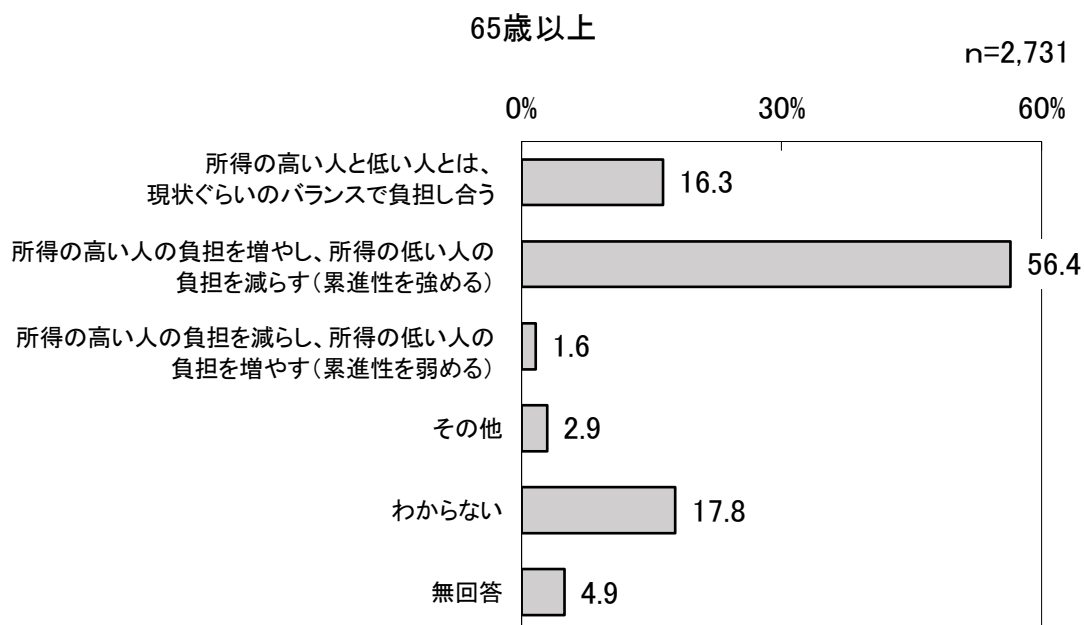


問6-3 保険料負担のあり方【65歳以上】

あなたは、今後の介護保険料の負担はどうあるべきだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

今後の介護保険料の負担のあり方について尋ねたところ、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」（56.4%）が最も多く、次いで、「所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う」（16.3%）となっている。

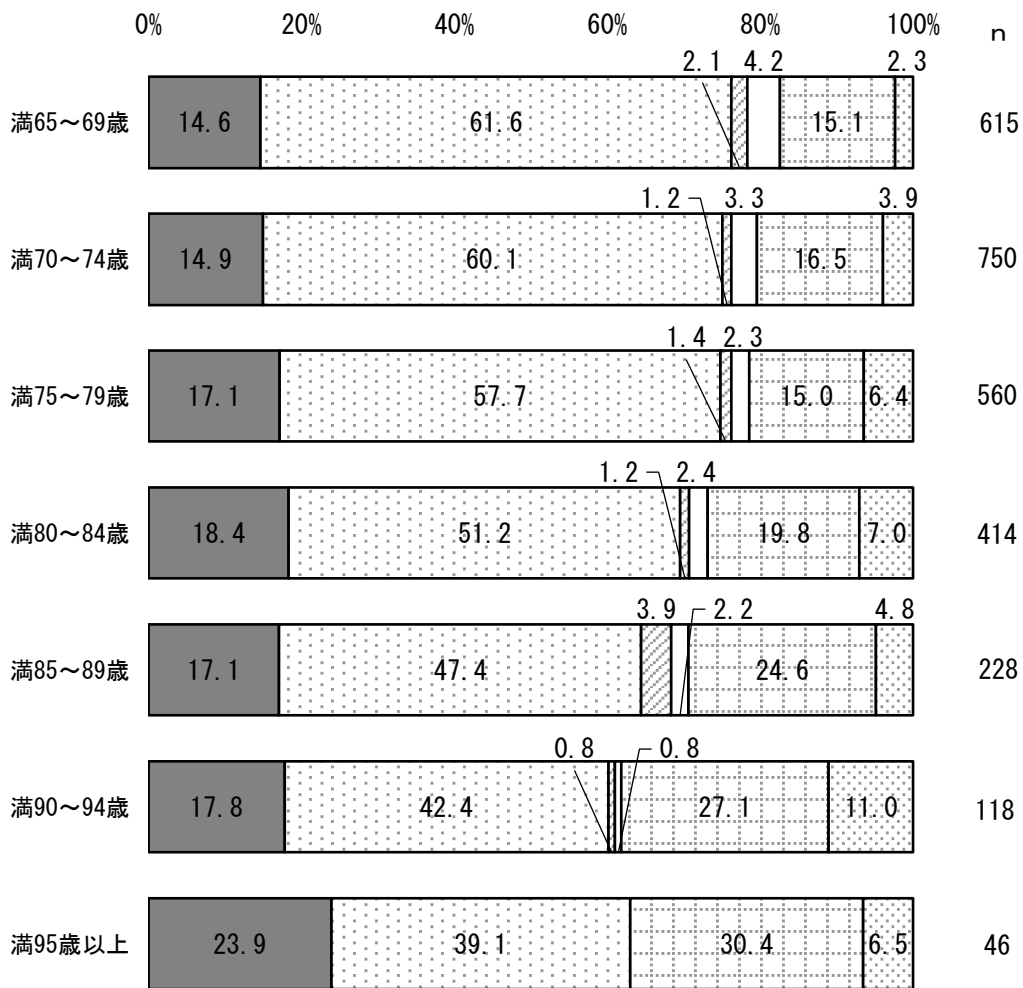
問6-3 保険料負担のあり方【65歳以上】



【2 調査結果 (介護保険について)】

年齢別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)」とする割合は「満65～69歳」が最も多く61.6%となっており、次いで「満70～74歳」(60.1%)、「満75～79歳」(57.7%)となっている。

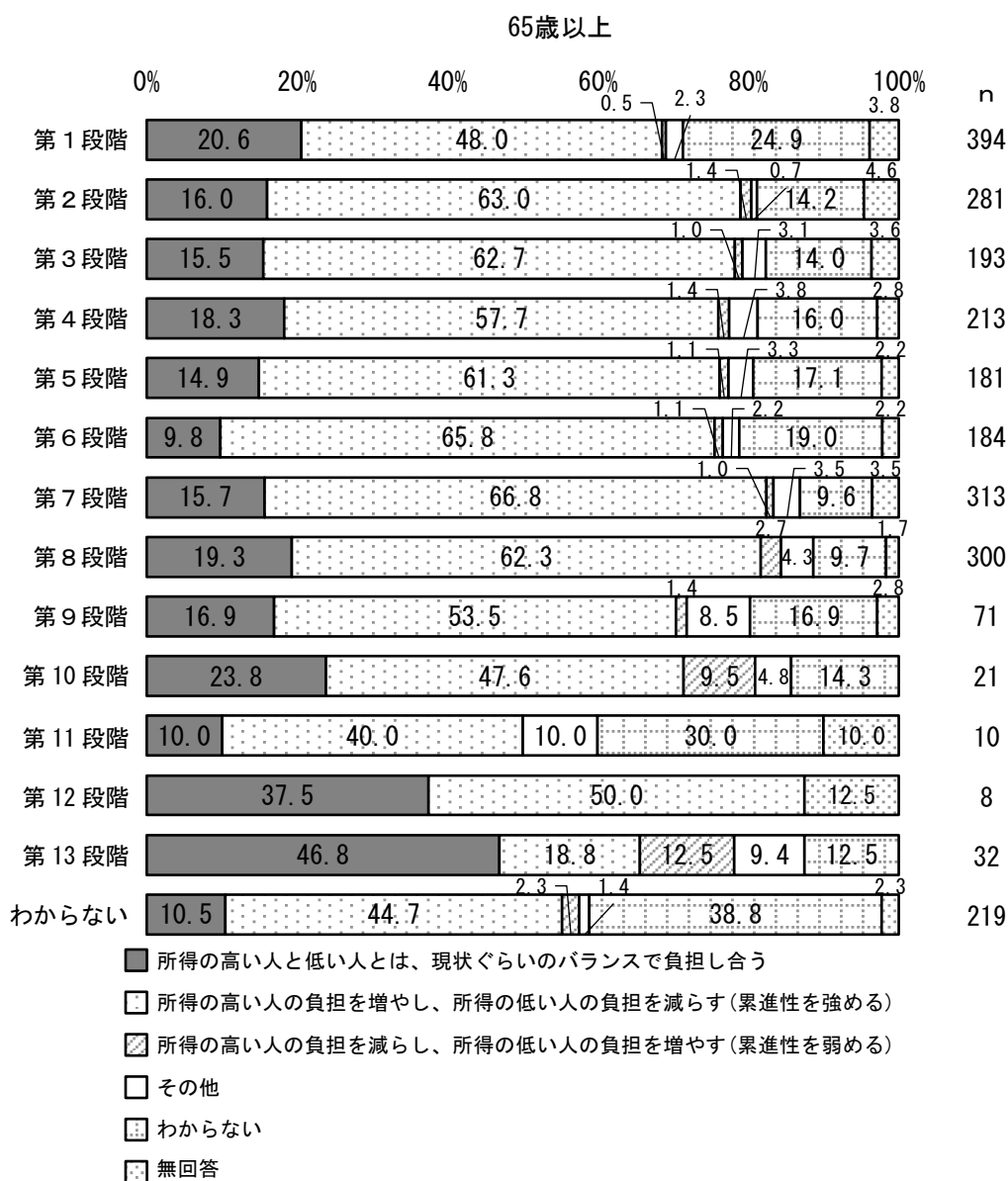
問6-3 保険料負担のあり方【65歳以上】 × 問1-4 年齢
65歳以上



- 所得の高い人と低い人とは、現状ぐらいのバランスで負担し合う
- 所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす(累進性を強める)
- 所得の高い人の負担を減らし、所得の低い人の負担を増やす(累進性を弱める)
- その他
- わからない
- 無回答

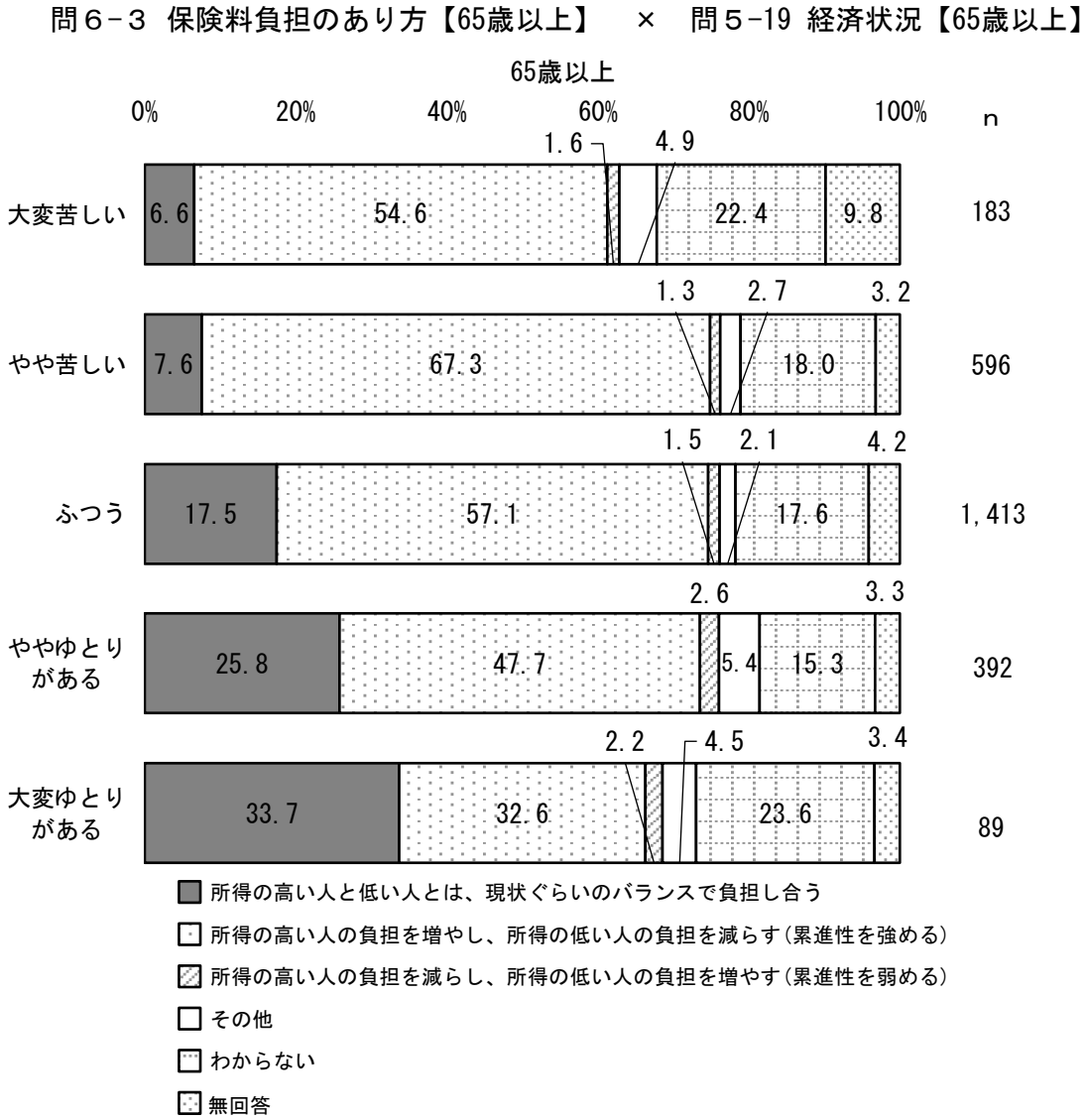
保険料段階別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は「第7段階」が最も多く66.8%となっており、次いで「第6段階」（65.8%）となっている。

問6-3 保険料負担のあり方【65歳以上】 × 問6-1 保険料段階【65歳以上】



【2 調査結果（介護保険について）】

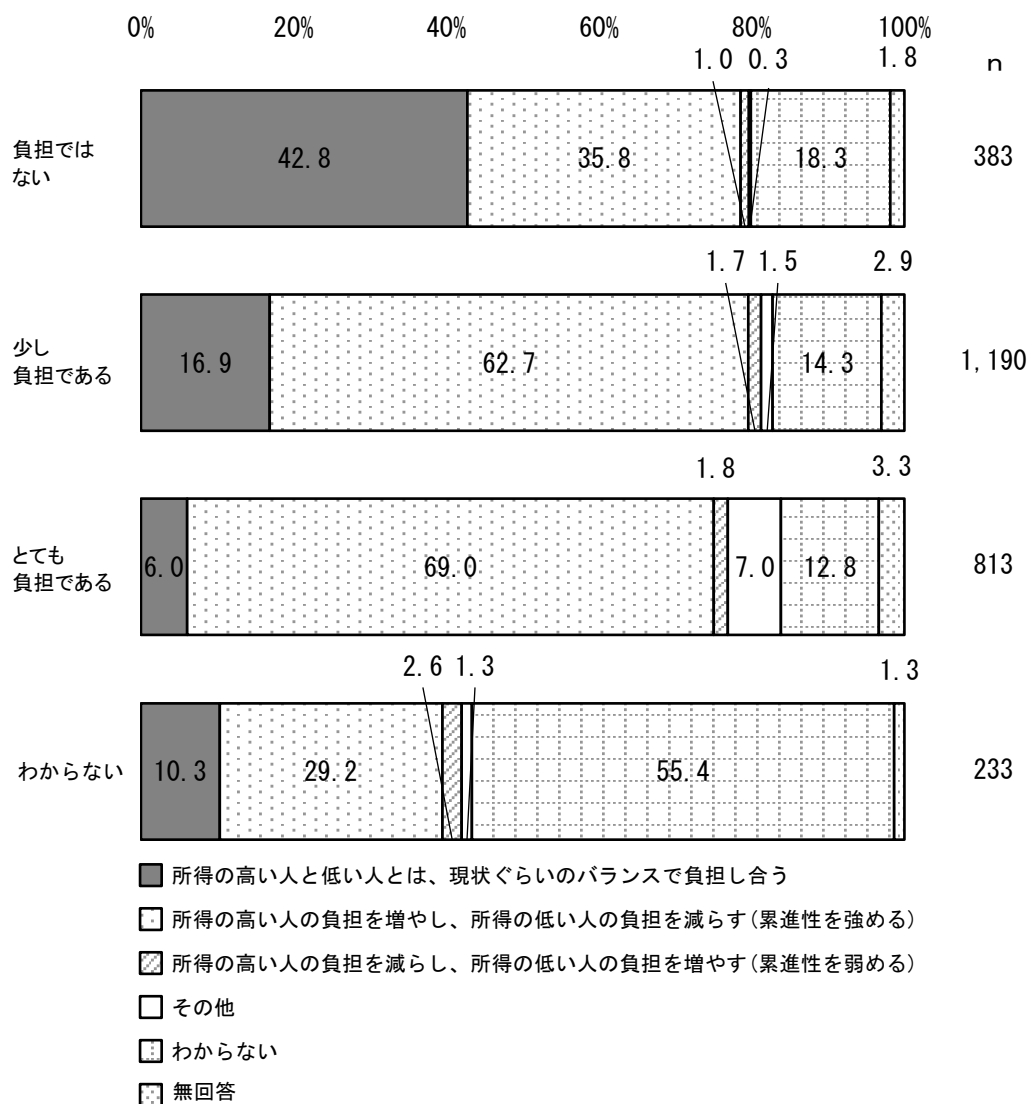
経済状況別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は「やや苦しい」と回答した方が最も多く67.3%となっている。



保険料の負担感別にみると、「所得の高い人の負担を増やし、所得の低い人の負担を減らす（累進性を強める）」とする割合は「とても負担である」が最も多く69.0%となっている。

問6-3 保険料負担のあり方【65歳以上】 × 問6-2 保険料の負担感【65歳以上】

65歳以上



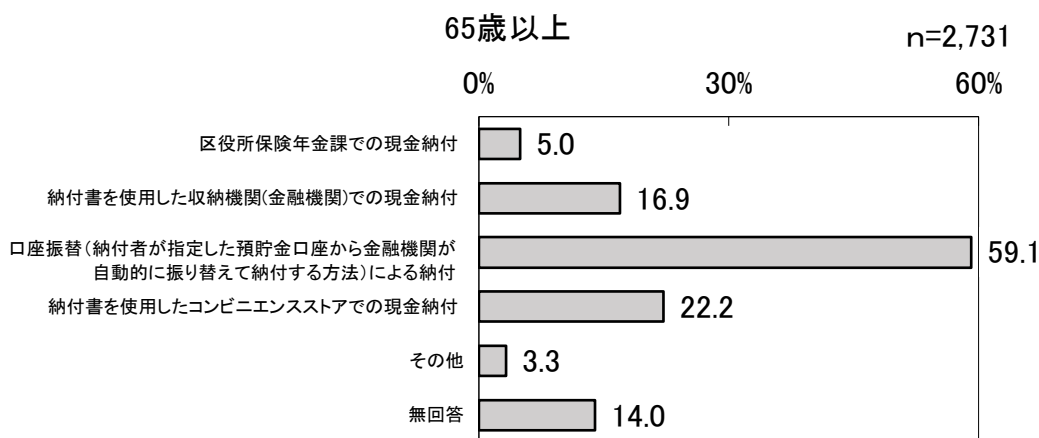
【2 調査結果（介護保険について）】

問6-4 保険料の納付方法【65歳以上】（複数回答）

介護保険料の納め方について伺います。原則として、年額18万円以上の年金を受給されている方は、年金から保険料が天引きされる方法により納めます。年金額が年額18万円未満の方、年度の途中で65歳になった方などは、年金からの天引き以外の方法により保険料を納めることとなりますが、この場合、どのような方法で納めることが望ましいと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

介護保険料の納付方法について尋ねたところ、「口座振替（納付者が指定した預貯金口座から金融機関が自動的に振り替えて納付する方法）による納付」（59.1%）が最も多く、次いで、「納付書を使用したコンビニエンスストアでの現金納付」（22.2%）、「納付書を使用した収納機関（金融機関）での現金納付」（16.9%）となっている。

問6-4 保険料の納付方法【65歳以上】（複数回答）



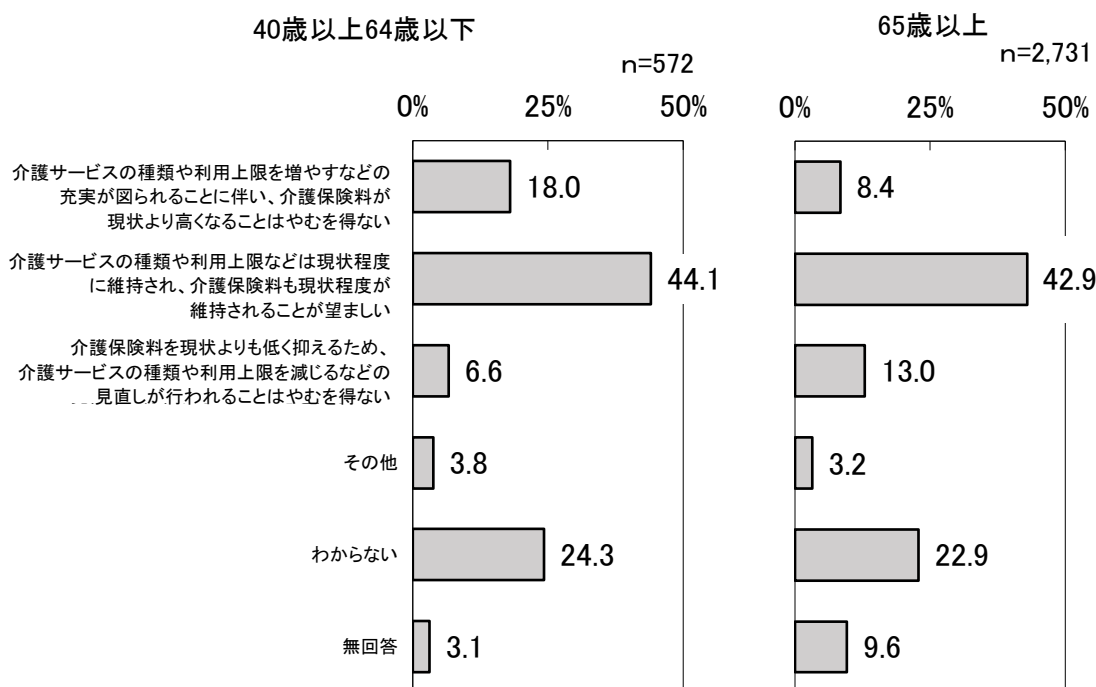
問6-5 サービスと保険料の関係

介護保険料は、介護サービスに要する費用などの見込みに基づき、3年ごとに見直されています。介護保険制度における介護サービスと保険料の関係について、あなたはどのように考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

介護サービスと介護保険料の関係について尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「介護サービスの種類や利用上限などは現状程度に維持され、介護保険料も現状程度が維持されることが望ましい」がもっとも多く、64歳以下は44.1%、65歳以上は42.9%となっている。

次いで、64歳以下、65歳以上ともに「わからない」を除くと、64歳以下は「介護サービスの種類や利用上限を増やすなどの充実が図られることに伴い、介護保険料が現状より高くなることはやむを得ない」（18.0%）、65歳以上は「介護保険料を現状よりも低く抑えるため、介護サービスの種類や利用上限を減じるなどの見直しが行われることはやむを得ない」（13.0%）となっている。

問6-5 サービスと保険料の関係



【2 調査結果（その他）】

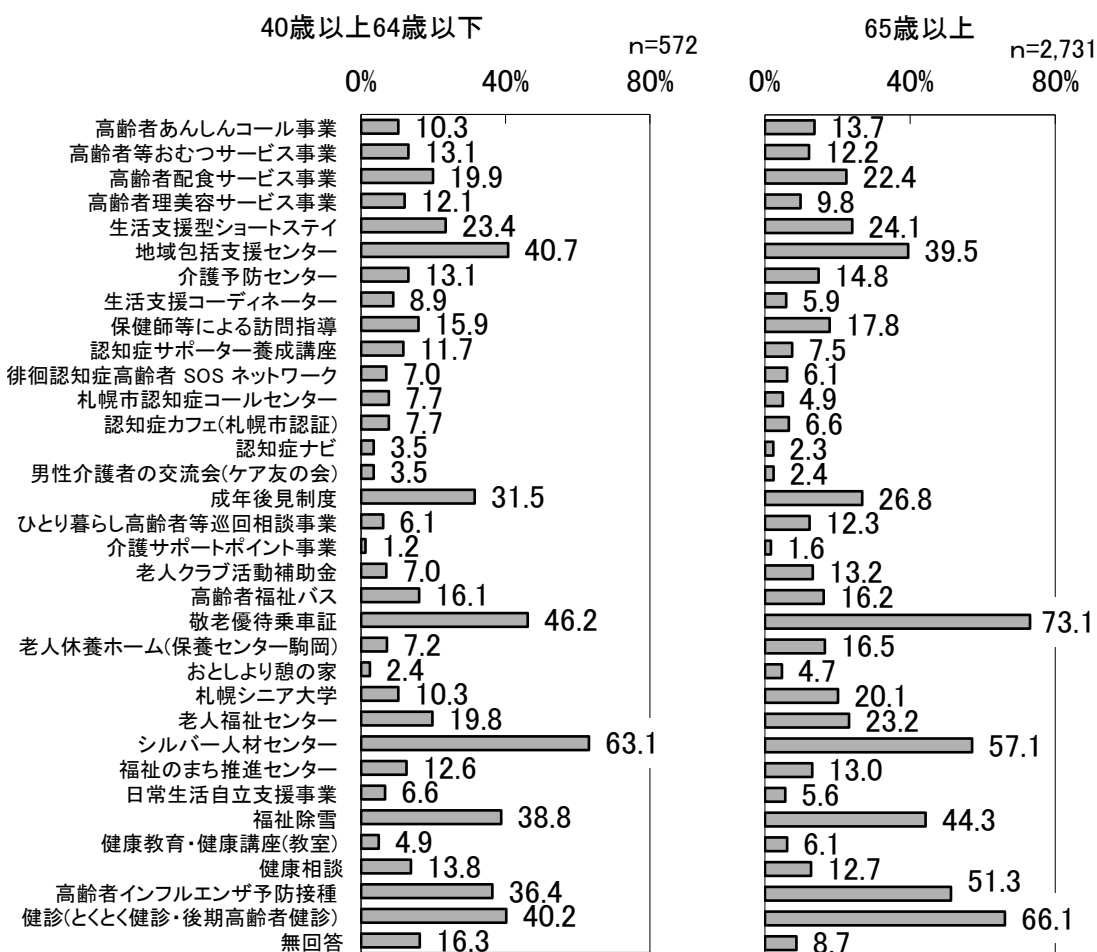
2. 7 その他

問7-1 サービスの認知度（複数回答）

札幌市などが行っている高齢者を主な対象者とした次の保健・福祉サービス及び事業の中で、知っているものはありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

札幌市などが行っている高齢者を主な対象とした保健・福祉サービスなどで知っているものがあるか尋ねたところ、64歳以下は「シルバー人材センター」（63.1%）が最も多く、次いで、「敬老優待乗車証」（46.2%）、「地域包括支援センター」（40.7%）となっており、65歳以上は、「敬老優待乗車証」（73.1%）が最も多く、次いで「健診（とくとく健診・後期高齢者健診）」（66.1%）、「シルバー人材センター」（57.1%）となっている。

問7-1 サービスの認知度（複数回答）

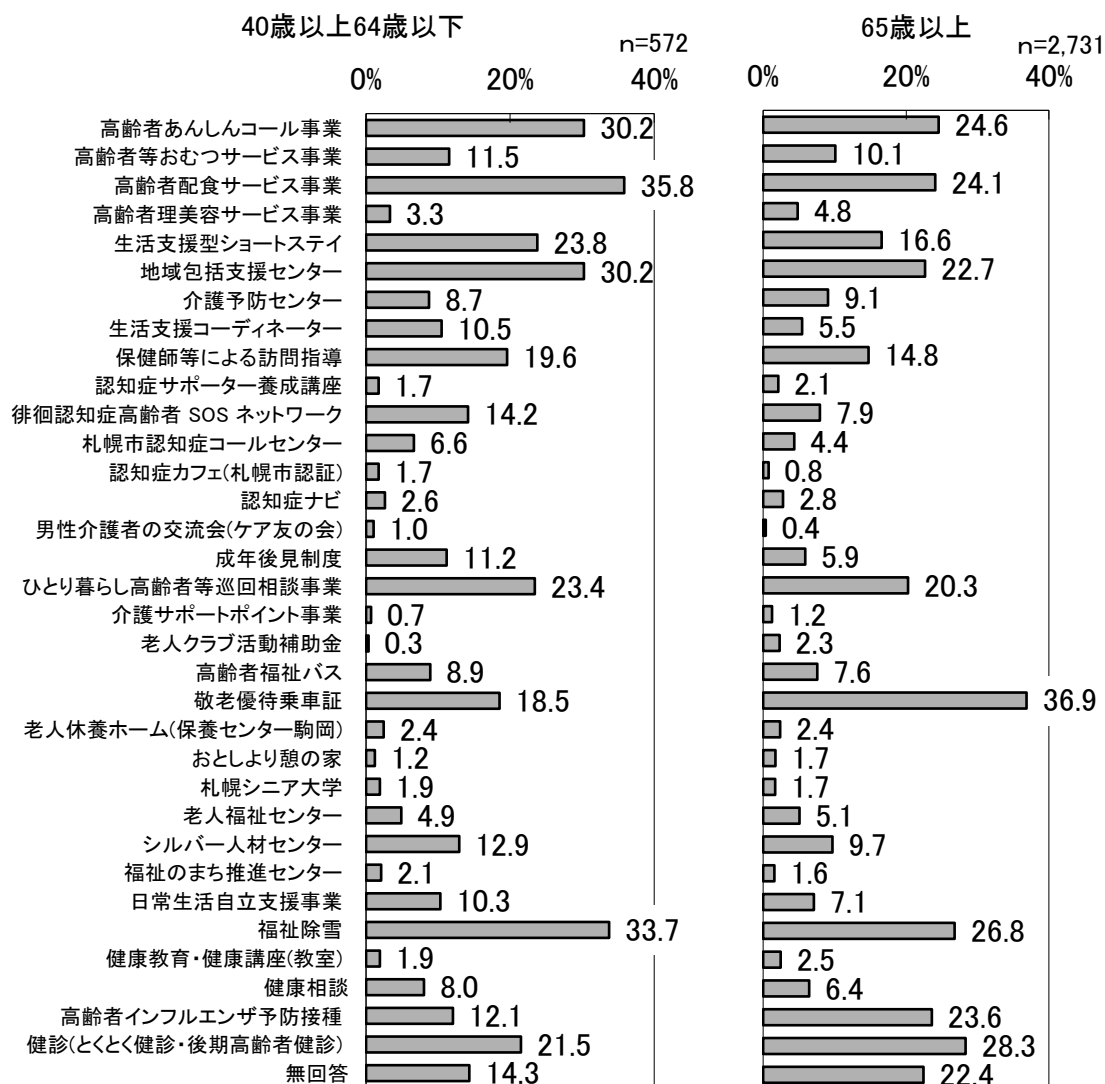


問7-2 特に重要なサービス（複数回答）

問7-1にある保健・福祉サービス及び事業の中で、特に重要だと考えるものはどれですか。当てはまるものを最大5つまで選んで、枠の中に該当する番号を記入してください。

札幌市などが行っている高齢者を対象とした保健・福祉サービスなどの中で、特に重要だと考えるものを尋ねたところ、64歳以下は「高齢者配食サービス事業」(35.8%)が最も多く、次いで「福祉除雪」(33.7%)となっており、65歳以上では「敬老優待乗車証」(36.9%)が最も多くなっており、次いで「健診（とくとく健診・後期高齢者健診）」(28.3%)となっている。

問7-2 特に重要なサービス（複数回答）



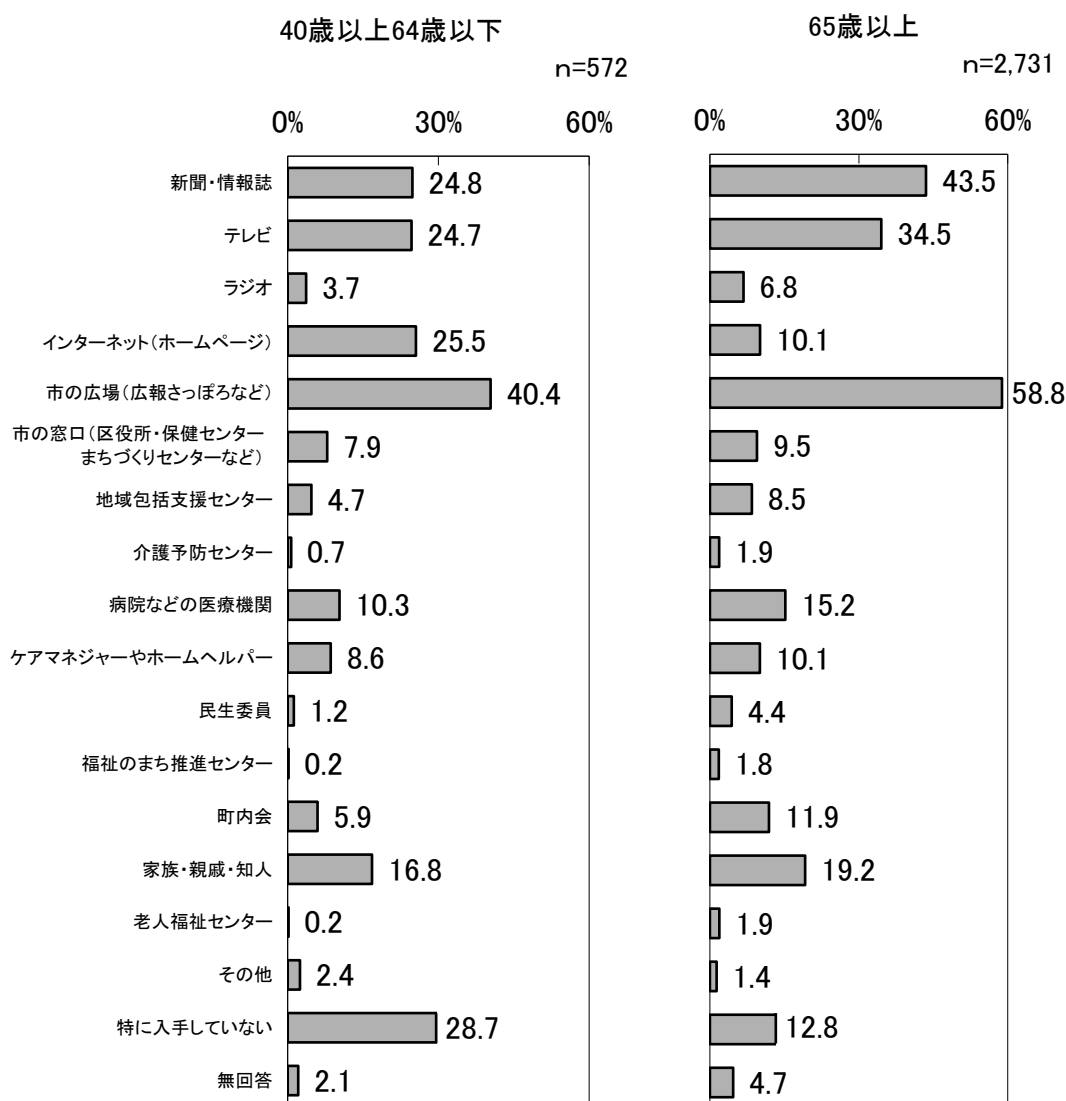
【2 調査結果（その他）】

問7-3 サービス情報の入手先（複数回答）

高齢者の保健・福祉サービスに関する情報は、主にどこから入手していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

高齢者の保健・福祉サービスに関する情報を主にどこから入手しているか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「市の広報（広報さっぽろなど）」が最も多く、64歳以下は40.4%、65歳以上では58.8%となっている。次いで、64歳以下は「特に入手していない」（28.7%）、65歳以上は「新聞・情報誌」（43.5%）となっている。

問7-3 サービス情報の入手先（複数回答）

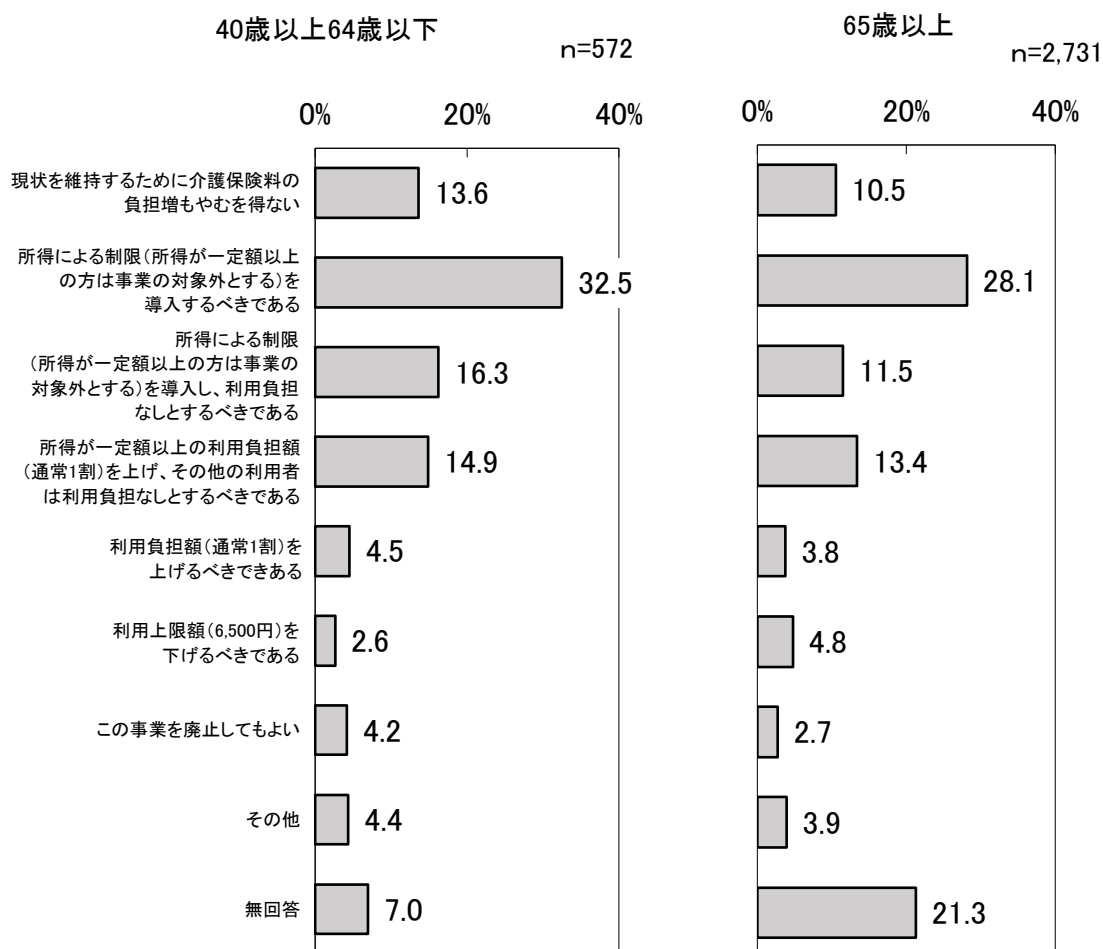


問7-4 おむつサービス事業

高齢者等おむつサービス事業は、介護保険料により実施しており、要介護3～5で一定の要件を満たした方に、月6,500円以内（対象者は利用額の1割を負担、生活保護受給者は負担なし）で月1回自宅におむつを配達する事業で、高齢化率の上昇に伴い利用者が年々増加しています。この事業の今後について、あなたはどのように考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

高齢者等おむつサービス事業について尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「所得による制限（所得が一定額以上の方は事業の対象外とする）を導入すべきである」が最も多く、64歳以下で32.5%、65歳以上で28.1%となっている。

問7-4 おむつサービス事業



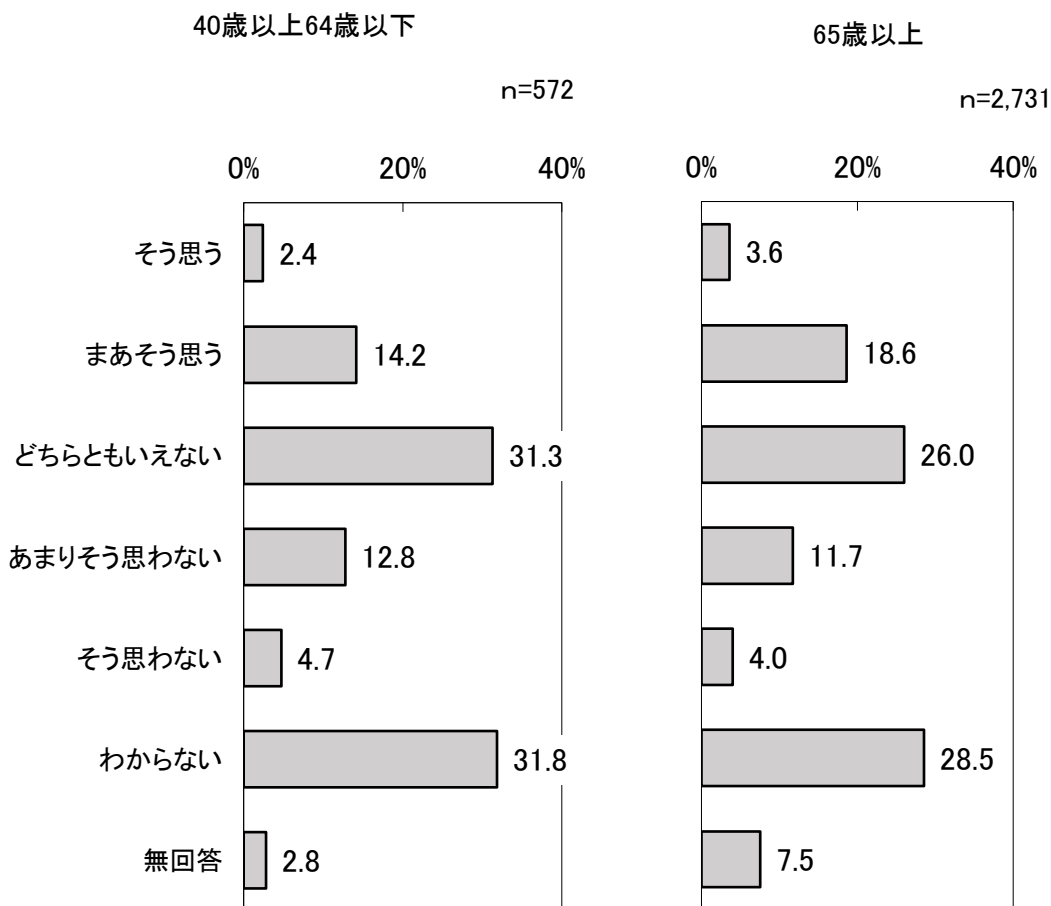
問7-5 元気で暮らし続けるための取組

札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市では、高齢者が介護を必要とせずに元気で健康に暮らし続けるための取組が十分になされていると思うか尋ねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は16.6%、65歳以上は22.2%となっている。

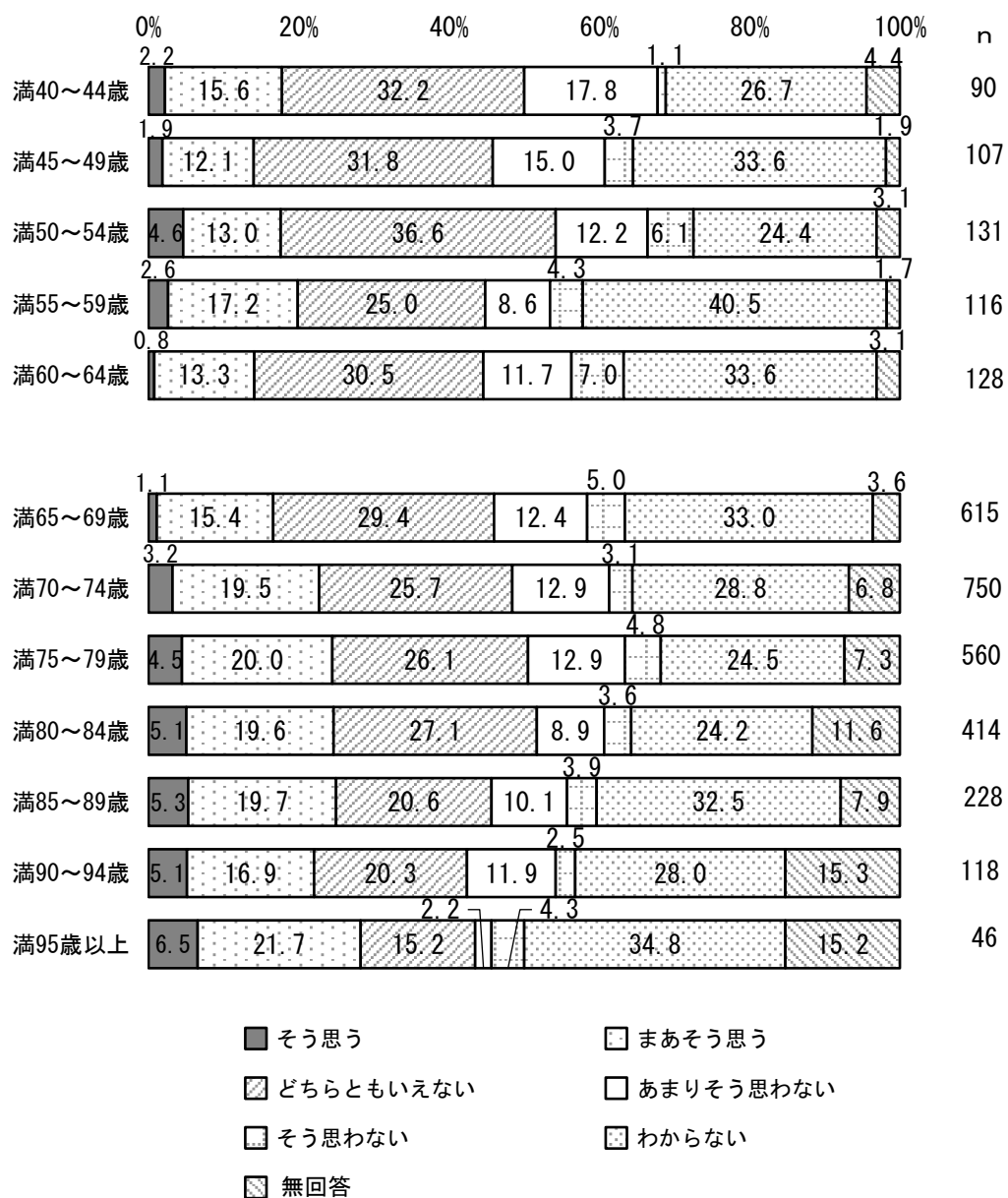
一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は17.5%、65歳以上は15.7%となっている。

問7-5 元気で暮らし続けるための取組



年齢別にみると、64歳以下に比べ、65歳以上の方が「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が多い傾向にある。

問7-5 元気で暮らし続けるための取組 × 問1-4 年齢

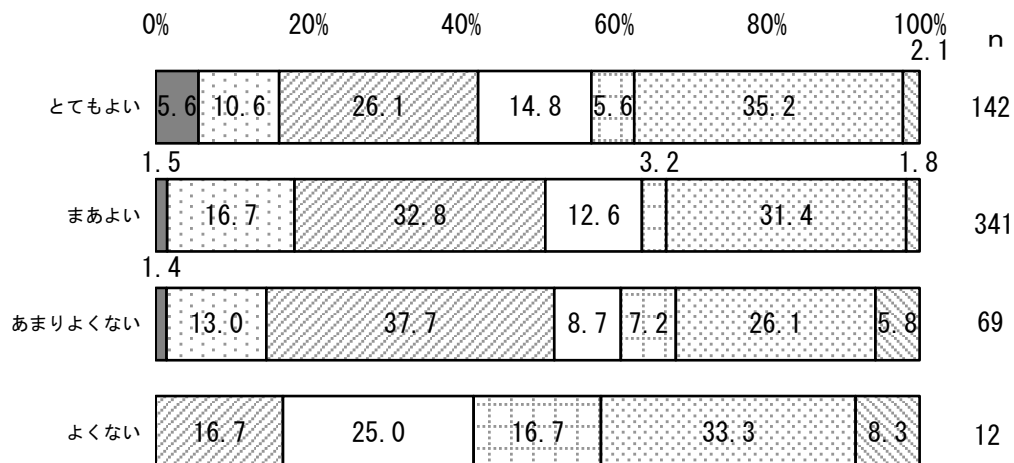


【2 調査結果（その他）】

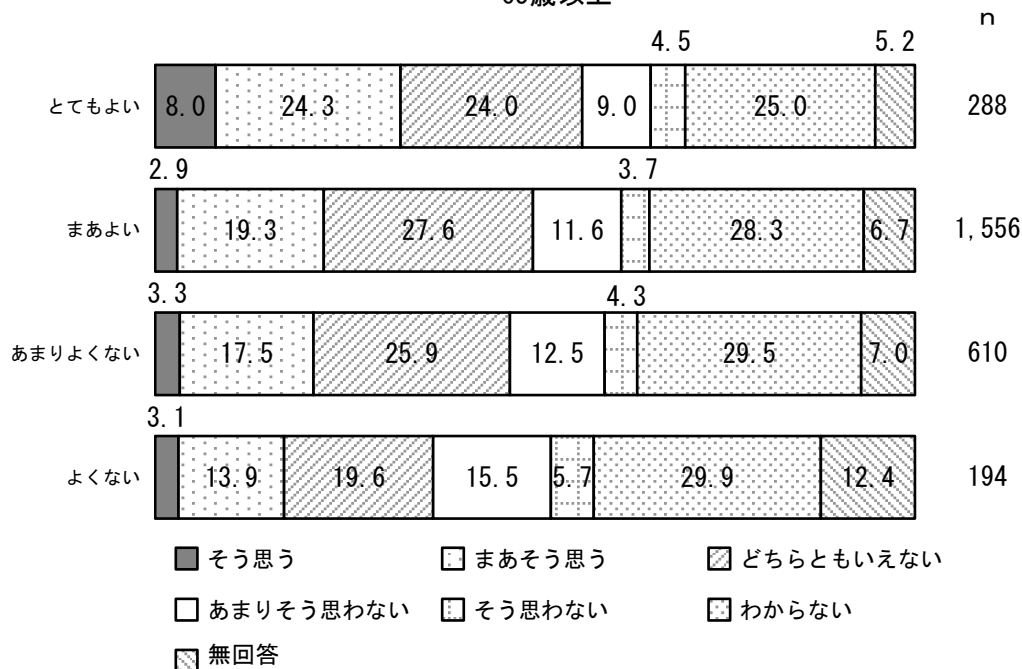
主観的健康観別にみると、64歳以下、65歳以上ともに「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、自分が健康だと感じている方ほど多くなっている。

問7-5 元気で暮らし続けるための取組 × 問4-1 主観的健康感

40歳以上64歳以下



65歳以上

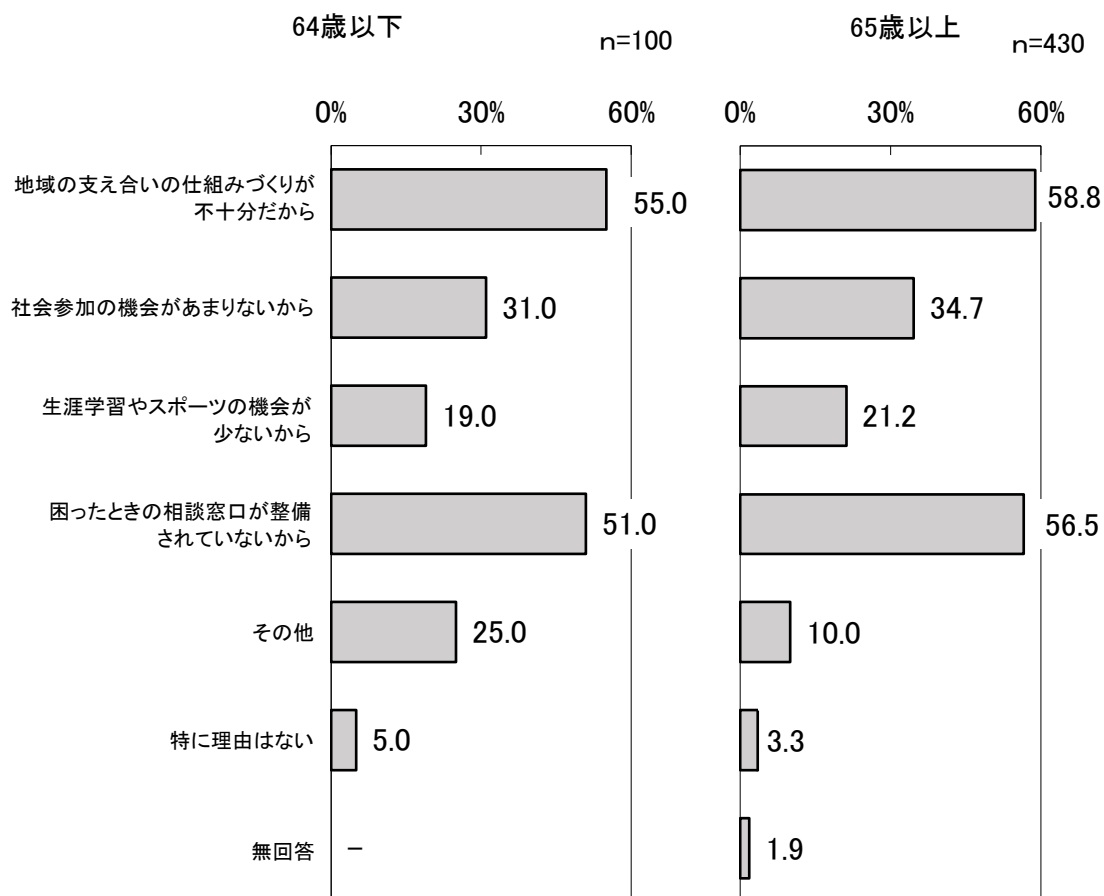


問7-6 取組が十分ではないと思う理由（複数回答）

【問7-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】
 取組が十分になされていないと思う理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

問7-5で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した方に、取組が十分になされていないと思う理由を尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「地域の支え合いの仕組みづくりが不十分だから」が最も多く、64歳以下は55.0%、65歳以上では58.8%となっている。

問7-6 取組が十分ではないと思う理由（複数回答）



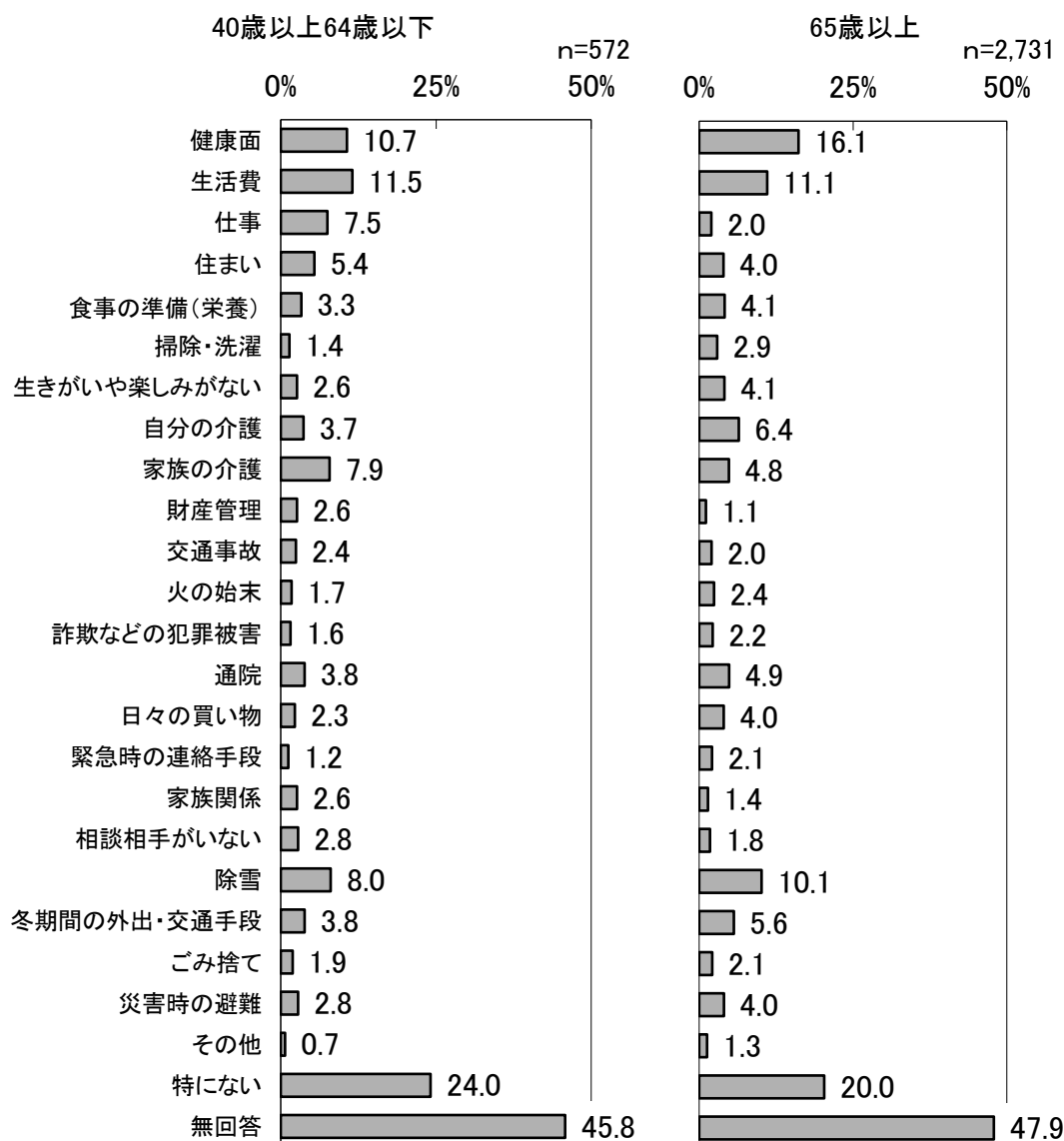
【2 調査結果（その他）】

問7-7 現在の困りごと、将来の不安（複数回答）

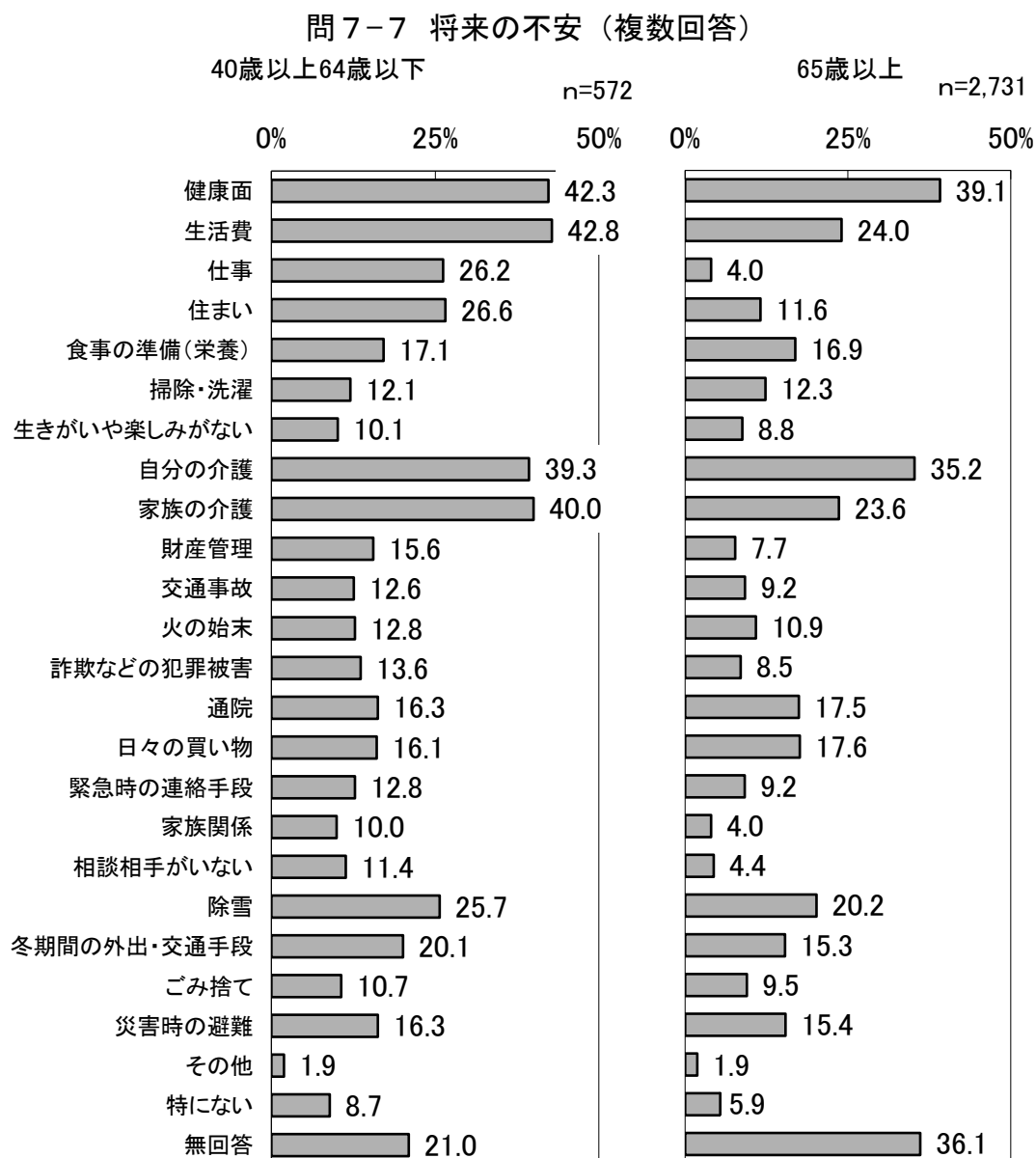
現在困っていることや、将来に向けて不安に思うことはありますか。当てはまるすべての枠の中に○を記入してください。

現在困っていることについて尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「特にない」が最も多く、64歳以下は24.0%、65歳以上では20.0%となっている。次いで、64歳以下は「生活費」(11.5%)、65歳以上は「健康面」(16.1%)となっている。

問7-7 現在の困りごと（複数回答）



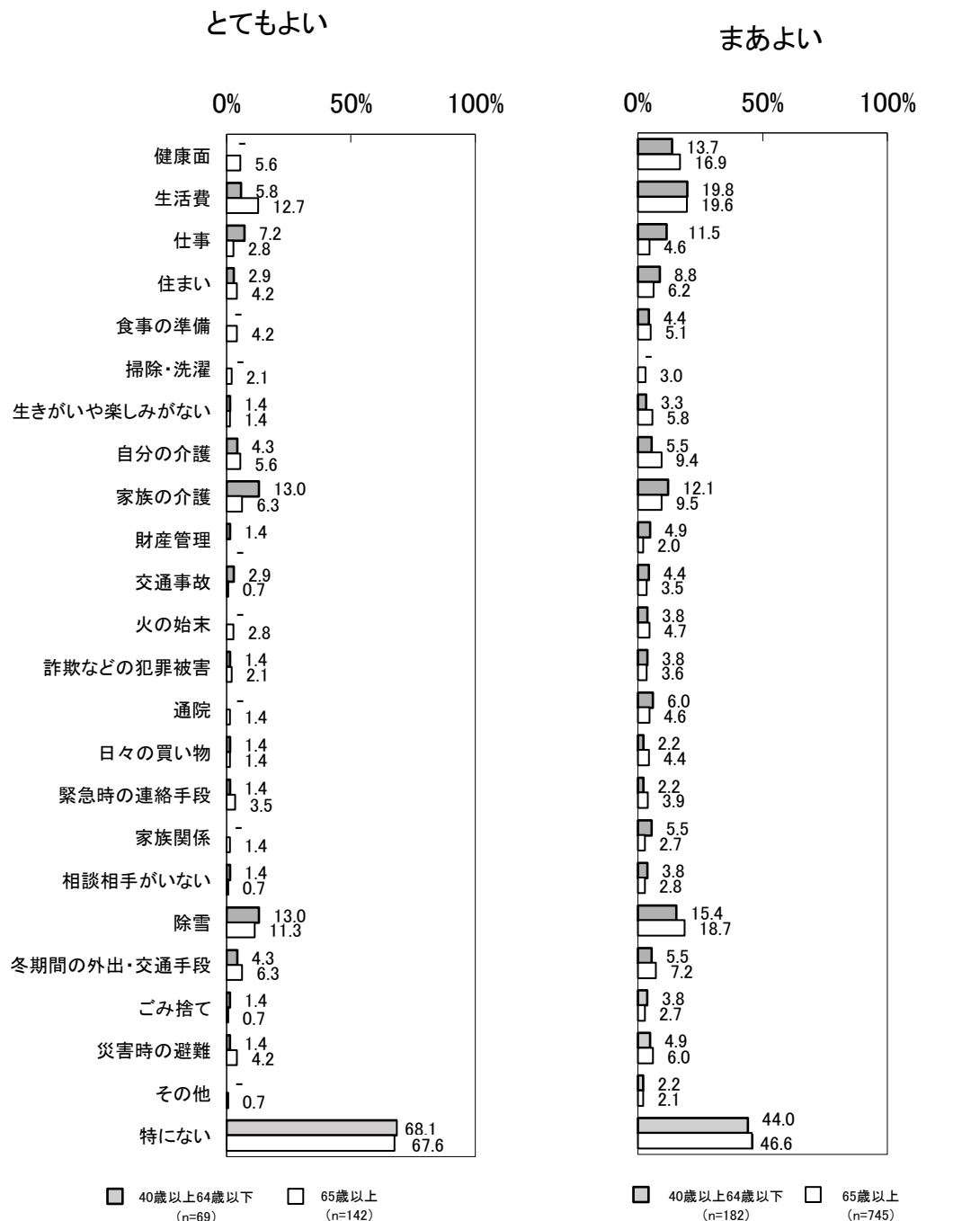
将来不安なことについて尋ねたところ、64歳以下は「生活費」（42.8%）が最も多く、次いで「健康面」（42.3%）、「家族の介護」（40.0%）となっており、65歳以上では「健康面」（39.1%）が最も多く、次いで「自分の介護」（35.2%）、「生活費」（24.0%）となっている。



【2 調査結果（その他）】

現在困っていることを主観的健康感別にみると、64歳以下、65歳以上ともに、「あまりよくない」「よくない」と回答した方は、「健康面」とする割合が多くなっている。

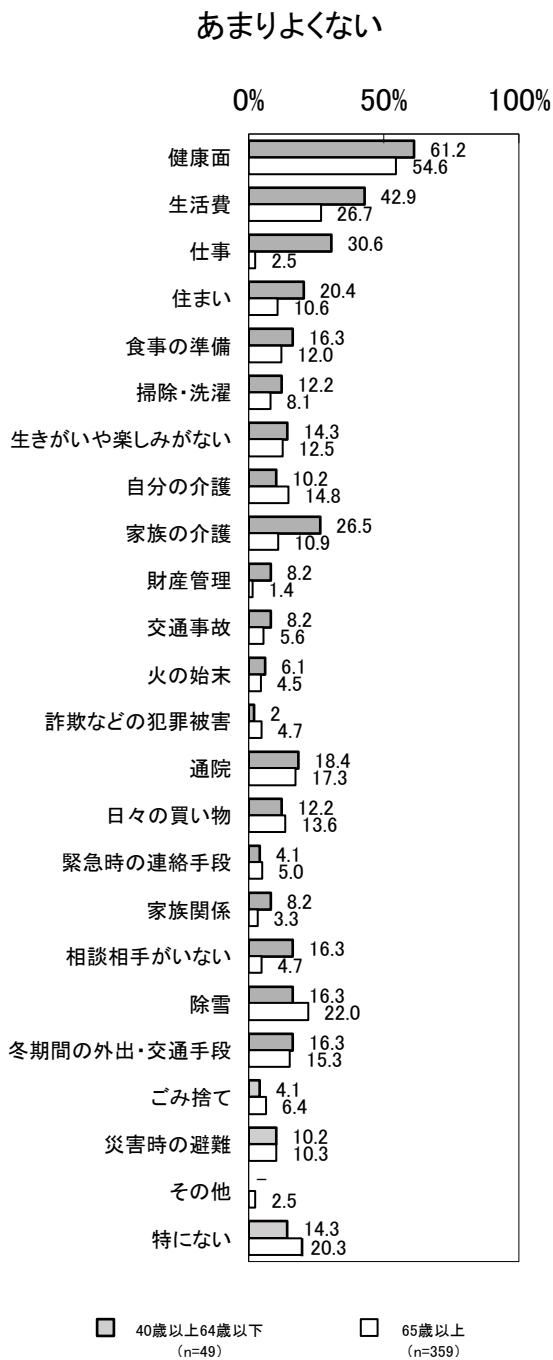
問7-7 現在の困りごと(複数回答) × 問4-1 主観的健康感



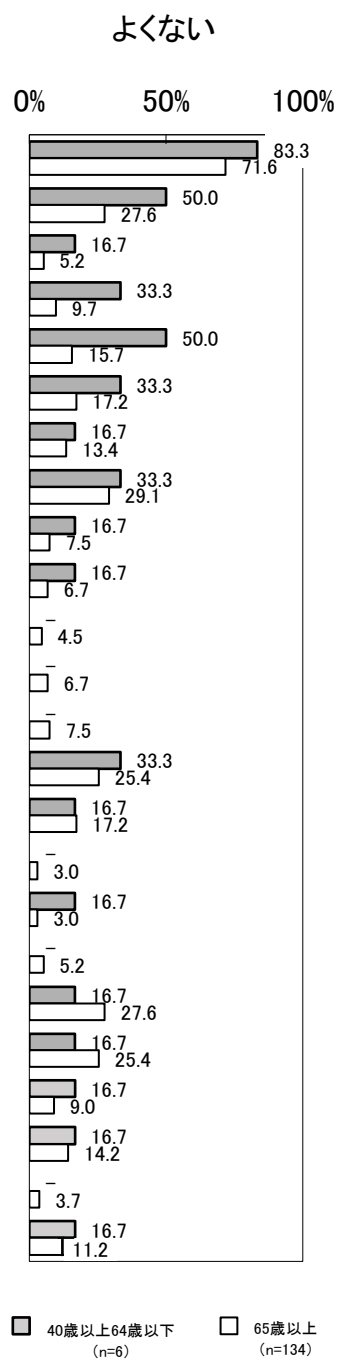
※「無回答」(40歳以上64歳以下：n=73、65歳以上：n=146)を除いて集計している。

※「無回答」(40歳以上64歳以下：n=159、65歳以上：n=811)を除いて集計している。

【2 調査結果（その他）】



※「無回答」（40歳以上64歳以下：n=20、65歳以上：n=251）を除いて集計している。

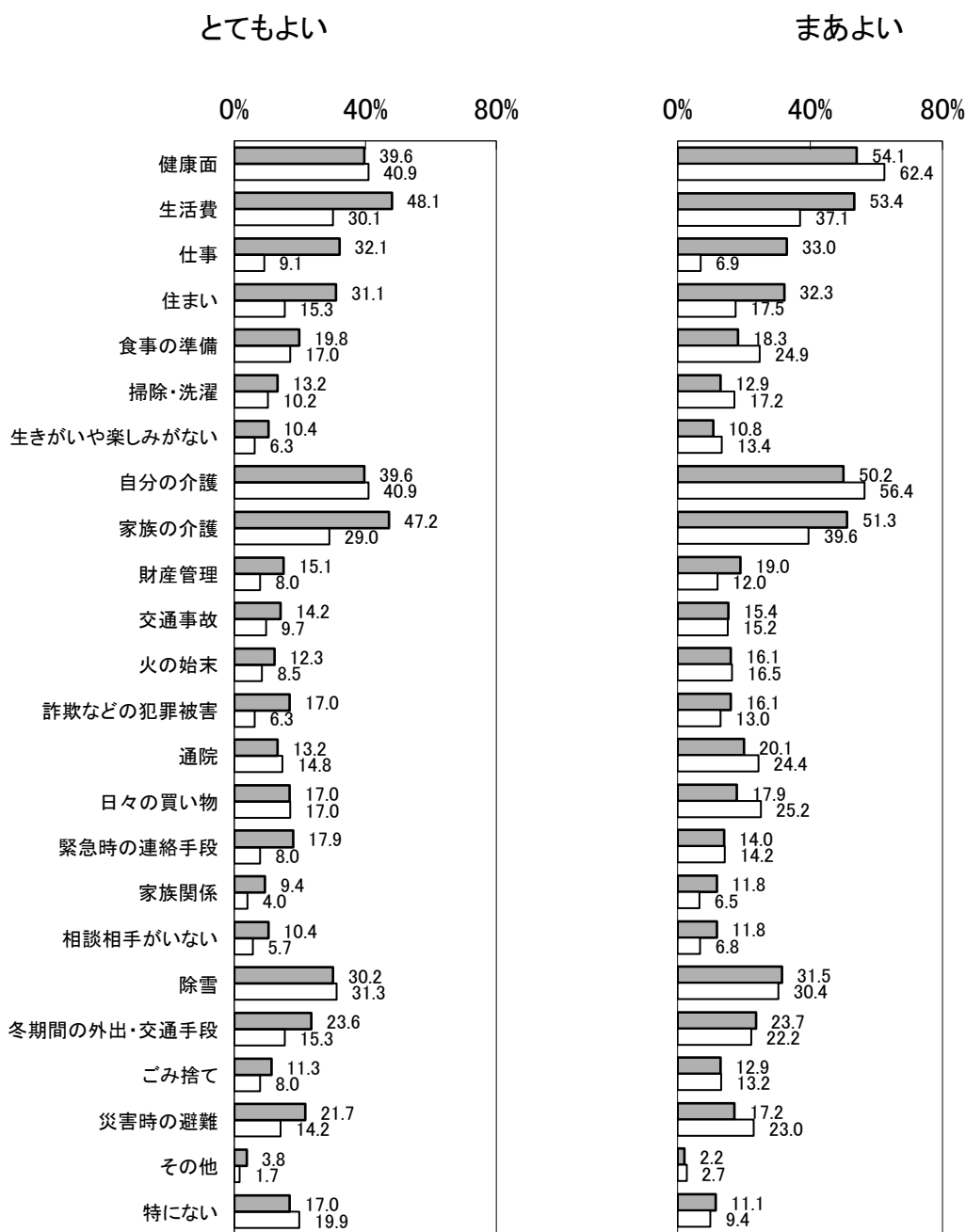


※「無回答」（40歳以上64歳以下：n=6、65歳以上：n=60）を除いて集計している。

【2 調査結果（その他）】

将来に向け不安に思うことを主観的健康感別にみると、「よくない」と回答した方は64歳以下は「健康面」、「生活費」、「住まい」、「自分の介護」が最も多くなっており、65歳以上では「健康面」の割合が最も多くなっている。

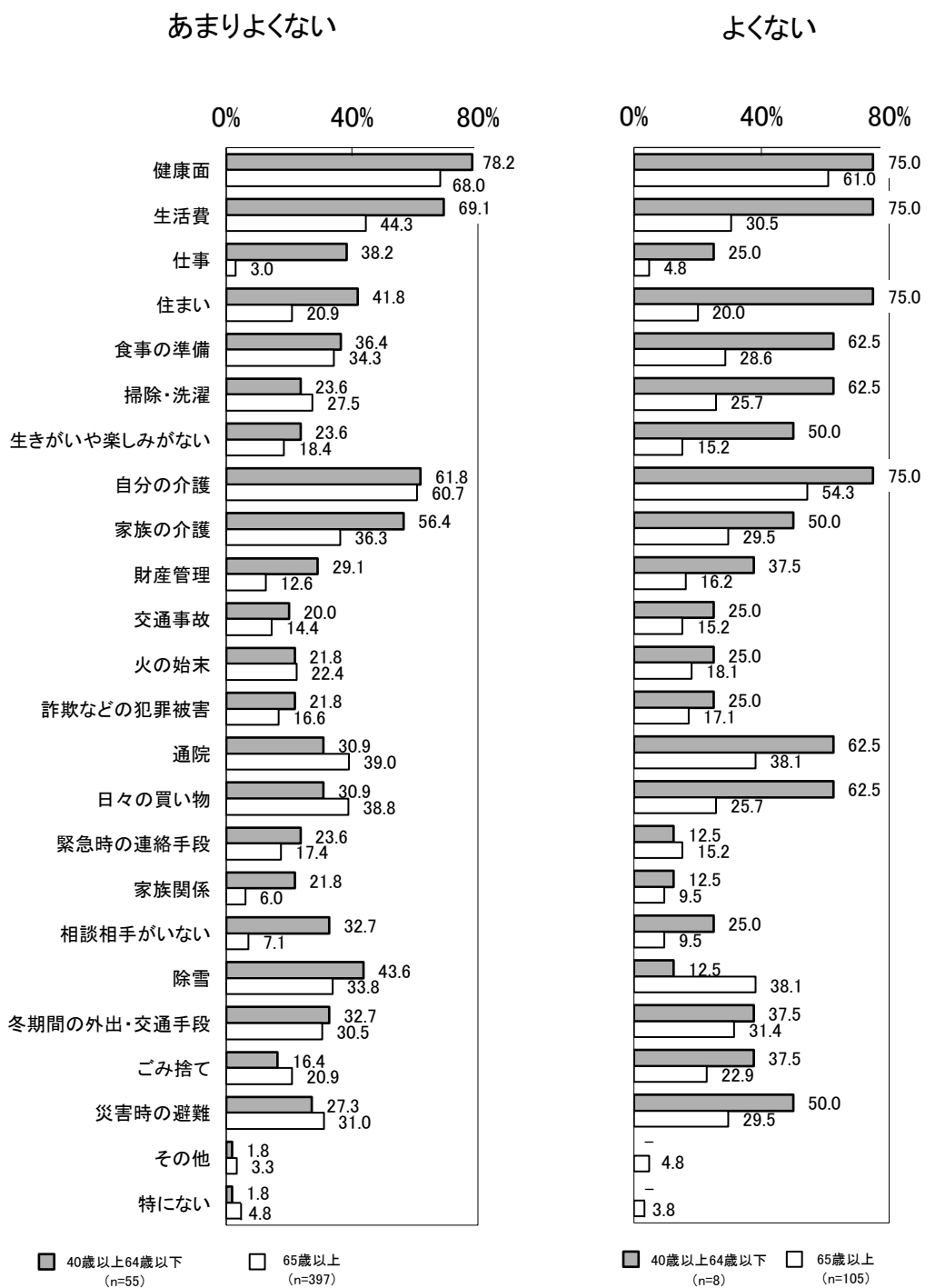
問7-7 将来の不安(複数回答) × 問4-1 主観的健康感



※ 「無回答」(40歳以上64歳以下: n=36、65歳以上: n=112)を除いて集計している。

※ 「無回答」(40歳以上64歳以下: n=62、65歳以上: n=531)を除いて集計している。

【2 調査結果（その他）】



※ 「無回答」（40歳以上64歳以下：n=14、65歳以上：n=213）を除いて集計している。

※ 「無回答」（40歳以上64歳以下：n=4、65歳以上：n=89）を除いて集計している。

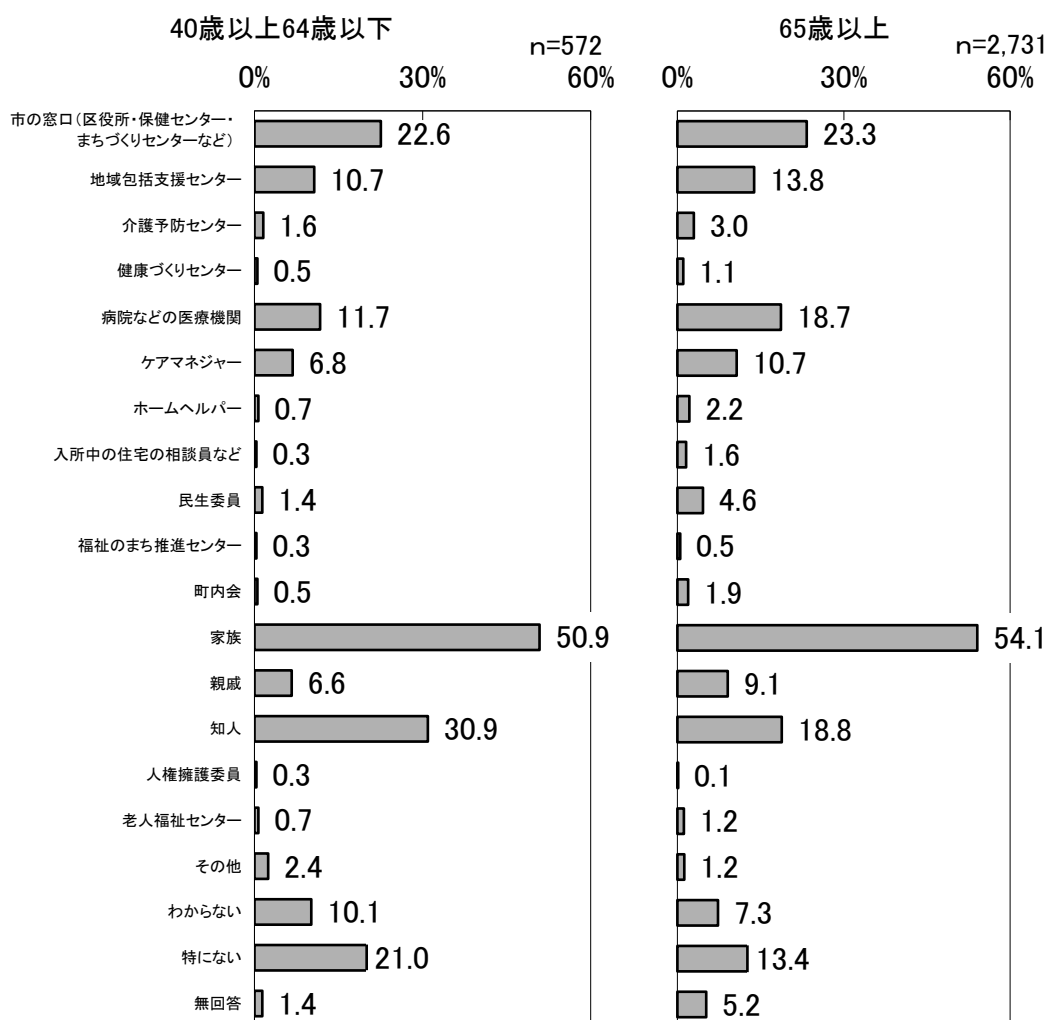
【2 調査結果（その他）】

問7-8 困りごとや不安の相談先（複数回答）

あなたは、困っていることや不安に思うことを、どこに相談していますか。あるいは、どこに相談しようと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

困っていることや不安に思っていることの相談先について尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「家族」が最も多く、64歳以下は50.9%、65歳以上は54.1%となっている。次いで、64歳以下では「知人」（30.9%）、「市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）」（22.6%）となっており、65歳以上では「市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）」（23.3%）、「知人」（18.8%）となっている。

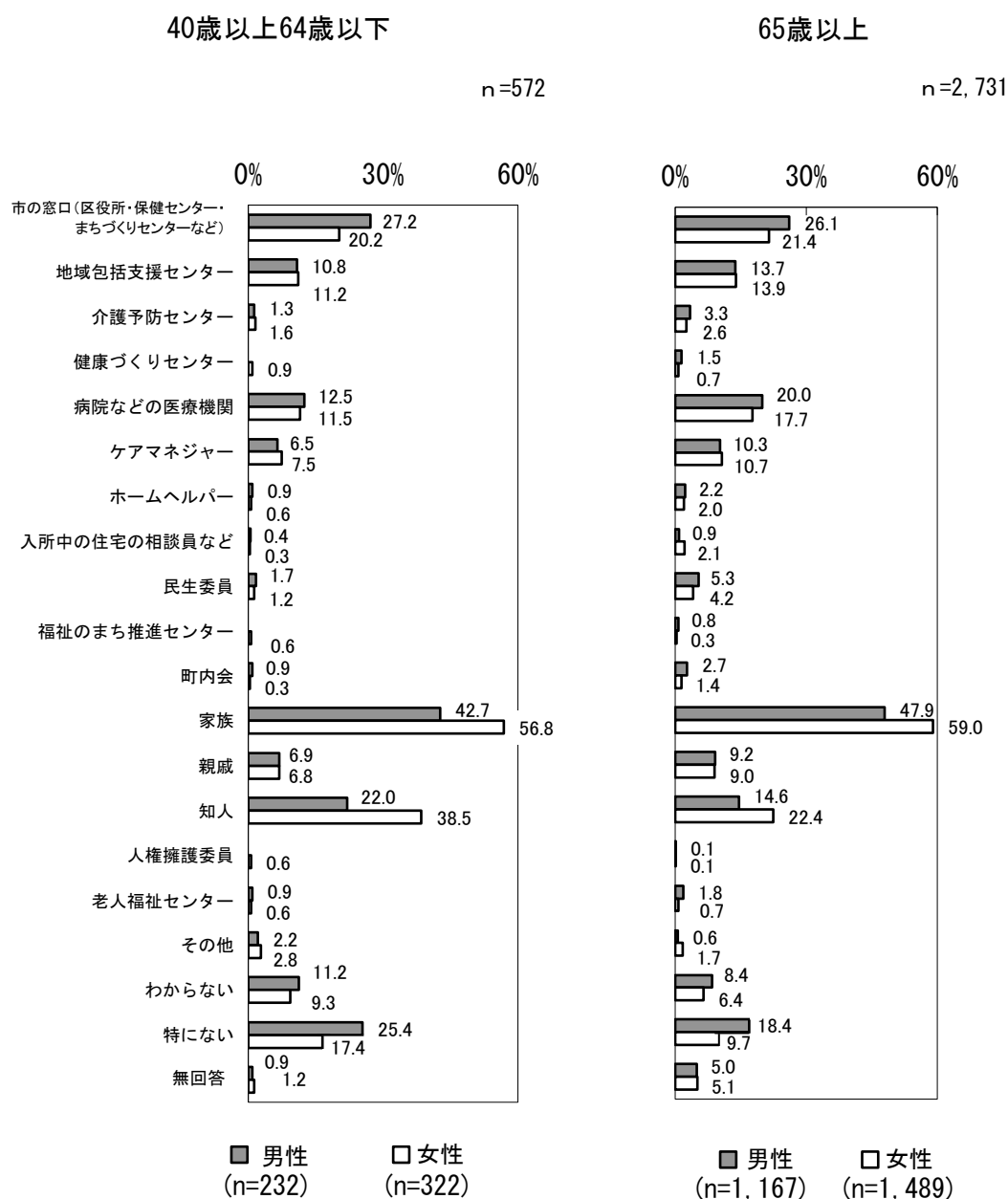
問7-8 困りごとや不安の相談先（複数回答）



【2 調査結果（その他）】

男女別にみると、64歳以下、65歳以上ともに「家族」「知人」の割合は、ともに女性の方が多くなっている一方、「市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）」「病院などの医療機関」の割合は、ともに男性が多くなっている。

問7-8 困りごとや不安の相談先(複数回答) × 問1-3 性別

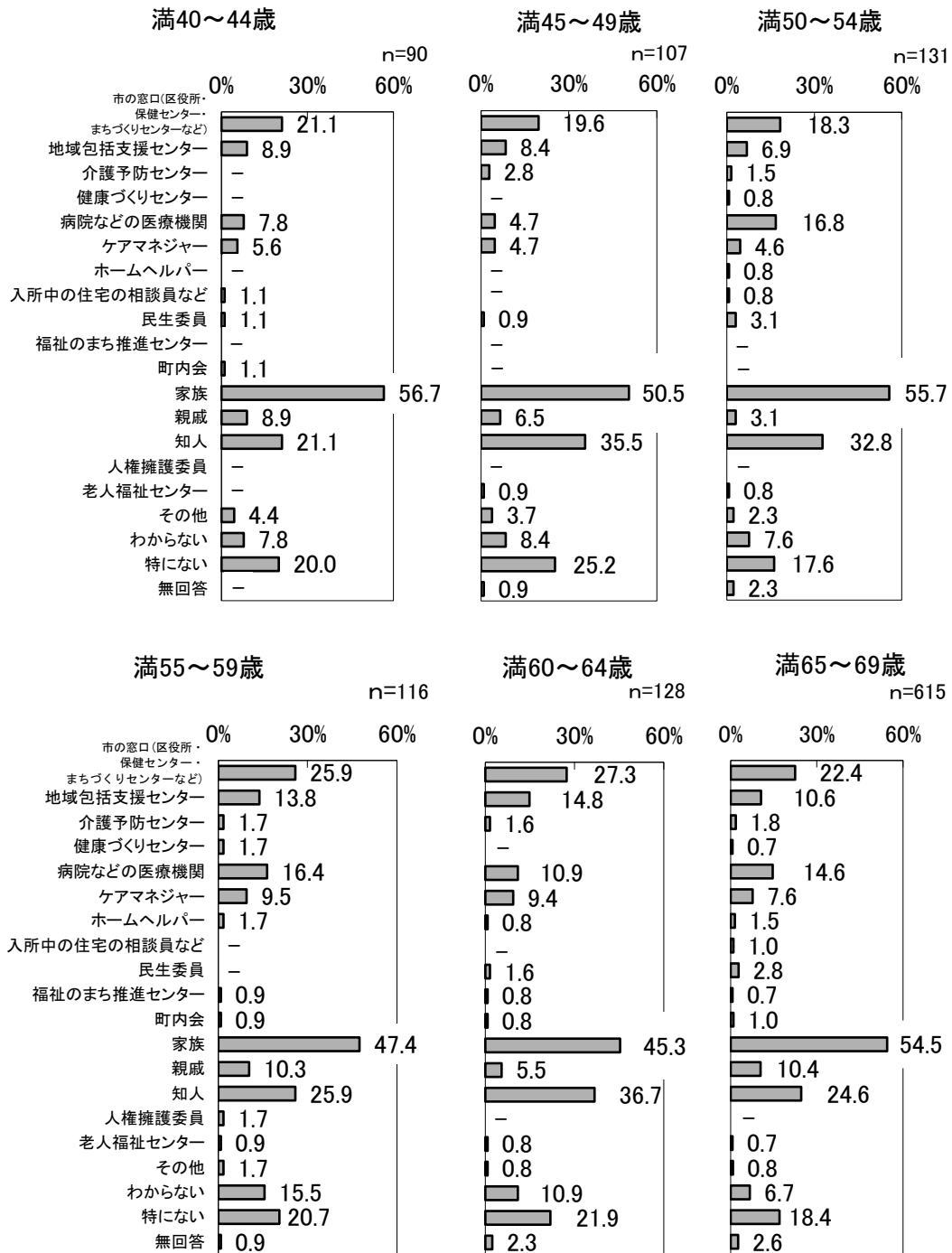


※ 40歳以上64歳以下の性別「その他」(n=1)については無回答であった。

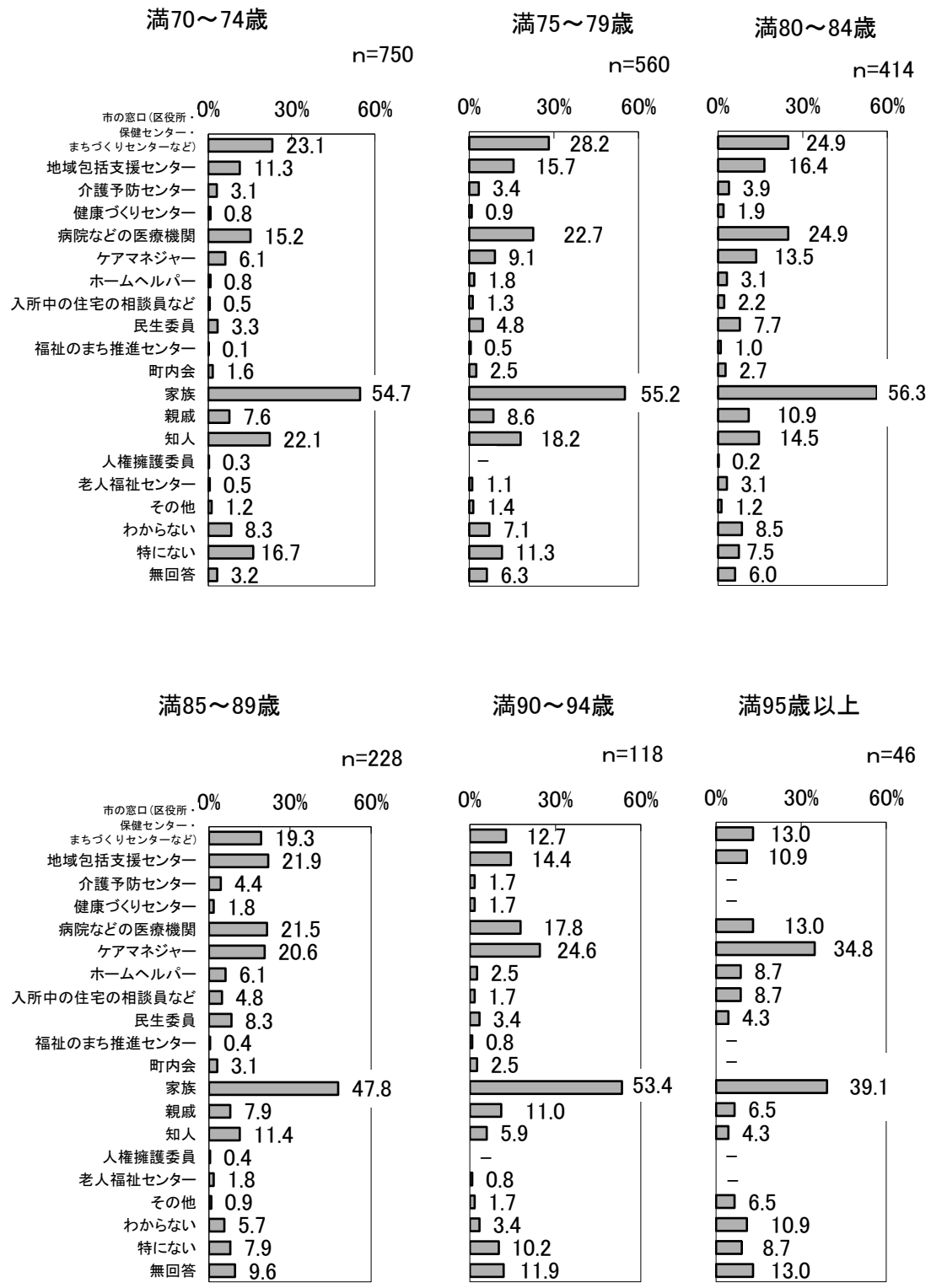
【2 調査結果（その他）】

年齢別にみると、全年齢で「家族」と回答した方の割合が多くなっている。次いで「満40～44歳」「満50～54歳」「満60～64歳」では「知人」が、「満95歳以上」では「ケアマネジャー」が多くなっている。

問7-8 困りごとや不安の相談先(複数回答) × 問1-4 年齢



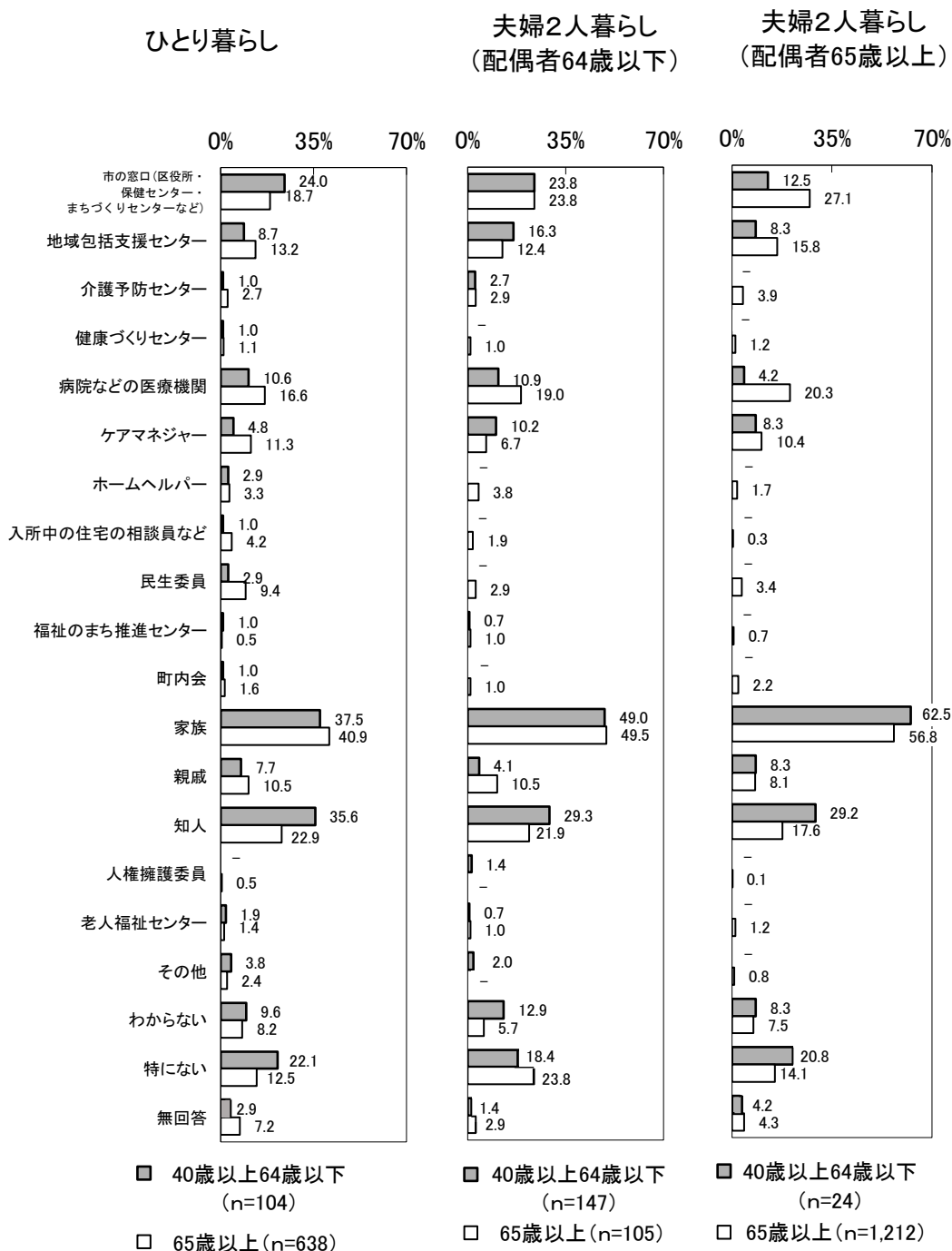
【2 調査結果（その他）】



【2 調査結果（その他）】

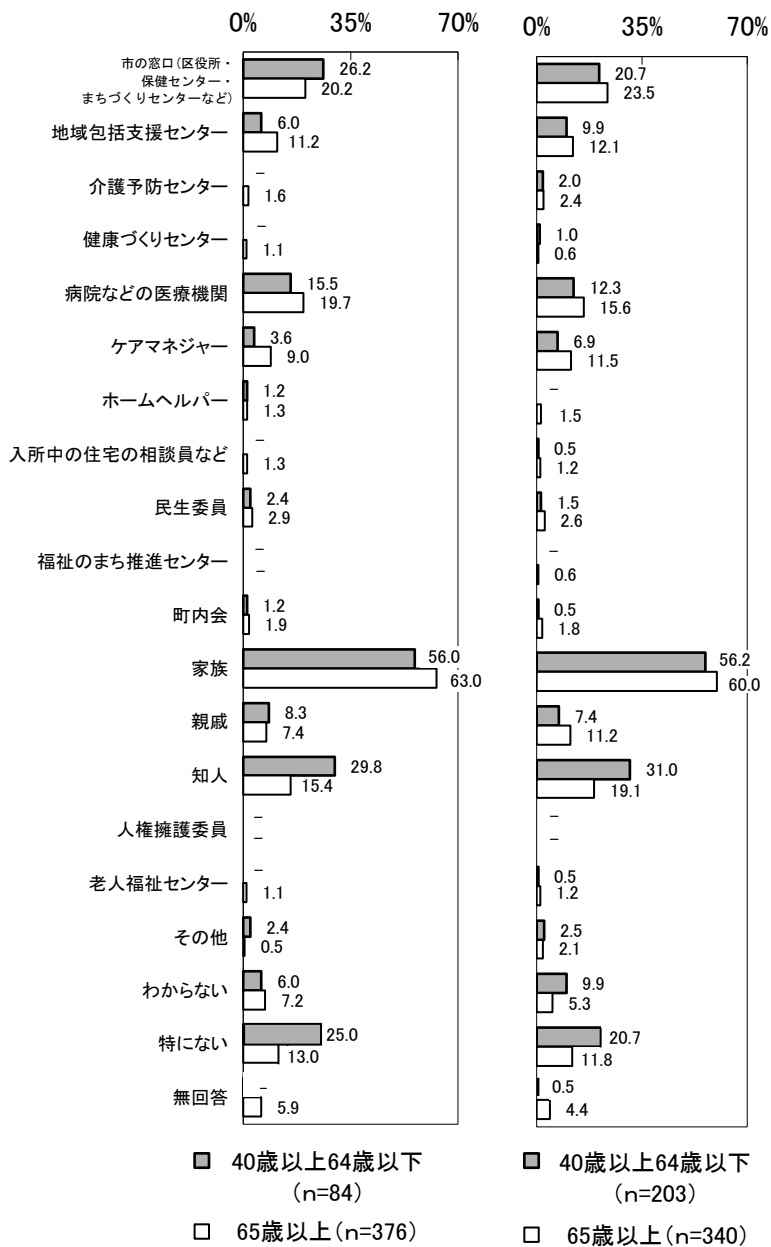
家族構成別にみると、65歳以上では「家族」の割合が「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」を除いて64歳以下よりも多くなっている一方、64歳以下ではすべての世帯で「知人」の割合が65歳以上よりも多くなっている。

問7-8 困りごとや不安の相談先(複数回答) × 問2-1 家族構成



息子や娘との2世帯

その他



【2 調査結果（その他）】

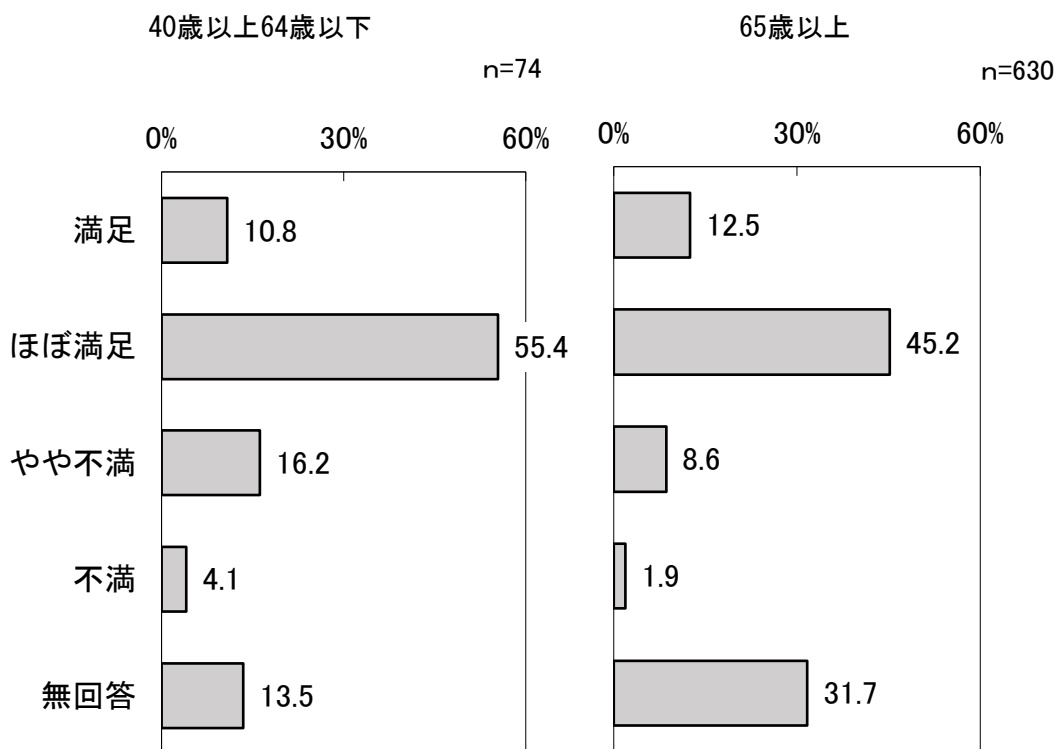
問7-9 地域包括支援センターの利用満足度

地域包括支援センターに対する満足度を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

地域包括支援センターに対する満足度を尋ねたところ、利用経験のある方のうち、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は64歳以下で66.2%、65歳以上は57.7%となっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合は、64歳以下で20.3%、65歳以上では10.5%となっている。

問7-9 地域包括支援センターの利用満足度



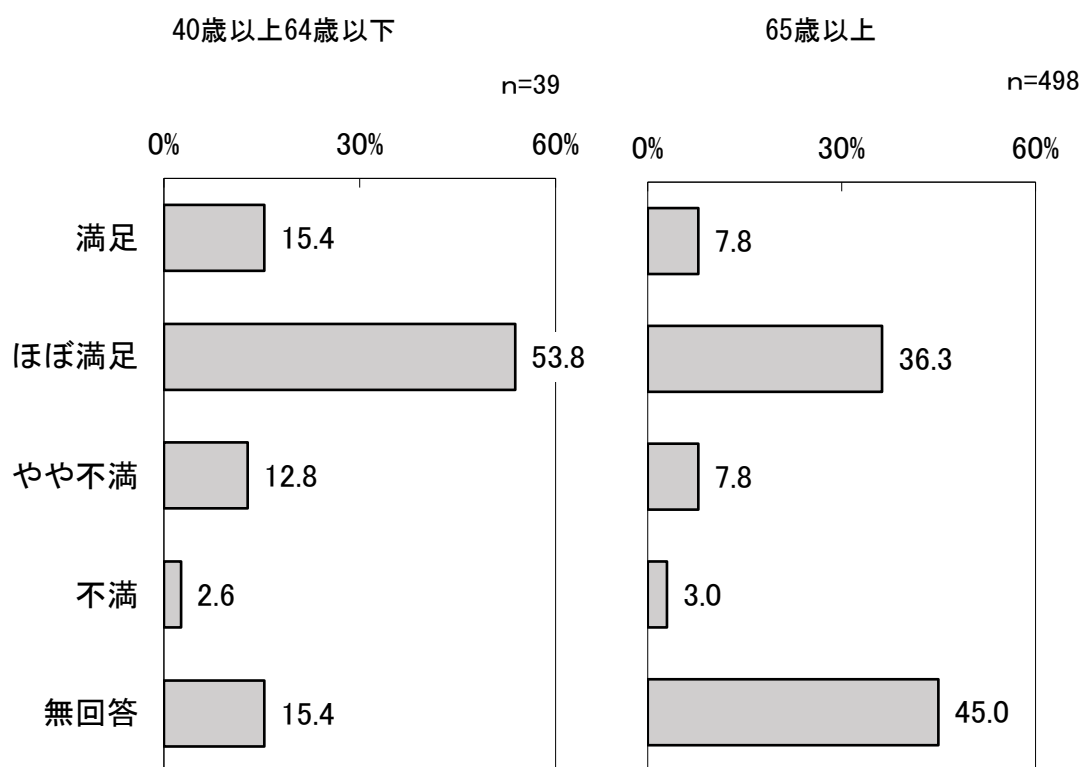
※「利用していない」(40歳以上64歳以下：n=498、65歳以上：n=2,101)を除いて集計している。

問7-10 介護予防センターの利用満足度

介護予防センターに対する満足度を教えてください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

介護予防センターに対する満足度を尋ねたところ、利用経験のある方のうち、「満足」「ほぼ満足」を合わせた割合は64歳以下で69.2%、65歳以上は44.1%となっている。一方、「やや不満」「不満」を合わせた割合は、64歳以下で15.4%、65歳以上では10.8%となっている。

問7-10 介護予防センターの利用満足度



※「利用していない」（40歳以上64歳以下：n=533、65歳以上：n=2,233）を除いて集計している。

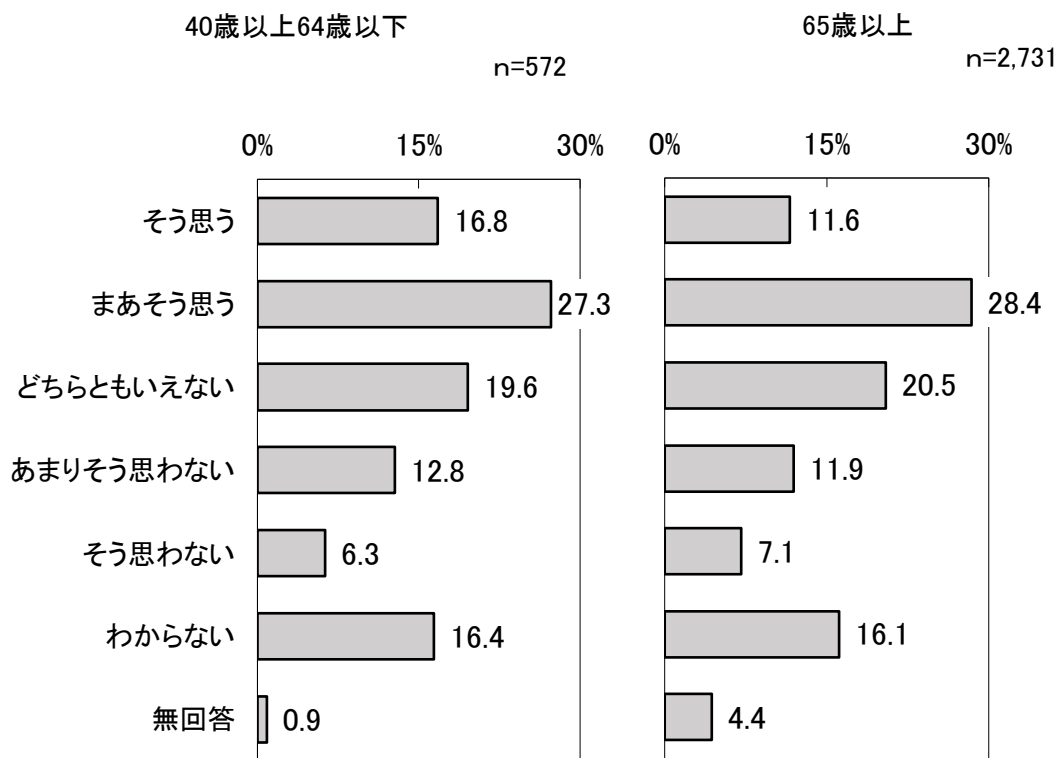
【2 調査結果（その他）】

問7-11 高齢者の優遇

今の社会では、他の世代に比べて高齢者は優遇されていると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

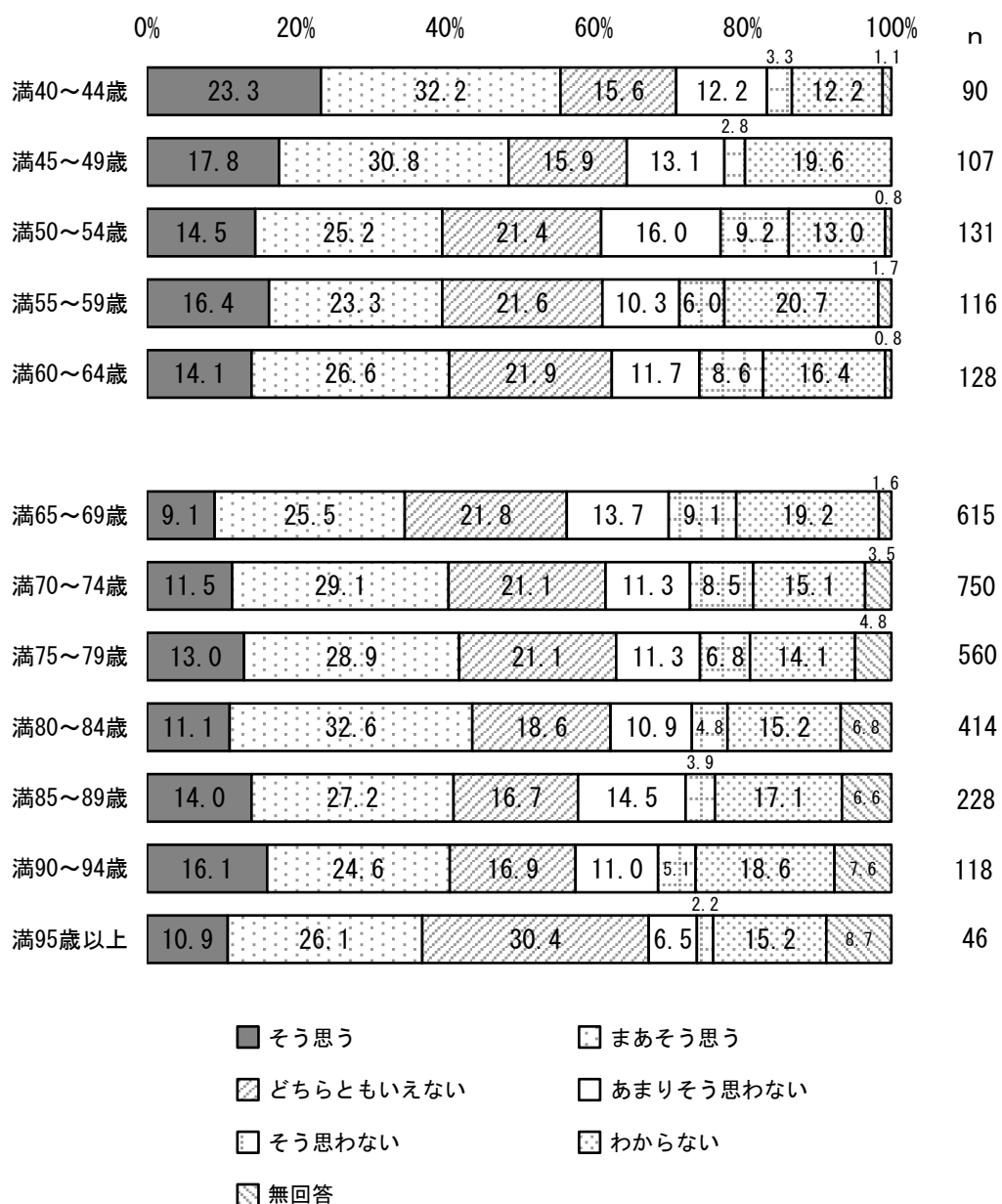
今の社会では、他の世代に比べて高齢者は優遇されていると思うかについて尋ねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は44.1%、65歳以上は40.0%となっている。一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は、64歳以下は19.1%、65歳以上では19.0%となっている。

問7-11 高齢者の優遇



年齢別にみると、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は、64歳以下は「満40～44歳」で55.5%、65歳以上は「満80～84歳」で43.7%と最も多くなっている。

問7-11 高齢者の優遇 × 問1-4 年齢



【2 調査結果（その他）】

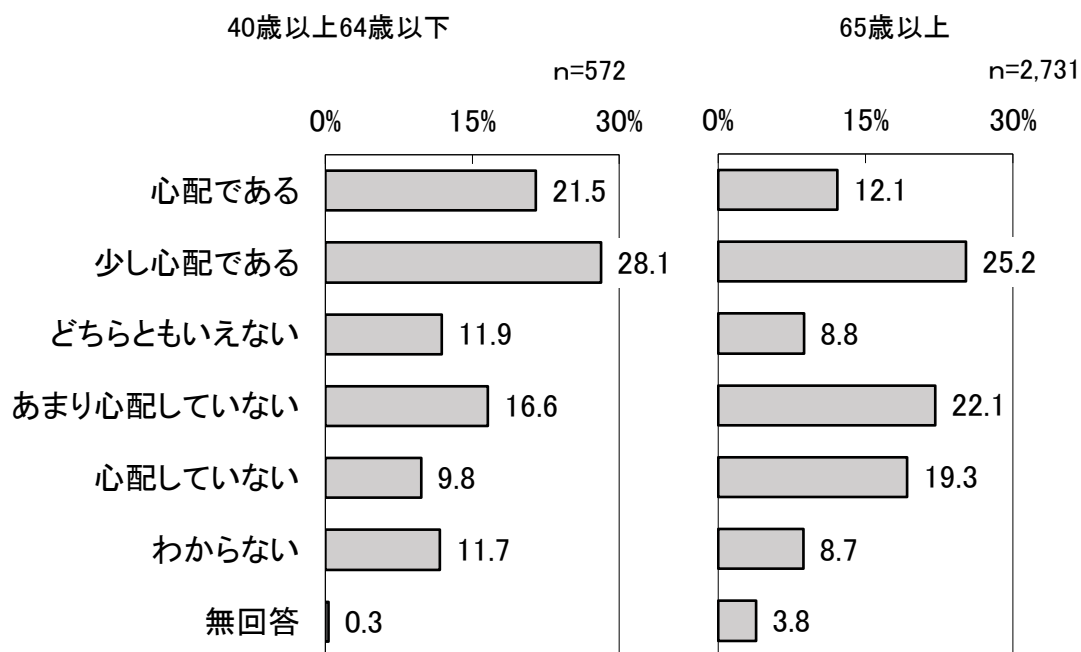
問7-12 孤立死の心配

近年、孤立死*が大きな問題となっていますが、あなたは、孤立死について心配がありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

孤立死について心配があるかを尋ねたところ、「心配である」「少し心配である」を合わせた割合が、64歳以下は49.6%、65歳以上は37.3%となっている。

一方、「あまり心配していない」「心配していない」を合わせた割合は、64歳以下で26.4%、65歳以上では41.4%となっている。

問7-12 孤立死の心配

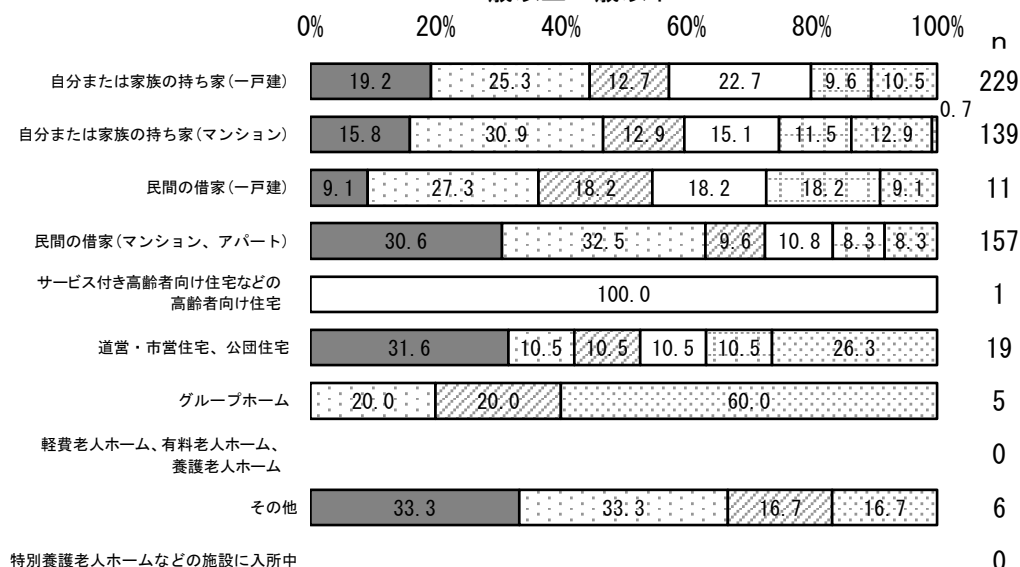


※ 「孤立死」とは、高齢社会の進展に伴いひとり暮らしの高齢者等が増え、誰にも看取られずに亡くなったり、亡くなった後に何日間か放置された状態で発見されたりすることをいいます。

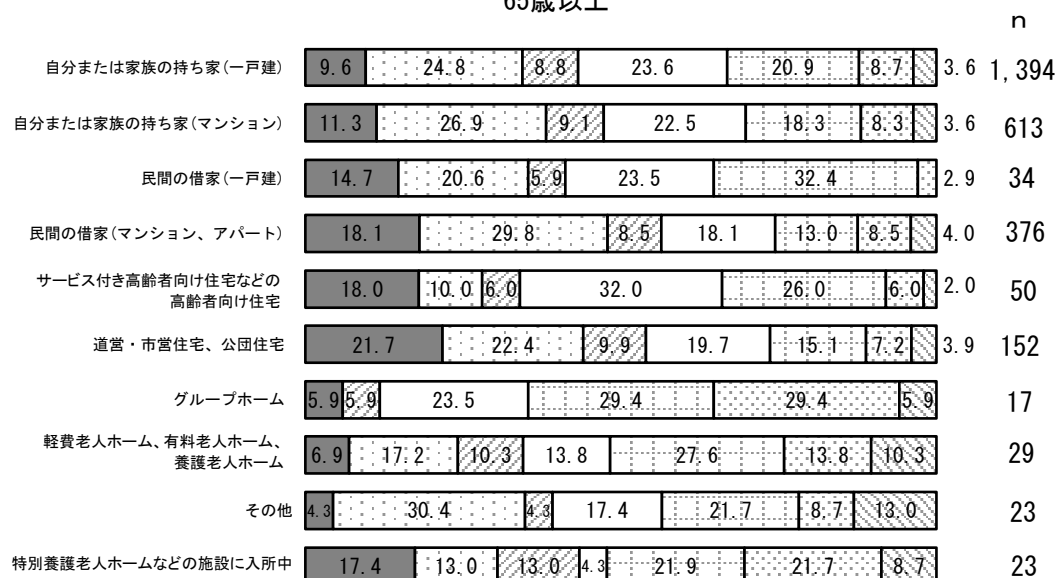
【2 調査結果（その他）】

現在の生活場所別にみると「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は、64歳以下、65歳以上ともに「民間の借家（マンション、アパート）」が特に多く、64歳以下で63.1%、65歳以上で47.9%となっている。

問7-12 孤立死の心配 × 問1-5 現在の生活場所
40歳以上64歳以下



65歳以上



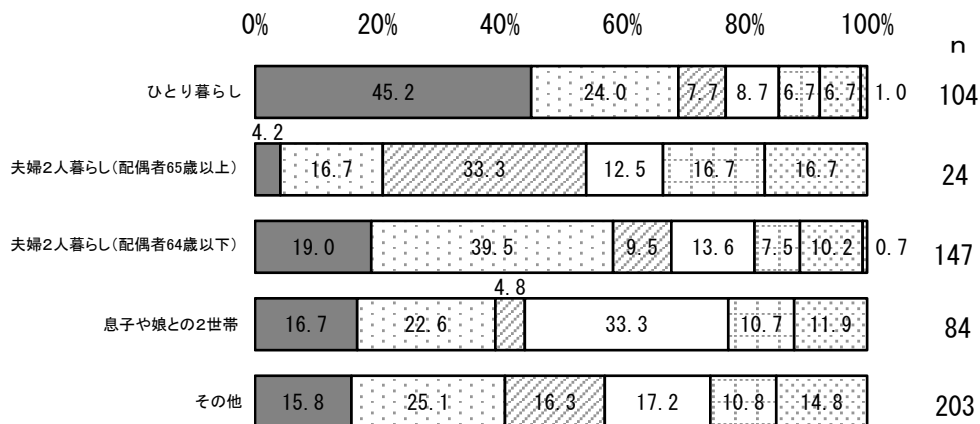
- 心配である
- 少し心配である
- どちらともいえない
- あまり心配していない
- 心配していない
- わからない
- 無回答

【2 調査結果（その他）】

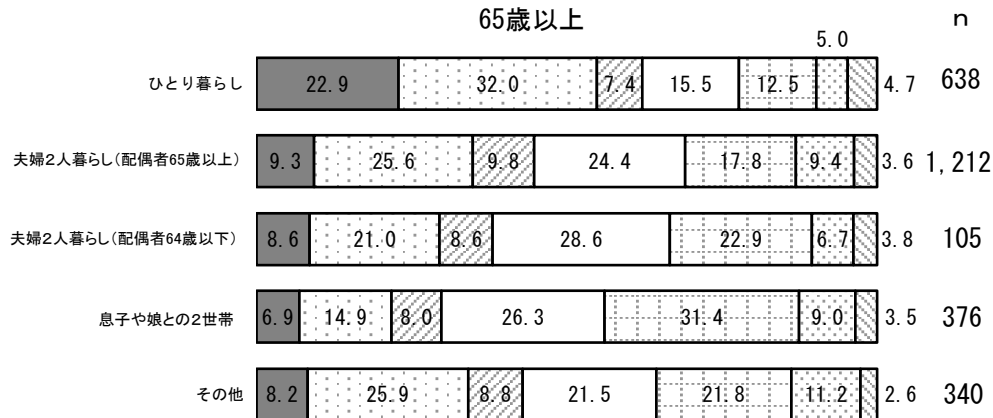
家族構成別にみると「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は、64歳以下、65歳以上ともに「ひとり暮らし」と回答した方の割合が多く、64歳以下は69.2%、65歳以上では54.9%となっている。

問7-12 孤立死の心配 × 問2-1 家族構成

40歳以上64歳以下



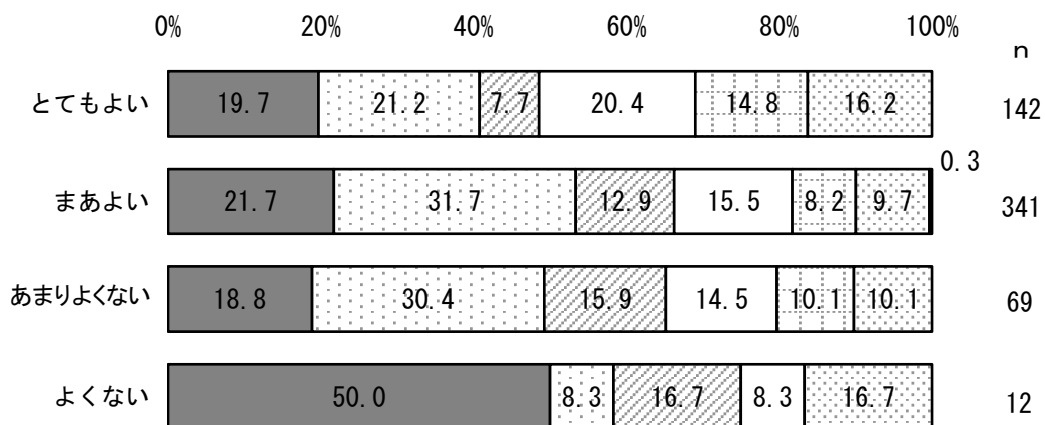
65歳以上



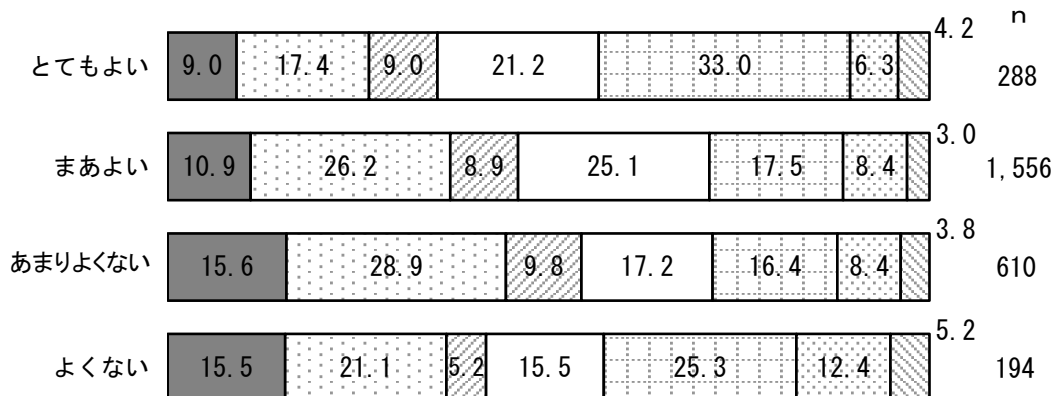
- 心配である
- 少し心配である
- ▨ どちらともいえない
- あまり心配していない
- 心配していない
- わからない
- 無回答

主観的健康観別にみると「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は、64歳以下では「よくない」（58.3%）が最も多く、65歳以上では「あまりよくない」（44.5%）が最も多くなっている。

問7-12 孤立死の心配 × 問4-1 主体的健康感
40歳以上64歳以下



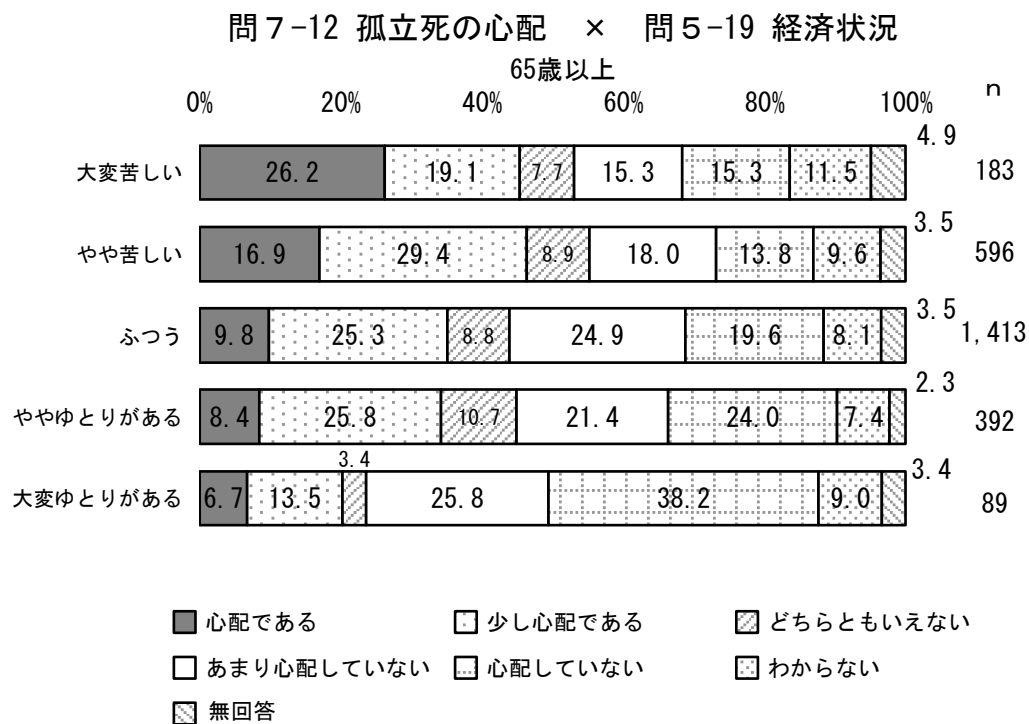
65歳以上



心配である
 少し心配である
 どちらともいえない
 あまり心配していない
 心配していない
 わからない
 無回答

【2 調査結果（その他）】

65歳以上の方を対象として、経済状況別にみると「心配である」「少し心配である」を合わせた割合は、「やや苦しい」（46.3%）が最も多くなっている。

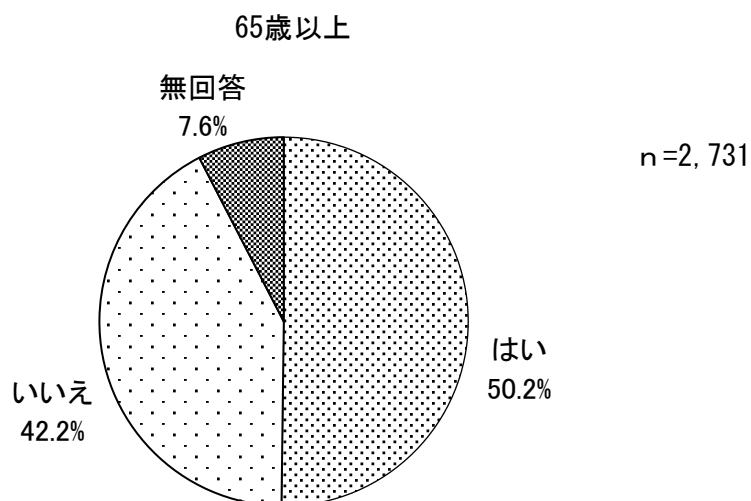
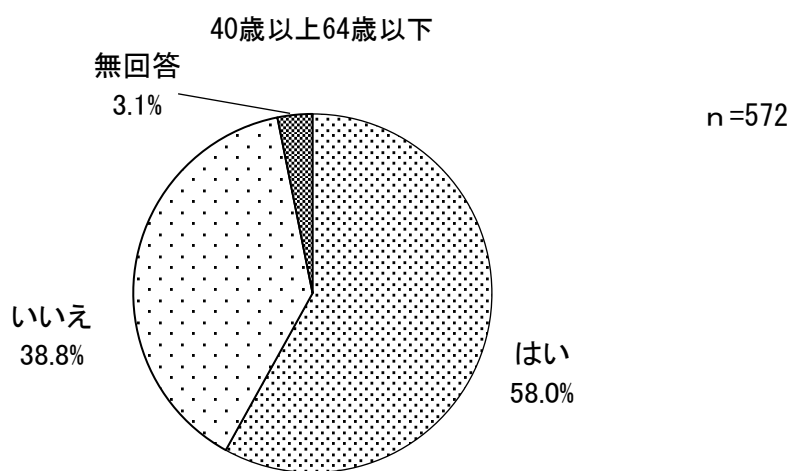


問7-13 認知症に接した経験

あなたは今までに認知症の人と接したことがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

認知症の人と接したことがあるかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「はい」が半数を超えており、64歳以下は58.0%、65歳以上は50.2%となっている。

問7-13 認知症に接した経験



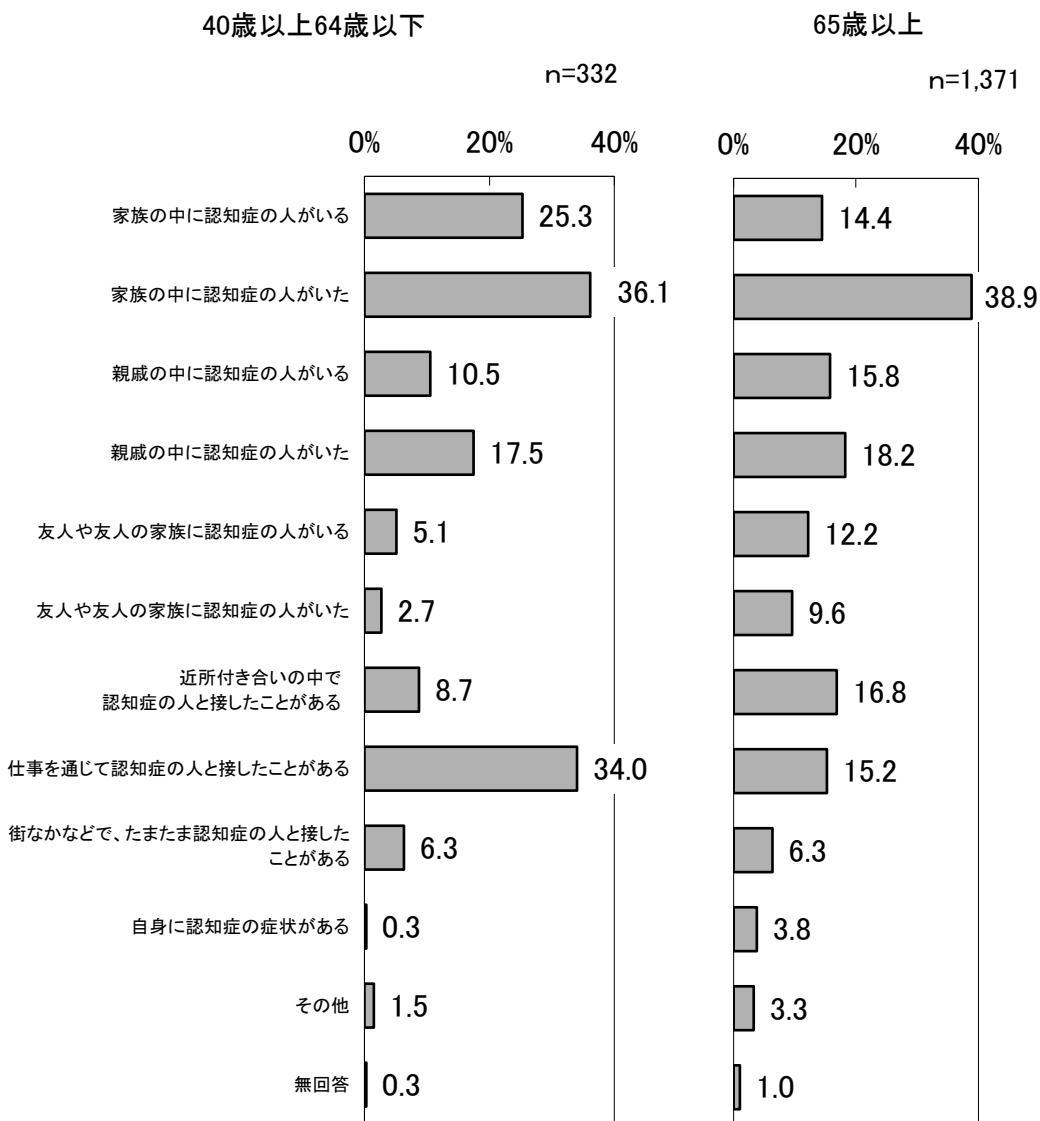
【2 調査結果（その他）】

問7-14 経験内容（複数回答）

【問7-13で「はい」と回答した方にお尋ねします。】
 経験したことがあるのは、どのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

認知症の人と接したことがある人にどのような経験かを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「家族の中に認知症の人がいた」が最も多く、64歳以下は36.1%、65歳以上では38.9%となっている。

問7-14 経験内容（複数回答）



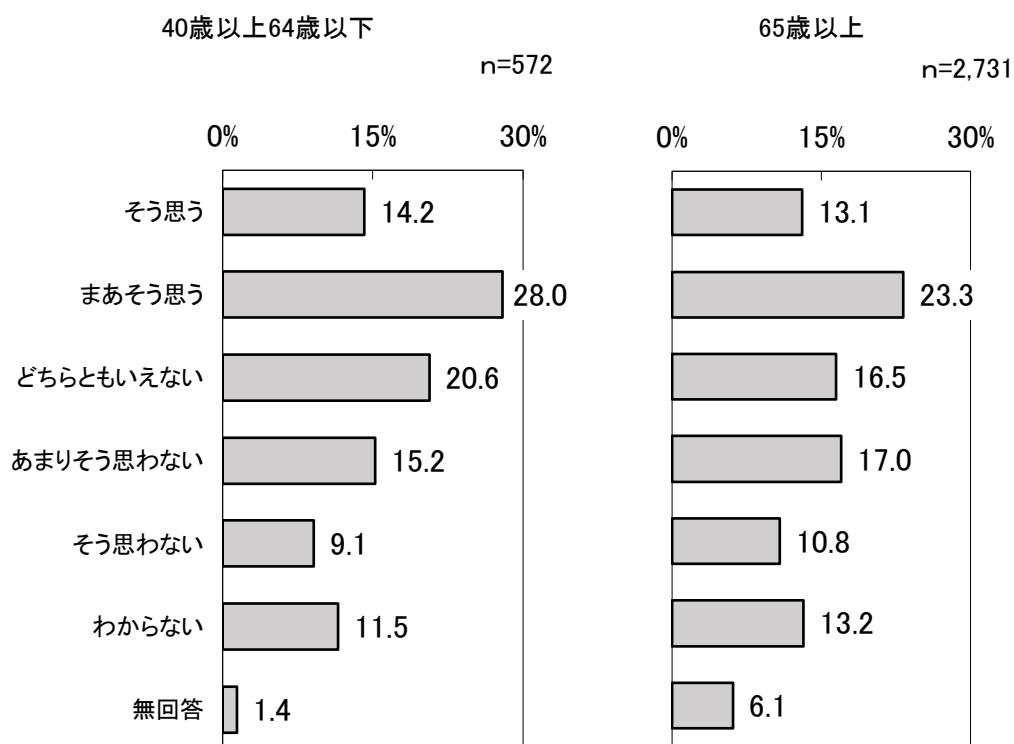
問7-15 認知症への偏見

あなたは認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあると思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

認知症の人が偏見を持ってみられる傾向にあるかを尋ねたところ、「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が、64歳以下は42.2%、65歳以上は36.4%となっている。

一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は64歳以下で24.3%、65歳以上では27.8%となっている。

問7-15 認知症への偏見



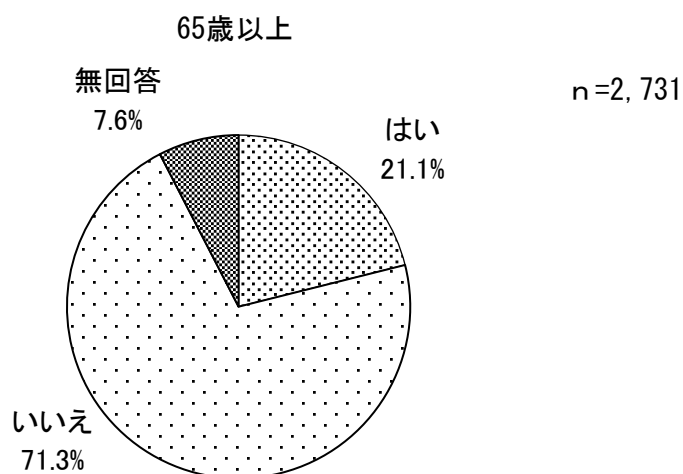
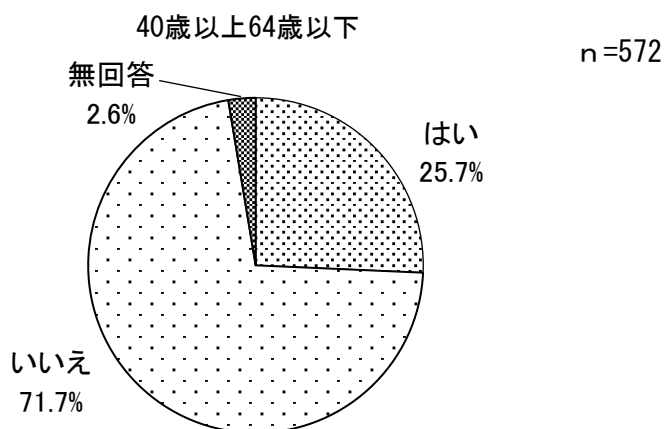
【2 調査結果（その他）】

問7-16 認知症に関する相談窓口の認知度

あなたは認知症に関する相談窓口を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

認知症に関する相談窓口を知っているかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「いいえ」の割合が多く、64歳以下は71.7%、65歳以上は71.3%となっている。

問7-16 認知症に関する相談窓口の認知度

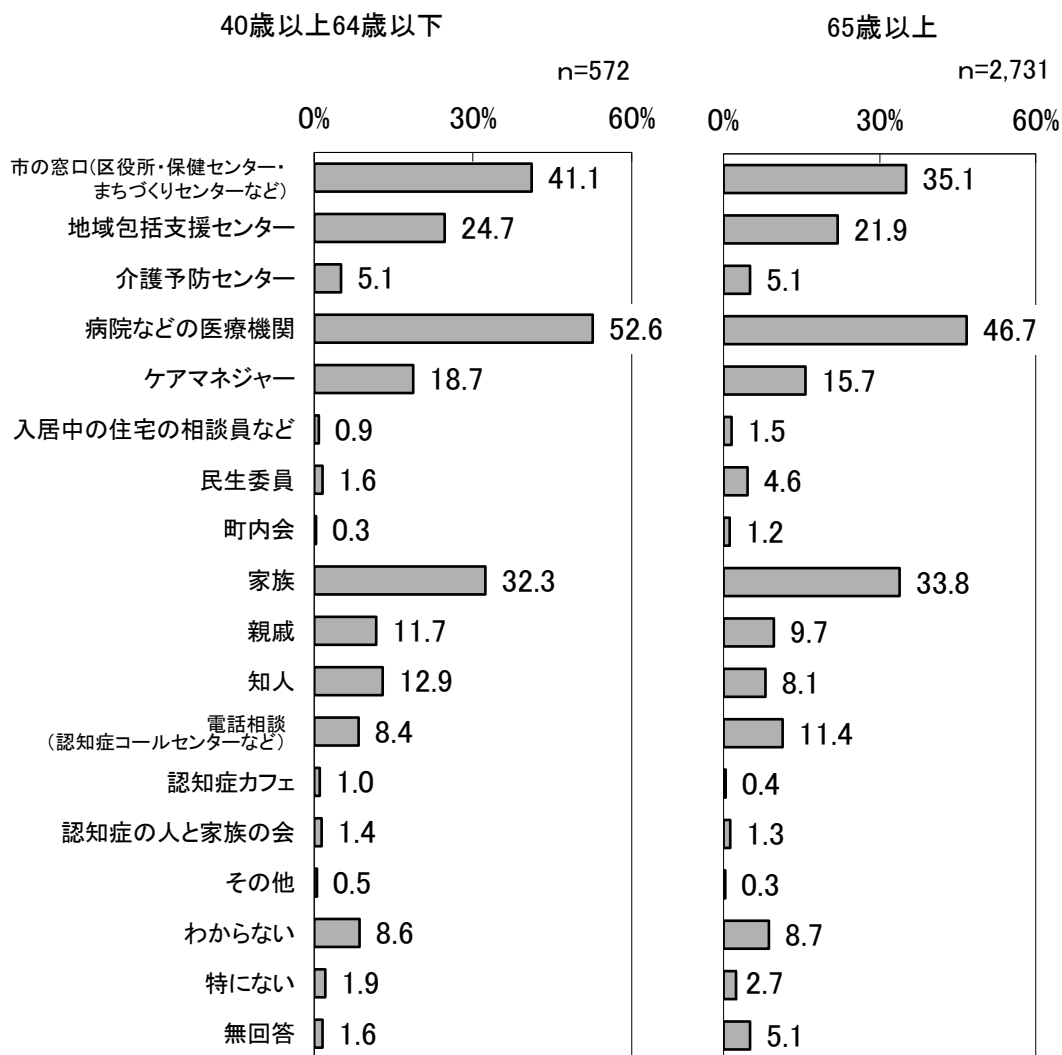


問7-17 認知症の相談先（複数回答）

仮にあなたやご家族の方に認知症の心配がある場合に、どこに相談しますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

仮に自分自身やご家族の方に認知症の心配がある場合、どこに相談するかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「病院などの医療機関」が最も多く、64歳以下は52.6%、65歳以上は46.7%となっている。次いで、「市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）」（64歳以下41.1%、65歳以上35.1%）、「家族」（64歳以下32.3%、65歳以上33.8%）となっている。

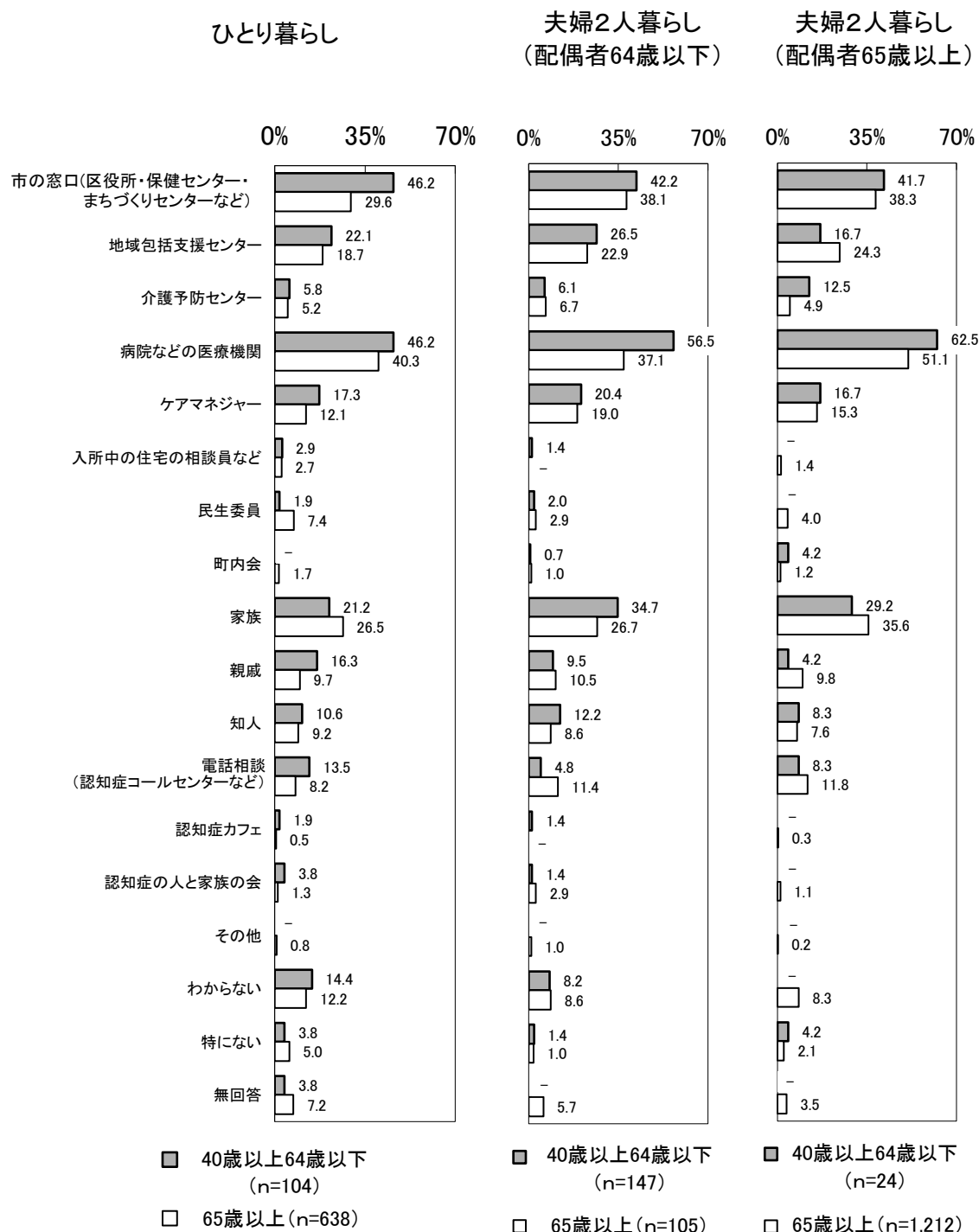
問7-17 認知症の相談先（複数回答）



【2 調査結果（その他）】

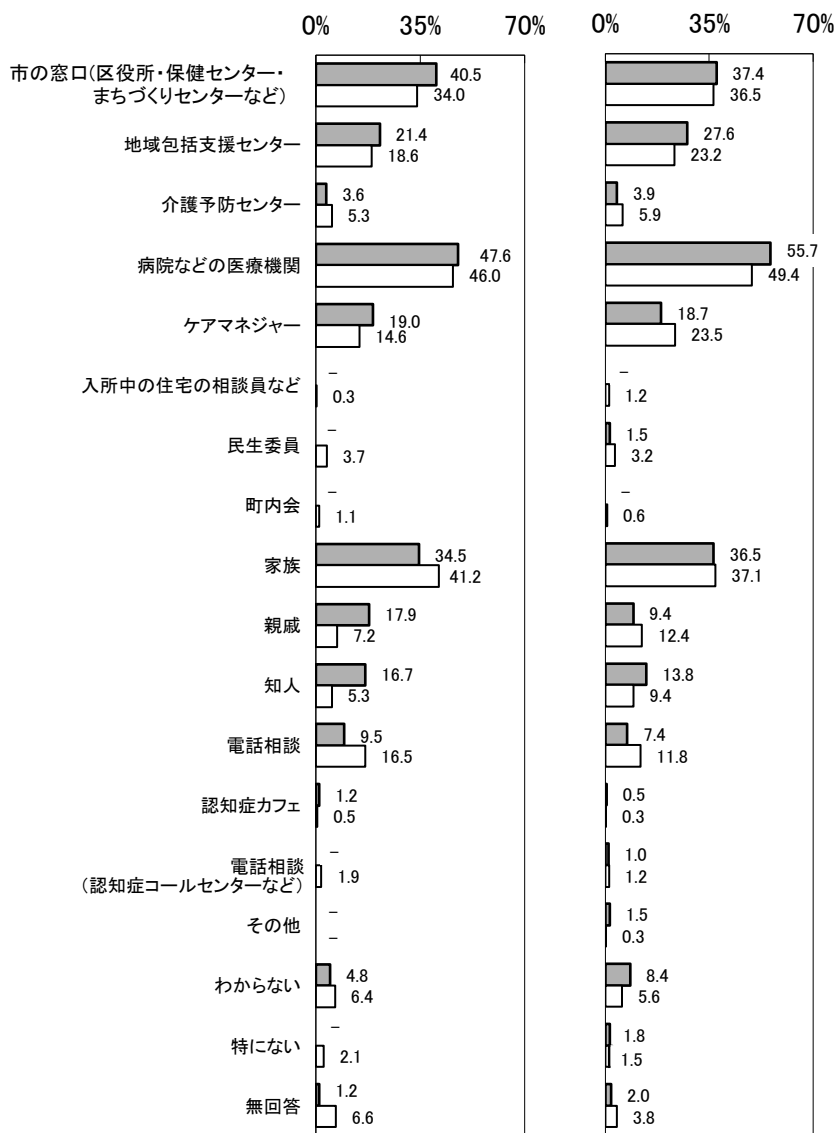
家族構成別にみると、すべての世帯で「病院などの医療機関」の割合が多く、次いで「家族」、「市の窓口（区役所・保健センター・まちづくりセンターなど）」が多くなっている。

問7-17 認知症の相談先 × 問2-1 家族構成



息子や娘との2世帯

その他



■ 40歳以上64歳以下 (n=84)
□ 65歳以上 (n=376)

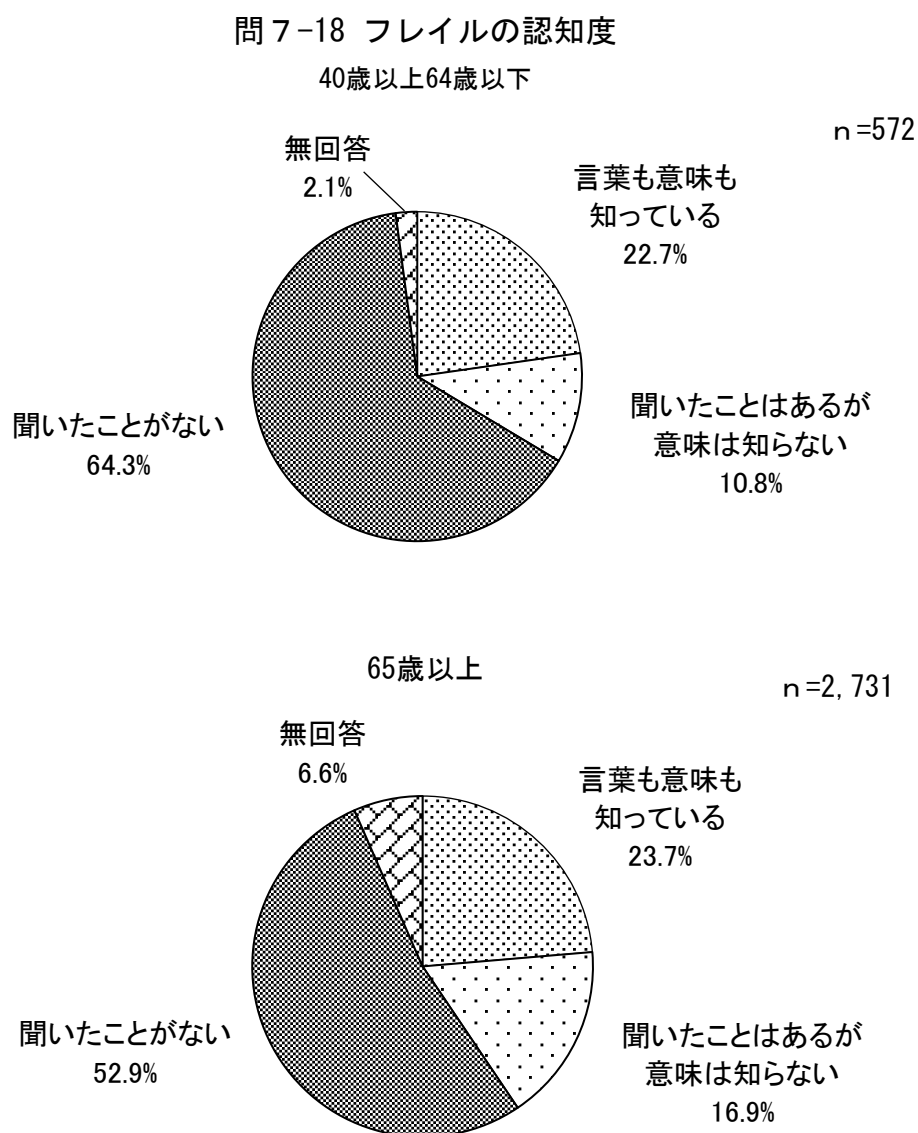
■ 40歳以上64歳以下 (n=203)
□ 65歳以上 (n=340)

【2 調査結果（その他）】

問7-18 フレイルの認知度

あなたはフレイルを知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

フレイルについて知っているか尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「聞いたことがない」が最も多く、64歳以下は64.3%、65歳以上では52.9%と半数を超えている。

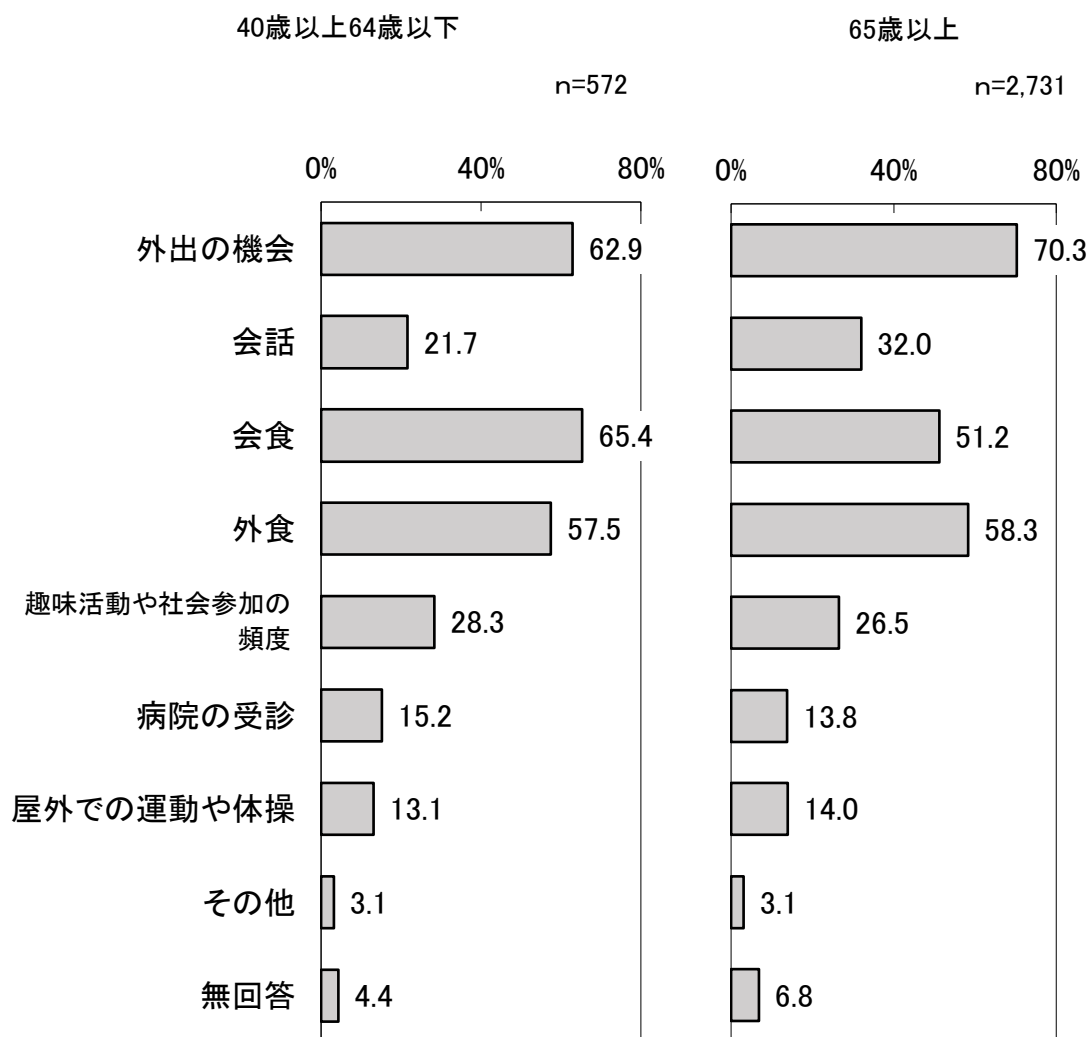


問7-19 コロナ禍での暮らし、体調・気持ち、行動の変化（複数回答）

コロナ禍において、あなたの暮らしや、体調・気持ち及び行動にどのような変化がありましたか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

コロナ禍の暮らしの中で減ったと感じるものを尋ねたところ、64歳以下では「会食」（65.4%）が最も多く、65歳以上では「外出の機会」（70.3%）が最も多くなっている。

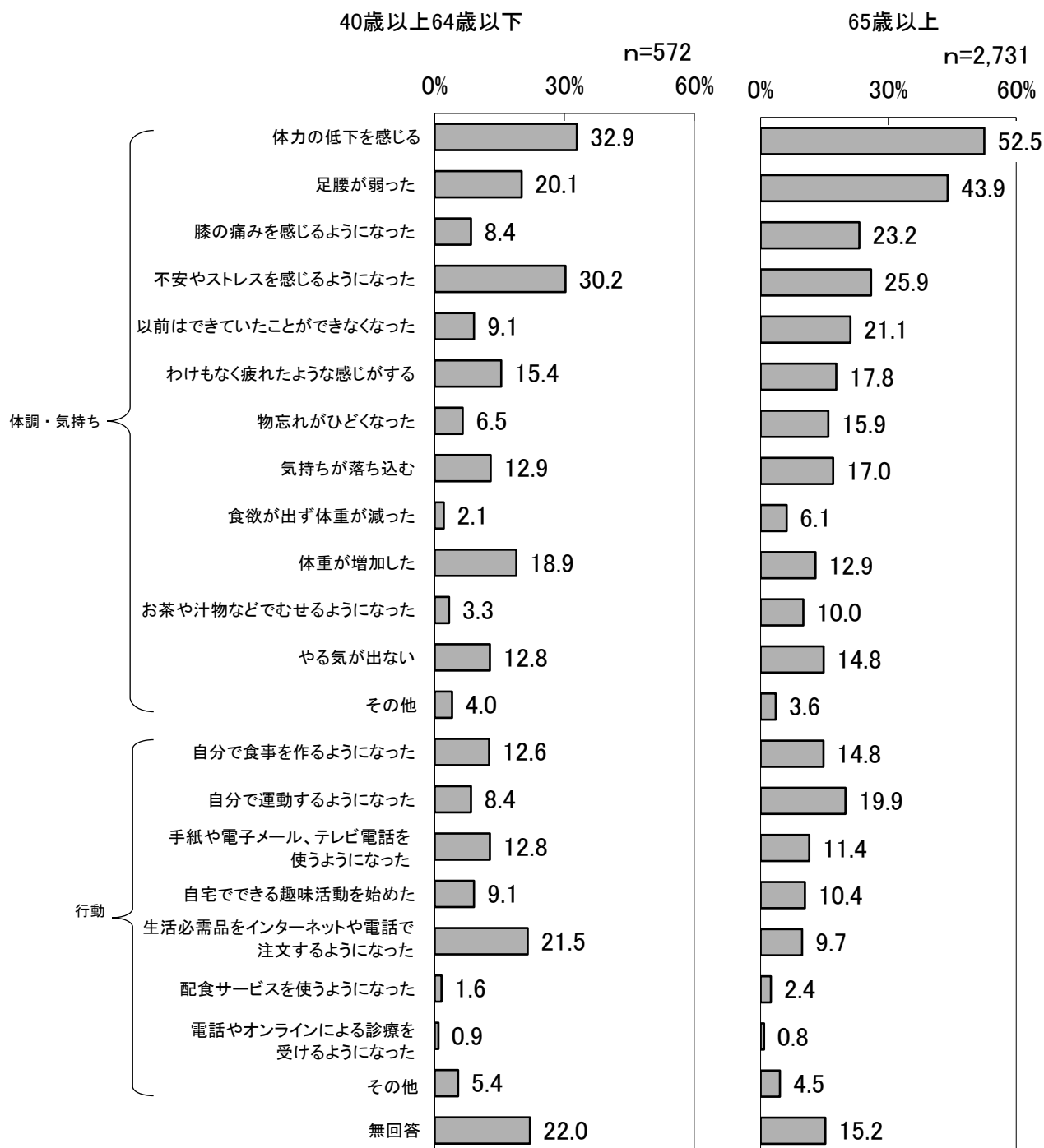
問7-19 コロナ禍での暮らしの変化（複数回答）



【2 調査結果（その他）】

体調・気持ち、行動に変化があったことについては、64歳以下、65歳以上ともに「体力の低下を感じる」の割合が最も多くなっており、64歳以下では32.9%、65歳以上では52.5%となっている。

問7-19 体調・気持ち、行動の変化（複数回答）

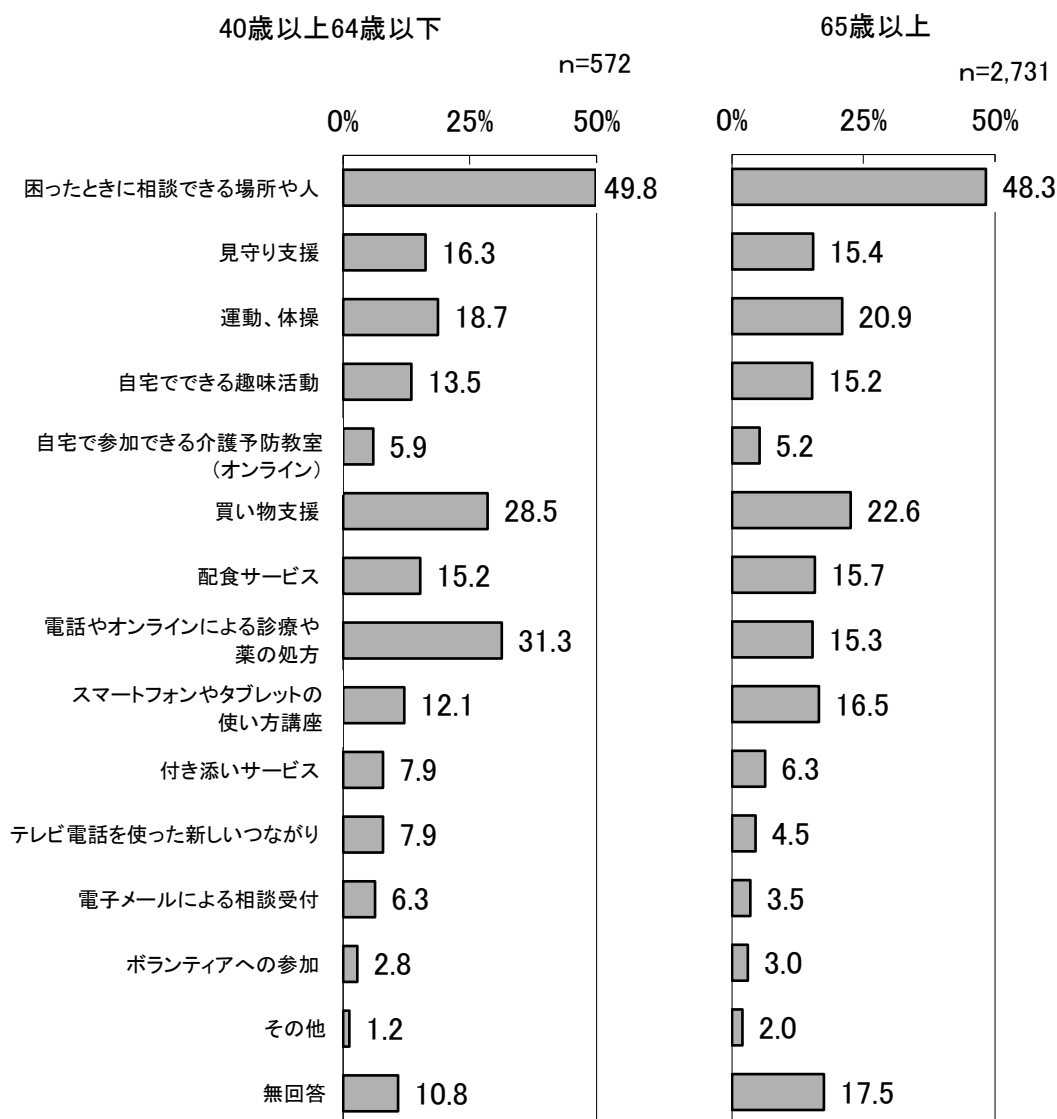


問7-20 コロナ禍で求められる活動やサービス（複数回答）

コロナ禍の自粛生活の中で暮らしのあり方が変化する中、あなたは今後どのような活動やサービスがあると良いと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

コロナ禍の自粛生活の暮らしの中で、今後どのような活動やサービスがあると良いかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「困ったときに相談できる場所や人」とする割合が最も多く、64歳以下は49.8%、65歳以上では48.3%となっている。

問7-20 コロナ禍で求められる活動やサービス（複数回答）



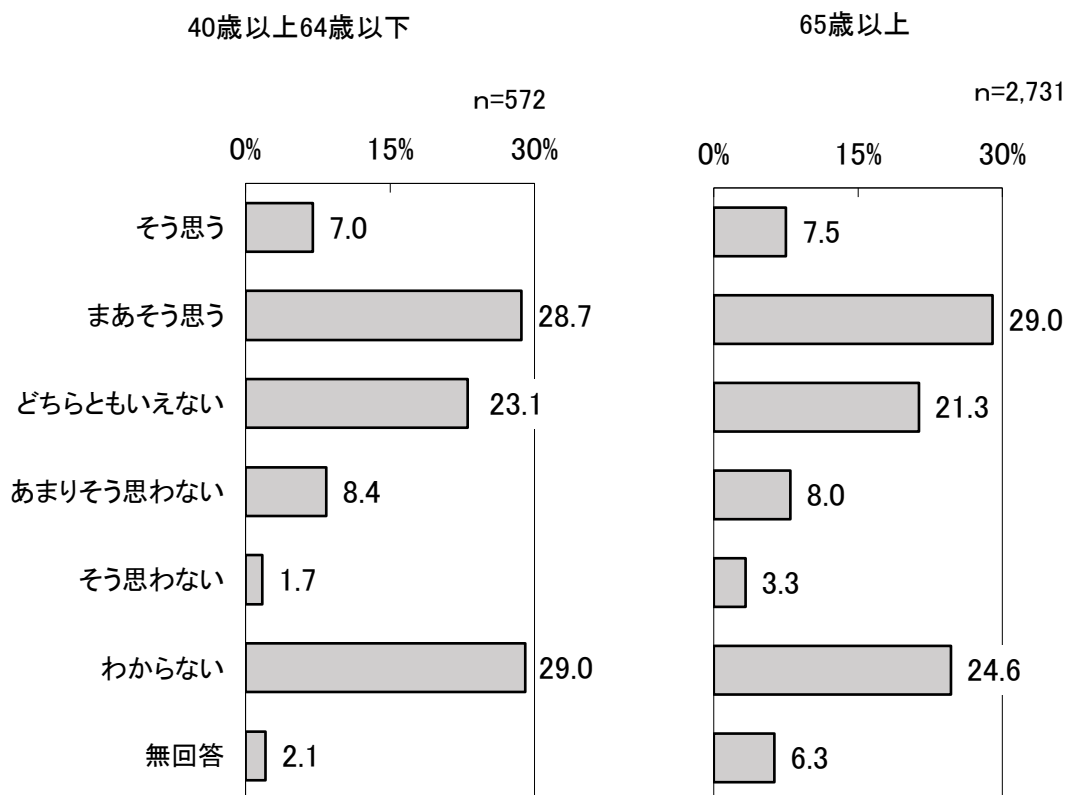
問7-21 高齢者の人権尊重

札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られていると思いますか。当
てはまるもの1つに○をつけてください。

札幌市では、高齢者の人権が尊重され、権利が守られているかを尋ねたところ、
「そう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は64歳以下で35.7%、65歳以上
では36.5%となっている。

一方、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせた割合は64歳以下で
10.1%、65歳以上では11.3%となっている。

問7-21 高齢者の人権尊重

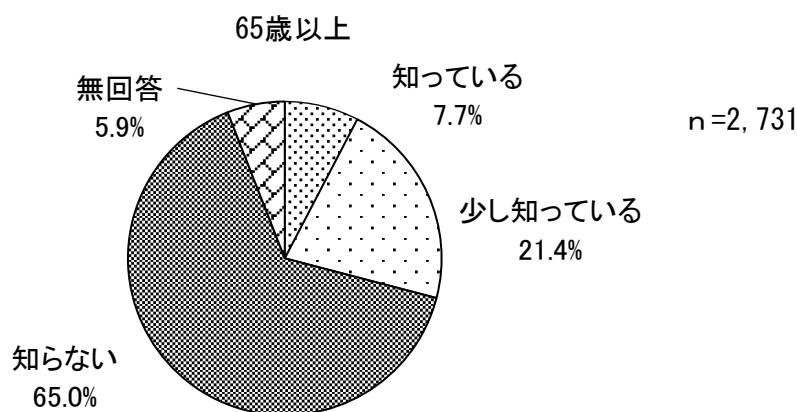
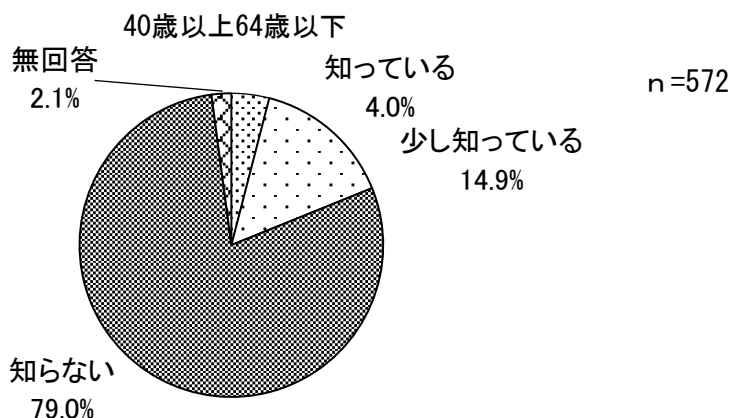


問7-22 個別避難計画の認知度

市町村が避難行動要支援者の個別避難計画※を策定する取組を知っていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

市町村が避難行動要支援者の個別避難計画を策定する取組を知っているかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「知らない」の割合が最も多く、64歳以下は79.0%、65歳以上が65.0%となっている。

問7-22 個別避難計画の認知度



※ 「個別避難計画」とは、大雨や土砂災害など、頻発する自然災害に対し、自ら避難することが難しい高齢、障がい、難病、妊産婦等の方々について、「いつ」、「どこへ」、「誰と一緒に」、「どのように逃げるのか」、「避難にあたって配慮してほしいこと」などについて、あらかじめご本人と相談のもとに決めておく計画をいいます。

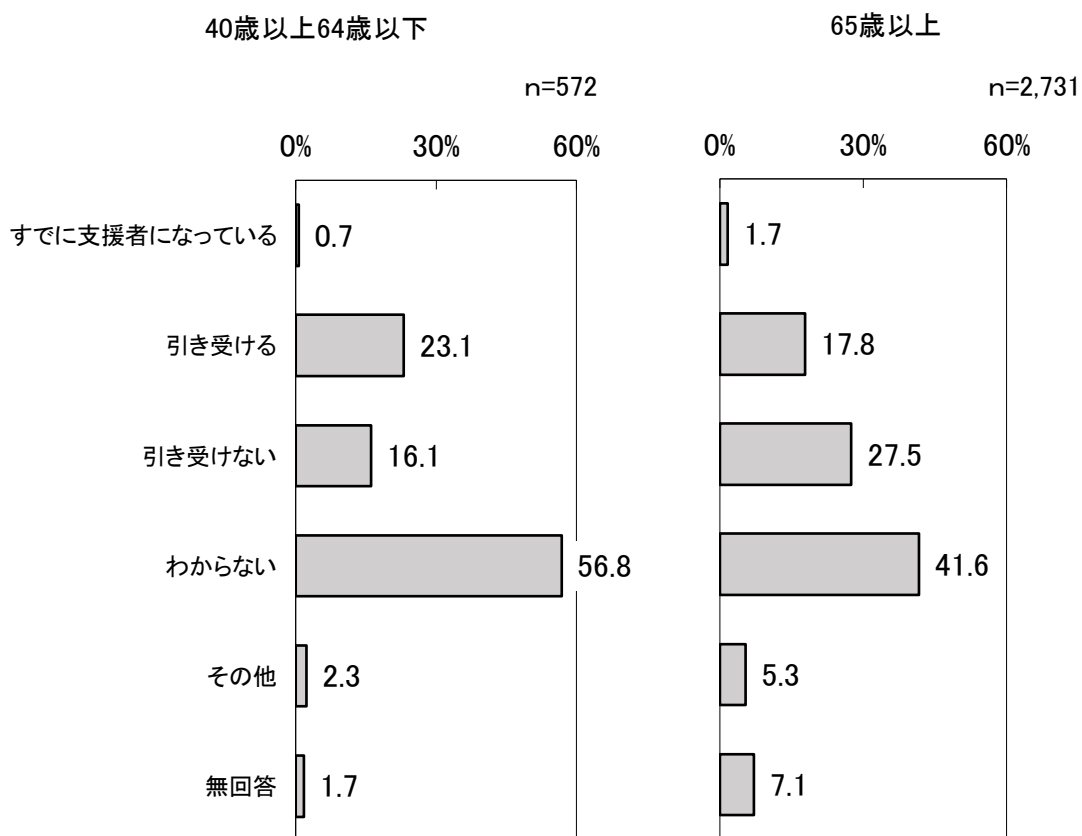
【2 調査結果（その他）】

問7-23 個別避難計画に対する支援者側意識

あなたが避難支援を頼まれたら引き受けますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

避難支援を頼まれたら引き受けるかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「わからない」の割合が多くなっている一方、「引き受けない」の割合は64歳以下で16.1%、65歳以上で27.5%となっている。

問7-23 個別避難計画に対する支援者側意識

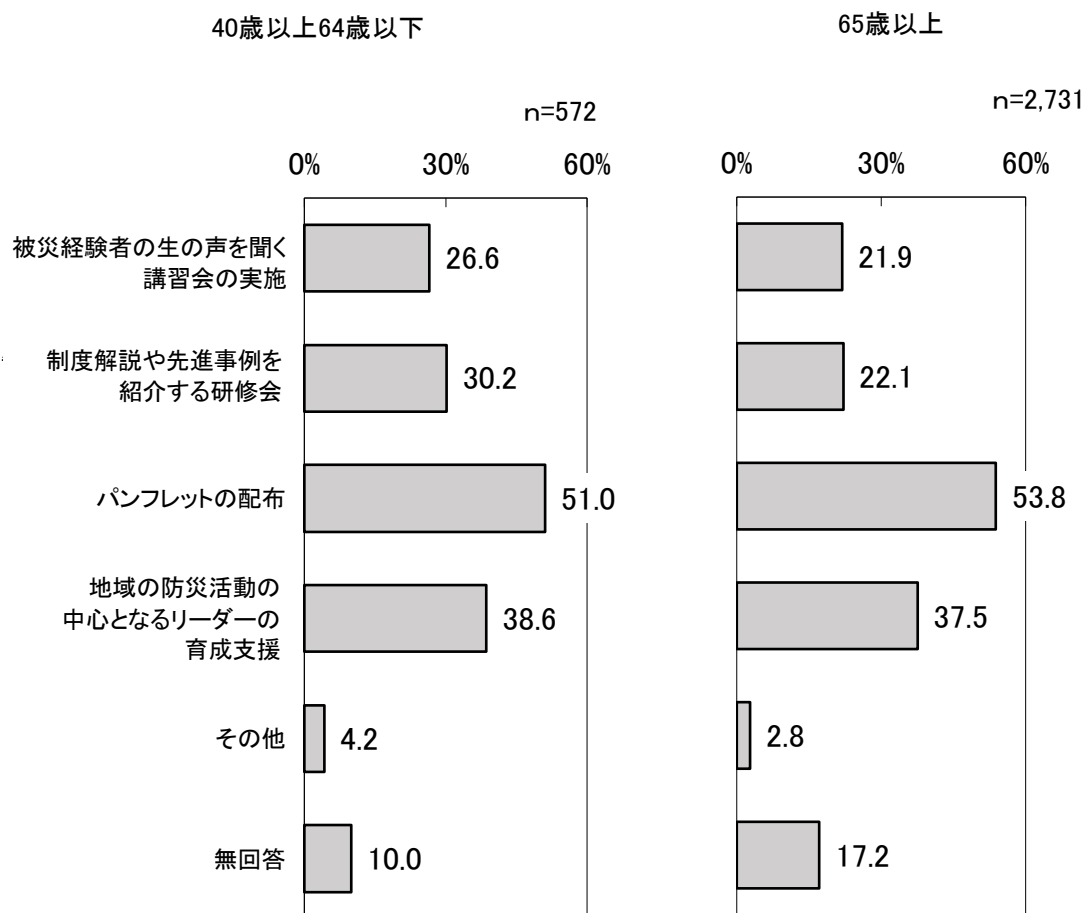


問7-24 個別避難計画の周知手法（複数回答）

個別避難計画の策定を進めるために、札幌市はどのような取組を行う必要があると考えますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

個別避難計画の策定を進めるために、札幌市はどのような取組を行う必要があると考えるかを尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「パンフレットの配布」が最も多く（64歳以下51.0%、65歳以上53.8%）となっており、次いで「地域の防災活動の中心となるリーダーの育成支援」（64歳以下38.6%、65歳以上37.5%）となっている。

問7-24 個別避難計画の周知方法（複数回答）



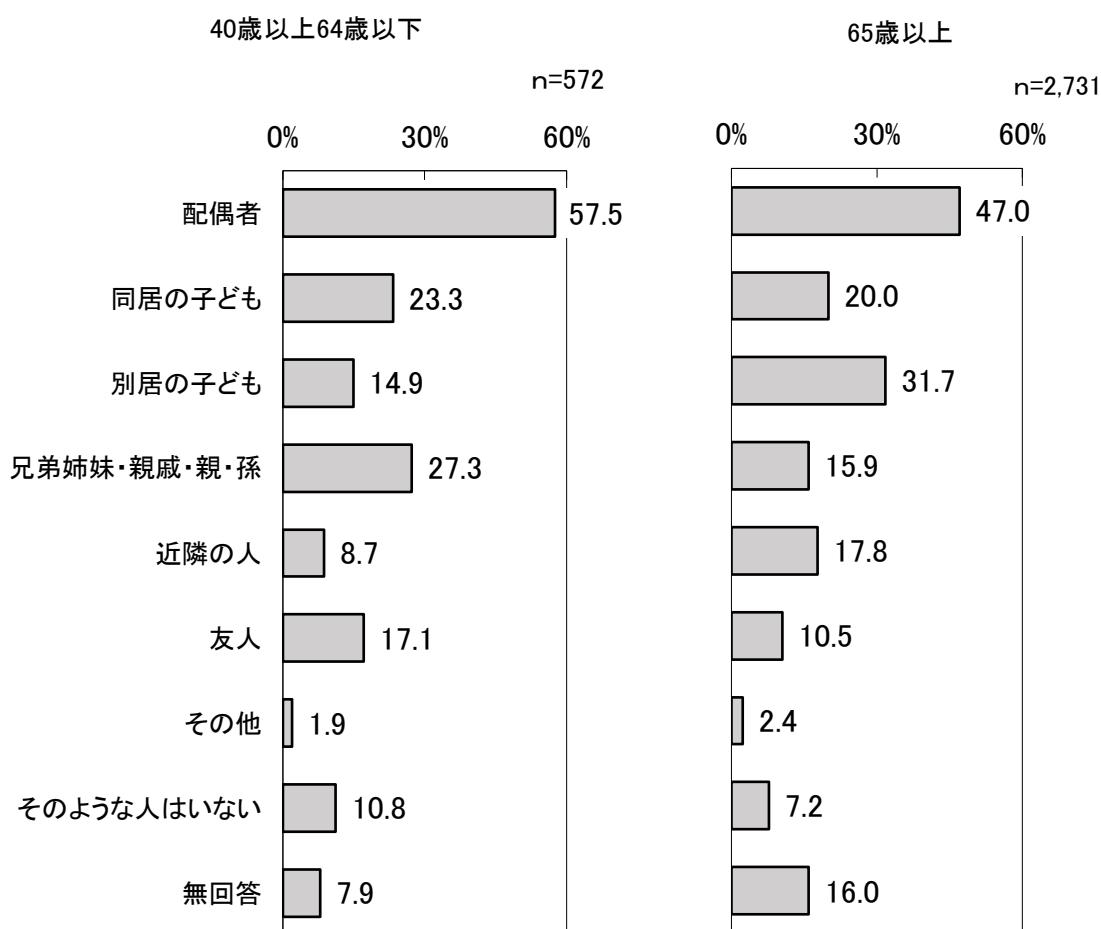
【2 調査結果（その他）】

問7-25 避難警報発令時の避難行動（複数回答）

大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人及び将来的に頼りたい人は誰ですか。当てはまるすべての枠の中に○を記入してください。

大雨洪水警報が発令された時など避難が必要な場合に、現在頼れる人を尋ねたところ、64歳以下、65歳以上ともに「配偶者」の割合が多くなっており、64歳以下は57.5%、65歳以上で47.0%となっている。次いで、64歳以下では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」（27.3%）、65歳以上では「別居の子ども」（31.7%）の割合が多くなっている。

問7-25 避難警報発令時の避難行動（現在頼れる人）（複数回答）



将来的に頼りたい人については、64歳以下では「配偶者」（39.7%）の割合が最も多くなっている一方、65歳以上では「別居の子ども」（26.9%）の割合が最も多くなっている。

問7-25 避難警報発令時の避難行動（将来頼りたい人）（複数回答）

